

厚生労働省 令和4年度障害者総合福祉推進事業

障害児通所支援における支援の質の評価に係る
調査研究

資料集

一般社団法人 全国児童発達支援協議会

2023年3月

目次

I. 障害児支援を行う職員についての実態調査	3
ア.回収結果	3
イ.基礎情報について	4
ウ.調査結果（職種共通）	10
エ.調査結果（職種別）	38
オ.自由記載	129
II. 事業所で行っている研修についての実態調査	143
ア.回収結果	143
イ.基礎情報について	144
ウ.調査結果	155
エ.自由記載	169
III.各職種の支援の実態調査	176
ア.回収結果	176
イ.基礎情報について	177
ウ.調査結果	181
エ.自由記載	187
IV.現場の職員の困り感調査	188
ア.回収結果	188
イ.基礎情報について	189
ウ.調査結果	193
エ.自由記載	273
V.調査票	276

1. 障害児支援を行う職員についての実態調査

ア.回収結果

都道府県	回答数	施設数 (R2)	回答率	都道府県	回答数	施設数 (R2)	回答率
北海道	377	1803	20.9%	滋賀県	34	193	17.6%
青森県	74	217	34.1%	京都府	76	408	18.6%
岩手県	23	198	11.6%	大阪府	251	2771	9.1%
宮城県	58	338	17.2%	兵庫県	213	1123	19.0%
秋田県	32	90	35.6%	奈良県	35	407	8.6%
山形県	33	164	20.1%	和歌山県	48	199	24.1%
福島県	70	323	21.7%	鳥取県	34	103	33.0%
茨城県	87	585	14.9%	島根県	26	135	19.3%
栃木県	132	344	38.4%	岡山県	97	399	24.3%
群馬県	58	347	16.7%	広島県	231	652	35.4%
埼玉県	244	1222	20.0%	山口県	29	216	13.4%
千葉県	322	1179	27.3%	徳島県	51	244	20.9%
東京都	486	1456	33.4%	香川県	21	147	14.3%
神奈川県	177	1488	11.9%	愛媛県	28	229	12.2%
新潟県	57	214	26.6%	高知県	40	110	36.4%
富山県	38	219	17.4%	福岡県	178	1066	16.7%
石川県	42	227	18.5%	佐賀県	48	219	21.9%
福井県	28	120	23.3%	長崎県	92	378	24.3%
山梨県	0	116	0.0%	熊本県	176	517	34.0%
長野県	56	255	22.0%	大分県	82	241	34.0%
岐阜県	39	386	10.1%	宮崎県	82	227	36.1%
静岡県	114	618	18.4%	鹿児島県	122	567	21.5%
愛知県	103	1595	6.5%	沖縄県	209	723	28.9%
三重県	71	324	21.9%	全国	4924	25102	19.6%

※施設数は令和2年度社会福祉施設等調査よりセンター及び児童発達支援と放課後等デイサービスを合算した数

イ.基礎情報について

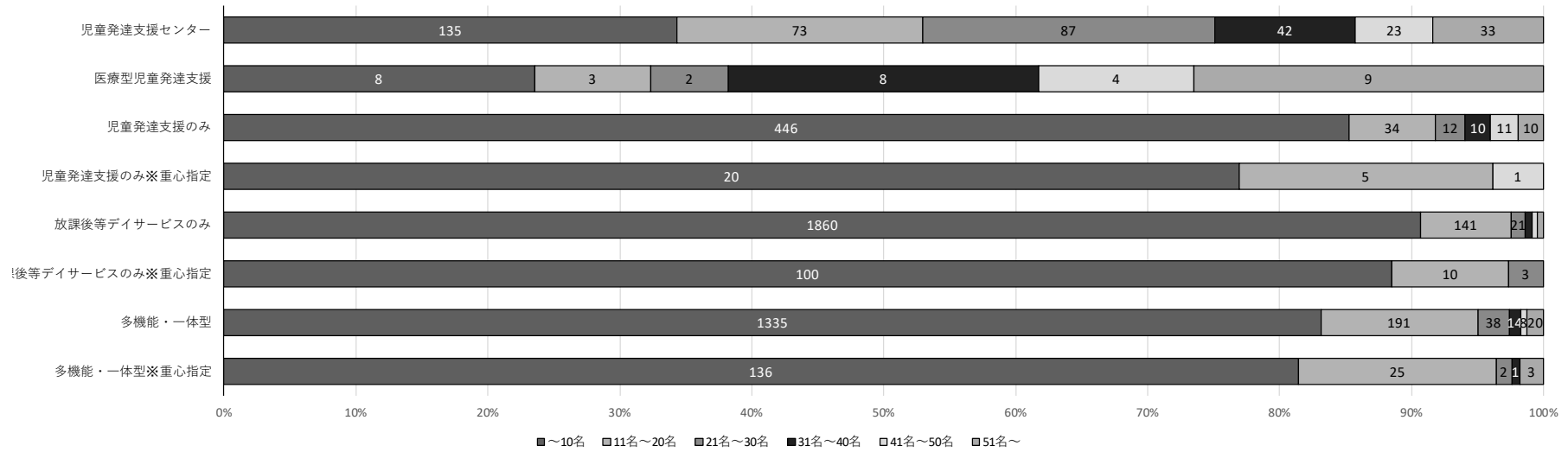
(1) 事業所の種類

(1) 事業所の種類	全体
児童発達支援センター	407
児童発達支援事業	2435
放課後等デイサービス事業	4075
保育所等訪問支援	478
居宅訪問型児童発達支援	61
医療型児童発達支援	34
その他	41
児童発達支援のみ(センター除く)	549
放課後等デイサービスのみのみ	2164
多機能・一体型	1773

(2) 重症心身型の指定の有無

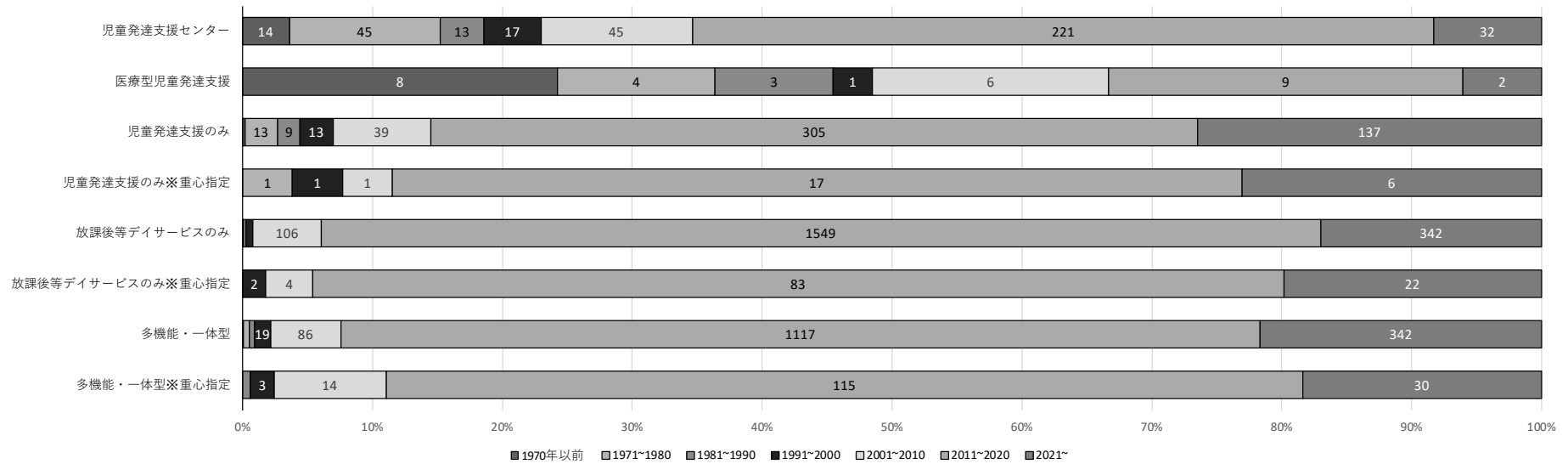
(2) 重症心身型の指定の有無	全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		放課後等デイサービスのみのみ		多機能・一体型	
指定あり	357	(7%)	37	(9%)	12	(35%)	26	(5%)	113	(5%)	167	(9%)
指定なし	4567	(93%)	356	(91%)	22	(65%)	523	(95%)	2051	(95%)	1606	(91%)
合計	4924	(100%)	393	(100%)	34	(100%)	549	(100%)	2164	(100%)	1773	(100%)

(5) 事業所の定員数



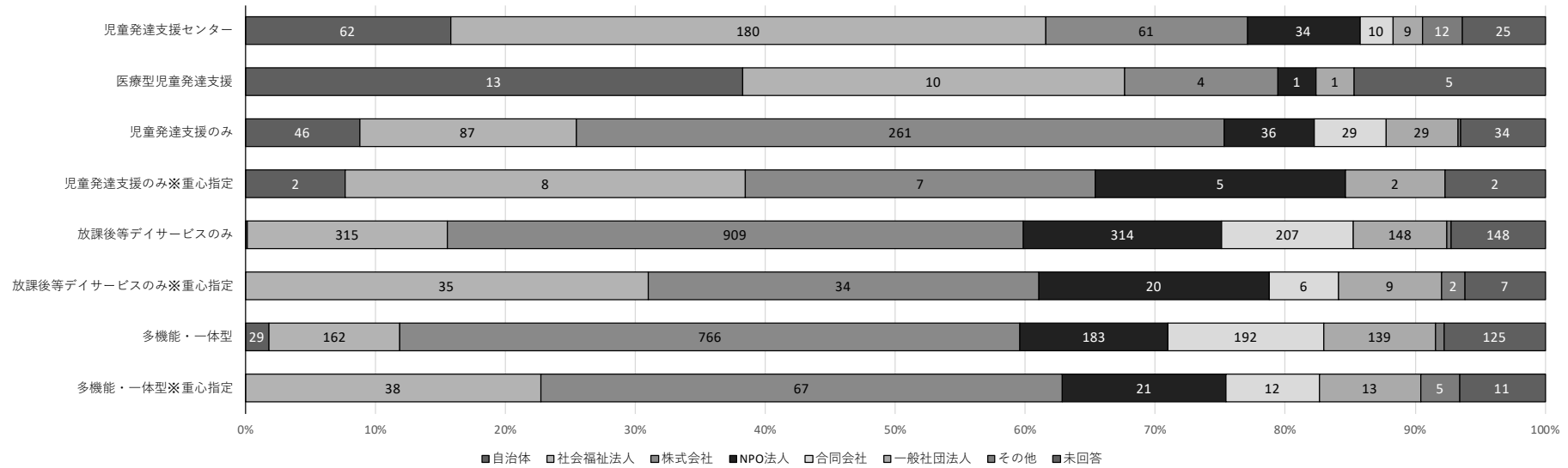
(5) 事業所の定員数	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみの※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
~10名	4043 (82%)	135 (34%)	8 (24%)	446 (85%)	20 (77%)	1860 (91%)	100 (88%)	1335 (83%)	136 (81%)
11名~20名	484 (10%)	73 (19%)	3 (9%)	34 (7%)	5 (19%)	141 (7%)	10 (9%)	191 (12%)	25 (15%)
21名~30名	167 (3%)	87 (22%)	2 (6%)	12 (2%)	0 (0%)	21 (1%)	3 (3%)	38 (2%)	2 (1%)
31名~40名	87 (2%)	42 (11%)	8 (24%)	10 (2%)	0 (0%)	11 (1%)	0 (0%)	14 (1%)	1 (1%)
41名~50名	57 (1%)	23 (6%)	4 (12%)	11 (2%)	1 (4%)	9 (0%)	0 (0%)	8 (0%)	0 (0%)
51名~	86 (2%)	33 (8%)	9 (26%)	10 (2%)	0 (0%)	9 (0%)	0 (0%)	20 (1%)	3 (2%)
合計	4924	393	34	523	26	2051	113	1606	167

(6) 事業所の開設年



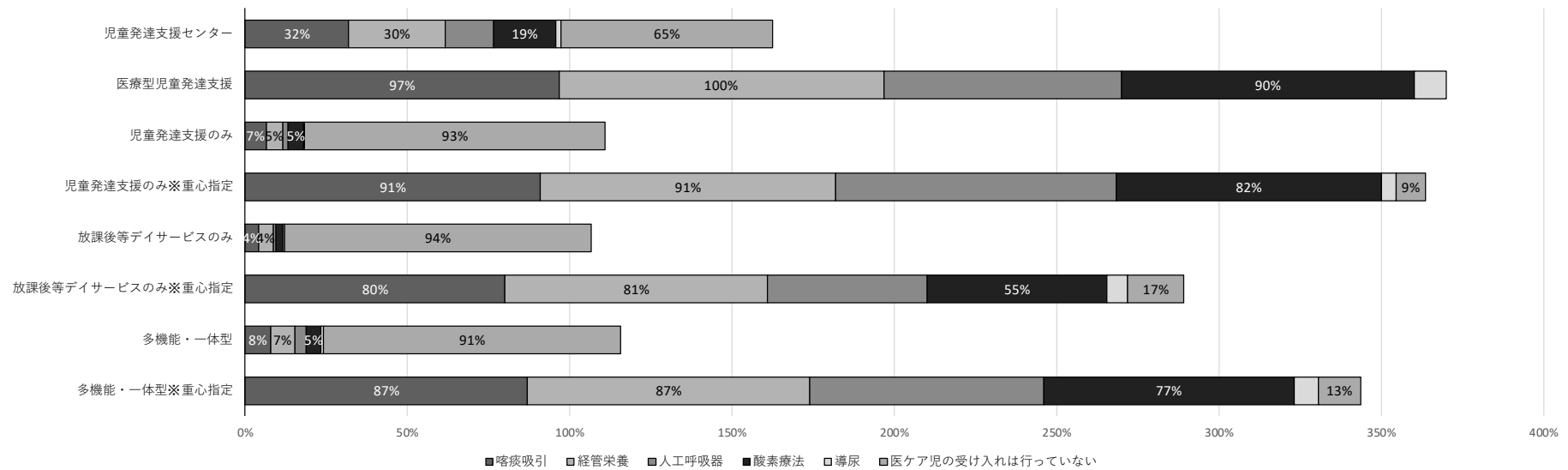
(6) 事業所の開設年 (西暦)	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
1970年以前	24 (0%)	14 (4%)	8 (24%)	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)
1971~1980	72 (1%)	45 (11%)	4 (12%)	13 (2%)	1 (4%)	1 (0%)	0 (0%)	7 (0%)	0 (0%)
1981~1990	38 (1%)	13 (3%)	3 (9%)	9 (2%)	0 (0%)	5 (0%)	0 (0%)	7 (0%)	1 (1%)
1991~2000	66 (1%)	17 (4%)	1 (3%)	13 (2%)	1 (4%)	10 (0%)	2 (2%)	19 (1%)	3 (2%)
2001~2010	301 (6%)	45 (11%)	6 (18%)	39 (7%)	1 (4%)	106 (5%)	4 (4%)	86 (5%)	14 (8%)
2011~2020	3423 (70%)	221 (56%)	9 (26%)	305 (58%)	17 (65%)	1549 (76%)	83 (73%)	1117 (70%)	115 (69%)
2021~	915 (19%)	32 (8%)	2 (6%)	137 (26%)	6 (23%)	342 (17%)	22 (19%)	342 (21%)	30 (18%)
未回答	85 (2%)	6 (2%)	1 (3%)	6 (1%)	0 (0%)	38 (2%)	2 (2%)	27 (2%)	4 (2%)
合計	4924	393	34	523	26	2051	113	1606	167

(7) 運営主体



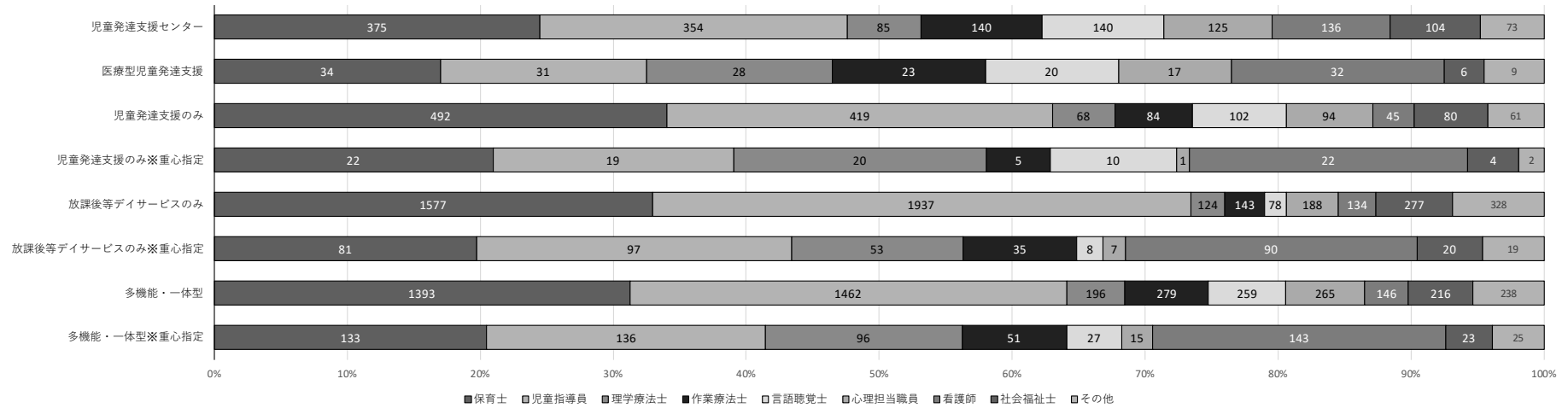
(7) 運営主体	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重点指定	放課後等デイサービスののみ	放課後等デイサービスののみ※重点指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重点指定
自治体	157 (3%)	62 (16%)	13 (38%)	46 (9%)	2 (8%)	3 (0%)	0 (0%)	29 (2%)	0 (0%)
社会福祉法人	838 (17%)	180 (46%)	10 (29%)	87 (17%)	8 (31%)	315 (15%)	35 (31%)	162 (10%)	38 (23%)
株式会社	2109 (43%)	61 (16%)	4 (12%)	261 (50%)	7 (27%)	909 (44%)	34 (30%)	766 (48%)	67 (40%)
NPO法人	616 (13%)	34 (9%)	1 (3%)	36 (7%)	5 (19%)	314 (15%)	20 (18%)	183 (11%)	21 (13%)
合同会社	457 (9%)	10 (3%)	0 (0%)	29 (6%)	0 (0%)	207 (10%)	6 (5%)	192 (12%)	12 (7%)
一般社団法人	352 (7%)	9 (2%)	1 (3%)	29 (6%)	2 (8%)	148 (7%)	9 (8%)	139 (9%)	13 (8%)
その他	41 (1%)	12 (3%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	7 (0%)	2 (2%)	10 (1%)	5 (3%)
未回答	354 (7%)	25 (6%)	5 (15%)	34 (7%)	2 (8%)	148 (7%)	7 (6%)	125 (8%)	11 (7%)
合計	4924	393	34	523	26	2051	113	1606	167

(8) 行える医療行為



(8) 行える医療行為	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
喀痰吸引	585 (14%)	102 (32%)	29 (97%)	27 (7%)	20 (91%)	71 (4%)	88 (80%)	103 (8%)	140 (87%)
経管栄養	573 (14%)	95 (30%)	30 (100%)	21 (5%)	20 (91%)	78 (4%)	89 (81%)	95 (7%)	140 (87%)
人工呼吸器	333 (8%)	48 (15%)	22 (73%)	7 (2%)	19 (86%)	16 (1%)	54 (49%)	47 (4%)	116 (72%)
酸素療法	408 (10%)	61 (19%)	27 (90%)	20 (5%)	18 (82%)	34 (2%)	61 (55%)	59 (5%)	124 (77%)
導尿	51 (1%)	5 (2%)	3 (10%)	1 (0%)	1 (5%)	12 (1%)	7 (6%)	10 (1%)	12 (7%)
ケア児の受け入れは行っていない	3467 (84%)	209 (65%)	0 (0%)	384 (93%)	2 (9%)	1638 (94%)	19 (17%)	1190 (91%)	21 (13%)
その他	205 (5%)	38 (12%)	2 (7%)	41 (10%)	6 (27%)	44 (3%)	8 (7%)	51 (4%)	14 (9%)
未回答	542 (13%)	29 (9%)	1 (3%)	56 (13%)	3 (14%)	221 (13%)	3 (3%)	225 (17%)	3 (2%)
回答数	4104	320	30	415	22	1736	110	1301	161

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)



(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスののみ	放課後等デイサービスののみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
保育士	4114 (84%)	375 (95%)	34 (100%)	492 (94%)	22 (85%)	1577 (77%)	81 (72%)	1393 (87%)	133 (80%)
児童指導員	4459 (91%)	354 (90%)	31 (91%)	419 (80%)	19 (73%)	1937 (94%)	97 (86%)	1462 (91%)	136 (81%)
理学療法士	672 (14%)	85 (22%)	28 (82%)	68 (13%)	20 (77%)	124 (6%)	53 (47%)	196 (12%)	96 (57%)
作業療法士	764 (16%)	140 (36%)	23 (68%)	84 (16%)	5 (19%)	143 (7%)	35 (31%)	279 (17%)	51 (31%)
言語聴覚士	645 (13%)	140 (36%)	20 (59%)	102 (20%)	10 (38%)	78 (4%)	8 (7%)	259 (16%)	27 (16%)
心理担当職員	713 (14%)	125 (32%)	17 (50%)	94 (18%)	1 (4%)	188 (9%)	7 (6%)	265 (17%)	15 (9%)
看護師	753 (15%)	136 (35%)	32 (94%)	45 (9%)	22 (85%)	134 (7%)	90 (80%)	146 (9%)	143 (86%)
社会福祉士	731 (15%)	104 (26%)	6 (18%)	80 (15%)	4 (15%)	277 (14%)	20 (18%)	216 (13%)	23 (14%)
その他	757 (15%)	73 (19%)	9 (26%)	61 (12%)	2 (8%)	328 (16%)	19 (17%)	238 (15%)	25 (15%)
未回答	20 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	12 (1%)	0 (0%)	6 (0%)	1 (1%)

ウ.調査結果（職種共通）

次の内容（発達支援・家族支援・地域支援・事業運営等）について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員が該当しますか。

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	306 (6%)	897 (19%)	1388 (29%)	1092 (23%)	585 (12%)	580 (12%)	4848
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	173 (6%)	582 (19%)	965 (31%)	701 (23%)	310 (10%)	340 (11%)	3071
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	582 (12%)	1076 (23%)	1318 (28%)	961 (20%)	396 (8%)	418 (9%)	4751
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	443 (10%)	1053 (23%)	1365 (30%)	957 (21%)	379 (8%)	395 (9%)	4592
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	272 (7%)	764 (20%)	1151 (31%)	837 (22%)	343 (9%)	398 (11%)	3765
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	356 (7%)	959 (20%)	1494 (31%)	1076 (23%)	436 (9%)	461 (10%)	4782
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	398 (9%)	1001 (22%)	1437 (31%)	982 (21%)	414 (9%)	406 (9%)	4638
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	431 (9%)	1092 (22%)	1479 (30%)	1042 (21%)	410 (8%)	409 (8%)	4863
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	372 (8%)	1074 (22%)	1521 (31%)	1063 (22%)	423 (9%)	414 (9%)	4867
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	379 (8%)	1100 (23%)	1497 (31%)	1041 (22%)	401 (8%)	405 (8%)	4823
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	273 (6%)	898 (19%)	1531 (32%)	1175 (24%)	462 (10%)	487 (10%)	4826
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	265 (5%)	873 (18%)	1520 (31%)	1201 (25%)	487 (10%)	489 (10%)	4835
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	290 (6%)	935 (19%)	1550 (32%)	1176 (24%)	476 (10%)	437 (9%)	4864
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	239 (5%)	847 (18%)	1500 (31%)	1192 (25%)	498 (10%)	522 (11%)	4798
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	174 (4%)	682 (15%)	1398 (30%)	1246 (26%)	592 (13%)	610 (13%)	4702
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	199 (4%)	665 (15%)	1397 (31%)	1139 (25%)	528 (12%)	551 (12%)	4479
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	342 (8%)	875 (19%)	1311 (29%)	1034 (23%)	462 (10%)	495 (11%)	4519
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）]	350 (7%)	1033 (22%)	1521 (32%)	1063 (22%)	386 (8%)	397 (8%)	4750
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [知的障害]	388 (8%)	1080 (23%)	1497 (32%)	1009 (21%)	380 (8%)	396 (8%)	4750
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [肢体不自由]	182 (7%)	512 (21%)	731 (29%)	580 (23%)	225 (9%)	265 (11%)	2495
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [重症心身障害]	100 (6%)	246 (16%)	457 (29%)	402 (26%)	149 (10%)	211 (13%)	1565
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [医療的ケア]	92 (7%)	193 (16%)	348 (28%)	312 (25%)	114 (9%)	174 (14%)	1233
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [聴覚障害]	150 (9%)	349 (21%)	466 (28%)	378 (23%)	135 (8%)	174 (11%)	1652
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [視覚障害]	128 (10%)	265 (20%)	367 (28%)	325 (25%)	109 (8%)	126 (10%)	1320
⑱理解し適切な配慮と支援をしている [マルチリートメント（虐待等）]	164 (6%)	447 (16%)	805 (29%)	669 (24%)	313 (11%)	353 (13%)	2751

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	491 (10%)	1115 (24%)	1296 (28%)	969 (21%)	410 (9%)	416 (9%)	4697
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	231 (5%)	799 (18%)	1271 (28%)	1086 (24%)	508 (11%)	566 (13%)	4461
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	133 (3%)	564 (12%)	1232 (27%)	1274 (28%)	671 (14%)	754 (16%)	4628
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	163 (3%)	629 (13%)	1298 (27%)	1300 (27%)	671 (14%)	753 (16%)	4814
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	105 (2%)	460 (10%)	1146 (25%)	1289 (29%)	708 (16%)	794 (18%)	4502
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	76 (2%)	350 (11%)	824 (25%)	889 (27%)	509 (16%)	596 (18%)	3244
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	148 (4%)	511 (12%)	1094 (26%)	1124 (27%)	603 (14%)	708 (17%)	4188

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	169 (4%)	617 (13%)	1254 (27%)	1253 (27%)	649 (14%)	733 (16%)	4675
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	110 (2%)	459 (10%)	1113 (24%)	1307 (28%)	764 (16%)	901 (19%)	4654
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	109 (2%)	445 (10%)	1140 (26%)	1236 (28%)	704 (16%)	777 (18%)	4411
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	58 (2%)	232 (10%)	535 (23%)	634 (27%)	359 (15%)	523 (22%)	2341
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	53 (2%)	207 (8%)	502 (20%)	677 (28%)	395 (16%)	619 (25%)	2453
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	86 (3%)	312 (9%)	708 (21%)	889 (27%)	540 (16%)	800 (24%)	3335

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	266 (5%)	831 (17%)	1413 (29%)	1179 (24%)	560 (12%)	609 (13%)	4858
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	160 (3%)	609 (13%)	1217 (25%)	1286 (27%)	697 (15%)	836 (17%)	4805
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	330 (7%)	1066 (22%)	1415 (29%)	1112 (23%)	461 (10%)	465 (10%)	4849
④PDCAを意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	290 (6%)	899 (19%)	1391 (29%)	1178 (25%)	515 (11%)	486 (10%)	4759
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を見直し支援管理責任者に提案・協力している	263 (5%)	878 (18%)	1399 (29%)	1204 (25%)	538 (11%)	537 (11%)	4819
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	717 (15%)	928 (19%)	1168 (24%)	1037 (21%)	503 (10%)	529 (11%)	4882
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	597 (12%)	1012 (21%)	1313 (27%)	1032 (21%)	456 (9%)	469 (10%)	4879
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	342 (7%)	932 (20%)	1385 (28%)	1040 (23%)	440 (10%)	422 (9%)	4561
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	371 (8%)	706 (16%)	1128 (26%)	1018 (23%)	539 (12%)	648 (15%)	4410
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	648 (13%)	1038 (21%)	1229 (25%)	1005 (21%)	470 (10%)	482 (10%)	4872
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	608 (12%)	1079 (22%)	1288 (26%)	1004 (21%)	453 (9%)	445 (9%)	4877
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	263 (6%)	630 (13%)	1116 (24%)	1207 (26%)	647 (14%)	831 (18%)	4694
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	219 (5%)	616 (13%)	1144 (24%)	1245 (26%)	665 (14%)	859 (18%)	4748

【事業種別】

○発達支援

職種共通_事業種別_児童発達支援センター

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	25 (6%)	75 (19%)	114 (29%)	79 (20%)	48 (12%)	48 (12%)	389
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	14 (5%)	53 (17%)	106 (35%)	59 (19%)	31 (10%)	40 (13%)	303
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	42 (11%)	97 (26%)	102 (27%)	66 (17%)	32 (8%)	40 (11%)	379
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	26 (7%)	96 (25%)	120 (32%)	68 (18%)	30 (8%)	37 (10%)	377
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	16 (5%)	65 (19%)	101 (30%)	70 (21%)	37 (11%)	48 (14%)	337
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	23 (6%)	71 (18%)	118 (30%)	86 (22%)	38 (10%)	53 (14%)	389
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	26 (7%)	82 (21%)	120 (31%)	77 (20%)	39 (10%)	42 (11%)	386
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	28 (7%)	89 (23%)	128 (33%)	75 (19%)	33 (8%)	38 (10%)	391
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	24 (6%)	82 (21%)	125 (32%)	79 (20%)	41 (10%)	41 (10%)	392
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	25 (6%)	87 (22%)	128 (33%)	73 (19%)	37 (10%)	38 (10%)	388
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	17 (4%)	60 (15%)	127 (32%)	98 (25%)	44 (11%)	46 (12%)	392
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	16 (4%)	62 (16%)	116 (30%)	102 (26%)	42 (11%)	52 (13%)	390
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	17 (4%)	64 (16%)	127 (32%)	94 (24%)	45 (11%)	45 (11%)	392
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	13 (3%)	58 (15%)	118 (30%)	96 (25%)	45 (12%)	57 (15%)	387
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	7 (2%)	38 (10%)	105 (28%)	103 (27%)	62 (16%)	63 (17%)	378
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	10 (3%)	41 (11%)	95 (26%)	95 (26%)	53 (15%)	70 (19%)	364
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	28 (8%)	70 (19%)	106 (29%)	73 (20%)	40 (11%)	50 (14%)	367
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	24 (6%)	73 (19%)	124 (32%)	86 (22%)	41 (11%)	37 (10%)	385
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	28 (7%)	75 (19%)	127 (33%)	79 (21%)	37 (10%)	39 (10%)	385
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	11 (5%)	38 (16%)	83 (34%)	52 (21%)	24 (10%)	36 (15%)	244
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	6 (4%)	18 (11%)	48 (29%)	43 (26%)	16 (10%)	32 (20%)	163
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	8 (5%)	16 (10%)	44 (29%)	43 (28%)	19 (12%)	23 (15%)	153
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	9 (6%)	26 (16%)	45 (28%)	32 (20%)	18 (11%)	30 (19%)	160
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	6 (5%)	18 (15%)	34 (28%)	30 (24%)	16 (13%)	19 (15%)	123
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	9 (4%)	30 (12%)	69 (27%)	65 (25%)	31 (12%)	51 (20%)	255

職種共通_事業種別_医療型・重症児

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	16 (5%)	54 (16%)	92 (28%)	72 (22%)	42 (13%)	56 (17%)	332
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	11 (4%)	50 (19%)	74 (29%)	51 (20%)	27 (10%)	46 (18%)	259
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	27 (8%)	72 (22%)	83 (25%)	61 (18%)	32 (10%)	55 (17%)	330
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	23 (7%)	63 (20%)	92 (29%)	60 (19%)	38 (12%)	44 (14%)	320
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	12 (4%)	66 (21%)	79 (25%)	70 (23%)	30 (10%)	54 (17%)	311
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	16 (5%)	57 (18%)	89 (28%)	69 (22%)	34 (11%)	53 (17%)	318
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	20 (7%)	51 (17%)	95 (31%)	61 (20%)	31 (10%)	45 (15%)	303
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	20 (6%)	67 (21%)	90 (28%)	66 (20%)	35 (11%)	44 (14%)	322
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	21 (6%)	67 (20%)	91 (27%)	73 (22%)	33 (10%)	47 (14%)	332
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	17 (5%)	65 (21%)	91 (29%)	70 (23%)	28 (9%)	40 (13%)	311
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	14 (5%)	54 (18%)	84 (28%)	67 (22%)	34 (11%)	50 (17%)	303
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	15 (5%)	50 (16%)	84 (27%)	72 (24%)	35 (11%)	50 (16%)	306
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	17 (5%)	59 (18%)	93 (29%)	74 (23%)	35 (11%)	43 (13%)	321
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	15 (5%)	54 (17%)	87 (27%)	75 (23%)	36 (11%)	54 (17%)	321
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	10 (3%)	43 (14%)	77 (25%)	70 (23%)	47 (15%)	61 (20%)	308
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	10 (4%)	39 (15%)	78 (29%)	59 (22%)	37 (14%)	45 (17%)	268
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	28 (9%)	58 (18%)	87 (26%)	64 (19%)	37 (11%)	55 (17%)	329
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	19 (8%)	35 (16%)	63 (28%)	52 (23%)	22 (10%)	34 (15%)	225
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	24 (9%)	57 (21%)	66 (24%)	58 (21%)	27 (10%)	39 (14%)	271
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	21 (7%)	54 (18%)	81 (28%)	54 (18%)	32 (11%)	50 (17%)	292
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	17 (6%)	49 (16%)	82 (27%)	58 (19%)	37 (12%)	57 (19%)	300
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	16 (6%)	47 (16%)	86 (30%)	55 (19%)	28 (10%)	58 (20%)	290
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	18 (10%)	32 (18%)	49 (28%)	35 (20%)	15 (8%)	28 (16%)	177
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	17 (9%)	33 (18%)	51 (28%)	37 (21%)	17 (9%)	24 (13%)	179
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	18 (10%)	22 (12%)	58 (31%)	35 (19%)	18 (10%)	34 (18%)	185

職種共通_事業種別_児童発達支援のみ※重症児除く

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	43 (8%)	116 (23%)	130 (25%)	106 (21%)	56 (11%)	64 (12%)	515
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	14 (5%)	51 (19%)	76 (28%)	63 (23%)	34 (13%)	31 (12%)	269
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	69 (14%)	121 (24%)	127 (26%)	91 (18%)	41 (8%)	46 (9%)	495
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	47 (10%)	116 (25%)	129 (28%)	93 (20%)	39 (8%)	44 (9%)	468
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	38 (9%)	86 (21%)	113 (28%)	80 (20%)	32 (8%)	53 (13%)	402
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	53 (10%)	116 (22%)	149 (29%)	102 (20%)	43 (8%)	53 (10%)	516
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	54 (11%)	117 (23%)	143 (28%)	102 (20%)	44 (9%)	46 (9%)	506
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	60 (12%)	118 (23%)	145 (28%)	106 (20%)	42 (8%)	49 (9%)	520
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	51 (10%)	115 (22%)	152 (29%)	108 (21%)	45 (9%)	50 (10%)	521
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	47 (9%)	122 (24%)	146 (29%)	99 (19%)	45 (9%)	52 (10%)	511
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	44 (9%)	110 (21%)	145 (28%)	115 (22%)	46 (9%)	57 (11%)	517
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	43 (8%)	101 (19%)	154 (30%)	111 (21%)	49 (9%)	61 (12%)	519
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	47 (9%)	107 (21%)	151 (29%)	114 (22%)	50 (10%)	51 (10%)	520
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	43 (8%)	106 (21%)	140 (27%)	112 (22%)	53 (10%)	63 (12%)	517
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	18 (4%)	82 (17%)	119 (25%)	113 (23%)	66 (14%)	87 (18%)	485
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	25 (5%)	86 (19%)	129 (28%)	99 (21%)	45 (10%)	78 (17%)	462
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	41 (9%)	98 (22%)	115 (26%)	88 (20%)	41 (9%)	67 (15%)	450
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	49 (9%)	126 (24%)	153 (29%)	107 (21%)	43 (8%)	42 (8%)	520
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	49 (10%)	122 (24%)	156 (31%)	99 (20%)	38 (7%)	43 (8%)	507
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	13 (7%)	41 (21%)	54 (28%)	41 (21%)	18 (9%)	28 (14%)	195
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	8 (7%)	20 (17%)	30 (25%)	31 (26%)	10 (8%)	22 (18%)	121
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	8 (8%)	16 (17%)	22 (23%)	29 (30%)	6 (6%)	15 (16%)	96
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	12 (7%)	31 (19%)	42 (25%)	47 (28%)	10 (6%)	23 (14%)	165
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	8 (7%)	20 (18%)	25 (23%)	38 (35%)	8 (7%)	11 (10%)	110
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	21 (8%)	53 (20%)	71 (27%)	54 (20%)	32 (12%)	35 (13%)	266

職種共通_事業種別_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	108	(5%)	353	(17%)	590	(29%)	487	(24%)	263	(13%)	226	(11%)	2027
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	74	(6%)	242	(19%)	401	(31%)	310	(24%)	137	(11%)	121	(9%)	1285
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	232	(12%)	430	(22%)	566	(28%)	438	(22%)	183	(9%)	147	(7%)	1996
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	184	(10%)	413	(22%)	574	(30%)	426	(22%)	168	(9%)	145	(8%)	1910
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	109	(8%)	284	(20%)	434	(30%)	346	(24%)	143	(10%)	117	(8%)	1433
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	131	(7%)	377	(19%)	632	(32%)	483	(24%)	193	(10%)	163	(8%)	1979
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	150	(8%)	404	(21%)	593	(31%)	419	(22%)	177	(9%)	141	(7%)	1884
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	164	(8%)	434	(21%)	631	(31%)	472	(23%)	184	(9%)	149	(7%)	2034
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	135	(7%)	439	(22%)	658	(32%)	470	(23%)	181	(9%)	142	(7%)	2025
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	154	(8%)	451	(22%)	632	(31%)	476	(23%)	174	(9%)	139	(7%)	2026
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	99	(5%)	361	(18%)	647	(32%)	522	(26%)	212	(10%)	181	(9%)	2022
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	90	(4%)	358	(18%)	643	(32%)	536	(26%)	228	(11%)	170	(8%)	2025
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	101	(5%)	392	(19%)	648	(32%)	519	(26%)	218	(11%)	156	(8%)	2034
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	75	(4%)	328	(16%)	642	(32%)	542	(27%)	224	(11%)	184	(9%)	1995
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	69	(4%)	273	(14%)	608	(31%)	546	(28%)	256	(13%)	216	(11%)	1968
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	76	(4%)	269	(14%)	609	(32%)	507	(27%)	244	(13%)	193	(10%)	1898
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	126	(7%)	364	(19%)	558	(29%)	483	(25%)	201	(11%)	172	(9%)	1904
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	134	(7%)	426	(21%)	654	(32%)	501	(25%)	164	(8%)	149	(7%)	2028
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	152	(8%)	450	(22%)	635	(31%)	465	(23%)	169	(8%)	148	(7%)	2019
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	78	(8%)	230	(23%)	282	(28%)	241	(24%)	98	(10%)	70	(7%)	999
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	43	(8%)	85	(16%)	151	(29%)	141	(27%)	53	(10%)	45	(9%)	518
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	35	(10%)	64	(18%)	95	(27%)	90	(26%)	33	(10%)	30	(9%)	347
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	60	(10%)	154	(25%)	174	(28%)	141	(23%)	57	(9%)	35	(6%)	621
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	51	(11%)	110	(23%)	133	(28%)	115	(24%)	43	(9%)	27	(6%)	479
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	60	(5%)	207	(18%)	341	(30%)	286	(25%)	141	(12%)	118	(10%)	1153

職種共通_事業種別_多機能・一体型※重症児除く

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	114	(7%)	298	(19%)	459	(29%)	346	(22%)	175	(11%)	183	(12%)	1575
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	60	(6%)	185	(20%)	306	(32%)	216	(23%)	81	(9%)	97	(10%)	945
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	211	(14%)	356	(23%)	437	(28%)	303	(20%)	108	(7%)	126	(8%)	1541
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	163	(11%)	364	(24%)	448	(30%)	307	(20%)	103	(7%)	122	(8%)	1507
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	97	(8%)	263	(21%)	421	(33%)	268	(21%)	100	(8%)	123	(10%)	1272
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	133	(8%)	338	(22%)	503	(32%)	333	(21%)	127	(8%)	136	(9%)	1570
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	148	(10%)	347	(22%)	483	(31%)	320	(21%)	122	(8%)	129	(8%)	1549
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	159	(10%)	383	(24%)	483	(30%)	320	(20%)	116	(7%)	125	(8%)	1586
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	141	(9%)	370	(23%)	493	(31%)	330	(21%)	123	(8%)	130	(8%)	1587
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	136	(9%)	375	(24%)	497	(32%)	320	(20%)	117	(7%)	132	(8%)	1577
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	99	(6%)	313	(20%)	524	(33%)	371	(23%)	126	(8%)	149	(9%)	1582
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	101	(6%)	301	(19%)	521	(33%)	377	(24%)	133	(8%)	152	(10%)	1585
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	108	(7%)	312	(20%)	529	(33%)	372	(23%)	128	(8%)	138	(9%)	1587
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	93	(6%)	300	(19%)	511	(33%)	364	(23%)	140	(9%)	160	(10%)	1568
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	70	(5%)	246	(16%)	487	(31%)	410	(26%)	161	(10%)	179	(12%)	1553
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	78	(5%)	230	(16%)	484	(33%)	375	(25%)	149	(10%)	161	(11%)	1477
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	119	(8%)	284	(19%)	444	(30%)	322	(22%)	143	(10%)	148	(10%)	1460
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	124	(8%)	372	(23%)	526	(33%)	314	(20%)	116	(7%)	132	(8%)	1584
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	135	(9%)	375	(24%)	512	(33%)	305	(20%)	109	(7%)	124	(8%)	1560
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	59	(8%)	148	(20%)	229	(30%)	190	(25%)	52	(7%)	79	(10%)	757
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	26	(6%)	73	(16%)	145	(32%)	126	(28%)	32	(7%)	53	(12%)	455
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	25	(7%)	49	(14%)	100	(29%)	92	(27%)	27	(8%)	46	(14%)	339
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	51	(10%)	106	(20%)	155	(30%)	121	(23%)	35	(7%)	57	(11%)	525
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	46	(11%)	84	(20%)	122	(29%)	102	(24%)	25	(6%)	43	(10%)	422
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	56	(6%)	135	(15%)	265	(30%)	225	(25%)	91	(10%)	114	(13%)	886

○家族支援

職種共通_事業種別_児童発達支援センター

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	42 (11%)	96 (25%)	120 (32%)	55 (14%)	32 (8%)	35 (9%)	380
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	21 (6%)	46 (13%)	109 (30%)	79 (22%)	46 (13%)	66 (18%)	367
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	10 (3%)	29 (8%)	96 (25%)	96 (25%)	67 (18%)	82 (22%)	380
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	13 (3%)	39 (10%)	91 (24%)	102 (26%)	64 (17%)	76 (20%)	385
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	8 (2%)	25 (7%)	91 (24%)	109 (29%)	63 (17%)	82 (22%)	378
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	4 (1%)	18 (6%)	59 (19%)	73 (24%)	57 (19%)	92 (30%)	303
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	5 (1%)	25 (7%)	87 (25%)	78 (22%)	67 (19%)	85 (24%)	347

職種共通_事業種別_医療型・重症児

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	30 (9%)	65 (20%)	85 (26%)	72 (22%)	28 (9%)	45 (14%)	325
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	12 (4%)	49 (16%)	83 (28%)	61 (21%)	35 (12%)	57 (19%)	297
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	8 (3%)	41 (13%)	79 (25%)	69 (22%)	43 (14%)	70 (23%)	310
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	9 (3%)	50 (15%)	80 (24%)	76 (23%)	45 (14%)	70 (21%)	330
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	8 (3%)	32 (11%)	66 (23%)	73 (25%)	47 (16%)	65 (22%)	291
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	6 (3%)	19 (10%)	56 (29%)	45 (23%)	33 (17%)	35 (18%)	194
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	13 (5%)	26 (10%)	78 (29%)	57 (21%)	37 (14%)	56 (21%)	267

職種共通_事業種別_児童発達支援のみ※重症児除く

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	42 (9%)	120 (26%)	114 (24%)	85 (18%)	50 (11%)	57 (12%)	468
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	24 (5%)	89 (19%)	110 (24%)	100 (22%)	53 (11%)	85 (18%)	461
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	13 (3%)	75 (15%)	129 (26%)	114 (23%)	68 (14%)	97 (20%)	496
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	22 (4%)	84 (16%)	127 (25%)	113 (22%)	70 (14%)	98 (19%)	514
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	10 (2%)	65 (13%)	121 (24%)	111 (22%)	81 (16%)	109 (22%)	497
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	8 (2%)	60 (16%)	80 (22%)	82 (22%)	54 (15%)	86 (23%)	370
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	22 (5%)	66 (15%)	102 (24%)	95 (22%)	57 (13%)	86 (20%)	428

職種共通_事業種別_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	212 (11%)	450 (22%)	559 (28%)	439 (22%)	191 (10%)	150 (7%)	2001
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	88 (5%)	338 (18%)	548 (29%)	477 (26%)	234 (13%)	180 (10%)	1865
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	47 (2%)	207 (11%)	528 (28%)	570 (30%)	289 (15%)	267 (14%)	1908
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	53 (3%)	232 (12%)	564 (28%)	574 (29%)	306 (15%)	279 (14%)	2008
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	37 (2%)	160 (9%)	481 (26%)	553 (30%)	303 (17%)	298 (16%)	1832
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	24 (2%)	116 (9%)	339 (27%)	384 (30%)	213 (17%)	188 (15%)	1264
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	46 (3%)	212 (12%)	469 (27%)	502 (29%)	266 (15%)	253 (14%)	1748

職種共通_事業種別_多機能・一体型※重症児除く

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	164 (11%)	384 (25%)	415 (27%)	315 (21%)	108 (7%)	128 (8%)	1514
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	86 (6%)	277 (19%)	419 (29%)	366 (25%)	140 (10%)	176 (12%)	1464
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	55 (4%)	212 (14%)	396 (26%)	423 (28%)	203 (13%)	234 (15%)	1523
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	66 (4%)	224 (14%)	432 (28%)	432 (28%)	186 (12%)	226 (14%)	1566
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	42 (3%)	178 (12%)	384 (26%)	440 (29%)	214 (14%)	236 (16%)	1494
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	34 (3%)	137 (12%)	287 (26%)	302 (27%)	152 (14%)	192 (17%)	1104
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	62 (4%)	181 (13%)	356 (26%)	389 (28%)	175 (13%)	226 (16%)	1389

○地域支援

職種共通_事業種別_児童発達支援センター

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	11 (3%)	37 (10%)	99 (26%)	91 (24%)	60 (16%)	79 (21%)	377
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	7 (2%)	17 (4%)	92 (24%)	86 (23%)	70 (18%)	109 (29%)	381
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	9 (2%)	24 (6%)	99 (26%)	92 (24%)	75 (20%)	80 (21%)	379
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	4 (1%)	14 (5%)	59 (20%)	61 (20%)	54 (18%)	109 (36%)	301
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	4 (1%)	9 (3%)	48 (16%)	57 (19%)	55 (19%)	121 (41%)	294
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	7 (2%)	21 (7%)	42 (14%)	56 (18%)	44 (14%)	136 (44%)	306

職種共通_事業種別_医療型・重症児

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	9 (3%)	27 (9%)	88 (29%)	79 (26%)	40 (13%)	65 (21%)	308
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	10 (3%)	27 (8%)	82 (26%)	75 (23%)	54 (17%)	73 (23%)	321
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	7 (2%)	26 (9%)	74 (26%)	66 (23%)	48 (17%)	68 (24%)	289
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	3 (2%)	13 (9%)	33 (22%)	36 (24%)	24 (16%)	40 (27%)	149
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	3 (2%)	13 (8%)	35 (22%)	42 (26%)	24 (15%)	44 (27%)	161
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	8 (3%)	20 (9%)	52 (23%)	55 (24%)	34 (15%)	60 (26%)	229

職種共通_事業種別_児童発達支援のみ※重症児除く

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	21 (4%)	73 (15%)	125 (25%)	111 (22%)	70 (14%)	101 (20%)	501
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	14 (3%)	61 (12%)	107 (22%)	108 (22%)	79 (16%)	121 (25%)	490
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	11 (2%)	59 (12%)	125 (26%)	109 (23%)	70 (15%)	107 (22%)	481
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	11 (4%)	36 (13%)	56 (21%)	55 (20%)	38 (14%)	77 (28%)	273
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	9 (3%)	38 (13%)	50 (17%)	71 (23%)	41 (14%)	94 (31%)	303
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	9 (3%)	35 (11%)	69 (22%)	62 (19%)	51 (16%)	94 (29%)	320

職種共通_事業種別_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	68 (4%)	256 (13%)	523 (27%)	531 (27%)	294 (15%)	266 (14%)	1938
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	35 (2%)	169 (9%)	471 (24%)	589 (31%)	331 (17%)	331 (17%)	1926
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	35 (2%)	166 (9%)	451 (25%)	527 (30%)	303 (17%)	291 (16%)	1773
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	19 (2%)	76 (9%)	209 (25%)	240 (29%)	132 (16%)	147 (18%)	823
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	16 (2%)	69 (8%)	187 (23%)	250 (30%)	143 (17%)	165 (20%)	830
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	28 (2%)	125 (9%)	320 (23%)	390 (28%)	248 (18%)	266 (19%)	1377

職種共通_事業種別_多機能・一体型※重症児除く

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	60 (4%)	223 (14%)	416 (27%)	438 (28%)	185 (12%)	218 (14%)	1540
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	44 (3%)	185 (12%)	357 (23%)	447 (29%)	229 (15%)	263 (17%)	1525
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	47 (3%)	170 (12%)	387 (26%)	439 (30%)	207 (14%)	228 (15%)	1478
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	21 (3%)	93 (12%)	176 (22%)	240 (30%)	111 (14%)	146 (19%)	787
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	21 (2%)	78 (9%)	180 (21%)	255 (30%)	132 (15%)	190 (22%)	856
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	34 (3%)	111 (10%)	223 (20%)	324 (30%)	162 (15%)	240 (22%)	1094

○事業運営

職種共通_事業種別_児童発達支援センター

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	13 (3%)	66 (17%)	105 (27%)	89 (23%)	42 (11%)	76 (19%)	391
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	9 (2%)	25 (6%)	88 (23%)	86 (22%)	55 (14%)	123 (32%)	386
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	22 (6%)	83 (21%)	117 (30%)	75 (19%)	42 (11%)	48 (12%)	387
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	17 (4%)	64 (17%)	115 (30%)	91 (24%)	43 (11%)	51 (13%)	381
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	21 (5%)	80 (21%)	113 (29%)	79 (20%)	43 (11%)	53 (14%)	389
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	79 (20%)	76 (19%)	87 (22%)	61 (16%)	34 (9%)	56 (14%)	393
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	43 (11%)	95 (24%)	101 (26%)	69 (18%)	38 (10%)	45 (12%)	391
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	20 (5%)	71 (19%)	110 (29%)	85 (23%)	43 (12%)	44 (12%)	373
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	18 (5%)	50 (14%)	85 (23%)	60 (16%)	46 (13%)	106 (29%)	365
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	45 (12%)	82 (21%)	97 (25%)	63 (16%)	39 (10%)	64 (16%)	390
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	45 (11%)	84 (21%)	102 (26%)	74 (19%)	38 (10%)	49 (13%)	392
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	16 (4%)	34 (9%)	71 (19%)	79 (21%)	53 (14%)	121 (32%)	374
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	11 (3%)	30 (8%)	77 (20%)	76 (20%)	59 (16%)	126 (33%)	379

職種共通_事業種別_医療型・重症児

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	11 (3%)	53 (16%)	88 (26%)	71 (21%)	48 (14%)	65 (19%)	336
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	8 (2%)	42 (13%)	78 (24%)	78 (24%)	47 (14%)	78 (24%)	331
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	16 (5%)	64 (19%)	96 (29%)	76 (23%)	34 (10%)	45 (14%)	331
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	17 (5%)	48 (15%)	89 (28%)	73 (23%)	40 (13%)	50 (16%)	317
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	16 (5%)	52 (15%)	90 (27%)	84 (25%)	44 (13%)	50 (15%)	336
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	39 (12%)	69 (20%)	79 (23%)	65 (19%)	35 (10%)	51 (15%)	338
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	34 (10%)	61 (18%)	88 (26%)	70 (21%)	35 (10%)	49 (15%)	337
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	21 (6%)	69 (21%)	94 (29%)	69 (21%)	33 (10%)	41 (13%)	327
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	16 (5%)	42 (14%)	87 (29%)	64 (21%)	38 (12%)	58 (19%)	305
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	35 (10%)	75 (22%)	82 (24%)	63 (19%)	33 (10%)	47 (14%)	335
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	32 (9%)	73 (22%)	94 (28%)	64 (19%)	30 (9%)	44 (13%)	337
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	10 (3%)	44 (14%)	85 (26%)	69 (21%)	43 (13%)	70 (22%)	321
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	10 (3%)	44 (14%)	82 (25%)	76 (23%)	39 (12%)	73 (23%)	324

職種共通_事業種別_児童発達支援のみ※重症児除く

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	43 (8%)	96 (19%)	137 (27%)	102 (20%)	62 (12%)	74 (14%)	514
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	20 (4%)	69 (13%)	113 (22%)	112 (22%)	82 (16%)	117 (23%)	513
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	46 (9%)	105 (20%)	135 (26%)	109 (21%)	58 (11%)	62 (12%)	515
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	47 (9%)	104 (20%)	128 (25%)	102 (20%)	62 (12%)	65 (13%)	508
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	40 (8%)	107 (21%)	125 (25%)	113 (22%)	53 (10%)	68 (13%)	506
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	85 (16%)	101 (19%)	121 (23%)	89 (17%)	54 (10%)	69 (13%)	519
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	78 (15%)	108 (21%)	132 (25%)	90 (17%)	51 (10%)	59 (11%)	518
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	44 (9%)	102 (22%)	130 (28%)	98 (21%)	46 (10%)	52 (11%)	472
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	40 (9%)	76 (17%)	107 (24%)	78 (17%)	58 (13%)	91 (20%)	450
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	78 (15%)	113 (22%)	121 (23%)	93 (18%)	54 (10%)	60 (12%)	519
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	77 (15%)	114 (22%)	124 (24%)	93 (18%)	52 (10%)	59 (11%)	519
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	35 (7%)	71 (15%)	113 (23%)	93 (19%)	65 (13%)	109 (22%)	486
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	25 (5%)	66 (14%)	106 (22%)	97 (20%)	77 (16%)	117 (24%)	488

職種共通_事業種別_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	97 (5%)	326 (16%)	609 (30%)	526 (26%)	255 (13%)	213 (11%)	2026
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	67 (3%)	234 (12%)	533 (27%)	575 (29%)	309 (15%)	287 (14%)	2005
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	122 (6%)	439 (22%)	614 (30%)	491 (24%)	191 (9%)	172 (8%)	2029
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	98 (5%)	355 (18%)	586 (29%)	539 (27%)	230 (12%)	184 (9%)	1992
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	96 (5%)	328 (16%)	607 (30%)	529 (26%)	249 (12%)	202 (10%)	2011
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	261 (13%)	366 (18%)	513 (25%)	467 (23%)	235 (12%)	195 (10%)	2037
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	221 (11%)	404 (20%)	567 (28%)	467 (23%)	203 (10%)	172 (8%)	2034
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	131 (7%)	359 (19%)	592 (31%)	465 (25%)	195 (10%)	152 (8%)	1894
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	159 (9%)	287 (15%)	479 (26%)	464 (25%)	242 (13%)	228 (12%)	1859
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	248 (12%)	419 (21%)	533 (26%)	459 (23%)	209 (10%)	161 (8%)	2029
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	239 (12%)	438 (22%)	543 (27%)	447 (22%)	213 (10%)	152 (7%)	2032
⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	94 (5%)	262 (13%)	484 (25%)	545 (28%)	292 (15%)	285 (15%)	1962
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	81 (4%)	261 (13%)	509 (26%)	554 (28%)	291 (15%)	296 (15%)	1992

職種共通_事業種別_多機能・一体型※重症児除く

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	102 (6%)	289 (18%)	472 (30%)	388 (25%)	153 (10%)	178 (11%)	1582
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	56 (4%)	239 (15%)	403 (26%)	432 (28%)	204 (13%)	228 (15%)	1562
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	123 (8%)	375 (24%)	451 (29%)	358 (23%)	136 (9%)	137 (9%)	1580
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	111 (7%)	327 (21%)	471 (30%)	369 (24%)	140 (9%)	133 (9%)	1551
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	90 (6%)	310 (20%)	462 (29%)	396 (25%)	147 (9%)	162 (10%)	1567
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	252 (16%)	316 (20%)	366 (23%)	351 (22%)	143 (9%)	156 (10%)	1584
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	221 (14%)	343 (22%)	422 (27%)	333 (21%)	129 (8%)	142 (9%)	1590
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	126 (8%)	330 (22%)	456 (31%)	320 (22%)	122 (8%)	130 (9%)	1484
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	138 (10%)	251 (18%)	367 (26%)	348 (24%)	154 (11%)	163 (11%)	1421
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	242 (15%)	348 (22%)	393 (25%)	324 (20%)	134 (8%)	147 (9%)	1588
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	215 (14%)	369 (23%)	422 (27%)	323 (20%)	119 (8%)	138 (9%)	1586
⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	108 (7%)	219 (14%)	360 (23%)	418 (27%)	193 (13%)	243 (16%)	1541
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	92 (6%)	215 (14%)	367 (24%)	439 (28%)	198 (13%)	245 (16%)	1556

【運営法人別】○発達支援

職種共通_運営法人_自治体

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	7 (4%)	20 (13%)	41 (26%)	28 (18%)	26 (17%)	34 (22%)	156
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	5 (5%)	13 (12%)	37 (33%)	15 (14%)	14 (13%)	27 (24%)	111
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	17 (11%)	23 (15%)	37 (25%)	22 (15%)	23 (15%)	27 (18%)	149
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	10 (7%)	25 (17%)	39 (27%)	24 (16%)	21 (14%)	28 (19%)	147
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	7 (5%)	17 (13%)	32 (24%)	20 (15%)	20 (15%)	37 (28%)	133
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	9 (6%)	19 (12%)	38 (25%)	26 (17%)	26 (17%)	35 (23%)	153
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	9 (6%)	19 (12%)	39 (25%)	29 (19%)	27 (18%)	31 (20%)	154
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	8 (5%)	25 (16%)	47 (30%)	25 (16%)	25 (16%)	26 (17%)	156
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	8 (5%)	19 (12%)	47 (30%)	30 (19%)	26 (17%)	27 (17%)	157
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	8 (5%)	21 (14%)	44 (29%)	26 (17%)	27 (18%)	27 (18%)	153
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	6 (4%)	18 (11%)	41 (26%)	32 (20%)	30 (19%)	30 (19%)	157
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	6 (4%)	20 (13%)	38 (24%)	31 (20%)	30 (19%)	31 (20%)	156
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	6 (4%)	17 (11%)	41 (26%)	32 (21%)	29 (19%)	30 (19%)	155
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	6 (4%)	17 (11%)	39 (25%)	33 (21%)	29 (18%)	33 (21%)	157
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	3 (2%)	15 (10%)	30 (19%)	33 (21%)	36 (23%)	37 (24%)	154
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	3 (2%)	15 (11%)	33 (23%)	26 (18%)	24 (17%)	40 (28%)	141
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	9 (6%)	19 (13%)	31 (21%)	25 (17%)	25 (17%)	38 (26%)	147
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	11 (7%)	17 (11%)	41 (27%)	28 (18%)	29 (19%)	28 (18%)	154
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	12 (8%)	19 (13%)	38 (25%)	29 (19%)	26 (17%)	28 (18%)	152
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	4 (4%)	14 (13%)	30 (27%)	22 (20%)	13 (12%)	27 (25%)	110
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	3 (4%)	9 (11%)	16 (19%)	21 (25%)	9 (11%)	27 (32%)	85
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	3 (4%)	6 (8%)	14 (18%)	18 (23%)	13 (16%)	25 (32%)	79
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	3 (4%)	8 (10%)	19 (23%)	19 (23%)	11 (13%)	22 (27%)	82
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	3 (4%)	8 (12%)	17 (25%)	16 (23%)	6 (9%)	19 (28%)	69
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリートメント（虐待等）】	3 (3%)	16 (15%)	24 (23%)	19 (18%)	18 (17%)	25 (24%)	105

職種共通_運営法人_社会福祉法人

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	54	(6%)	142	(17%)	251	(30%)	161	(19%)	103	(12%)	121	(15%)	832
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	38	(6%)	108	(17%)	214	(34%)	135	(21%)	67	(11%)	75	(12%)	637
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	111	(14%)	178	(22%)	218	(27%)	149	(18%)	77	(9%)	86	(11%)	819
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	74	(9%)	176	(22%)	260	(32%)	149	(18%)	70	(9%)	80	(10%)	809
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	38	(6%)	104	(16%)	208	(32%)	151	(23%)	72	(11%)	86	(13%)	659
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	55	(7%)	136	(17%)	255	(31%)	181	(22%)	86	(11%)	99	(12%)	812
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	56	(7%)	162	(20%)	258	(33%)	156	(20%)	86	(11%)	75	(9%)	793
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	60	(7%)	179	(22%)	265	(32%)	171	(21%)	73	(9%)	80	(10%)	828
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	57	(7%)	162	(20%)	260	(31%)	189	(23%)	81	(10%)	79	(10%)	828
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	50	(6%)	171	(21%)	269	(33%)	176	(21%)	83	(10%)	72	(9%)	821
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	34	(4%)	135	(17%)	248	(30%)	209	(26%)	94	(11%)	98	(12%)	818
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	29	(4%)	136	(17%)	238	(29%)	213	(26%)	97	(12%)	106	(13%)	819
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	38	(5%)	148	(18%)	252	(31%)	204	(25%)	102	(12%)	81	(10%)	825
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	33	(4%)	121	(15%)	237	(29%)	205	(25%)	109	(13%)	107	(13%)	812
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	18	(2%)	101	(13%)	198	(25%)	223	(28%)	125	(16%)	136	(17%)	801
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	25	(3%)	90	(12%)	213	(28%)	197	(26%)	118	(15%)	119	(16%)	762
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	59	(7%)	151	(19%)	231	(29%)	172	(21%)	92	(11%)	96	(12%)	801
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	45	(6%)	146	(19%)	265	(34%)	178	(23%)	76	(10%)	70	(9%)	780
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	58	(7%)	178	(22%)	259	(32%)	167	(21%)	73	(9%)	70	(9%)	805
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	26	(5%)	95	(20%)	150	(31%)	105	(22%)	46	(10%)	59	(12%)	481
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	14	(4%)	48	(15%)	89	(27%)	84	(26%)	33	(10%)	56	(17%)	324
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	13	(5%)	30	(11%)	78	(29%)	68	(26%)	33	(12%)	44	(17%)	266
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	21	(7%)	58	(19%)	99	(33%)	59	(20%)	26	(9%)	36	(12%)	299
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	15	(6%)	44	(18%)	71	(30%)	56	(23%)	22	(9%)	31	(13%)	239
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	23	(5%)	61	(13%)	131	(27%)	113	(24%)	64	(13%)	86	(18%)	478

職種共通_運営法人_株式会社

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	159	(8%)	406	(20%)	612	(30%)	493	(24%)	226	(11%)	171	(8%)	2067
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	77	(6%)	241	(20%)	380	(32%)	289	(24%)	112	(9%)	90	(8%)	1189
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	275	(14%)	478	(24%)	583	(29%)	428	(21%)	139	(7%)	122	(6%)	2025
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	227	(12%)	458	(24%)	578	(30%)	412	(21%)	136	(7%)	113	(6%)	1924
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	157	(10%)	358	(22%)	521	(32%)	355	(22%)	111	(7%)	109	(7%)	1611
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	197	(10%)	451	(22%)	666	(33%)	452	(22%)	150	(7%)	127	(6%)	2043
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	219	(11%)	448	(23%)	637	(32%)	420	(21%)	137	(7%)	117	(6%)	1978
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	243	(12%)	481	(23%)	646	(31%)	452	(22%)	145	(7%)	115	(6%)	2082
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	204	(10%)	494	(24%)	671	(32%)	453	(22%)	141	(7%)	121	(6%)	2084
⑩ 集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	220	(11%)	494	(24%)	658	(32%)	438	(21%)	136	(7%)	118	(6%)	2064
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	160	(8%)	425	(21%)	687	(33%)	499	(24%)	159	(8%)	140	(7%)	2070
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	157	(8%)	417	(20%)	691	(33%)	499	(24%)	168	(8%)	143	(7%)	2075
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	168	(8%)	442	(21%)	695	(33%)	501	(24%)	154	(7%)	128	(6%)	2088
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	141	(7%)	408	(20%)	679	(33%)	510	(25%)	166	(8%)	149	(7%)	2053
⑮ 移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	104	(5%)	337	(17%)	666	(33%)	524	(26%)	203	(10%)	167	(8%)	2001
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	112	(6%)	336	(18%)	657	(34%)	485	(25%)	177	(9%)	147	(8%)	1914
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	165	(9%)	386	(20%)	585	(31%)	457	(24%)	156	(8%)	149	(8%)	1898
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	192	(9%)	498	(24%)	676	(33%)	450	(22%)	132	(6%)	114	(6%)	2062
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	202	(10%)	490	(24%)	655	(32%)	439	(22%)	132	(6%)	114	(6%)	2032
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	93	(10%)	210	(22%)	292	(30%)	233	(24%)	79	(8%)	63	(6%)	970
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	45	(8%)	95	(17%)	180	(32%)	139	(25%)	51	(9%)	45	(8%)	555
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	46	(11%)	78	(18%)	125	(29%)	106	(25%)	38	(9%)	39	(9%)	432
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	69	(10%)	165	(25%)	192	(29%)	166	(25%)	46	(7%)	31	(5%)	669
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	59	(11%)	119	(23%)	148	(29%)	129	(25%)	38	(7%)	22	(4%)	515
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	90	(8%)	214	(18%)	365	(31%)	293	(25%)	119	(10%)	94	(8%)	1175

職種共通_運営法人_NPO法人

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	24	(4%)	91	(15%)	159	(26%)	146	(24%)	88	(14%)	99	(16%)	607
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	12	(3%)	76	(19%)	111	(28%)	98	(24%)	44	(11%)	61	(15%)	402
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	58	(10%)	115	(19%)	160	(27%)	130	(22%)	60	(10%)	73	(12%)	596
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	43	(7%)	112	(19%)	165	(29%)	131	(23%)	58	(10%)	67	(12%)	576
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	17	(4%)	79	(17%)	128	(28%)	110	(24%)	59	(13%)	71	(15%)	464
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	29	(5%)	100	(17%)	176	(29%)	147	(25%)	67	(11%)	79	(13%)	598
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	36	(6%)	104	(18%)	173	(30%)	125	(22%)	70	(12%)	73	(13%)	581
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	36	(6%)	117	(19%)	175	(29%)	140	(23%)	68	(11%)	73	(12%)	609
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	30	(5%)	111	(18%)	182	(30%)	135	(22%)	72	(12%)	78	(13%)	608
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	31	(5%)	116	(19%)	180	(30%)	139	(23%)	62	(10%)	76	(13%)	604
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	20	(3%)	80	(13%)	182	(30%)	151	(25%)	81	(13%)	89	(15%)	603
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	17	(3%)	76	(13%)	174	(29%)	165	(27%)	82	(14%)	91	(15%)	605
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	23	(4%)	83	(14%)	188	(31%)	158	(26%)	79	(13%)	78	(13%)	609
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	19	(3%)	78	(13%)	167	(28%)	161	(27%)	83	(14%)	92	(15%)	600
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	14	(2%)	54	(9%)	163	(27%)	159	(27%)	91	(15%)	116	(19%)	597
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	17	(3%)	50	(9%)	154	(27%)	154	(27%)	87	(15%)	101	(18%)	563
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	33	(6%)	105	(18%)	156	(27%)	120	(21%)	77	(13%)	84	(15%)	575
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	32	(5%)	104	(18%)	179	(30%)	137	(23%)	63	(11%)	76	(13%)	591
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	36	(6%)	125	(21%)	174	(29%)	121	(20%)	60	(10%)	78	(13%)	594
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	19	(6%)	69	(20%)	87	(25%)	76	(22%)	39	(11%)	52	(15%)	342
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	8	(4%)	36	(16%)	53	(24%)	54	(24%)	30	(14%)	41	(18%)	222
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	7	(4%)	33	(20%)	42	(26%)	38	(23%)	14	(9%)	28	(17%)	162
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	15	(7%)	39	(19%)	51	(25%)	42	(21%)	22	(11%)	35	(17%)	204
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	13	(8%)	32	(20%)	38	(23%)	37	(23%)	19	(12%)	25	(15%)	164
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	22	(7%)	39	(12%)	81	(25%)	74	(22%)	45	(14%)	69	(21%)	330

職種共通_運営法人_合同会社

発達支援	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	24	(5%)	77	(17%)	135	(30%)	107	(24%)	49	(11%)	54	(12%)	446
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	16	(6%)	50	(18%)	89	(32%)	64	(23%)	27	(10%)	31	(11%)	277
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	38	(9%)	100	(23%)	121	(28%)	102	(23%)	33	(8%)	42	(10%)	436
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	33	(8%)	94	(22%)	126	(29%)	102	(24%)	33	(8%)	40	(9%)	428
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	16	(5%)	75	(22%)	111	(32%)	83	(24%)	29	(8%)	31	(9%)	345
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	22	(5%)	79	(18%)	139	(31%)	118	(27%)	40	(9%)	44	(10%)	442
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	26	(6%)	82	(19%)	135	(32%)	109	(26%)	35	(8%)	35	(8%)	422
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	23	(5%)	99	(22%)	140	(31%)	113	(25%)	37	(8%)	38	(8%)	450
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	21	(5%)	98	(22%)	144	(32%)	112	(25%)	41	(9%)	36	(8%)	452
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	23	(5%)	99	(22%)	143	(32%)	109	(24%)	35	(8%)	40	(9%)	449
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	18	(4%)	73	(16%)	155	(35%)	121	(27%)	36	(8%)	45	(10%)	448
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	18	(4%)	72	(16%)	146	(32%)	130	(29%)	41	(9%)	43	(10%)	450
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	17	(4%)	77	(17%)	146	(32%)	128	(28%)	40	(9%)	44	(10%)	452
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	13	(3%)	76	(17%)	150	(34%)	119	(27%)	40	(9%)	48	(11%)	446
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	15	(3%)	54	(12%)	138	(32%)	132	(30%)	50	(11%)	46	(11%)	435
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	17	(4%)	55	(13%)	139	(33%)	114	(27%)	47	(11%)	47	(11%)	419
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	24	(6%)	68	(17%)	127	(31%)	112	(27%)	35	(8%)	46	(11%)	412
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	24	(5%)	95	(21%)	148	(33%)	112	(25%)	30	(7%)	38	(9%)	447
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	28	(6%)	95	(21%)	149	(33%)	106	(24%)	30	(7%)	37	(8%)	445
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	8	(4%)	51	(23%)	53	(24%)	71	(33%)	16	(7%)	19	(9%)	218
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	10	(7%)	23	(16%)	42	(29%)	48	(33%)	8	(6%)	14	(10%)	145
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	12	(11%)	16	(15%)	29	(27%)	32	(29%)	4	(4%)	16	(15%)	109
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	14	(9%)	29	(19%)	42	(28%)	39	(26%)	12	(8%)	14	(9%)	150
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	14	(11%)	24	(19%)	35	(28%)	36	(29%)	7	(6%)	10	(8%)	126
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	15	(6%)	42	(16%)	81	(31%)	73	(28%)	29	(11%)	24	(9%)	264

職種共通_運営法人_一般社団法人

発達支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っている	20 (6%)	80 (23%)	83 (24%)	73 (21%)	47 (14%)	45 (13%)	348
②食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援している	12 (6%)	50 (23%)	66 (31%)	47 (22%)	15 (7%)	25 (12%)	215
③日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っている	34 (10%)	92 (27%)	97 (28%)	62 (18%)	27 (8%)	30 (9%)	342
④睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援している	21 (6%)	95 (28%)	96 (28%)	68 (20%)	25 (7%)	33 (10%)	338
⑤日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援している	18 (7%)	66 (25%)	75 (29%)	58 (22%)	16 (6%)	27 (10%)	260
⑥感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っている	19 (5%)	86 (25%)	102 (29%)	73 (21%)	27 (8%)	39 (11%)	346
⑦指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っている	24 (7%)	88 (26%)	95 (28%)	70 (21%)	23 (7%)	36 (11%)	336
⑧子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援している	26 (7%)	95 (27%)	99 (28%)	68 (19%)	26 (7%)	35 (10%)	349
⑨子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援している	23 (7%)	90 (26%)	106 (30%)	71 (20%)	25 (7%)	34 (10%)	349
⑩集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしている	20 (6%)	98 (28%)	99 (29%)	71 (21%)	24 (7%)	34 (10%)	346
⑪子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしている	14 (4%)	84 (24%)	103 (30%)	77 (22%)	25 (7%)	41 (12%)	344
⑫子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っている	16 (5%)	82 (24%)	108 (31%)	79 (23%)	29 (8%)	33 (10%)	347
⑬子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援している	15 (4%)	85 (25%)	113 (33%)	71 (21%)	29 (8%)	33 (10%)	346
⑭子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解している	14 (4%)	76 (22%)	112 (32%)	77 (22%)	24 (7%)	43 (12%)	346
⑮移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしている	11 (3%)	66 (19%)	96 (28%)	81 (24%)	35 (10%)	51 (15%)	340
⑯子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援している	11 (3%)	65 (21%)	92 (29%)	76 (24%)	28 (9%)	43 (14%)	315
⑰服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握している	21 (7%)	72 (23%)	84 (27%)	69 (22%)	30 (9%)	40 (13%)	316
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）】	19 (6%)	92 (27%)	97 (29%)	76 (22%)	22 (6%)	34 (10%)	340
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【知的障害】	22 (6%)	95 (28%)	98 (28%)	72 (21%)	23 (7%)	34 (10%)	344
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【肢体不自由】	13 (8%)	40 (24%)	51 (30%)	32 (19%)	11 (7%)	21 (13%)	168
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【重症心身障害】	12 (12%)	18 (17%)	33 (32%)	22 (21%)	7 (7%)	12 (12%)	104
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【医療的ケア】	6 (8%)	15 (19%)	24 (30%)	21 (27%)	3 (4%)	10 (13%)	79
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【聴覚障害】	18 (14%)	27 (21%)	27 (21%)	28 (22%)	10 (8%)	18 (14%)	128
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【視覚障害】	14 (15%)	23 (25%)	23 (25%)	21 (23%)	3 (3%)	9 (10%)	93
⑱理解し適切な配慮と支援をしている【マルチリポートメント（虐待等）】	5 (3%)	42 (22%)	52 (28%)	43 (23%)	15 (8%)	32 (17%)	189

○家族支援

職種共通_運営法人_自治体

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	11 (7%)	25 (17%)	37 (25%)	22 (15%)	27 (18%)	26 (18%)	148
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	9 (6%)	13 (9%)	34 (24%)	24 (17%)	25 (17%)	38 (27%)	143
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	4 (3%)	13 (8%)	30 (19%)	31 (20%)	33 (21%)	43 (28%)	154
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	3 (2%)	15 (10%)	33 (21%)	33 (21%)	29 (18%)	44 (28%)	157
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	4 (3%)	14 (9%)	31 (20%)	34 (22%)	29 (19%)	43 (28%)	155
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	2 (2%)	7 (6%)	21 (19%)	19 (17%)	23 (21%)	38 (35%)	110
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	2 (1%)	13 (10%)	26 (19%)	24 (18%)	31 (23%)	40 (29%)	136

職種共通_運営法人_社会福祉法人

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	90 (11%)	196 (24%)	232 (29%)	130 (16%)	71 (9%)	93 (11%)	812
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	32 (4%)	105 (14%)	212 (28%)	169 (23%)	95 (13%)	134 (18%)	747
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	17 (2%)	53 (7%)	185 (23%)	208 (26%)	140 (18%)	188 (24%)	791
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	19 (2%)	83 (10%)	197 (24%)	219 (27%)	132 (16%)	167 (20%)	817
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	10 (1%)	49 (6%)	164 (21%)	214 (28%)	146 (19%)	187 (24%)	770
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	7 (1%)	25 (5%)	116 (22%)	120 (23%)	110 (21%)	140 (27%)	518
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	16 (2%)	51 (7%)	155 (22%)	167 (24%)	129 (19%)	178 (26%)	696

職種共通_運営法人_株式会社

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	225 (11%)	510 (26%)	566 (28%)	431 (22%)	150 (8%)	110 (6%)	1992
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	121 (6%)	407 (21%)	573 (30%)	484 (25%)	181 (9%)	147 (8%)	1913
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	72 (4%)	313 (16%)	593 (30%)	556 (28%)	238 (12%)	195 (10%)	1967
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	96 (5%)	346 (17%)	600 (29%)	571 (28%)	246 (12%)	201 (10%)	2060
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	59 (3%)	260 (14%)	564 (29%)	572 (30%)	260 (14%)	210 (11%)	1925
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	47 (3%)	206 (14%)	400 (28%)	424 (30%)	177 (12%)	169 (12%)	1423
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	92 (5%)	276 (15%)	538 (29%)	514 (28%)	214 (12%)	193 (11%)	1827

職種共通_運営法人_NPO法人

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	49 (8%)	110 (19%)	152 (26%)	129 (22%)	67 (11%)	86 (15%)	593
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	19 (3%)	67 (12%)	140 (24%)	149 (26%)	96 (17%)	102 (18%)	573
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	9 (2%)	46 (8%)	120 (20%)	161 (27%)	107 (18%)	144 (25%)	587
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	13 (2%)	41 (7%)	143 (24%)	157 (26%)	111 (18%)	137 (23%)	602
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	8 (1%)	31 (6%)	106 (19%)	149 (27%)	114 (20%)	149 (27%)	557
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	4 (1%)	26 (6%)	78 (19%)	109 (27%)	86 (21%)	100 (25%)	403
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	11 (2%)	45 (9%)	103 (20%)	147 (28%)	90 (17%)	122 (24%)	518

職種共通_運営法人_合同会社

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	36 (8%)	95 (22%)	128 (29%)	110 (25%)	32 (7%)	37 (8%)	438
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	12 (3%)	80 (19%)	121 (29%)	113 (27%)	38 (9%)	53 (13%)	417
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	12 (3%)	49 (11%)	112 (26%)	139 (32%)	55 (13%)	67 (15%)	434
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	13 (3%)	50 (11%)	122 (27%)	141 (31%)	54 (12%)	71 (16%)	451
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	10 (2%)	42 (10%)	110 (26%)	135 (32%)	56 (13%)	73 (17%)	426
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	7 (2%)	35 (11%)	83 (26%)	94 (30%)	37 (12%)	58 (18%)	314
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	11 (3%)	45 (12%)	116 (30%)	116 (30%)	47 (12%)	55 (14%)	390

職種共通_運営法人_一般社団法人

家族支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信している	30 (9%)	87 (26%)	90 (27%)	72 (21%)	27 (8%)	30 (9%)	336
②事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信している	13 (4%)	68 (21%)	94 (30%)	72 (23%)	31 (10%)	39 (12%)	317
③家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っている	10 (3%)	51 (16%)	94 (29%)	81 (25%)	41 (13%)	51 (16%)	328
④保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っている	6 (2%)	54 (16%)	97 (28%)	83 (24%)	44 (13%)	61 (18%)	345
⑤移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っている	4 (1%)	37 (12%)	88 (28%)	84 (26%)	45 (14%)	62 (19%)	320
⑥家族支援プログラム（例:ペアレントトレーニング）を適切に行っている	2 (1%)	31 (13%)	67 (28%)	65 (27%)	32 (13%)	46 (19%)	243
⑦虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしている	5 (2%)	50 (17%)	70 (24%)	75 (25%)	36 (12%)	59 (20%)	295

○地域支援

職種共通_運営法人_自治体

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	6 (4%)	16 (10%)	39 (25%)	27 (18%)	28 (18%)	37 (24%)	153
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	4 (3%)	9 (6%)	34 (22%)	25 (16%)	33 (22%)	48 (31%)	153
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	4 (3%)	13 (8%)	37 (24%)	25 (16%)	34 (22%)	42 (27%)	155
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	1 (1%)	6 (5%)	25 (22%)	14 (12%)	21 (18%)	48 (42%)	115
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	2 (2%)	5 (4%)	12 (10%)	22 (18%)	24 (20%)	57 (47%)	122
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	3 (2%)	13 (10%)	19 (15%)	16 (12%)	20 (16%)	58 (45%)	129

職種共通_運営法人_社会福祉法人

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	14 (2%)	76 (10%)	190 (24%)	211 (26%)	138 (17%)	171 (21%)	800
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	8 (1%)	48 (6%)	142 (18%)	202 (26%)	160 (20%)	230 (29%)	790
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	9 (1%)	45 (6%)	170 (22%)	205 (27%)	146 (19%)	189 (25%)	764
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	4 (1%)	20 (5%)	75 (19%)	96 (24%)	73 (18%)	136 (34%)	404
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	3 (1%)	14 (3%)	53 (13%)	100 (24%)	86 (20%)	165 (39%)	421
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	7 (1%)	30 (5%)	81 (14%)	116 (20%)	115 (20%)	239 (41%)	588

職種共通_運営法人_株式会社

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	90 (5%)	325 (16%)	600 (30%)	553 (28%)	231 (12%)	197 (10%)	1996
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	66 (3%)	248 (12%)	569 (29%)	594 (30%)	281 (14%)	231 (12%)	1989
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	65 (3%)	244 (13%)	550 (29%)	557 (30%)	253 (14%)	205 (11%)	1874
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	35 (4%)	143 (14%)	268 (27%)	298 (30%)	131 (13%)	124 (12%)	999
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	31 (3%)	123 (12%)	269 (26%)	318 (31%)	149 (14%)	146 (14%)	1036
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	51 (4%)	168 (12%)	360 (26%)	404 (30%)	203 (15%)	175 (13%)	1361

職種共通_運営法人_NPO法人

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	14 (2%)	43 (7%)	127 (22%)	155 (27%)	103 (18%)	140 (24%)	582
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	10 (2%)	37 (6%)	91 (15%)	156 (27%)	124 (21%)	170 (29%)	588
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	7 (1%)	38 (7%)	99 (18%)	148 (27%)	108 (20%)	144 (26%)	544
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	5 (2%)	20 (7%)	42 (15%)	66 (24%)	58 (21%)	89 (32%)	280
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	4 (1%)	20 (7%)	34 (12%)	60 (21%)	62 (22%)	100 (36%)	280
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	4 (1%)	24 (6%)	67 (15%)	109 (25%)	85 (20%)	144 (33%)	433

職種共通_運営法人_合同会社

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	19 (4%)	66 (15%)	105 (24%)	132 (30%)	51 (12%)	66 (15%)	439
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	10 (2%)	42 (10%)	105 (24%)	141 (32%)	58 (13%)	81 (19%)	437
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	13 (3%)	39 (9%)	115 (28%)	124 (30%)	55 (13%)	70 (17%)	416
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	7 (3%)	16 (8%)	44 (22%)	74 (36%)	24 (12%)	38 (19%)	203
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	7 (3%)	16 (7%)	48 (21%)	76 (33%)	31 (13%)	54 (23%)	232
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	9 (3%)	30 (10%)	61 (20%)	100 (33%)	42 (14%)	58 (19%)	300

職種共通_運営法人_一般社団法人

地域支援	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしている	14 (4%)	53 (16%)	85 (25%)	86 (26%)	41 (12%)	56 (17%)	335
②関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしている	3 (1%)	50 (15%)	77 (24%)	90 (28%)	47 (14%)	58 (18%)	325
③移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っている	2 (1%)	42 (14%)	76 (25%)	88 (29%)	44 (14%)	55 (18%)	307
④保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っている	1 (1%)	18 (12%)	32 (22%)	42 (28%)	13 (9%)	42 (28%)	148
⑤地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしている	1 (1%)	20 (12%)	38 (24%)	46 (29%)	15 (9%)	41 (25%)	161
⑥自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加している	6 (2%)	29 (12%)	58 (23%)	80 (32%)	29 (12%)	47 (19%)	249

○事業運営

職種共通 運営法人_自治体

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	7 (5%)	20 (13%)	33 (21%)	32 (21%)	27 (17%)	36 (23%)	155
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	4 (3%)	10 (6%)	29 (19%)	25 (16%)	30 (19%)	57 (37%)	155
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	10 (6%)	18 (12%)	41 (26%)	30 (19%)	29 (19%)	28 (18%)	156
④P D C Aを意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	7 (5%)	14 (9%)	42 (28%)	30 (20%)	31 (20%)	28 (18%)	152
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	8 (5%)	20 (13%)	37 (24%)	29 (19%)	30 (19%)	31 (20%)	155
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	24 (15%)	25 (16%)	30 (19%)	21 (13%)	28 (18%)	29 (18%)	157
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	17 (11%)	21 (13%)	36 (23%)	26 (17%)	27 (17%)	29 (19%)	156
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	10 (7%)	21 (14%)	31 (21%)	30 (20%)	28 (19%)	30 (20%)	150
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	8 (6%)	13 (10%)	27 (20%)	16 (12%)	18 (14%)	51 (38%)	133
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	18 (11%)	23 (15%)	34 (22%)	28 (18%)	23 (15%)	31 (20%)	157
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	15 (10%)	24 (15%)	34 (22%)	25 (16%)	27 (17%)	31 (20%)	156
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	9 (6%)	12 (8%)	27 (18%)	23 (16%)	22 (15%)	55 (37%)	148
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	10 (7%)	12 (8%)	26 (18%)	23 (16%)	21 (14%)	54 (37%)	146

職種共通_運営法人_社会福祉法人

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	28 (3%)	116 (14%)	238 (29%)	199 (24%)	100 (12%)	144 (17%)	825
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	19 (2%)	58 (7%)	172 (21%)	198 (24%)	137 (17%)	229 (28%)	813
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	38 (5%)	167 (20%)	246 (30%)	190 (23%)	85 (10%)	100 (12%)	826
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	33 (4%)	123 (15%)	231 (29%)	211 (26%)	99 (12%)	110 (14%)	807
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	39 (5%)	143 (18%)	243 (30%)	186 (23%)	97 (12%)	109 (13%)	817
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	139 (17%)	161 (19%)	181 (22%)	151 (18%)	84 (10%)	116 (14%)	832
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	80 (10%)	186 (22%)	215 (26%)	161 (19%)	85 (10%)	104 (13%)	831
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	37 (5%)	123 (16%)	251 (32%)	186 (24%)	98 (12%)	91 (12%)	786
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	47 (6%)	93 (12%)	170 (22%)	147 (19%)	118 (15%)	192 (25%)	767
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	93 (11%)	173 (21%)	204 (24%)	154 (18%)	93 (11%)	117 (14%)	834
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	86 (10%)	175 (21%)	225 (27%)	162 (19%)	80 (10%)	104 (13%)	832
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	22 (3%)	80 (10%)	144 (19%)	174 (22%)	138 (18%)	217 (28%)	775
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	16 (2%)	72 (9%)	139 (18%)	176 (22%)	146 (18%)	242 (31%)	791

職種共通_運営法人_株式会社

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	150 (7%)	403 (19%)	654 (31%)	499 (24%)	219 (11%)	156 (7%)	2081
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	92 (4%)	336 (16%)	589 (29%)	576 (28%)	256 (12%)	205 (10%)	2054
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	189 (9%)	521 (25%)	618 (30%)	474 (23%)	153 (7%)	119 (6%)	2074
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	166 (8%)	441 (22%)	616 (30%)	509 (25%)	186 (9%)	128 (6%)	2046
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	135 (7%)	415 (20%)	626 (30%)	543 (26%)	188 (9%)	153 (7%)	2060
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	309 (15%)	425 (20%)	529 (25%)	489 (23%)	192 (9%)	143 (7%)	2087
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	291 (14%)	448 (21%)	593 (28%)	467 (22%)	167 (8%)	123 (6%)	2089
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	181 (9%)	451 (23%)	614 (31%)	444 (23%)	148 (8%)	114 (6%)	1952
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	179 (10%)	357 (19%)	519 (28%)	478 (25%)	189 (10%)	157 (8%)	1879
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	308 (15%)	456 (22%)	559 (27%)	453 (22%)	178 (9%)	129 (6%)	2083
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	292 (14%)	482 (23%)	580 (28%)	446 (21%)	168 (8%)	113 (5%)	2081
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	145 (7%)	337 (17%)	534 (27%)	554 (28%)	244 (12%)	193 (10%)	2007
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	121 (6%)	319 (16%)	561 (28%)	574 (28%)	252 (12%)	208 (10%)	2035

職種共通_運営法人_NPO法人

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	24 (4%)	86 (14%)	152 (25%)	154 (25%)	84 (14%)	108 (18%)	608
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	20 (3%)	55 (9%)	122 (20%)	158 (26%)	106 (18%)	142 (24%)	603
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	26 (4%)	98 (16%)	167 (28%)	146 (24%)	78 (13%)	87 (14%)	602
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	27 (5%)	90 (15%)	143 (24%)	157 (27%)	82 (14%)	85 (15%)	584
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	19 (3%)	82 (13%)	157 (26%)	157 (26%)	96 (16%)	98 (16%)	609
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	84 (14%)	94 (15%)	133 (22%)	133 (22%)	74 (12%)	93 (15%)	611
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	75 (12%)	97 (16%)	151 (25%)	134 (22%)	67 (11%)	85 (14%)	609
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	37 (7%)	101 (18%)	149 (26%)	133 (24%)	74 (13%)	70 (12%)	564
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	48 (9%)	67 (12%)	117 (21%)	128 (23%)	92 (16%)	109 (19%)	561
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	84 (14%)	109 (18%)	132 (22%)	123 (20%)	78 (13%)	82 (13%)	608
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	80 (13%)	113 (18%)	135 (22%)	128 (21%)	78 (13%)	78 (13%)	612
⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	22 (4%)	53 (9%)	116 (19%)	148 (25%)	101 (17%)	159 (27%)	599
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	20 (3%)	49 (8%)	117 (19%)	163 (27%)	105 (17%)	147 (24%)	601

職種共通_運営法人_合同会社

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	22 (5%)	72 (16%)	135 (30%)	125 (28%)	43 (10%)	54 (12%)	451
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	12 (3%)	49 (11%)	133 (30%)	132 (29%)	55 (12%)	68 (15%)	449
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	22 (5%)	93 (21%)	140 (31%)	116 (26%)	37 (8%)	42 (9%)	450
④P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	20 (4%)	80 (18%)	151 (34%)	112 (25%)	39 (9%)	44 (10%)	446
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	22 (5%)	73 (16%)	132 (30%)	127 (28%)	40 (9%)	52 (12%)	446
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	45 (10%)	73 (16%)	124 (27%)	112 (25%)	48 (11%)	52 (11%)	454
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	39 (9%)	93 (21%)	134 (30%)	104 (23%)	38 (8%)	45 (10%)	453
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	26 (6%)	80 (19%)	146 (35%)	101 (24%)	28 (7%)	41 (10%)	422
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	31 (8%)	66 (17%)	126 (32%)	96 (24%)	41 (10%)	39 (10%)	399
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	47 (10%)	100 (22%)	128 (28%)	107 (24%)	28 (6%)	41 (9%)	451
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	47 (10%)	99 (22%)	133 (29%)	103 (23%)	33 (7%)	39 (9%)	454
⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	23 (5%)	50 (11%)	136 (30%)	123 (28%)	48 (11%)	67 (15%)	447
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	18 (4%)	63 (14%)	122 (27%)	129 (29%)	51 (11%)	67 (15%)	450

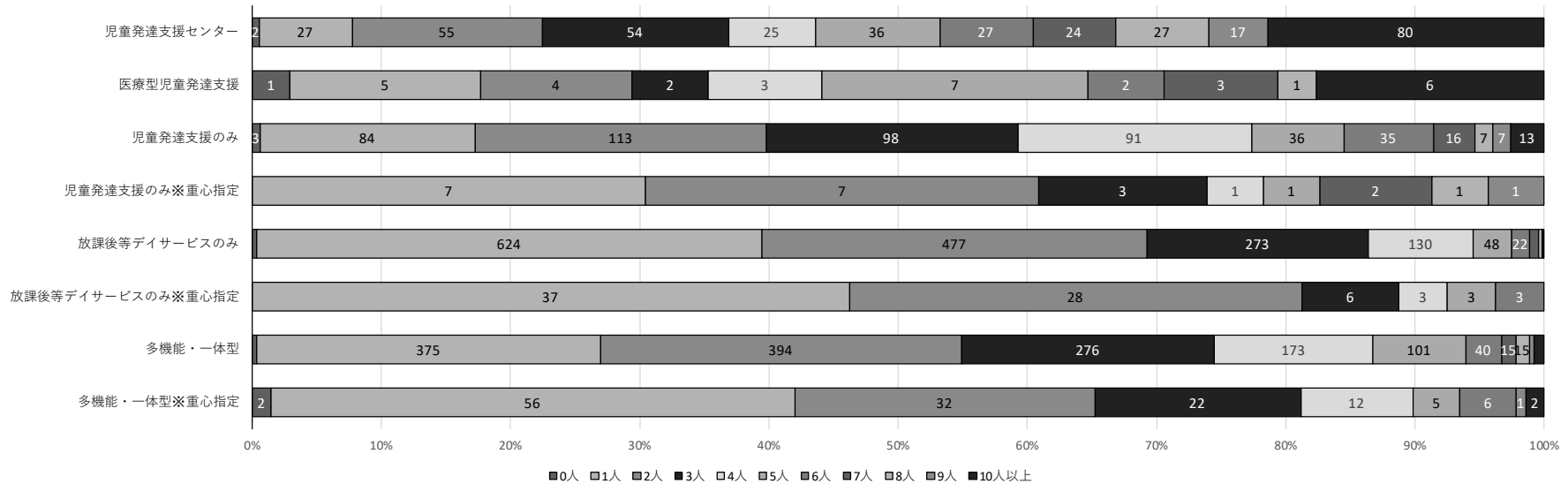
職種共通 運営法人_一般社団法人

事業運営	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っている	21 (6%)	71 (20%)	94 (27%)	78 (22%)	39 (11%)	46 (13%)	349
②ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っている	5 (1%)	69 (20%)	78 (22%)	91 (26%)	44 (13%)	60 (17%)	347
③タイムテーブルや活動プログラムの立案をしている	20 (6%)	90 (26%)	91 (26%)	77 (22%)	30 (9%)	44 (13%)	352
④P D C Aを意識して発達を支援し、かつ記録に反映している	23 (7%)	81 (24%)	93 (27%)	79 (23%)	27 (8%)	39 (11%)	342
⑤モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力している	22 (6%)	71 (21%)	95 (28%)	77 (22%)	38 (11%)	42 (12%)	345
⑥個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っている	56 (16%)	76 (22%)	74 (21%)	68 (19%)	37 (11%)	39 (11%)	350
⑦事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践している	50 (14%)	88 (25%)	80 (23%)	68 (19%)	30 (9%)	35 (10%)	351
⑧支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができる	25 (8%)	88 (27%)	84 (26%)	73 (22%)	24 (7%)	32 (10%)	326
⑨所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加している	32 (10%)	55 (17%)	85 (27%)	76 (24%)	32 (10%)	40 (13%)	320
⑩職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っている	52 (15%)	84 (24%)	79 (23%)	67 (19%)	29 (8%)	37 (11%)	348
⑪組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっている	44 (13%)	94 (27%)	81 (23%)	69 (20%)	29 (8%)	33 (9%)	350
⑫組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	22 (7%)	55 (16%)	77 (23%)	89 (26%)	40 (12%)	55 (16%)	338
⑬組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成している	16 (5%)	59 (17%)	87 (25%)	84 (25%)	37 (11%)	59 (17%)	342

エ.調査結果（職種別）

(1) 保育士

障害児支援を行う保育士の数



障害児支援を行う職員数

保育士	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみ	放課後等デイサービスのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	19 (0%)	2 (1%)	1 (3%)	3 (1%)	0 (0%)	6 (0%)	0 (0%)	5 (0%)	2 (1%)
1人	1219 (29%)	27 (7%)	5 (15%)	84 (17%)	7 (30%)	624 (39%)	37 (46%)	375 (27%)	56 (41%)
2人	1111 (27%)	55 (15%)	4 (12%)	113 (22%)	7 (30%)	477 (30%)	28 (35%)	394 (28%)	32 (23%)
3人	735 (18%)	54 (14%)	2 (6%)	98 (19%)	3 (13%)	273 (17%)	6 (8%)	276 (20%)	22 (16%)
4人	438 (11%)	25 (7%)	3 (9%)	91 (18%)	1 (4%)	130 (8%)	3 (4%)	173 (12%)	12 (9%)
5人	237 (6%)	36 (10%)	7 (21%)	36 (7%)	1 (4%)	48 (3%)	3 (4%)	101 (7%)	5 (4%)
6人	135 (3%)	27 (7%)	2 (6%)	35 (7%)	0 (0%)	22 (1%)	3 (4%)	40 (3%)	6 (4%)
7人	71 (2%)	24 (6%)	3 (9%)	16 (3%)	2 (9%)	11 (1%)	0 (0%)	15 (1%)	0 (0%)
8人	56 (1%)	27 (7%)	1 (3%)	7 (1%)	1 (4%)	4 (0%)	0 (0%)	15 (1%)	0 (0%)
9人	32 (1%)	17 (5%)	0 (0%)	7 (1%)	1 (4%)	1 (0%)	0 (0%)	5 (0%)	1 (1%)
10人以上	115 (3%)	80 (21%)	6 (18%)	13 (3%)	0 (0%)	2 (0%)	0 (0%)	11 (1%)	2 (1%)
合計	4168 (100%)	374 (100%)	34 (100%)	503 (100%)	23 (100%)	1598 (100%)	80 (100%)	1410 (100%)	138 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（保育士）が該当しますか。

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	429 (11%)	958 (25%)	1092 (29%)	638 (17%)	314 (8%)	361 (10%)	3792
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	359 (10%)	873 (23%)	1089 (29%)	673 (18%)	334 (9%)	392 (11%)	3720
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	310 (8%)	760 (20%)	1030 (27%)	736 (20%)	377 (10%)	534 (14%)	3747
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	312 (9%)	815 (23%)	1038 (29%)	659 (19%)	319 (9%)	417 (12%)	3560
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	328 (9%)	843 (23%)	1053 (29%)	660 (18%)	325 (9%)	409 (11%)	3618
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	270 (8%)	735 (21%)	1016 (29%)	694 (20%)	347 (10%)	489 (14%)	3551
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	334 (9%)	799 (21%)	1100 (29%)	727 (19%)	361 (10%)	466 (12%)	3787
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	181 (6%)	532 (18%)	792 (27%)	602 (20%)	335 (11%)	508 (17%)	2950
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	266 (8%)	679 (20%)	944 (27%)	707 (20%)	380 (11%)	499 (14%)	3475
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	342 (9%)	802 (21%)	1138 (30%)	707 (19%)	379 (10%)	452 (12%)	3820
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	364 (10%)	864 (23%)	1114 (29%)	684 (18%)	352 (9%)	435 (11%)	3813
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	447 (11%)	935 (23%)	1183 (30%)	689 (17%)	341 (9%)	389 (10%)	3984
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	241 (7%)	639 (18%)	974 (27%)	736 (21%)	407 (11%)	570 (16%)	3567
⑭ いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	235 (7%)	608 (19%)	890 (28%)	639 (20%)	354 (11%)	500 (15%)	3226

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	30 (8%)	89 (25%)	131 (37%)	51 (14%)	21 (6%)	34 (10%)	356
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	17 (5%)	62 (18%)	130 (37%)	67 (19%)	32 (9%)	44 (13%)	352
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	11 (3%)	36 (10%)	99 (28%)	78 (22%)	48 (14%)	78 (22%)	350
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	15 (4%)	60 (18%)	121 (36%)	66 (20%)	31 (9%)	45 (13%)	338
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	16 (5%)	65 (19%)	126 (37%)	58 (17%)	33 (10%)	43 (13%)	341
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	8 (2%)	41 (12%)	112 (33%)	72 (21%)	39 (12%)	63 (19%)	335
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	15 (4%)	49 (14%)	124 (35%)	74 (21%)	35 (10%)	60 (17%)	357
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	6 (2%)	36 (11%)	88 (27%)	65 (20%)	46 (14%)	86 (26%)	327
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子ども達の発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見直し、一人一人の子ども達の発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	8 (2%)	42 (12%)	84 (24%)	77 (22%)	54 (15%)	84 (24%)	349
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	13 (4%)	49 (14%)	116 (33%)	79 (22%)	43 (12%)	56 (16%)	356
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	14 (4%)	58 (16%)	123 (34%)	66 (18%)	41 (11%)	55 (15%)	357
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	20 (5%)	63 (17%)	136 (37%)	69 (19%)	32 (9%)	44 (12%)	364
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	9 (3%)	35 (10%)	86 (25%)	88 (25%)	46 (13%)	85 (24%)	349
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	13 (4%)	30 (10%)	73 (24%)	76 (25%)	40 (13%)	78 (25%)	310

職種別_別リスト_医療型・重症児

保育士

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	24 (11%)	57 (25%)	59 (26%)	32 (14%)	25 (11%)	31 (14%)	228
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	22 (10%)	52 (23%)	55 (25%)	36 (16%)	24 (11%)	33 (15%)	222
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	19 (8%)	57 (23%)	60 (24%)	40 (16%)	26 (10%)	50 (20%)	252
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	17 (8%)	51 (23%)	60 (27%)	40 (18%)	23 (10%)	33 (15%)	224
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	20 (9%)	58 (25%)	61 (26%)	35 (15%)	26 (11%)	33 (14%)	233
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	19 (8%)	51 (22%)	58 (25%)	34 (15%)	24 (10%)	43 (19%)	229
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	23 (9%)	54 (22%)	64 (26%)	40 (16%)	26 (11%)	40 (16%)	247
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	13 (7%)	29 (16%)	46 (26%)	30 (17%)	22 (13%)	36 (20%)	176
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	14 (6%)	43 (20%)	51 (23%)	37 (17%)	30 (14%)	44 (20%)	219
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	20 (8%)	56 (23%)	67 (27%)	40 (16%)	27 (11%)	37 (15%)	247
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	23 (9%)	68 (26%)	59 (23%)	43 (17%)	26 (10%)	39 (15%)	258
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	31 (12%)	69 (26%)	67 (25%)	42 (16%)	26 (10%)	34 (13%)	269
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	14 (6%)	36 (16%)	64 (28%)	39 (17%)	28 (12%)	48 (21%)	229
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	15 (9%)	30 (17%)	45 (26%)	31 (18%)	18 (10%)	33 (19%)	172

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	64 (14%)	119 (25%)	132 (28%)	69 (15%)	45 (9%)	45 (9%)	474
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	55 (12%)	112 (24%)	136 (29%)	72 (15%)	40 (9%)	53 (11%)	468
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	45 (10%)	95 (20%)	119 (26%)	82 (18%)	50 (11%)	75 (16%)	466
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	49 (11%)	101 (22%)	133 (29%)	70 (15%)	48 (11%)	55 (12%)	456
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	53 (12%)	104 (23%)	120 (26%)	82 (18%)	38 (8%)	60 (13%)	457
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	39 (9%)	93 (21%)	113 (26%)	80 (18%)	44 (10%)	74 (17%)	443
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	50 (11%)	101 (21%)	118 (25%)	88 (19%)	51 (11%)	66 (14%)	474
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	21 (5%)	73 (19%)	91 (23%)	83 (21%)	44 (11%)	82 (21%)	394
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	42 (9%)	95 (20%)	110 (24%)	97 (21%)	49 (11%)	73 (16%)	466
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	55 (12%)	101 (21%)	127 (27%)	83 (17%)	47 (10%)	64 (13%)	477
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	53 (11%)	106 (23%)	125 (27%)	83 (18%)	41 (9%)	61 (13%)	469
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	66 (14%)	111 (23%)	136 (28%)	80 (16%)	39 (8%)	56 (11%)	488
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	34 (7%)	86 (19%)	112 (25%)	85 (19%)	53 (12%)	85 (19%)	455
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	27 (7%)	67 (18%)	90 (24%)	80 (21%)	42 (11%)	71 (19%)	377

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	156 (11%)	364 (26%)	400 (28%)	238 (17%)	119 (8%)	138 (10%)	1415
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	127 (9%)	349 (25%)	409 (29%)	245 (18%)	120 (9%)	137 (10%)	1387
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	122 (9%)	309 (22%)	397 (29%)	254 (18%)	130 (9%)	174 (13%)	1386
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	106 (8%)	315 (24%)	370 (29%)	225 (17%)	116 (9%)	154 (12%)	1286
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	122 (9%)	327 (24%)	397 (30%)	219 (16%)	124 (9%)	146 (11%)	1335
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	104 (8%)	296 (23%)	377 (29%)	234 (18%)	128 (10%)	165 (13%)	1304
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	122 (9%)	313 (22%)	408 (29%)	251 (18%)	137 (10%)	166 (12%)	1397
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	72 (7%)	205 (20%)	276 (27%)	184 (18%)	112 (11%)	157 (16%)	1006
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	93 (8%)	253 (21%)	347 (29%)	220 (18%)	123 (10%)	155 (13%)	1191
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	132 (9%)	313 (22%)	433 (30%)	242 (17%)	136 (10%)	169 (12%)	1425
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	139 (10%)	334 (23%)	418 (29%)	248 (17%)	130 (9%)	155 (11%)	1424
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	170 (11%)	372 (25%)	437 (29%)	248 (16%)	136 (9%)	145 (10%)	1508
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	87 (7%)	248 (19%)	373 (29%)	239 (19%)	150 (12%)	192 (15%)	1289
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	93 (8%)	269 (22%)	363 (29%)	213 (17%)	128 (10%)	169 (14%)	1235

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	155 (12%)	328 (25%)	369 (28%)	247 (19%)	103 (8%)	112 (9%)	1314
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	138 (11%)	297 (23%)	358 (28%)	252 (20%)	117 (9%)	124 (10%)	1286
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	113 (9%)	262 (20%)	354 (28%)	281 (22%)	122 (9%)	155 (12%)	1287
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	125 (10%)	288 (23%)	353 (28%)	257 (21%)	100 (8%)	128 (10%)	1251
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	117 (9%)	288 (23%)	348 (28%)	265 (21%)	103 (8%)	125 (10%)	1246
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	100 (8%)	253 (21%)	355 (29%)	273 (22%)	111 (9%)	141 (11%)	1233
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	124 (10%)	281 (22%)	384 (29%)	273 (21%)	111 (9%)	131 (10%)	1304
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	69 (7%)	188 (18%)	289 (28%)	239 (23%)	110 (11%)	144 (14%)	1039
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	109 (9%)	245 (20%)	351 (28%)	275 (22%)	123 (10%)	140 (11%)	1243
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	122 (9%)	282 (22%)	394 (30%)	262 (20%)	125 (10%)	123 (9%)	1308
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	135 (10%)	297 (23%)	388 (30%)	243 (19%)	113 (9%)	123 (9%)	1299
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	160 (12%)	319 (24%)	406 (30%)	249 (18%)	107 (8%)	108 (8%)	1349
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	97 (8%)	233 (19%)	337 (27%)	284 (23%)	129 (10%)	157 (13%)	1237
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	87 (8%)	211 (19%)	318 (28%)	238 (21%)	125 (11%)	146 (13%)	1125

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	11 (8%)	26 (18%)	47 (32%)	20 (14%)	22 (15%)	19 (13%)	145
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	6 (4%)	22 (15%)	44 (30%)	27 (18%)	23 (16%)	24 (16%)	146
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	5 (4%)	13 (9%)	29 (20%)	32 (23%)	25 (18%)	38 (27%)	142
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	8 (6%)	18 (13%)	39 (28%)	27 (20%)	23 (17%)	23 (17%)	138
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	7 (5%)	13 (10%)	39 (29%)	28 (21%)	23 (17%)	25 (19%)	135
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4 (3%)	11 (8%)	34 (25%)	26 (19%)	25 (19%)	35 (26%)	135
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5 (3%)	18 (12%)	42 (28%)	30 (20%)	26 (17%)	28 (19%)	149
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4 (3%)	15 (11%)	33 (24%)	26 (19%)	23 (16%)	39 (28%)	140
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	3 (2%)	17 (12%)	29 (20%)	28 (19%)	34 (23%)	35 (24%)	146
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	5 (3%)	17 (11%)	39 (26%)	27 (18%)	31 (21%)	29 (20%)	148
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	9 (6%)	17 (11%)	41 (28%)	25 (17%)	28 (19%)	28 (19%)	148
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	10 (7%)	19 (13%)	45 (30%)	24 (16%)	26 (17%)	26 (17%)	150
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	6 (4%)	10 (7%)	27 (18%)	34 (23%)	33 (22%)	38 (26%)	148
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	3 (3%)	10 (8%)	22 (18%)	31 (26%)	22 (18%)	31 (26%)	119

職種別_人リスト_社会福祉法人

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	55 (8%)	163 (24%)	213 (31%)	110 (16%)	67 (10%)	82 (12%)	690
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	45 (7%)	131 (19%)	213 (31%)	128 (19%)	76 (11%)	87 (13%)	680
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	27 (4%)	95 (14%)	182 (27%)	143 (21%)	94 (14%)	142 (21%)	683
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	31 (5%)	119 (18%)	215 (33%)	119 (18%)	69 (11%)	92 (14%)	645
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	36 (5%)	125 (19%)	215 (32%)	122 (18%)	68 (10%)	98 (15%)	664
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	28 (4%)	96 (15%)	190 (29%)	136 (21%)	72 (11%)	128 (20%)	650
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	35 (5%)	112 (16%)	208 (30%)	151 (22%)	78 (11%)	116 (17%)	700
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	20 (3%)	71 (12%)	152 (26%)	119 (21%)	75 (13%)	140 (24%)	577
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	26 (4%)	84 (13%)	149 (24%)	142 (22%)	84 (13%)	148 (23%)	633
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	38 (5%)	114 (16%)	207 (29%)	136 (19%)	87 (12%)	123 (17%)	705
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	42 (6%)	126 (18%)	206 (29%)	136 (19%)	88 (12%)	110 (16%)	708
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	51 (7%)	142 (19%)	230 (31%)	137 (19%)	78 (11%)	93 (13%)	731
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	19 (3%)	87 (13%)	150 (22%)	165 (25%)	89 (13%)	158 (24%)	668
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	21 (4%)	74 (13%)	129 (23%)	129 (23%)	78 (14%)	136 (24%)	567

職種別_人リスト_株式会社

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	237 (15%)	445 (28%)	465 (29%)	245 (15%)	95 (6%)	106 (7%)	1593
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	202 (13%)	433 (28%)	466 (30%)	239 (15%)	100 (6%)	113 (7%)	1553
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	182 (12%)	401 (26%)	478 (30%)	272 (17%)	101 (6%)	137 (9%)	1571
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	181 (12%)	407 (27%)	450 (30%)	245 (16%)	90 (6%)	124 (8%)	1497
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	186 (12%)	423 (28%)	456 (30%)	253 (17%)	95 (6%)	116 (8%)	1529
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	158 (11%)	394 (26%)	463 (31%)	257 (17%)	100 (7%)	129 (9%)	1501
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	191 (12%)	407 (26%)	488 (31%)	262 (17%)	107 (7%)	125 (8%)	1580
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	101 (8%)	284 (24%)	340 (28%)	236 (20%)	99 (8%)	133 (11%)	1193
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	150 (10%)	366 (25%)	445 (31%)	258 (18%)	106 (7%)	122 (8%)	1447
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	194 (12%)	416 (26%)	503 (32%)	260 (16%)	100 (6%)	117 (7%)	1590
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	200 (13%)	447 (28%)	483 (30%)	245 (15%)	95 (6%)	115 (7%)	1585
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	247 (15%)	472 (28%)	498 (30%)	252 (15%)	94 (6%)	103 (6%)	1666
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	147 (10%)	346 (24%)	457 (31%)	262 (18%)	116 (8%)	141 (10%)	1469
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	132 (10%)	331 (24%)	427 (31%)	238 (17%)	99 (7%)	135 (10%)	1362

職種別_人リスト_NPO法人

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	32 (7%)	73 (16%)	121 (27%)	83 (19%)	60 (13%)	78 (17%)	447
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	28 (6%)	66 (15%)	112 (25%)	85 (19%)	63 (14%)	87 (20%)	441
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	29 (6%)	54 (12%)	107 (24%)	94 (21%)	65 (14%)	103 (23%)	452
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	26 (6%)	62 (15%)	103 (24%)	84 (20%)	62 (15%)	88 (21%)	425
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	27 (6%)	65 (16%)	107 (26%)	77 (18%)	69 (16%)	74 (18%)	419
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	21 (5%)	45 (11%)	104 (25%)	82 (20%)	69 (17%)	91 (22%)	412
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	32 (7%)	56 (12%)	114 (25%)	93 (20%)	66 (15%)	93 (20%)	454
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	17 (5%)	31 (9%)	74 (21%)	76 (22%)	60 (17%)	90 (26%)	348
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	23 (6%)	43 (11%)	88 (22%)	90 (22%)	73 (18%)	85 (21%)	402
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	27 (6%)	53 (12%)	123 (27%)	96 (21%)	69 (15%)	83 (18%)	451
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	28 (6%)	66 (15%)	123 (27%)	87 (19%)	63 (14%)	85 (19%)	452
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	36 (8%)	76 (16%)	126 (27%)	88 (19%)	64 (14%)	81 (17%)	471
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	21 (5%)	37 (9%)	93 (22%)	94 (22%)	74 (17%)	113 (26%)	432
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	21 (5%)	34 (9%)	86 (22%)	88 (23%)	68 (18%)	89 (23%)	386

職種別_人リスト_合同会社

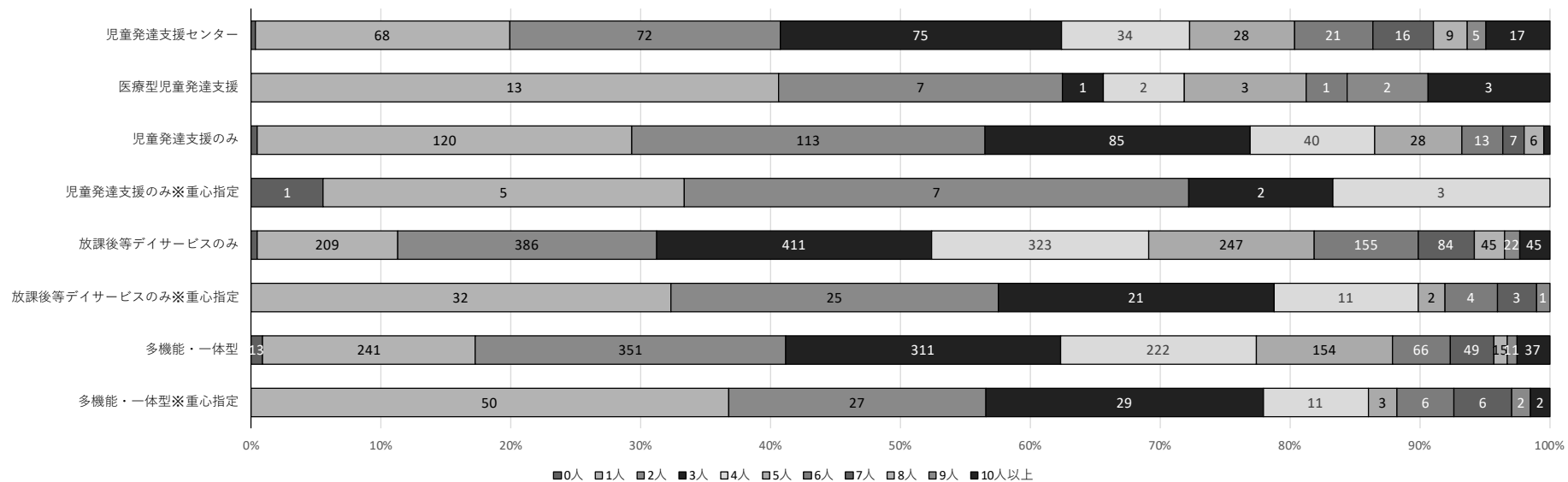
保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	36 (10%)	98 (28%)	98 (28%)	80 (23%)	21 (6%)	19 (5%)	352
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	29 (8%)	85 (25%)	102 (30%)	84 (24%)	22 (6%)	21 (6%)	343
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	28 (8%)	79 (23%)	100 (29%)	80 (23%)	29 (8%)	33 (9%)	349
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	23 (7%)	85 (26%)	88 (27%)	78 (24%)	23 (7%)	24 (7%)	321
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	24 (7%)	86 (26%)	92 (28%)	79 (24%)	19 (6%)	29 (9%)	329
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	19 (6%)	78 (24%)	89 (28%)	81 (25%)	23 (7%)	32 (10%)	322
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	25 (7%)	83 (24%)	98 (28%)	82 (24%)	30 (9%)	29 (8%)	347
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	16 (6%)	52 (19%)	82 (31%)	64 (24%)	24 (9%)	29 (11%)	267
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	22 (7%)	72 (23%)	100 (31%)	79 (25%)	22 (7%)	25 (8%)	320
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	30 (8%)	80 (23%)	110 (31%)	81 (23%)	26 (7%)	28 (8%)	355
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	32 (9%)	81 (23%)	108 (31%)	82 (23%)	23 (7%)	27 (8%)	353
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	39 (11%)	85 (23%)	113 (31%)	80 (22%)	22 (6%)	24 (7%)	363
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	15 (5%)	68 (21%)	105 (32%)	74 (23%)	31 (10%)	32 (10%)	325
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	21 (7%)	63 (21%)	94 (32%)	63 (21%)	29 (10%)	28 (9%)	298

職種別_人リスト_一般社団法人

保育士	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮している	26 (10%)	76 (28%)	76 (28%)	50 (19%)	19 (7%)	23 (9%)	270
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案している	25 (9%)	70 (26%)	78 (29%)	54 (20%)	18 (7%)	23 (9%)	268
③事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしている	18 (7%)	61 (23%)	65 (25%)	64 (24%)	21 (8%)	35 (13%)	264
④保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	22 (9%)	64 (25%)	70 (28%)	50 (20%)	17 (7%)	30 (12%)	253
⑤保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践している	25 (10%)	64 (25%)	71 (28%)	50 (19%)	17 (7%)	30 (12%)	257
⑥保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	20 (8%)	56 (22%)	72 (28%)	55 (22%)	20 (8%)	31 (12%)	254
⑦保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	20 (7%)	60 (22%)	85 (32%)	56 (21%)	17 (6%)	31 (12%)	269
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	10 (5%)	44 (22%)	55 (27%)	44 (22%)	17 (8%)	32 (16%)	202
⑨これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っている	21 (8%)	55 (22%)	68 (27%)	60 (24%)	20 (8%)	30 (12%)	254
⑩子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っている	23 (8%)	72 (26%)	78 (28%)	52 (19%)	22 (8%)	28 (10%)	275
⑪事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っている	26 (10%)	67 (25%)	80 (29%)	57 (21%)	15 (5%)	28 (10%)	273
⑫子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っている	33 (11%)	76 (26%)	89 (30%)	57 (19%)	18 (6%)	22 (7%)	295
⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っている	15 (6%)	52 (20%)	72 (28%)	59 (23%)	21 (8%)	35 (14%)	254
⑭いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	18 (7%)	57 (23%)	70 (29%)	47 (19%)	18 (7%)	34 (14%)	244

(2) 児童指導員

障害児支援を行う児童指導員の数



児童指導員	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみ	放課後等デイサービスのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	27 (1%)	1 (0%)	0 (0%)	2 (0%)	1 (6%)	9 (0%)	0 (0%)	13 (1%)	0 (0%)
1人	740 (17%)	68 (20%)	13 (41%)	120 (29%)	5 (28%)	209 (11%)	32 (32%)	241 (16%)	50 (37%)
2人	989 (22%)	72 (21%)	7 (22%)	113 (27%)	7 (39%)	386 (20%)	25 (25%)	351 (24%)	27 (20%)
3人	936 (21%)	75 (22%)	1 (3%)	85 (20%)	2 (11%)	411 (21%)	21 (21%)	311 (21%)	29 (21%)
4人	646 (14%)	34 (10%)	2 (6%)	40 (10%)	3 (17%)	323 (17%)	11 (11%)	222 (15%)	11 (8%)
5人	465 (10%)	28 (8%)	3 (9%)	28 (7%)	0 (0%)	247 (13%)	2 (2%)	154 (10%)	3 (2%)
6人	266 (6%)	21 (6%)	1 (3%)	13 (3%)	0 (0%)	155 (8%)	4 (4%)	66 (4%)	6 (4%)
7人	165 (4%)	16 (5%)	0 (0%)	7 (2%)	0 (0%)	84 (4%)	3 (3%)	49 (3%)	6 (4%)
8人	75 (2%)	9 (3%)	0 (0%)	6 (1%)	0 (0%)	45 (2%)	0 (0%)	15 (1%)	0 (0%)
9人	43 (1%)	5 (1%)	2 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	22 (1%)	1 (1%)	11 (1%)	2 (1%)
10人以上	106 (2%)	17 (5%)	3 (9%)	2 (0%)	0 (0%)	45 (2%)	0 (0%)	37 (3%)	2 (1%)
合計	4458 (100%)	346 (100%)	32 (100%)	416 (100%)	18 (100%)	1936 (100%)	99 (100%)	1470 (100%)	136 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（児童指導員）が該当しますか。

児童指導員	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	352	(9%)	1038	(25%)	1311	(32%)	797	(19%)	333	(8%)	301	(7%)	4132
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	310	(8%)	985	(24%)	1328	(32%)	829	(20%)	362	(9%)	309	(7%)	4123
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	237	(6%)	843	(21%)	1259	(31%)	894	(22%)	420	(10%)	398	(10%)	4051
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	291	(7%)	894	(23%)	1247	(32%)	822	(21%)	347	(9%)	317	(8%)	3918
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	292	(7%)	928	(23%)	1269	(32%)	827	(21%)	361	(9%)	334	(8%)	4011
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	230	(6%)	822	(21%)	1253	(32%)	849	(22%)	374	(10%)	363	(9%)	3891
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	269	(7%)	869	(21%)	1306	(32%)	893	(22%)	399	(10%)	366	(9%)	4102
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	169	(5%)	583	(18%)	1004	(31%)	736	(23%)	369	(11%)	350	(11%)	3211
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	343	(8%)	1005	(23%)	1365	(32%)	879	(20%)	373	(9%)	337	(8%)	4302
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	228	(6%)	727	(20%)	1141	(32%)	794	(22%)	363	(10%)	343	(10%)	3596
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	193	(5%)	668	(18%)	1144	(30%)	906	(24%)	420	(11%)	427	(11%)	3758

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	20 (6%)	82 (26%)	88 (28%)	47 (15%)	38 (12%)	44 (14%)	319
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	11 (3%)	71 (22%)	93 (29%)	53 (17%)	44 (14%)	48 (15%)	320
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	10 (3%)	49 (16%)	86 (28%)	51 (17%)	48 (16%)	60 (20%)	304
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	14 (5%)	60 (21%)	90 (31%)	45 (15%)	37 (13%)	45 (15%)	291
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	12 (4%)	65 (21%)	94 (31%)	46 (15%)	41 (13%)	47 (15%)	305
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	8 (3%)	55 (19%)	75 (26%)	54 (19%)	42 (15%)	50 (18%)	284
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10 (3%)	59 (19%)	90 (29%)	58 (19%)	45 (14%)	50 (16%)	312
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9 (3%)	41 (15%)	69 (26%)	44 (16%)	50 (19%)	54 (20%)	267
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	15 (5%)	68 (20%)	99 (30%)	57 (17%)	42 (13%)	51 (15%)	332
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	11 (4%)	41 (15%)	71 (26%)	42 (16%)	37 (14%)	66 (25%)	268
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	10 (3%)	35 (12%)	85 (29%)	53 (18%)	49 (16%)	65 (22%)	297

職種別_別リスト_医療型・重症児

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	13 (5%)	52 (22%)	77 (32%)	42 (18%)	20 (8%)	33 (14%)	237
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	12 (5%)	51 (22%)	69 (29%)	48 (20%)	19 (8%)	37 (16%)	236
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	10 (4%)	44 (18%)	68 (28%)	56 (23%)	28 (11%)	39 (16%)	245
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10 (4%)	47 (21%)	71 (31%)	43 (19%)	21 (9%)	35 (15%)	227
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	12 (5%)	47 (19%)	74 (30%)	52 (21%)	24 (10%)	35 (14%)	244
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	9 (4%)	45 (20%)	66 (29%)	51 (22%)	23 (10%)	36 (16%)	230
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10 (4%)	48 (19%)	80 (32%)	54 (22%)	23 (9%)	36 (14%)	251
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	7 (4%)	36 (19%)	57 (30%)	43 (23%)	16 (8%)	31 (16%)	190
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	16 (6%)	50 (19%)	80 (30%)	54 (20%)	27 (10%)	37 (14%)	264
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	10 (5%)	37 (20%)	55 (29%)	41 (22%)	17 (9%)	27 (14%)	187
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	8 (3%)	38 (16%)	64 (27%)	61 (26%)	21 (9%)	41 (18%)	233

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	52 (14%)	110 (29%)	101 (27%)	56 (15%)	29 (8%)	29 (8%)	377
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	46 (12%)	107 (28%)	103 (27%)	61 (16%)	29 (8%)	31 (8%)	377
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	34 (9%)	95 (26%)	102 (28%)	60 (17%)	30 (8%)	38 (11%)	359
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	47 (13%)	96 (27%)	93 (26%)	55 (16%)	31 (9%)	31 (9%)	353
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	47 (13%)	101 (28%)	93 (26%)	56 (16%)	27 (8%)	34 (9%)	358
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	41 (12%)	90 (26%)	96 (28%)	57 (16%)	30 (9%)	34 (10%)	348
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	44 (12%)	97 (27%)	101 (28%)	59 (16%)	30 (8%)	34 (9%)	365
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	24 (9%)	64 (24%)	70 (26%)	47 (18%)	26 (10%)	35 (13%)	266
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	52 (13%)	115 (29%)	102 (26%)	61 (16%)	29 (7%)	33 (8%)	392
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	32 (11%)	69 (24%)	73 (25%)	54 (19%)	28 (10%)	35 (12%)	291
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	29 (9%)	83 (25%)	89 (27%)	64 (19%)	30 (9%)	38 (11%)	333

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	134 (7%)	443 (24%)	612 (34%)	384 (21%)	151 (8%)	96 (5%)	1820
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	127 (7%)	423 (23%)	619 (34%)	390 (21%)	164 (9%)	95 (5%)	1818
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	96 (5%)	358 (20%)	587 (33%)	426 (24%)	200 (11%)	133 (7%)	1800
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	110 (6%)	373 (22%)	592 (34%)	391 (23%)	157 (9%)	103 (6%)	1726
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	115 (6%)	405 (23%)	594 (33%)	390 (22%)	160 (9%)	112 (6%)	1776
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	86 (5%)	354 (21%)	596 (35%)	394 (23%)	170 (10%)	122 (7%)	1722
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	104 (6%)	353 (19%)	620 (34%)	413 (23%)	190 (10%)	132 (7%)	1812
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	68 (5%)	227 (16%)	458 (33%)	341 (25%)	177 (13%)	113 (8%)	1384
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	137 (7%)	429 (23%)	638 (34%)	414 (22%)	165 (9%)	111 (6%)	1894
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	88 (5%)	333 (21%)	546 (34%)	381 (24%)	166 (10%)	107 (7%)	1621
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	78 (5%)	271 (16%)	523 (32%)	428 (26%)	198 (12%)	152 (9%)	1650

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

児童指導員	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	133	(10%)	351	(26%)	432	(31%)	267	(19%)	95	(7%)	98	(7%)	1376
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	114	(8%)	333	(24%)	443	(32%)	276	(20%)	106	(8%)	97	(7%)	1369
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	87	(6%)	297	(22%)	415	(31%)	300	(22%)	114	(9%)	127	(9%)	1340
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	110	(8%)	318	(24%)	400	(30%)	287	(22%)	101	(8%)	102	(8%)	1318
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	106	(8%)	310	(23%)	413	(31%)	282	(21%)	109	(8%)	104	(8%)	1324
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	86	(7%)	278	(21%)	419	(32%)	292	(22%)	109	(8%)	119	(9%)	1303
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	101	(7%)	312	(23%)	414	(30%)	308	(23%)	111	(8%)	112	(8%)	1358
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	61	(6%)	215	(20%)	349	(32%)	260	(24%)	100	(9%)	115	(10%)	1100
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	123	(9%)	343	(24%)	445	(31%)	292	(21%)	110	(8%)	103	(7%)	1416
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	87	(7%)	247	(20%)	395	(32%)	275	(22%)	115	(9%)	106	(9%)	1225
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	68	(5%)	241	(19%)	382	(31%)	299	(24%)	122	(10%)	129	(10%)	1241

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	5 (6%)	12 (13%)	24 (27%)	12 (13%)	15 (17%)	22 (24%)	90
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	5 (5%)	10 (11%)	26 (28%)	15 (16%)	15 (16%)	22 (24%)	93
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	3 (3%)	10 (11%)	22 (24%)	14 (16%)	14 (16%)	27 (30%)	90
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (5%)	8 (10%)	22 (26%)	13 (15%)	13 (15%)	24 (29%)	84
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (4%)	8 (9%)	22 (25%)	14 (16%)	15 (17%)	26 (29%)	89
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	3 (3%)	8 (9%)	20 (22%)	14 (16%)	15 (17%)	29 (33%)	89
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	4 (4%)	11 (11%)	25 (26%)	16 (17%)	15 (16%)	25 (26%)	96
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3 (3%)	12 (13%)	22 (24%)	12 (13%)	17 (19%)	24 (27%)	90
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	4 (4%)	17 (17%)	24 (24%)	15 (15%)	16 (16%)	24 (24%)	100
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	4 (5%)	8 (10%)	18 (23%)	14 (18%)	11 (14%)	24 (30%)	79
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	4 (4%)	8 (8%)	21 (22%)	15 (16%)	17 (18%)	30 (32%)	95

職種別_人リスト_社会福祉法人

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	33 (5%)	138 (22%)	206 (32%)	120 (19%)	70 (11%)	67 (11%)	634
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	25 (4%)	126 (20%)	204 (32%)	136 (21%)	78 (12%)	72 (11%)	641
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	21 (3%)	89 (14%)	180 (29%)	142 (23%)	88 (14%)	97 (16%)	617
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	29 (5%)	110 (18%)	196 (33%)	128 (21%)	67 (11%)	69 (12%)	599
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	27 (4%)	109 (18%)	204 (33%)	123 (20%)	79 (13%)	73 (12%)	615
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	19 (3%)	92 (16%)	187 (32%)	134 (23%)	76 (13%)	82 (14%)	590
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	22 (3%)	107 (17%)	203 (32%)	140 (22%)	83 (13%)	87 (14%)	642
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9 (2%)	68 (14%)	141 (29%)	111 (23%)	78 (16%)	78 (16%)	485
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	36 (5%)	118 (17%)	219 (32%)	145 (21%)	81 (12%)	81 (12%)	680
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	18 (3%)	67 (13%)	156 (30%)	115 (22%)	77 (15%)	83 (16%)	516
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	13 (2%)	71 (12%)	154 (27%)	148 (26%)	83 (14%)	109 (19%)	578

職種別_人リスト_株式会社

児童指導員	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	214	(12%)	528	(29%)	588	(32%)	352	(19%)	92	(5%)	64	(3%)	1838
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	192	(10%)	513	(28%)	600	(33%)	360	(20%)	103	(6%)	64	(3%)	1832
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	144	(8%)	467	(26%)	590	(32%)	404	(22%)	125	(7%)	88	(5%)	1818
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	175	(10%)	478	(27%)	578	(33%)	365	(21%)	99	(6%)	74	(4%)	1769
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	178	(10%)	509	(28%)	571	(32%)	381	(21%)	99	(5%)	68	(4%)	1806
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	140	(8%)	458	(26%)	578	(33%)	384	(22%)	115	(7%)	78	(4%)	1753
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	165	(9%)	471	(26%)	595	(32%)	401	(22%)	124	(7%)	79	(4%)	1835
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	112	(8%)	324	(23%)	469	(33%)	338	(24%)	115	(8%)	77	(5%)	1435
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	203	(11%)	527	(28%)	610	(32%)	385	(20%)	109	(6%)	71	(4%)	1905
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	129	(8%)	413	(25%)	540	(33%)	365	(22%)	113	(7%)	73	(4%)	1633
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	117	(7%)	377	(22%)	557	(33%)	406	(24%)	135	(8%)	93	(6%)	1685

職種別_人リスト_NPO法人

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	28 (5%)	70 (13%)	161 (31%)	115 (22%)	71 (14%)	77 (15%)	522
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	25 (5%)	65 (13%)	152 (29%)	116 (22%)	78 (15%)	80 (16%)	516
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	20 (4%)	58 (11%)	128 (25%)	121 (24%)	92 (18%)	93 (18%)	512
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	24 (5%)	63 (13%)	143 (29%)	116 (23%)	74 (15%)	76 (15%)	496
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	25 (5%)	63 (12%)	141 (28%)	113 (22%)	81 (16%)	82 (16%)	505
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	22 (4%)	53 (11%)	134 (27%)	115 (23%)	78 (16%)	89 (18%)	491
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	25 (5%)	55 (11%)	147 (28%)	119 (23%)	85 (16%)	86 (17%)	517
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	14 (4%)	36 (9%)	100 (25%)	89 (22%)	71 (18%)	89 (22%)	399
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	28 (5%)	76 (14%)	155 (29%)	122 (23%)	82 (15%)	79 (15%)	542
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	25 (6%)	52 (11%)	119 (26%)	104 (23%)	73 (16%)	81 (18%)	454
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	17 (4%)	43 (9%)	109 (23%)	112 (24%)	84 (18%)	103 (22%)	468

職種別_人リスト_合同会社

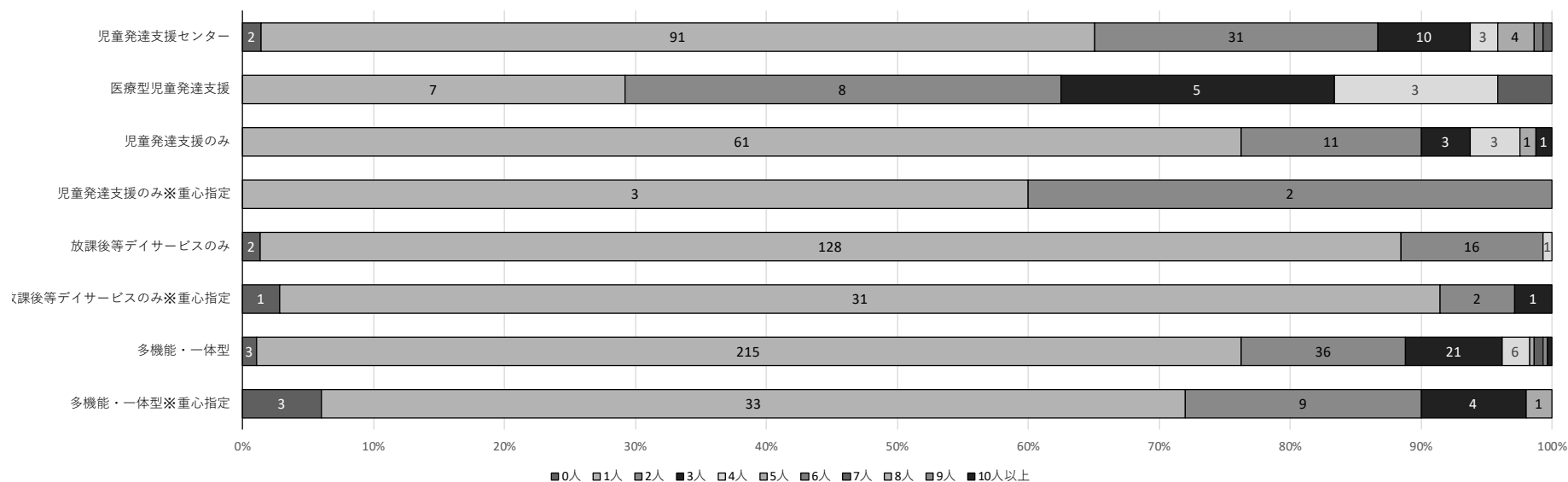
児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	27 (7%)	109 (27%)	135 (34%)	79 (20%)	28 (7%)	24 (6%)	402
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	24 (6%)	108 (27%)	139 (35%)	79 (20%)	27 (7%)	23 (6%)	400
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	19 (5%)	90 (23%)	134 (34%)	86 (22%)	30 (8%)	32 (8%)	391
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	21 (6%)	91 (24%)	121 (32%)	86 (23%)	27 (7%)	27 (7%)	373
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	20 (5%)	91 (24%)	133 (35%)	85 (22%)	26 (7%)	29 (8%)	384
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	15 (4%)	82 (22%)	136 (36%)	85 (22%)	29 (8%)	31 (8%)	378
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	16 (4%)	90 (23%)	135 (35%)	87 (22%)	28 (7%)	31 (8%)	387
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	13 (4%)	61 (20%)	110 (35%)	69 (22%)	29 (9%)	30 (10%)	312
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	29 (7%)	102 (25%)	144 (35%)	80 (20%)	25 (6%)	29 (7%)	409
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	21 (6%)	79 (22%)	125 (35%)	75 (21%)	30 (8%)	28 (8%)	358
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	16 (4%)	67 (19%)	120 (34%)	87 (24%)	35 (10%)	33 (9%)	358

職種別_人リスト_一般社団法人

児童指導員	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮している	20 (7%)	92 (30%)	90 (30%)	57 (19%)	25 (8%)	18 (6%)	302
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案している	13 (4%)	89 (30%)	95 (32%)	54 (18%)	27 (9%)	21 (7%)	299
③事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしている	9 (3%)	69 (24%)	94 (32%)	63 (22%)	29 (10%)	29 (10%)	293
④児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	11 (4%)	81 (28%)	88 (31%)	55 (19%)	30 (10%)	22 (8%)	287
⑤児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践している	14 (5%)	80 (28%)	91 (31%)	50 (17%)	29 (10%)	25 (9%)	289
⑥児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	9 (3%)	70 (25%)	98 (35%)	55 (19%)	28 (10%)	24 (8%)	284
⑦保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	14 (5%)	73 (25%)	92 (31%)	61 (21%)	29 (10%)	26 (9%)	295
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	7 (3%)	49 (20%)	85 (35%)	53 (22%)	27 (11%)	23 (9%)	244
⑨子どもの発達について理解して適切な支援を行っている	17 (5%)	91 (29%)	96 (31%)	58 (19%)	27 (9%)	24 (8%)	313
⑩いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っている	9 (3%)	62 (23%)	86 (32%)	50 (19%)	31 (12%)	27 (10%)	265
⑪保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っている	7 (3%)	60 (22%)	87 (32%)	62 (23%)	27 (10%)	29 (11%)	272

(3) OT（作業療法士）

障害児支援を行う OT（作業療法士）の数



OT	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスののみ	放課後等デイサービスののみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	11 (1%)	2 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	1 (3%)	3 (1%)	3 (6%)
1人	571 (74%)	91 (64%)	7 (29%)	61 (76%)	3 (60%)	128 (87%)	31 (89%)	215 (75%)	33 (66%)
2人	116 (15%)	31 (22%)	8 (33%)	11 (14%)	2 (40%)	16 (11%)	2 (6%)	36 (13%)	9 (18%)
3人	43 (6%)	10 (7%)	5 (21%)	3 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	21 (7%)	4 (8%)
4人	17 (2%)	3 (2%)	3 (13%)	3 (4%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	6 (2%)	0 (0%)
5人	7 (1%)	4 (3%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	1 (2%)
6人	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
7人	4 (1%)	1 (1%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)
8人	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
9人	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)
10人以上	3 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (3%)	1 (0%)	0 (0%)
合計	774 (100%)	143 (100%)	24 (100%)	80 (100%)	5 (100%)	147 (100%)	35 (100%)	286 (100%)	50 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（作業療法士（OT））が該当しますか。

OT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	115	(17%)	189	(29%)	131	(20%)	65	(10%)	45	(7%)	116	(18%)	661
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	112	(17%)	188	(28%)	133	(20%)	67	(10%)	47	(7%)	121	(18%)	668
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	110	(15%)	193	(26%)	142	(19%)	71	(10%)	60	(8%)	153	(21%)	729
④OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	111	(16%)	189	(28%)	135	(20%)	65	(10%)	51	(8%)	129	(19%)	680
⑤OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	109	(16%)	189	(28%)	131	(19%)	69	(10%)	54	(8%)	134	(20%)	686
⑥OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	106	(15%)	184	(26%)	135	(19%)	70	(10%)	55	(8%)	147	(21%)	697
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	104	(15%)	183	(26%)	138	(20%)	70	(10%)	57	(8%)	148	(21%)	700
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	60	(12%)	112	(22%)	97	(19%)	67	(13%)	46	(9%)	126	(25%)	508
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	114	(16%)	203	(28%)	133	(18%)	71	(10%)	55	(8%)	150	(21%)	726
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	120	(17%)	193	(27%)	134	(18%)	70	(10%)	56	(8%)	152	(21%)	725
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	52	(12%)	110	(25%)	84	(19%)	48	(11%)	35	(8%)	116	(26%)	445
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	105	(16%)	184	(27%)	120	(18%)	73	(11%)	51	(8%)	144	(21%)	677
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	79	(14%)	144	(25%)	102	(18%)	63	(11%)	46	(8%)	132	(23%)	566

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	15 (14%)	24 (23%)	17 (16%)	10 (9%)	12 (11%)	28 (26%)	106
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	15 (13%)	26 (23%)	18 (16%)	10 (9%)	14 (13%)	29 (26%)	112
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	16 (12%)	26 (20%)	21 (16%)	9 (7%)	19 (14%)	41 (31%)	132
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	19 (16%)	26 (21%)	19 (16%)	7 (6%)	17 (14%)	34 (28%)	122
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	17 (14%)	27 (22%)	19 (16%)	9 (7%)	16 (13%)	34 (28%)	122
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	15 (12%)	27 (21%)	20 (16%)	9 (7%)	17 (13%)	38 (30%)	126
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	16 (12%)	28 (21%)	20 (15%)	8 (6%)	19 (15%)	40 (31%)	131
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	11 (11%)	15 (15%)	14 (14%)	7 (7%)	14 (14%)	39 (39%)	100
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	15 (11%)	31 (23%)	18 (14%)	10 (8%)	16 (12%)	42 (32%)	132
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	17 (13%)	23 (18%)	19 (15%)	10 (8%)	18 (14%)	41 (32%)	128
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	9 (11%)	13 (15%)	12 (14%)	7 (8%)	14 (16%)	30 (35%)	85
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	16 (13%)	20 (16%)	19 (15%)	11 (9%)	18 (15%)	39 (32%)	123
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	14 (13%)	16 (15%)	16 (15%)	7 (7%)	16 (15%)	37 (35%)	106

職種別_別リスト_医療型・重症児

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	9 (10%)	23 (25%)	21 (23%)	8 (9%)	8 (9%)	23 (25%)	92
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	9 (10%)	23 (24%)	21 (22%)	9 (10%)	9 (10%)	23 (24%)	94
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	8 (7%)	28 (25%)	23 (21%)	10 (9%)	12 (11%)	31 (28%)	112
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	9 (9%)	27 (26%)	21 (20%)	8 (8%)	11 (11%)	27 (26%)	103
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	10 (9%)	27 (25%)	20 (19%)	9 (8%)	11 (10%)	29 (27%)	106
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	9 (8%)	25 (23%)	22 (21%)	10 (9%)	11 (10%)	30 (28%)	107
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	9 (9%)	23 (22%)	23 (22%)	8 (8%)	12 (12%)	29 (28%)	104
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	5 (7%)	11 (15%)	17 (24%)	8 (11%)	8 (11%)	22 (31%)	71
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	11 (10%)	31 (27%)	20 (18%)	9 (8%)	12 (11%)	30 (27%)	113
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	10 (9%)	28 (25%)	21 (19%)	9 (8%)	11 (10%)	32 (29%)	111
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	6 (7%)	18 (20%)	20 (23%)	6 (7%)	8 (9%)	30 (34%)	88
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	9 (9%)	27 (26%)	20 (19%)	10 (10%)	9 (9%)	29 (28%)	104
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	10 (9%)	29 (26%)	22 (20%)	10 (9%)	10 (9%)	30 (27%)	111

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

OT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	10	(15%)	18	(27%)	13	(20%)	7	(11%)	1	(2%)	17	(26%)	66
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	9	(13%)	19	(28%)	13	(19%)	7	(10%)	1	(1%)	19	(28%)	68
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	11	(14%)	19	(25%)	15	(19%)	9	(12%)	2	(3%)	21	(27%)	77
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10	(14%)	18	(26%)	15	(21%)	10	(14%)	1	(1%)	16	(23%)	70
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	10	(14%)	18	(25%)	15	(21%)	10	(14%)	1	(1%)	18	(25%)	72
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	10	(14%)	18	(25%)	15	(21%)	9	(12%)	1	(1%)	20	(27%)	73
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10	(13%)	19	(25%)	15	(20%)	9	(12%)	1	(1%)	21	(28%)	75
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	5	(10%)	13	(25%)	10	(19%)	8	(15%)	1	(2%)	15	(29%)	52
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	10	(13%)	19	(25%)	15	(19%)	10	(13%)	1	(1%)	22	(29%)	77
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	9	(12%)	18	(24%)	15	(20%)	10	(13%)	1	(1%)	22	(29%)	75
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	3	(9%)	4	(12%)	6	(18%)	4	(12%)	0	(0%)	16	(48%)	33
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	9	(13%)	16	(23%)	14	(20%)	9	(13%)	1	(1%)	22	(31%)	71
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	5	(11%)	6	(14%)	11	(25%)	5	(11%)	1	(2%)	16	(36%)	44

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	48 (35%)	45 (33%)	21 (15%)	7 (5%)	5 (4%)	11 (8%)	137
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	45 (33%)	42 (31%)	24 (18%)	6 (4%)	5 (4%)	13 (10%)	135
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	45 (33%)	43 (32%)	24 (18%)	6 (4%)	5 (4%)	13 (10%)	136
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	41 (32%)	43 (33%)	22 (17%)	6 (5%)	6 (5%)	11 (9%)	129
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	43 (33%)	41 (32%)	22 (17%)	7 (5%)	5 (4%)	12 (9%)	130
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	42 (32%)	42 (32%)	23 (18%)	7 (5%)	5 (4%)	12 (9%)	131
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	38 (29%)	41 (32%)	25 (19%)	8 (6%)	5 (4%)	13 (10%)	130
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	19 (24%)	22 (28%)	15 (19%)	8 (10%)	5 (6%)	9 (12%)	78
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	43 (31%)	45 (33%)	23 (17%)	8 (6%)	6 (4%)	12 (9%)	137
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	45 (33%)	43 (32%)	22 (16%)	8 (6%)	5 (4%)	13 (10%)	136
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	23 (28%)	26 (32%)	13 (16%)	6 (7%)	4 (5%)	9 (11%)	81
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	43 (34%)	42 (33%)	19 (15%)	7 (6%)	5 (4%)	11 (9%)	127
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	32 (33%)	30 (31%)	14 (14%)	6 (6%)	4 (4%)	11 (11%)	97

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

OT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	33	(13%)	79	(31%)	58	(22%)	33	(13%)	19	(7%)	37	(14%)	259
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	34	(13%)	78	(30%)	56	(22%)	35	(14%)	18	(7%)	37	(14%)	258
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	30	(11%)	77	(29%)	58	(22%)	37	(14%)	22	(8%)	44	(16%)	268
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	32	(13%)	75	(30%)	57	(23%)	34	(13%)	16	(6%)	39	(15%)	253
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	29	(11%)	76	(30%)	54	(21%)	34	(13%)	21	(8%)	39	(15%)	253
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	30	(12%)	72	(28%)	54	(21%)	35	(14%)	21	(8%)	44	(17%)	256
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	31	(12%)	72	(28%)	54	(21%)	37	(14%)	20	(8%)	42	(16%)	256
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	20	(10%)	51	(25%)	41	(20%)	36	(18%)	18	(9%)	38	(19%)	204
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	35	(13%)	77	(29%)	56	(21%)	34	(13%)	20	(8%)	41	(16%)	263
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	39	(14%)	81	(30%)	56	(21%)	33	(12%)	21	(8%)	41	(15%)	271
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	11	(7%)	49	(32%)	32	(21%)	25	(16%)	9	(6%)	29	(19%)	155
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	28	(11%)	79	(32%)	47	(19%)	36	(15%)	18	(7%)	40	(16%)	248
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	18	(9%)	63	(31%)	38	(19%)	35	(17%)	15	(7%)	36	(18%)	205

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	3 (7%)	5 (11%)	8 (18%)	6 (14%)	4 (9%)	18 (41%)	44
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	3 (6%)	4 (9%)	9 (19%)	6 (13%)	6 (13%)	19 (40%)	47
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	5 (8%)	5 (8%)	10 (15%)	6 (9%)	7 (11%)	32 (49%)	65
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	6 (10%)	5 (8%)	10 (16%)	7 (11%)	6 (10%)	27 (44%)	61
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	6 (10%)	5 (8%)	11 (18%)	6 (10%)	6 (10%)	27 (44%)	61
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4 (6%)	7 (11%)	10 (16%)	6 (9%)	6 (9%)	31 (48%)	64
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5 (7%)	8 (12%)	10 (15%)	6 (9%)	8 (12%)	30 (45%)	67
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	2 (4%)	6 (11%)	7 (13%)	5 (9%)	8 (15%)	27 (49%)	55
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	6 (9%)	7 (10%)	8 (12%)	7 (10%)	7 (10%)	33 (49%)	68
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	6 (9%)	5 (8%)	8 (12%)	8 (12%)	8 (12%)	31 (47%)	66
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	2 (4%)	3 (7%)	3 (7%)	5 (11%)	5 (11%)	27 (60%)	45
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	5 (8%)	3 (5%)	8 (13%)	6 (10%)	7 (12%)	31 (52%)	60
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	3 (6%)	3 (6%)	8 (15%)	6 (11%)	6 (11%)	28 (52%)	54

職種別_人リスト_社会福祉法人

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	13 (10%)	26 (19%)	31 (23%)	16 (12%)	13 (10%)	35 (26%)	134
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	12 (9%)	29 (21%)	29 (21%)	19 (14%)	12 (9%)	36 (26%)	137
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	10 (7%)	28 (18%)	32 (21%)	18 (12%)	20 (13%)	44 (29%)	152
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	12 (9%)	27 (20%)	32 (23%)	15 (11%)	14 (10%)	37 (27%)	137
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	13 (9%)	29 (21%)	29 (21%)	16 (11%)	15 (11%)	38 (27%)	140
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	11 (8%)	26 (18%)	31 (22%)	18 (13%)	16 (11%)	41 (29%)	143
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	12 (8%)	24 (17%)	31 (21%)	19 (13%)	17 (12%)	42 (29%)	145
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	6 (6%)	11 (11%)	19 (19%)	18 (18%)	11 (11%)	36 (36%)	101
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	12 (8%)	33 (22%)	29 (19%)	19 (13%)	15 (10%)	43 (28%)	151
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	11 (8%)	26 (18%)	30 (21%)	17 (12%)	16 (11%)	45 (31%)	145
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	6 (6%)	18 (18%)	22 (22%)	13 (13%)	8 (8%)	33 (33%)	100
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	12 (8%)	23 (16%)	30 (21%)	21 (15%)	14 (10%)	42 (30%)	142
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	8 (7%)	22 (18%)	22 (18%)	17 (14%)	14 (12%)	38 (31%)	121

職種別_人リスト_株式会社

OT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	68	(25%)	95	(35%)	59	(22%)	20	(7%)	12	(4%)	20	(7%)	274
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	67	(24%)	93	(34%)	61	(22%)	20	(7%)	12	(4%)	21	(8%)	274
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	67	(24%)	96	(34%)	61	(22%)	22	(8%)	12	(4%)	25	(9%)	283
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	68	(25%)	93	(34%)	58	(21%)	21	(8%)	12	(4%)	21	(8%)	273
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	62	(23%)	95	(35%)	57	(21%)	22	(8%)	13	(5%)	20	(7%)	269
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	65	(24%)	91	(34%)	57	(21%)	22	(8%)	13	(5%)	23	(8%)	271
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	60	(22%)	92	(34%)	60	(22%)	22	(8%)	12	(4%)	24	(9%)	270
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	35	(18%)	57	(30%)	46	(24%)	20	(11%)	13	(7%)	19	(10%)	190
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	66	(23%)	98	(35%)	60	(21%)	22	(8%)	13	(5%)	22	(8%)	281
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	72	(25%)	94	(33%)	60	(21%)	22	(8%)	12	(4%)	24	(8%)	284
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	30	(19%)	50	(31%)	37	(23%)	15	(9%)	7	(4%)	20	(13%)	159
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	64	(24%)	93	(35%)	55	(21%)	22	(8%)	11	(4%)	22	(8%)	267
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	46	(21%)	72	(33%)	45	(21%)	21	(10%)	8	(4%)	24	(11%)	216

職種別_人リスト_NPO法人

OT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	6	(9%)	16	(24%)	10	(15%)	7	(11%)	5	(8%)	22	(33%)	66
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	6	(9%)	16	(23%)	10	(14%)	7	(10%)	6	(9%)	24	(35%)	69
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	6	(8%)	15	(21%)	12	(17%)	7	(10%)	7	(10%)	25	(35%)	72
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	6	(9%)	15	(23%)	11	(17%)	6	(9%)	6	(9%)	22	(33%)	66
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	6	(9%)	14	(21%)	9	(13%)	8	(12%)	6	(9%)	24	(36%)	67
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	6	(9%)	14	(20%)	11	(16%)	8	(11%)	6	(9%)	25	(36%)	70
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5	(7%)	13	(19%)	11	(16%)	7	(10%)	6	(9%)	25	(37%)	67
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	2	(4%)	10	(19%)	7	(13%)	8	(15%)	4	(8%)	22	(42%)	53
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	5	(7%)	16	(23%)	11	(15%)	8	(11%)	6	(8%)	25	(35%)	71
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	6	(8%)	16	(22%)	11	(15%)	8	(11%)	6	(8%)	25	(35%)	72
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	3	(6%)	12	(24%)	6	(12%)	7	(14%)	6	(12%)	17	(33%)	51
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	6	(9%)	16	(24%)	7	(11%)	8	(12%)	6	(9%)	23	(35%)	66
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	5	(9%)	11	(20%)	7	(13%)	7	(13%)	5	(9%)	20	(36%)	55

職種別_人リスト_合同会社

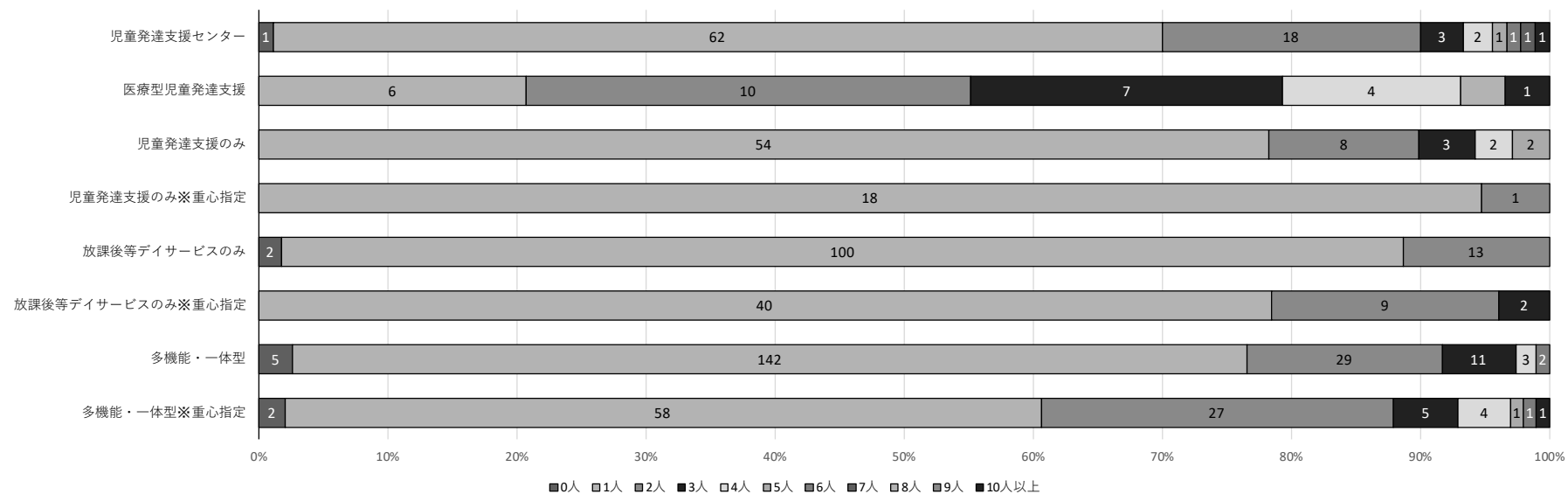
OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	8 (18%)	20 (44%)	5 (11%)	7 (16%)	1 (2%)	4 (9%)	45
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どものための個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	7 (16%)	19 (43%)	5 (11%)	7 (16%)	1 (2%)	5 (11%)	44
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	7 (15%)	21 (45%)	5 (11%)	7 (15%)	1 (2%)	6 (13%)	47
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	7 (15%)	22 (48%)	4 (9%)	7 (15%)	1 (2%)	5 (11%)	46
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	7 (16%)	19 (42%)	5 (11%)	7 (16%)	1 (2%)	6 (13%)	45
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	7 (16%)	19 (42%)	4 (9%)	7 (16%)	1 (2%)	7 (16%)	45
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	7 (16%)	20 (44%)	5 (11%)	6 (13%)	1 (2%)	6 (13%)	45
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	7 (23%)	9 (29%)	4 (13%)	5 (16%)	1 (3%)	5 (16%)	31
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	7 (15%)	21 (45%)	5 (11%)	6 (13%)	1 (2%)	7 (15%)	47
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	8 (17%)	21 (44%)	5 (10%)	6 (13%)	1 (2%)	7 (15%)	48
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	5 (17%)	14 (48%)	3 (10%)	3 (10%)	1 (3%)	3 (10%)	29
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	7 (16%)	19 (43%)	3 (7%)	7 (16%)	1 (2%)	7 (16%)	44
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	5 (14%)	16 (46%)	3 (9%)	6 (17%)	1 (3%)	4 (11%)	35

職種別_人リスト_一般社団法人

OT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT（作業療法士）としての専門性を発揮している	5 (12%)	11 (26%)	10 (23%)	3 (7%)	6 (14%)	8 (19%)	43
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT（作業療法士）の視点から提案している	6 (14%)	11 (25%)	11 (25%)	3 (7%)	6 (14%)	7 (16%)	44
③事業所内において、必要な時に、OT（作業療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	6 (13%)	12 (26%)	10 (21%)	4 (9%)	7 (15%)	8 (17%)	47
④ OT（作業療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (10%)	10 (24%)	11 (27%)	3 (7%)	6 (15%)	7 (17%)	41
⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	5 (11%)	10 (23%)	10 (23%)	4 (9%)	7 (16%)	8 (18%)	44
⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	5 (11%)	11 (24%)	12 (26%)	3 (7%)	7 (15%)	8 (17%)	46
⑦保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	6 (13%)	10 (22%)	10 (22%)	4 (9%)	7 (16%)	8 (18%)	45
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	5 (16%)	6 (19%)	6 (19%)	4 (13%)	5 (16%)	6 (19%)	32
⑨ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っている	6 (14%)	11 (25%)	9 (20%)	3 (7%)	7 (16%)	8 (18%)	44
⑩運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っている	6 (13%)	13 (28%)	9 (20%)	3 (7%)	7 (15%)	8 (17%)	46
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っている	3 (11%)	5 (19%)	5 (19%)	3 (11%)	4 (15%)	7 (26%)	27
⑫子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できる	4 (9%)	12 (27%)	10 (23%)	3 (7%)	7 (16%)	8 (18%)	44
⑬変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができる	3 (9%)	7 (21%)	7 (21%)	3 (9%)	6 (18%)	8 (24%)	34

(4) PT (理学療法士)

障害児支援を行う PT (理学療法士) の数



PT	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重 心指定	放課後等デイサービス のみ	放課後等デイサービ スのみ※重 心指定	多機能・一体型	多機能・一体型 ※重 心指定
0人	10 (2%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (2%)	0 (0%)	5 (3%)	2 (2%)
1人	481 (72%)	62 (69%)	6 (21%)	54 (78%)	18 (95%)	100 (87%)	40 (78%)	142 (74%)	58 (59%)
2人	116 (17%)	18 (20%)	10 (34%)	8 (12%)	1 (5%)	13 (11%)	9 (18%)	29 (15%)	27 (27%)
3人	31 (5%)	3 (3%)	7 (24%)	3 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (4%)	11 (6%)	5 (5%)
4人	15 (2%)	2 (2%)	4 (14%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (2%)	4 (4%)
5人	4 (1%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)
6人	4 (1%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	1 (1%)
7人	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
8人	1 (0%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
9人	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
10人以上	3 (0%)	1 (1%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)
合計	666 (100%)	90 (100%)	29 (100%)	69 (100%)	19 (100%)	115 (100%)	51 (100%)	192 (100%)	99 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（PT（理学療法士））が該当しますか。

PT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	132	(24%)	137	(24%)	89	(16%)	64	(11%)	23	(4%)	115	(21%)	560
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	128	(22%)	142	(25%)	88	(15%)	68	(12%)	26	(5%)	118	(21%)	570
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	134	(21%)	152	(24%)	86	(14%)	74	(12%)	29	(5%)	151	(24%)	626
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	130	(22%)	142	(24%)	84	(14%)	71	(12%)	28	(5%)	132	(22%)	587
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	125	(21%)	146	(25%)	86	(15%)	70	(12%)	26	(4%)	136	(23%)	589
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	124	(21%)	143	(24%)	91	(15%)	71	(12%)	29	(5%)	143	(24%)	601
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	120	(20%)	145	(24%)	86	(14%)	70	(12%)	32	(5%)	141	(24%)	594
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	73	(18%)	99	(24%)	56	(14%)	57	(14%)	23	(6%)	103	(25%)	411
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	137	(22%)	155	(25%)	89	(14%)	72	(11%)	32	(5%)	145	(23%)	630
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	139	(22%)	159	(25%)	89	(14%)	72	(11%)	30	(5%)	144	(23%)	633
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	73	(16%)	97	(22%)	64	(14%)	60	(13%)	23	(5%)	129	(29%)	446
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	47	(13%)	73	(21%)	51	(15%)	49	(14%)	22	(6%)	108	(31%)	350
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	80	(16%)	116	(23%)	73	(15%)	66	(13%)	28	(6%)	132	(27%)	495

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

PT	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	12	(17%)	11	(16%)	13	(19%)	8	(12%)	6	(9%)	19	(28%)	69
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	12	(16%)	12	(16%)	13	(18%)	7	(9%)	8	(11%)	22	(30%)	74
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	12	(14%)	13	(15%)	12	(14%)	10	(11%)	10	(11%)	31	(35%)	88
④ PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10	(13%)	10	(13%)	13	(17%)	10	(13%)	9	(12%)	25	(32%)	77
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	12	(15%)	11	(14%)	13	(16%)	10	(12%)	8	(10%)	27	(33%)	81
⑥ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	11	(13%)	13	(16%)	13	(16%)	10	(12%)	8	(10%)	28	(34%)	83
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10	(11%)	12	(14%)	14	(16%)	10	(11%)	11	(13%)	30	(34%)	87
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	8	(12%)	9	(14%)	8	(12%)	8	(12%)	8	(12%)	24	(37%)	65
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	12	(14%)	13	(15%)	14	(16%)	9	(10%)	9	(10%)	31	(35%)	88
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	13	(14%)	14	(16%)	14	(16%)	9	(10%)	9	(10%)	31	(34%)	90
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	6	(8%)	11	(15%)	11	(15%)	10	(14%)	7	(10%)	28	(38%)	73
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	4	(8%)	8	(15%)	7	(13%)	7	(13%)	5	(9%)	22	(42%)	53
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	7	(9%)	10	(13%)	12	(16%)	10	(13%)	8	(10%)	30	(39%)	77

職種別_別リスト_医療型・重症児

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	19 (12%)	27 (17%)	35 (22%)	21 (13%)	8 (5%)	51 (32%)	161
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	17 (10%)	28 (17%)	35 (21%)	25 (15%)	9 (5%)	51 (31%)	165
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	24 (12%)	32 (17%)	34 (18%)	28 (15%)	9 (5%)	66 (34%)	193
④ PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	23 (13%)	29 (16%)	34 (19%)	23 (13%)	9 (5%)	59 (33%)	177
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	19 (10%)	34 (19%)	35 (19%)	22 (12%)	9 (5%)	62 (34%)	181
⑥ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	17 (9%)	30 (16%)	37 (20%)	24 (13%)	10 (5%)	64 (35%)	182
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	15 (9%)	30 (17%)	34 (20%)	23 (13%)	11 (6%)	60 (35%)	173
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	8 (7%)	16 (15%)	22 (20%)	15 (14%)	7 (6%)	41 (38%)	109
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	24 (12%)	33 (17%)	37 (19%)	25 (13%)	11 (6%)	64 (33%)	194
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	25 (13%)	37 (19%)	35 (18%)	25 (13%)	9 (5%)	62 (32%)	193
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	17 (10%)	22 (13%)	31 (19%)	23 (14%)	9 (5%)	63 (38%)	165
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	17 (11%)	21 (13%)	29 (19%)	22 (14%)	11 (7%)	56 (36%)	156
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	23 (12%)	35 (18%)	37 (19%)	26 (13%)	10 (5%)	64 (33%)	195

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	21 (36%)	14 (24%)	8 (14%)	4 (7%)	0 (0%)	11 (19%)	58
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	19 (33%)	14 (25%)	8 (14%)	4 (7%)	0 (0%)	12 (21%)	57
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	17 (27%)	17 (27%)	8 (13%)	4 (6%)	0 (0%)	16 (26%)	62
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	18 (30%)	17 (28%)	7 (12%)	5 (8%)	0 (0%)	13 (22%)	60
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	19 (31%)	17 (27%)	7 (11%)	5 (8%)	0 (0%)	14 (23%)	62
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	17 (27%)	18 (29%)	9 (14%)	4 (6%)	0 (0%)	15 (24%)	63
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	16 (25%)	18 (28%)	9 (14%)	4 (6%)	0 (0%)	17 (27%)	64
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	8 (19%)	15 (35%)	6 (14%)	5 (12%)	0 (0%)	9 (21%)	43
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	18 (27%)	20 (30%)	7 (11%)	4 (6%)	0 (0%)	17 (26%)	66
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	20 (30%)	19 (28%)	7 (10%)	4 (6%)	0 (0%)	17 (25%)	67
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	4 (13%)	8 (27%)	5 (17%)	2 (7%)	0 (0%)	11 (37%)	30
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	2 (10%)	8 (38%)	3 (14%)	1 (5%)	0 (0%)	7 (33%)	21
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	4 (14%)	10 (34%)	4 (14%)	1 (3%)	0 (0%)	10 (34%)	29

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	25 (25%)	40 (40%)	15 (15%)	11 (11%)	1 (1%)	9 (9%)	101
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	25 (25%)	40 (40%)	15 (15%)	11 (11%)	1 (1%)	9 (9%)	101
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	26 (25%)	40 (39%)	14 (14%)	11 (11%)	1 (1%)	11 (11%)	103
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	25 (25%)	38 (38%)	13 (13%)	11 (11%)	1 (1%)	11 (11%)	99
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	25 (26%)	36 (37%)	13 (13%)	11 (11%)	1 (1%)	11 (11%)	97
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	26 (27%)	34 (35%)	14 (14%)	11 (11%)	2 (2%)	11 (11%)	98
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	23 (25%)	36 (39%)	12 (13%)	11 (12%)	1 (1%)	10 (11%)	93
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	12 (19%)	25 (40%)	5 (8%)	11 (17%)	1 (2%)	9 (14%)	63
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	26 (26%)	39 (39%)	13 (13%)	11 (11%)	3 (3%)	9 (9%)	101
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	26 (25%)	40 (39%)	14 (14%)	11 (11%)	3 (3%)	9 (9%)	103
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	17 (26%)	25 (38%)	8 (12%)	7 (11%)	1 (2%)	7 (11%)	65
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	7 (17%)	17 (41%)	4 (10%)	5 (12%)	0 (0%)	8 (20%)	41
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	17 (24%)	27 (38%)	10 (14%)	8 (11%)	2 (3%)	8 (11%)	72

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	55 (33%)	45 (27%)	18 (11%)	18 (11%)	8 (5%)	25 (15%)	169
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	55 (32%)	48 (28%)	17 (10%)	19 (11%)	8 (5%)	24 (14%)	171
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	55 (31%)	50 (28%)	18 (10%)	19 (11%)	9 (5%)	27 (15%)	178
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	54 (31%)	48 (28%)	17 (10%)	20 (12%)	9 (5%)	24 (14%)	172
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	50 (30%)	48 (29%)	18 (11%)	20 (12%)	8 (5%)	22 (13%)	166
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	53 (31%)	48 (28%)	18 (10%)	20 (12%)	9 (5%)	25 (14%)	173
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	56 (32%)	49 (28%)	17 (10%)	20 (11%)	9 (5%)	24 (14%)	175
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	37 (29%)	34 (26%)	15 (12%)	16 (12%)	7 (5%)	20 (16%)	129
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	57 (32%)	50 (28%)	18 (10%)	21 (12%)	9 (5%)	24 (13%)	179
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	55 (31%)	49 (28%)	19 (11%)	21 (12%)	9 (5%)	25 (14%)	178
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	29 (26%)	31 (28%)	9 (8%)	16 (14%)	6 (5%)	20 (18%)	111
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	17 (22%)	19 (25%)	8 (10%)	12 (16%)	6 (8%)	15 (19%)	77
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	29 (24%)	34 (28%)	10 (8%)	19 (16%)	8 (7%)	20 (17%)	120

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	3 (7%)	5 (12%)	2 (5%)	7 (17%)	3 (7%)	22 (52%)	42
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	3 (7%)	5 (11%)	2 (4%)	7 (16%)	4 (9%)	24 (53%)	45
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	3 (5%)	6 (10%)	3 (5%)	6 (10%)	7 (12%)	33 (57%)	58
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (8%)	6 (11%)	3 (6%)	8 (15%)	7 (13%)	25 (47%)	53
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (8%)	6 (11%)	3 (6%)	7 (13%)	6 (11%)	27 (51%)	53
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	3 (5%)	6 (11%)	3 (5%)	7 (13%)	6 (11%)	31 (55%)	56
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	3 (5%)	5 (9%)	4 (7%)	7 (12%)	7 (12%)	32 (55%)	58
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3 (6%)	4 (9%)	2 (4%)	5 (11%)	7 (15%)	26 (55%)	47
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	4 (7%)	5 (8%)	5 (8%)	6 (10%)	7 (12%)	32 (54%)	59
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	4 (7%)	6 (10%)	5 (8%)	6 (10%)	7 (12%)	31 (53%)	59
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	2 (4%)	5 (10%)	4 (8%)	6 (12%)	6 (12%)	28 (55%)	51
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	2 (6%)	5 (14%)	1 (3%)	4 (11%)	4 (11%)	20 (56%)	36
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	3 (6%)	4 (8%)	5 (9%)	5 (9%)	7 (13%)	29 (55%)	53

職種別_人リスト_社会福祉法人

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	13 (12%)	23 (21%)	29 (27%)	17 (16%)	4 (4%)	23 (21%)	109
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	13 (11%)	24 (21%)	29 (25%)	18 (16%)	6 (5%)	25 (22%)	115
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	14 (11%)	26 (20%)	30 (23%)	21 (16%)	6 (5%)	32 (25%)	129
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	13 (12%)	21 (19%)	28 (25%)	16 (14%)	5 (4%)	30 (27%)	113
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	13 (11%)	23 (20%)	28 (24%)	16 (14%)	6 (5%)	31 (26%)	117
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	13 (11%)	23 (19%)	29 (24%)	18 (15%)	6 (5%)	31 (26%)	120
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	12 (10%)	23 (19%)	26 (22%)	19 (16%)	9 (8%)	30 (25%)	119
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	6 (7%)	18 (22%)	16 (20%)	13 (16%)	6 (7%)	22 (27%)	81
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	14 (11%)	28 (22%)	29 (23%)	18 (14%)	7 (5%)	32 (25%)	128
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	14 (11%)	28 (22%)	29 (22%)	19 (15%)	6 (5%)	33 (26%)	129
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	9 (8%)	22 (21%)	22 (21%)	20 (19%)	4 (4%)	30 (28%)	107
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	4 (5%)	12 (15%)	18 (22%)	16 (20%)	5 (6%)	27 (33%)	82
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	11 (10%)	23 (20%)	23 (20%)	20 (18%)	4 (4%)	33 (29%)	114

職種別_人リスト_株式会社

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	79 (34%)	79 (34%)	34 (15%)	26 (11%)	6 (3%)	10 (4%)	234
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	75 (32%)	82 (35%)	34 (15%)	27 (12%)	6 (3%)	10 (4%)	234
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	81 (33%)	85 (35%)	32 (13%)	27 (11%)	6 (2%)	13 (5%)	244
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	78 (33%)	84 (35%)	31 (13%)	27 (11%)	6 (3%)	12 (5%)	238
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	73 (31%)	87 (37%)	31 (13%)	26 (11%)	5 (2%)	12 (5%)	234
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	75 (32%)	84 (35%)	33 (14%)	27 (11%)	6 (3%)	12 (5%)	237
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	74 (31%)	85 (36%)	32 (14%)	26 (11%)	6 (3%)	12 (5%)	235
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	47 (28%)	57 (35%)	21 (13%)	24 (15%)	5 (3%)	11 (7%)	165
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	83 (34%)	86 (35%)	32 (13%)	27 (11%)	6 (2%)	11 (4%)	245
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	81 (33%)	87 (36%)	32 (13%)	27 (11%)	6 (2%)	11 (5%)	244
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	42 (29%)	51 (35%)	19 (13%)	19 (13%)	4 (3%)	10 (7%)	145
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	27 (23%)	44 (37%)	18 (15%)	15 (13%)	4 (3%)	10 (8%)	118
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	46 (27%)	63 (37%)	26 (15%)	23 (13%)	5 (3%)	9 (5%)	172

職種別_人リスト_NPO法人

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	7 (13%)	7 (13%)	8 (15%)	6 (11%)	5 (9%)	22 (40%)	55
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	8 (14%)	7 (13%)	8 (14%)	6 (11%)	5 (9%)	22 (39%)	56
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	7 (11%)	10 (15%)	6 (9%)	7 (11%)	6 (9%)	29 (45%)	65
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	8 (13%)	7 (12%)	7 (12%)	7 (12%)	6 (10%)	25 (42%)	60
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	6 (11%)	7 (13%)	8 (15%)	6 (11%)	5 (9%)	23 (42%)	55
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	5 (8%)	7 (12%)	8 (14%)	6 (10%)	7 (12%)	26 (44%)	59
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	6 (10%)	5 (9%)	7 (12%)	6 (10%)	6 (10%)	28 (48%)	58
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3 (9%)	3 (9%)	4 (12%)	7 (21%)	2 (6%)	15 (44%)	34
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	8 (13%)	7 (11%)	8 (13%)	6 (9%)	8 (13%)	27 (42%)	64
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	8 (12%)	9 (14%)	8 (12%)	6 (9%)	7 (11%)	27 (42%)	65
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	4 (8%)	6 (12%)	7 (14%)	6 (12%)	6 (12%)	21 (42%)	50
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	2 (5%)	3 (8%)	4 (11%)	5 (14%)	4 (11%)	19 (51%)	37
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	5 (10%)	7 (13%)	6 (12%)	6 (12%)	8 (15%)	20 (38%)	52

職種別_人リスト_合同会社

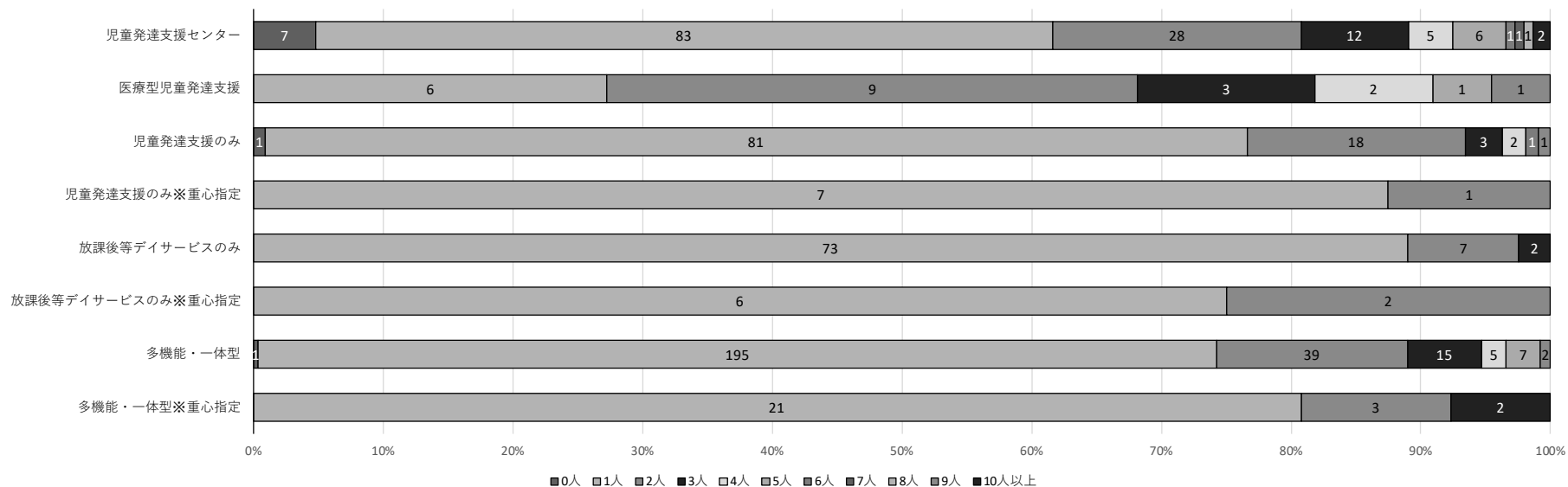
PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	13 (30%)	13 (30%)	7 (16%)	2 (5%)	1 (2%)	7 (16%)	43
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	13 (30%)	13 (30%)	6 (14%)	3 (7%)	1 (2%)	7 (16%)	43
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	12 (27%)	13 (29%)	6 (13%)	5 (11%)	1 (2%)	8 (18%)	45
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	11 (26%)	12 (29%)	5 (12%)	6 (14%)	1 (2%)	7 (17%)	42
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	11 (26%)	12 (28%)	5 (12%)	6 (14%)	1 (2%)	8 (19%)	43
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	11 (26%)	12 (29%)	6 (14%)	4 (10%)	1 (2%)	8 (19%)	42
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10 (24%)	12 (29%)	7 (17%)	4 (10%)	1 (2%)	8 (19%)	42
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	6 (21%)	9 (32%)	4 (14%)	2 (7%)	0 (0%)	7 (25%)	28
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	10 (23%)	14 (32%)	6 (14%)	5 (11%)	1 (2%)	8 (18%)	44
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	11 (24%)	14 (31%)	6 (13%)	5 (11%)	1 (2%)	8 (18%)	45
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	7 (25%)	6 (21%)	2 (7%)	4 (14%)	1 (4%)	8 (29%)	28
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	6 (26%)	4 (17%)	2 (9%)	4 (17%)	1 (4%)	6 (26%)	23
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	7 (23%)	7 (23%)	3 (10%)	4 (13%)	1 (3%)	8 (27%)	30

職種別_人リスト_一般社団法人

PT	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT（理学療法士）としての専門性を発揮している	10 (27%)	4 (11%)	5 (14%)	2 (5%)	0 (0%)	16 (43%)	37
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT（理学療法士）の視点から提案している	10 (26%)	5 (13%)	5 (13%)	3 (8%)	0 (0%)	15 (39%)	38
③事業所内において、必要な時に、PT（理学療法士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	10 (28%)	4 (11%)	4 (11%)	3 (8%)	0 (0%)	15 (42%)	36
④PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	9 (27%)	4 (12%)	5 (15%)	2 (6%)	0 (0%)	13 (39%)	33
⑤PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	11 (28%)	4 (10%)	5 (13%)	3 (8%)	0 (0%)	16 (41%)	39
⑥PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	11 (28%)	5 (13%)	5 (13%)	3 (8%)	0 (0%)	16 (40%)	40
⑦保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10 (28%)	6 (17%)	5 (14%)	2 (6%)	0 (0%)	13 (36%)	36
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	7 (29%)	3 (13%)	4 (17%)	1 (4%)	0 (0%)	9 (38%)	24
⑨心身機能・運動発達について、適切な支援を行っている	9 (23%)	6 (15%)	5 (13%)	3 (8%)	0 (0%)	16 (41%)	39
⑩生活における姿勢保持について、適切な支援を行っている	11 (27%)	6 (15%)	5 (12%)	3 (7%)	0 (0%)	16 (39%)	41
⑪車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っている	5 (18%)	3 (11%)	5 (18%)	1 (4%)	0 (0%)	14 (50%)	28
⑫呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っている	4 (17%)	2 (8%)	4 (17%)	1 (4%)	0 (0%)	13 (54%)	24
⑬変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っている	4 (13%)	4 (13%)	5 (17%)	2 (7%)	0 (0%)	15 (50%)	30

(5) ST（言語聴覚士）

障害児支援を行う ST（言語聴覚士）の数



ST	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみ	放課後等デイサービスのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	9 (1%)	7 (5%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)
1人	473 (71%)	83 (57%)	6 (27%)	81 (76%)	7 (88%)	73 (89%)	6 (75%)	195 (74%)	21 (81%)
2人	107 (16%)	28 (19%)	9 (41%)	18 (17%)	1 (13%)	7 (9%)	2 (25%)	39 (15%)	3 (12%)
3人	37 (6%)	12 (8%)	3 (14%)	3 (3%)	0 (0%)	2 (2%)	0 (0%)	15 (6%)	2 (8%)
4人	14 (2%)	5 (3%)	2 (9%)	2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (2%)	0 (0%)
5人	14 (2%)	6 (4%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (3%)	0 (0%)
6人	2 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
7人	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
8人	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
9人	4 (1%)	0 (0%)	1 (5%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)
10人以上	2 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	664 (100%)	146 (100%)	22 (100%)	107 (100%)	8 (100%)	82 (100%)	8 (100%)	264 (100%)	26 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（ST（言語聴覚士））が該当しますか。

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	73	(13%)	139	(25%)	82	(15%)	73	(13%)	44	(8%)	139	(25%)	550
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	68	(12%)	137	(25%)	88	(16%)	71	(13%)	49	(9%)	146	(26%)	559
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	72	(11%)	130	(21%)	96	(15%)	83	(13%)	53	(8%)	195	(31%)	629
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	77	(13%)	133	(22%)	96	(16%)	82	(14%)	45	(7%)	170	(28%)	603
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	76	(12%)	139	(23%)	92	(15%)	84	(14%)	48	(8%)	178	(29%)	617
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	71	(11%)	132	(21%)	97	(16%)	79	(13%)	51	(8%)	189	(31%)	619
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	65	(11%)	133	(22%)	98	(16%)	82	(13%)	52	(8%)	188	(30%)	618
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	36	(8%)	93	(20%)	74	(16%)	67	(15%)	42	(9%)	148	(32%)	460
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	76	(12%)	135	(22%)	95	(15%)	80	(13%)	50	(8%)	188	(30%)	624
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	75	(12%)	134	(21%)	101	(16%)	84	(13%)	53	(8%)	189	(30%)	636
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	50	(10%)	102	(21%)	77	(16%)	67	(14%)	35	(7%)	153	(32%)	484
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	21	(9%)	45	(18%)	31	(13%)	40	(16%)	20	(8%)	89	(36%)	246
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	16	(9%)	40	(22%)	23	(12%)	32	(17%)	12	(6%)	63	(34%)	186
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	14	(9%)	37	(24%)	22	(14%)	26	(17%)	10	(7%)	43	(28%)	152

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	9	(9%)	17	(17%)	14	(14%)	18	(18%)	15	(15%)	28	(28%)	101
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	9	(8%)	17	(15%)	18	(16%)	16	(14%)	18	(16%)	33	(30%)	111
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	9	(6%)	16	(11%)	22	(16%)	18	(13%)	20	(14%)	56	(40%)	141
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	13	(10%)	19	(15%)	19	(15%)	19	(15%)	17	(13%)	42	(33%)	129
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	12	(9%)	18	(13%)	20	(15%)	21	(16%)	17	(13%)	46	(34%)	134
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	10	(7%)	19	(14%)	19	(14%)	17	(13%)	19	(14%)	52	(38%)	136
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	9	(6%)	20	(14%)	19	(13%)	18	(13%)	21	(15%)	54	(38%)	141
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3	(3%)	13	(12%)	16	(15%)	15	(14%)	17	(16%)	43	(40%)	107
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	11	(8%)	18	(13%)	17	(13%)	19	(14%)	20	(15%)	51	(38%)	136
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	11	(8%)	17	(12%)	20	(14%)	19	(14%)	21	(15%)	52	(37%)	140
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	7	(6%)	12	(11%)	15	(14%)	20	(18%)	15	(14%)	42	(38%)	111
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	4	(6%)	10	(16%)	5	(8%)	11	(17%)	11	(17%)	22	(35%)	63
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	2	(4%)	9	(18%)	6	(12%)	9	(18%)	6	(12%)	19	(37%)	51
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	1	(3%)	6	(19%)	3	(9%)	7	(22%)	6	(19%)	9	(28%)	32

職種別_別リスト_医療型・重症児

ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	1 (2%)	7 (15%)	10 (21%)	9 (19%)	5 (11%)	15 (32%)	47
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	0 (0%)	6 (13%)	11 (23%)	9 (19%)	5 (10%)	17 (35%)	48
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	1 (2%)	7 (11%)	11 (17%)	12 (19%)	5 (8%)	28 (44%)	64
④ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	2 (3%)	8 (14%)	10 (17%)	11 (19%)	3 (5%)	24 (41%)	58
⑤ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	1 (2%)	10 (18%)	11 (19%)	9 (16%)	4 (7%)	22 (39%)	57
⑥ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	1 (2%)	7 (12%)	14 (23%)	9 (15%)	4 (7%)	25 (42%)	60
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	1 (2%)	7 (11%)	14 (23%)	11 (18%)	4 (7%)	24 (39%)	61
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	0 (0%)	3 (7%)	11 (24%)	9 (20%)	3 (7%)	20 (43%)	46
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	3 (5%)	5 (8%)	13 (21%)	12 (19%)	4 (6%)	26 (41%)	63
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	3 (5%)	6 (10%)	13 (21%)	10 (16%)	4 (6%)	26 (42%)	62
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	2 (4%)	6 (11%)	11 (20%)	9 (17%)	3 (6%)	23 (43%)	54
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	0 (0%)	4 (13%)	6 (19%)	5 (16%)	2 (6%)	15 (47%)	32
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	1 (4%)	6 (21%)	4 (14%)	4 (14%)	2 (7%)	11 (39%)	28
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	0 (0%)	1 (5%)	6 (32%)	4 (21%)	1 (5%)	7 (37%)	19

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	13	(14%)	24	(26%)	16	(17%)	6	(6%)	8	(9%)	26	(28%)	93
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	14	(15%)	24	(26%)	16	(17%)	6	(6%)	8	(9%)	25	(27%)	93
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	16	(15%)	23	(22%)	18	(17%)	8	(8%)	8	(8%)	31	(30%)	104
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	17	(17%)	21	(21%)	19	(19%)	7	(7%)	7	(7%)	27	(28%)	98
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	17	(16%)	24	(23%)	17	(16%)	8	(8%)	8	(8%)	30	(29%)	104
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	17	(16%)	23	(22%)	19	(18%)	8	(8%)	8	(8%)	30	(29%)	105
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	15	(14%)	23	(22%)	18	(17%)	9	(9%)	8	(8%)	31	(30%)	104
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	8	(12%)	15	(22%)	12	(17%)	7	(10%)	6	(9%)	21	(30%)	69
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	15	(15%)	23	(23%)	18	(18%)	6	(6%)	8	(8%)	31	(31%)	101
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	16	(15%)	22	(21%)	19	(18%)	9	(8%)	9	(8%)	31	(29%)	106
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	6	(9%)	14	(21%)	13	(20%)	3	(5%)	6	(9%)	24	(36%)	66
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	5	(15%)	3	(9%)	3	(9%)	4	(12%)	2	(6%)	16	(48%)	33
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	4	(17%)	4	(17%)	2	(9%)	2	(9%)	1	(4%)	10	(43%)	23
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	3	(19%)	4	(25%)	2	(13%)	1	(6%)	0	(0%)	6	(38%)	16

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	12	(17%)	25	(36%)	4	(6%)	9	(13%)	4	(6%)	16	(23%)	70
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	9	(13%)	25	(37%)	5	(7%)	9	(13%)	4	(6%)	16	(24%)	68
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	10	(14%)	25	(36%)	4	(6%)	9	(13%)	4	(6%)	17	(25%)	69
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10	(15%)	24	(36%)	4	(6%)	9	(13%)	4	(6%)	16	(24%)	67
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	10	(15%)	24	(36%)	3	(4%)	8	(12%)	4	(6%)	18	(27%)	67
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	9	(14%)	24	(37%)	3	(5%)	8	(12%)	4	(6%)	17	(26%)	65
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	10	(15%)	23	(35%)	3	(5%)	8	(12%)	4	(6%)	17	(26%)	65
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4	(10%)	17	(40%)	3	(7%)	5	(12%)	4	(10%)	9	(21%)	42
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	12	(17%)	25	(36%)	3	(4%)	8	(11%)	4	(6%)	18	(26%)	70
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	11	(15%)	26	(36%)	5	(7%)	8	(11%)	4	(6%)	18	(25%)	72
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	9	(16%)	21	(38%)	4	(7%)	7	(13%)	2	(4%)	12	(22%)	55
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	2	(8%)	12	(46%)	2	(8%)	3	(12%)	1	(4%)	6	(23%)	26
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	2	(9%)	9	(41%)	1	(5%)	3	(14%)	1	(5%)	6	(27%)	22
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	1	(5%)	11	(52%)	1	(5%)	2	(10%)	1	(5%)	5	(24%)	21

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	38	(16%)	66	(28%)	38	(16%)	31	(13%)	12	(5%)	53	(22%)	238
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	36	(15%)	65	(27%)	38	(16%)	31	(13%)	14	(6%)	54	(23%)	238
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	36	(14%)	59	(24%)	41	(16%)	36	(14%)	16	(6%)	62	(25%)	250
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	35	(14%)	61	(24%)	44	(18%)	36	(14%)	14	(6%)	60	(24%)	250
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	36	(14%)	63	(25%)	41	(16%)	38	(15%)	15	(6%)	61	(24%)	254
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	34	(13%)	59	(23%)	42	(17%)	37	(15%)	16	(6%)	64	(25%)	252
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	30	(12%)	60	(24%)	44	(18%)	36	(15%)	15	(6%)	61	(25%)	246
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	21	(11%)	45	(23%)	32	(16%)	31	(16%)	12	(6%)	54	(28%)	195
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	35	(14%)	64	(25%)	44	(17%)	35	(14%)	14	(6%)	61	(24%)	253
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	34	(13%)	63	(25%)	44	(17%)	38	(15%)	15	(6%)	61	(24%)	255
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	26	(13%)	49	(25%)	34	(17%)	28	(14%)	9	(5%)	51	(26%)	197
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	10	(11%)	16	(18%)	15	(16%)	17	(19%)	4	(4%)	29	(32%)	91
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	7	(11%)	12	(20%)	10	(16%)	14	(23%)	2	(3%)	16	(26%)	61
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	9	(14%)	15	(24%)	10	(16%)	12	(19%)	2	(3%)	15	(24%)	63

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	1 (2%)	7 (16%)	6 (13%)	9 (20%)	3 (7%)	19 (42%)	45
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	1 (2%)	7 (13%)	8 (15%)	8 (15%)	4 (8%)	25 (47%)	53
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	1 (1%)	5 (7%)	11 (15%)	10 (13%)	5 (7%)	43 (57%)	75
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	5 (8%)	6 (9%)	10 (15%)	8 (12%)	6 (9%)	31 (47%)	66
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (6%)	8 (11%)	9 (13%)	10 (14%)	5 (7%)	35 (49%)	71
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	2 (3%)	9 (12%)	10 (14%)	9 (12%)	5 (7%)	38 (52%)	73
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	1 (1%)	10 (13%)	8 (11%)	11 (14%)	5 (7%)	41 (54%)	76
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (2%)	5 (8%)	8 (13%)	9 (15%)	5 (8%)	33 (54%)	61
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	3 (4%)	8 (11%)	9 (12%)	9 (12%)	6 (8%)	38 (52%)	73
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	2 (3%)	6 (8%)	11 (15%)	11 (15%)	6 (8%)	39 (52%)	75
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	2 (4%)	3 (5%)	7 (13%)	8 (14%)	4 (7%)	32 (57%)	56
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	1 (3%)	3 (8%)	2 (6%)	8 (22%)	3 (8%)	19 (53%)	36
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	1 (3%)	3 (10%)	3 (10%)	5 (17%)	2 (7%)	16 (53%)	30
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	0 (0%)	3 (20%)	1 (7%)	3 (20%)	1 (7%)	7 (47%)	15

職種別_人リスト_社会福祉法人

ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	11 (8%)	19 (14%)	20 (15%)	21 (16%)	18 (14%)	44 (33%)	133
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	9 (7%)	16 (12%)	22 (17%)	21 (16%)	20 (15%)	43 (33%)	131
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	9 (6%)	18 (12%)	23 (15%)	25 (16%)	20 (13%)	61 (39%)	156
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	9 (6%)	20 (13%)	23 (15%)	27 (18%)	15 (10%)	55 (37%)	149
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	9 (6%)	21 (14%)	25 (16%)	25 (16%)	15 (10%)	57 (38%)	152
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	9 (6%)	18 (12%)	25 (16%)	22 (14%)	18 (12%)	60 (39%)	152
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	9 (6%)	18 (12%)	25 (16%)	25 (16%)	19 (12%)	59 (38%)	155
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4 (4%)	13 (11%)	19 (17%)	20 (18%)	15 (13%)	43 (38%)	114
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	11 (7%)	17 (11%)	23 (15%)	25 (16%)	18 (12%)	62 (40%)	156
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	11 (7%)	17 (11%)	25 (16%)	24 (15%)	19 (12%)	62 (39%)	158
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	8 (7%)	16 (13%)	16 (13%)	22 (18%)	14 (12%)	43 (36%)	119
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	4 (7%)	5 (9%)	8 (14%)	12 (21%)	9 (16%)	20 (34%)	58
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	3 (7%)	8 (18%)	6 (13%)	10 (22%)	4 (9%)	14 (31%)	45
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	2 (6%)	2 (6%)	5 (16%)	8 (26%)	5 (16%)	9 (29%)	31

職種別_人リスト_株式会社

ST	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	40	(22%)	64	(36%)	24	(13%)	23	(13%)	4	(2%)	25	(14%)	180
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	37	(21%)	64	(36%)	25	(14%)	23	(13%)	5	(3%)	26	(14%)	180
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	37	(20%)	62	(34%)	27	(15%)	25	(14%)	5	(3%)	27	(15%)	183
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	36	(20%)	62	(35%)	26	(15%)	25	(14%)	4	(2%)	26	(15%)	179
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	37	(20%)	63	(35%)	24	(13%)	25	(14%)	5	(3%)	28	(15%)	182
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	36	(20%)	60	(33%)	26	(14%)	25	(14%)	6	(3%)	29	(16%)	182
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	34	(19%)	61	(34%)	29	(16%)	24	(13%)	5	(3%)	28	(15%)	181
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	24	(18%)	42	(32%)	20	(15%)	19	(15%)	6	(5%)	19	(15%)	130
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	35	(19%)	64	(35%)	28	(15%)	23	(13%)	5	(3%)	28	(15%)	183
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	36	(19%)	64	(34%)	28	(15%)	25	(13%)	6	(3%)	27	(15%)	186
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	26	(18%)	50	(35%)	23	(16%)	20	(14%)	2	(1%)	23	(16%)	144
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	12	(18%)	22	(33%)	9	(14%)	10	(15%)	2	(3%)	11	(17%)	66
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	10	(19%)	18	(33%)	5	(9%)	8	(15%)	2	(4%)	11	(20%)	54
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	10	(19%)	18	(34%)	7	(13%)	9	(17%)	0	(0%)	9	(17%)	53

職種別_人リスト_NPO法人

ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	3 (5%)	19 (29%)	7 (11%)	8 (12%)	8 (12%)	20 (31%)	65
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	3 (5%)	17 (26%)	7 (11%)	7 (11%)	8 (12%)	24 (36%)	66
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	4 (6%)	16 (23%)	8 (11%)	8 (11%)	8 (11%)	27 (38%)	71
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (6%)	18 (26%)	8 (11%)	8 (11%)	7 (10%)	25 (36%)	70
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (6%)	18 (26%)	6 (9%)	9 (13%)	9 (13%)	24 (34%)	70
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	3 (4%)	17 (24%)	7 (10%)	8 (11%)	8 (11%)	28 (39%)	71
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5 (7%)	16 (23%)	7 (10%)	8 (11%)	8 (11%)	27 (38%)	71
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (2%)	12 (23%)	4 (8%)	7 (13%)	5 (10%)	23 (44%)	52
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	6 (8%)	17 (23%)	7 (10%)	8 (11%)	9 (12%)	26 (36%)	73
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	4 (5%)	18 (24%)	8 (11%)	9 (12%)	9 (12%)	26 (35%)	74
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	3 (5%)	14 (24%)	7 (12%)	6 (10%)	7 (12%)	22 (37%)	59
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	2 (6%)	7 (22%)	1 (3%)	3 (9%)	3 (9%)	16 (50%)	32
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	0 (0%)	5 (28%)	0 (0%)	2 (11%)	3 (17%)	8 (44%)	18
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	0 (0%)	5 (28%)	0 (0%)	2 (11%)	3 (17%)	8 (44%)	18

職種別_人リスト_合同会社

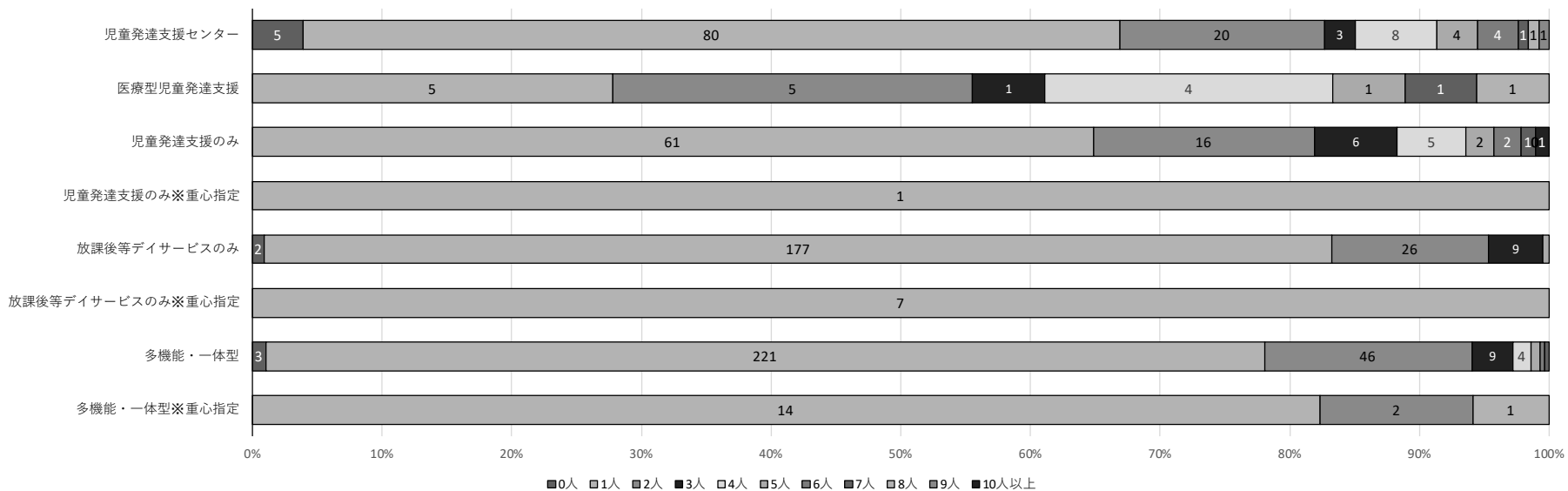
ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	9 (20%)	7 (16%)	6 (14%)	6 (14%)	6 (14%)	10 (23%)	44
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	10 (21%)	8 (17%)	7 (15%)	6 (13%)	6 (13%)	10 (21%)	47
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	10 (21%)	6 (13%)	8 (17%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (21%)	47
④ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10 (22%)	5 (11%)	8 (17%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (22%)	46
⑤ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	10 (21%)	6 (13%)	8 (17%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (21%)	47
⑥ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	10 (21%)	6 (13%)	8 (17%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (21%)	47
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	7 (17%)	6 (14%)	8 (19%)	5 (12%)	7 (17%)	9 (21%)	42
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4 (13%)	3 (10%)	7 (23%)	3 (10%)	6 (20%)	7 (23%)	30
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	10 (22%)	6 (13%)	7 (15%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (22%)	46
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	10 (21%)	7 (15%)	8 (17%)	6 (13%)	7 (15%)	10 (21%)	48
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	7 (20%)	6 (17%)	4 (11%)	4 (11%)	4 (11%)	10 (29%)	35
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	1 (9%)	2 (18%)	1 (9%)	2 (18%)	0 (0%)	5 (45%)	11
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	1 (10%)	2 (20%)	1 (10%)	3 (30%)	0 (0%)	3 (30%)	10
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	1 (11%)	3 (33%)	1 (11%)	2 (22%)	0 (0%)	2 (22%)	9

職種別_人リスト_一般社団法人

ST	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮している	4 (11%)	11 (29%)	6 (16%)	2 (5%)	4 (11%)	11 (29%)	38
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案している	4 (11%)	11 (29%)	6 (16%)	2 (5%)	4 (11%)	11 (29%)	38
③事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしている	5 (13%)	10 (26%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	11 (28%)	39
④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	5 (13%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	11 (28%)	40
⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践している	5 (13%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	11 (28%)	40
⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	5 (13%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	10 (26%)	39
⑦保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5 (13%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	10 (26%)	39
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (3%)	9 (28%)	6 (19%)	3 (9%)	2 (6%)	11 (34%)	32
⑨話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について、ST（言語聴覚士）として適切な支援を行っている	5 (13%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	3 (8%)	11 (28%)	39
⑩子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っている	4 (10%)	11 (28%)	6 (15%)	3 (8%)	4 (10%)	12 (30%)	40
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っている	2 (6%)	7 (22%)	6 (19%)	3 (9%)	3 (9%)	11 (34%)	32
⑫人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っている	0 (0%)	3 (16%)	4 (21%)	2 (11%)	0 (0%)	10 (53%)	19
⑬聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っている	0 (0%)	3 (19%)	4 (25%)	2 (13%)	0 (0%)	7 (44%)	16
⑭手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っている	0 (0%)	3 (20%)	4 (27%)	1 (7%)	0 (0%)	7 (47%)	15

(6) 心理職

障害児支援を行う心理職の数



心理職	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみ	放課後等デイサービスのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	10 (1%)	5 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	3 (1%)	0 (0%)
1人	567 (74%)	80 (63%)	5 (28%)	61 (65%)	1 (100%)	177 (82%)	7 (100%)	221 (77%)	14 (82%)
2人	115 (15%)	20 (16%)	5 (28%)	16 (17%)	0 (0%)	26 (12%)	0 (0%)	46 (16%)	2 (12%)
3人	28 (4%)	3 (2%)	1 (6%)	6 (6%)	0 (0%)	9 (4%)	0 (0%)	9 (3%)	0 (0%)
4人	21 (3%)	8 (6%)	4 (22%)	5 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (1%)	0 (0%)
5人	10 (1%)	4 (3%)	1 (6%)	2 (2%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)
6人	7 (1%)	4 (3%)	0 (0%)	2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)
7人	4 (1%)	1 (1%)	1 (6%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)
8人	3 (0%)	1 (1%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (6%)
9人	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
10人以上	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	767 (100%)	127 (100%)	18 (100%)	94 (100%)	1 (100%)	215 (100%)	7 (100%)	287 (100%)	17 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（心理職）が該当しますか。

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	89	(14%)	146	(23%)	125	(20%)	89	(14%)	46	(7%)	128	(21%)	623
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	85	(13%)	141	(22%)	125	(19%)	94	(15%)	53	(8%)	145	(23%)	643
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	85	(12%)	134	(19%)	138	(19%)	107	(15%)	64	(9%)	184	(26%)	712
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	71	(12%)	134	(22%)	124	(20%)	91	(15%)	54	(9%)	143	(23%)	617
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	83	(12%)	142	(21%)	132	(20%)	97	(15%)	57	(9%)	156	(23%)	667
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	70	(10%)	134	(20%)	138	(20%)	100	(15%)	60	(9%)	175	(26%)	677
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	67	(10%)	133	(19%)	140	(20%)	102	(15%)	65	(9%)	179	(26%)	686
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	46	(9%)	90	(17%)	114	(22%)	79	(15%)	53	(10%)	143	(27%)	525
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	66	(10%)	123	(19%)	126	(20%)	96	(15%)	58	(9%)	164	(26%)	633
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	70	(11%)	126	(20%)	133	(21%)	89	(14%)	60	(9%)	164	(26%)	642
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	71	(11%)	127	(19%)	140	(21%)	95	(14%)	60	(9%)	168	(25%)	661
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	83	(12%)	140	(20%)	147	(21%)	94	(14%)	62	(9%)	169	(24%)	695
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	75	(11%)	130	(19%)	142	(21%)	94	(14%)	64	(9%)	174	(26%)	679
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	49	(8%)	107	(18%)	126	(21%)	88	(15%)	59	(10%)	173	(29%)	602
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	39	(8%)	87	(18%)	105	(22%)	70	(15%)	46	(10%)	132	(28%)	479
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	40	(7%)	91	(17%)	109	(20%)	85	(16%)	55	(10%)	159	(29%)	539

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

心理職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	4 (5%)	8 (10%)	14 (18%)	10 (13%)	11 (14%)	33 (41%)	80
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	4 (4%)	7 (8%)	14 (15%)	11 (12%)	14 (15%)	42 (46%)	92
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	4 (3%)	8 (7%)	16 (13%)	13 (11%)	20 (16%)	62 (50%)	123
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (4%)	7 (7%)	14 (15%)	12 (13%)	16 (17%)	41 (44%)	94
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	5 (4%)	10 (9%)	16 (14%)	14 (12%)	19 (17%)	50 (44%)	114
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4 (3%)	11 (9%)	16 (14%)	12 (10%)	21 (18%)	54 (46%)	118
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	4 (3%)	9 (7%)	17 (14%)	13 (11%)	20 (17%)	58 (48%)	121
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4 (4%)	6 (6%)	16 (16%)	9 (9%)	19 (19%)	46 (46%)	100
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	4 (4%)	8 (7%)	15 (14%)	10 (9%)	23 (21%)	50 (45%)	110
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	4 (4%)	9 (8%)	16 (14%)	10 (9%)	22 (20%)	51 (46%)	112
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	4 (4%)	9 (8%)	16 (14%)	10 (9%)	21 (19%)	52 (46%)	112
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	4 (4%)	10 (9%)	18 (16%)	10 (9%)	20 (18%)	52 (46%)	114
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	4 (3%)	9 (8%)	17 (15%)	10 (9%)	21 (18%)	56 (48%)	117
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	4 (4%)	5 (4%)	15 (13%)	10 (9%)	21 (19%)	57 (51%)	112
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	4 (4%)	6 (6%)	15 (16%)	8 (9%)	17 (18%)	44 (47%)	94
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	4 (4%)	5 (5%)	13 (13%)	11 (11%)	19 (18%)	52 (50%)	104

職種別_別リスト_医療型・重症児

心理職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	2 (7%)	7 (23%)	6 (20%)	6 (20%)	1 (3%)	8 (27%)	30
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	1 (3%)	7 (21%)	6 (18%)	6 (18%)	2 (6%)	11 (33%)	33
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	2 (5%)	7 (18%)	9 (23%)	7 (18%)	3 (8%)	12 (30%)	40
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	2 (6%)	10 (29%)	7 (20%)	4 (11%)	1 (3%)	11 (31%)	35
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	3 (8%)	9 (23%)	9 (23%)	7 (18%)	1 (3%)	11 (28%)	40
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	2 (5%)	8 (21%)	8 (21%)	7 (18%)	1 (3%)	13 (33%)	39
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	2 (5%)	9 (23%)	8 (20%)	8 (20%)	1 (3%)	12 (30%)	40
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	2 (7%)	5 (17%)	7 (23%)	5 (17%)	1 (3%)	10 (33%)	30
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	1 (3%)	7 (21%)	7 (21%)	8 (24%)	0 (0%)	11 (32%)	34
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	1 (3%)	6 (17%)	8 (23%)	8 (23%)	1 (3%)	11 (31%)	35
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	1 (3%)	5 (15%)	8 (24%)	7 (21%)	1 (3%)	11 (33%)	33
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	1 (3%)	6 (17%)	7 (19%)	7 (19%)	3 (8%)	12 (33%)	36
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	1 (3%)	5 (14%)	9 (25%)	6 (17%)	3 (8%)	12 (33%)	36
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	1 (3%)	4 (13%)	8 (26%)	6 (19%)	2 (6%)	10 (32%)	31
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	1 (3%)	4 (13%)	8 (27%)	4 (13%)	2 (7%)	11 (37%)	30
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	1 (3%)	3 (9%)	9 (28%)	5 (16%)	1 (3%)	13 (41%)	32

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	7	(9%)	13	(17%)	12	(16%)	18	(24%)	7	(9%)	19	(25%)	76
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	7	(9%)	13	(17%)	11	(15%)	18	(24%)	7	(9%)	19	(25%)	75
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	8	(9%)	11	(13%)	13	(15%)	20	(23%)	9	(10%)	27	(31%)	88
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	5	(7%)	12	(16%)	13	(17%)	17	(22%)	8	(11%)	21	(28%)	76
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	8	(10%)	13	(15%)	12	(14%)	18	(21%)	9	(11%)	24	(29%)	84
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	6	(7%)	9	(10%)	15	(17%)	20	(23%)	10	(12%)	26	(30%)	86
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	7	(8%)	11	(13%)	13	(15%)	19	(22%)	11	(13%)	26	(30%)	87
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4	(6%)	8	(13%)	8	(13%)	16	(25%)	8	(13%)	20	(31%)	64
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	6	(7%)	8	(10%)	14	(17%)	19	(23%)	8	(10%)	26	(32%)	81
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	6	(7%)	12	(15%)	12	(15%)	19	(23%)	7	(9%)	25	(31%)	81
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	6	(7%)	11	(13%)	13	(16%)	20	(24%)	7	(9%)	25	(30%)	82
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	7	(8%)	13	(15%)	15	(17%)	18	(21%)	8	(9%)	25	(29%)	86
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	6	(7%)	11	(13%)	13	(15%)	19	(22%)	10	(12%)	26	(31%)	85
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	3	(4%)	8	(11%)	12	(16%)	19	(25%)	9	(12%)	25	(33%)	76
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	3	(5%)	5	(9%)	10	(18%)	14	(25%)	8	(14%)	16	(29%)	56
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	2	(3%)	7	(11%)	10	(15%)	16	(25%)	7	(11%)	23	(35%)	65

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	38	(20%)	58	(30%)	42	(22%)	27	(14%)	11	(6%)	17	(9%)	193
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	36	(19%)	57	(30%)	39	(20%)	28	(15%)	13	(7%)	18	(9%)	191
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	35	(18%)	54	(28%)	45	(23%)	31	(16%)	12	(6%)	19	(10%)	196
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	28	(16%)	52	(30%)	37	(21%)	28	(16%)	10	(6%)	19	(11%)	174
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	32	(18%)	54	(30%)	40	(22%)	25	(14%)	9	(5%)	18	(10%)	178
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	27	(15%)	52	(29%)	44	(24%)	28	(16%)	10	(6%)	19	(11%)	180
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	24	(13%)	51	(28%)	43	(24%)	28	(16%)	13	(7%)	20	(11%)	179
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	17	(13%)	36	(27%)	32	(24%)	19	(15%)	10	(8%)	17	(13%)	131
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	27	(16%)	51	(30%)	38	(22%)	25	(15%)	11	(6%)	18	(11%)	170
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	28	(16%)	52	(31%)	40	(24%)	22	(13%)	11	(6%)	17	(10%)	170
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	30	(17%)	52	(29%)	44	(24%)	24	(13%)	11	(6%)	20	(11%)	181
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	33	(17%)	55	(28%)	48	(25%)	27	(14%)	12	(6%)	20	(10%)	195
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	32	(17%)	52	(28%)	44	(24%)	27	(15%)	11	(6%)	20	(11%)	186
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	20	(13%)	45	(30%)	38	(25%)	21	(14%)	9	(6%)	19	(13%)	152
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	14	(12%)	36	(30%)	31	(26%)	18	(15%)	8	(7%)	13	(11%)	120
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	15	(11%)	41	(29%)	33	(24%)	21	(15%)	12	(9%)	18	(13%)	140

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	38	(16%)	60	(25%)	51	(21%)	28	(12%)	15	(6%)	51	(21%)	243
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	37	(15%)	57	(23%)	55	(22%)	31	(12%)	16	(6%)	55	(22%)	251
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	36	(14%)	54	(20%)	55	(21%)	36	(14%)	19	(7%)	64	(24%)	264
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	32	(14%)	53	(22%)	53	(22%)	30	(13%)	18	(8%)	51	(22%)	237
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	35	(14%)	56	(22%)	55	(22%)	33	(13%)	18	(7%)	53	(21%)	250
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	31	(12%)	54	(21%)	55	(22%)	33	(13%)	17	(7%)	63	(25%)	253
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	30	(12%)	53	(21%)	59	(23%)	34	(13%)	19	(7%)	63	(24%)	258
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	19	(10%)	35	(18%)	51	(26%)	30	(15%)	14	(7%)	50	(25%)	199
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	28	(12%)	49	(21%)	52	(22%)	34	(14%)	15	(6%)	59	(25%)	237
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	31	(13%)	47	(19%)	57	(23%)	30	(12%)	18	(7%)	60	(25%)	243
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	30	(12%)	50	(20%)	59	(23%)	34	(13%)	19	(8%)	60	(24%)	252
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	38	(14%)	56	(21%)	59	(22%)	32	(12%)	18	(7%)	60	(23%)	263
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	32	(13%)	53	(21%)	59	(23%)	32	(13%)	18	(7%)	60	(24%)	254
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	21	(9%)	45	(20%)	53	(23%)	32	(14%)	17	(7%)	62	(27%)	230
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	17	(10%)	36	(20%)	41	(23%)	26	(15%)	10	(6%)	48	(27%)	178
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	18	(9%)	35	(18%)	44	(22%)	32	(16%)	15	(8%)	53	(27%)	197

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

心理職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	1 (3%)	6 (19%)	1 (3%)	9 (29%)	4 (13%)	10 (32%)	31
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	1 (3%)	4 (10%)	2 (5%)	11 (28%)	5 (13%)	16 (41%)	39
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	2 (3%)	4 (7%)	5 (8%)	10 (17%)	10 (17%)	28 (47%)	59
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	1 (3%)	4 (10%)	3 (8%)	7 (18%)	7 (18%)	18 (45%)	40
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (7%)	4 (7%)	5 (9%)	11 (20%)	7 (13%)	25 (45%)	56
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	2 (4%)	5 (9%)	5 (9%)	10 (18%)	8 (14%)	26 (46%)	56
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	2 (3%)	5 (8%)	5 (8%)	12 (20%)	7 (12%)	28 (47%)	59
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	2 (4%)	4 (8%)	3 (6%)	8 (16%)	8 (16%)	26 (51%)	51
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	1 (2%)	4 (8%)	4 (8%)	9 (17%)	7 (13%)	28 (53%)	53
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	1 (2%)	5 (10%)	3 (6%)	10 (19%)	7 (13%)	26 (50%)	52
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	1 (2%)	5 (10%)	3 (6%)	9 (18%)	8 (16%)	25 (49%)	51
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	1 (2%)	6 (12%)	3 (6%)	10 (19%)	8 (15%)	24 (46%)	52
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	1 (2%)	5 (9%)	3 (5%)	9 (16%)	8 (15%)	29 (53%)	55
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	1 (2%)	4 (7%)	5 (9%)	7 (13%)	8 (15%)	30 (55%)	55
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	1 (2%)	3 (7%)	4 (10%)	7 (17%)	5 (12%)	21 (51%)	41
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	1 (2%)	3 (6%)	5 (10%)	8 (16%)	4 (8%)	29 (58%)	50

職種別_人リスト_社会福祉法人

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	5	(5%)	13	(12%)	25	(23%)	21	(19%)	11	(10%)	36	(32%)	111
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	5	(4%)	13	(11%)	23	(19%)	21	(18%)	14	(12%)	43	(36%)	119
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	5	(3%)	13	(9%)	25	(17%)	30	(21%)	19	(13%)	54	(37%)	146
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4	(3%)	14	(12%)	24	(20%)	22	(19%)	13	(11%)	41	(35%)	118
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	6	(4%)	19	(14%)	24	(18%)	24	(18%)	17	(13%)	46	(34%)	136
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	2	(1%)	15	(11%)	26	(19%)	25	(19%)	18	(13%)	49	(36%)	135
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	2	(1%)	16	(12%)	28	(20%)	24	(17%)	19	(14%)	49	(36%)	138
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3	(3%)	7	(7%)	20	(20%)	21	(21%)	16	(16%)	35	(34%)	102
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	4	(3%)	14	(11%)	22	(18%)	24	(19%)	19	(15%)	41	(33%)	124
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	5	(4%)	15	(12%)	22	(18%)	22	(18%)	19	(16%)	39	(32%)	122
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	4	(3%)	14	(11%)	24	(19%)	25	(20%)	17	(13%)	42	(33%)	126
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	6	(5%)	16	(12%)	27	(20%)	22	(17%)	17	(13%)	45	(34%)	133
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	4	(3%)	13	(10%)	29	(22%)	22	(17%)	19	(14%)	45	(34%)	132
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	0	(0%)	10	(8%)	22	(19%)	23	(19%)	16	(14%)	47	(40%)	118
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	1	(1%)	10	(10%)	21	(20%)	18	(17%)	14	(13%)	40	(38%)	104
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	1	(1%)	9	(8%)	16	(15%)	22	(20%)	17	(16%)	44	(40%)	109

職種別_人リスト_株式会社

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	55	(20%)	84	(31%)	54	(20%)	42	(15%)	14	(5%)	26	(9%)	275
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	54	(20%)	81	(29%)	52	(19%)	45	(16%)	16	(6%)	28	(10%)	276
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	52	(19%)	77	(28%)	57	(20%)	48	(17%)	16	(6%)	30	(11%)	280
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	42	(16%)	78	(31%)	52	(20%)	42	(16%)	14	(5%)	27	(11%)	255
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	49	(19%)	74	(28%)	56	(21%)	42	(16%)	14	(5%)	29	(11%)	264
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	45	(17%)	71	(26%)	62	(23%)	45	(17%)	16	(6%)	32	(12%)	271
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	44	(16%)	71	(26%)	59	(22%)	46	(17%)	19	(7%)	32	(12%)	271
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	25	(13%)	52	(26%)	47	(24%)	34	(17%)	12	(6%)	27	(14%)	197
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	39	(16%)	68	(28%)	52	(21%)	45	(18%)	14	(6%)	29	(12%)	247
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	40	(16%)	66	(26%)	60	(24%)	39	(16%)	17	(7%)	28	(11%)	250
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	43	(16%)	71	(27%)	61	(23%)	41	(16%)	18	(7%)	30	(11%)	264
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	52	(18%)	78	(27%)	65	(23%)	44	(15%)	17	(6%)	30	(10%)	286
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	47	(17%)	72	(26%)	62	(23%)	45	(16%)	17	(6%)	30	(11%)	273
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	31	(14%)	62	(27%)	52	(23%)	38	(17%)	15	(7%)	28	(12%)	226
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	22	(13%)	45	(26%)	40	(23%)	30	(17%)	10	(6%)	26	(15%)	173
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	23	(12%)	51	(26%)	45	(23%)	38	(19%)	15	(8%)	28	(14%)	200

職種別_人リスト_NPO法人

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	5	(8%)	6	(10%)	17	(27%)	4	(6%)	4	(6%)	27	(43%)	63
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	5	(8%)	6	(9%)	16	(25%)	4	(6%)	5	(8%)	29	(45%)	65
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	4	(6%)	5	(7%)	17	(24%)	5	(7%)	5	(7%)	35	(49%)	71
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	5	(8%)	6	(9%)	16	(25%)	4	(6%)	6	(9%)	27	(42%)	64
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	5	(8%)	8	(13%)	14	(22%)	4	(6%)	6	(9%)	27	(42%)	64
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4	(6%)	8	(12%)	14	(21%)	4	(6%)	5	(7%)	32	(48%)	67
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	4	(6%)	7	(10%)	14	(20%)	5	(7%)	6	(9%)	34	(49%)	70
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	4	(7%)	4	(7%)	13	(24%)	3	(5%)	5	(9%)	26	(47%)	55
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	5	(8%)	5	(8%)	14	(22%)	4	(6%)	4	(6%)	33	(51%)	65
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	5	(7%)	5	(7%)	16	(23%)	4	(6%)	4	(6%)	36	(51%)	70
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	5	(7%)	5	(7%)	18	(25%)	4	(6%)	4	(6%)	36	(50%)	72
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	5	(7%)	6	(8%)	17	(23%)	5	(7%)	5	(7%)	35	(48%)	73
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	5	(7%)	6	(9%)	14	(20%)	5	(7%)	5	(7%)	35	(50%)	70
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	4	(6%)	5	(7%)	15	(22%)	5	(7%)	6	(9%)	34	(49%)	69
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	4	(8%)	6	(12%)	13	(27%)	3	(6%)	4	(8%)	19	(39%)	49
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	3	(5%)	5	(9%)	14	(24%)	4	(7%)	4	(7%)	28	(48%)	58

職種別_人リスト_合同会社

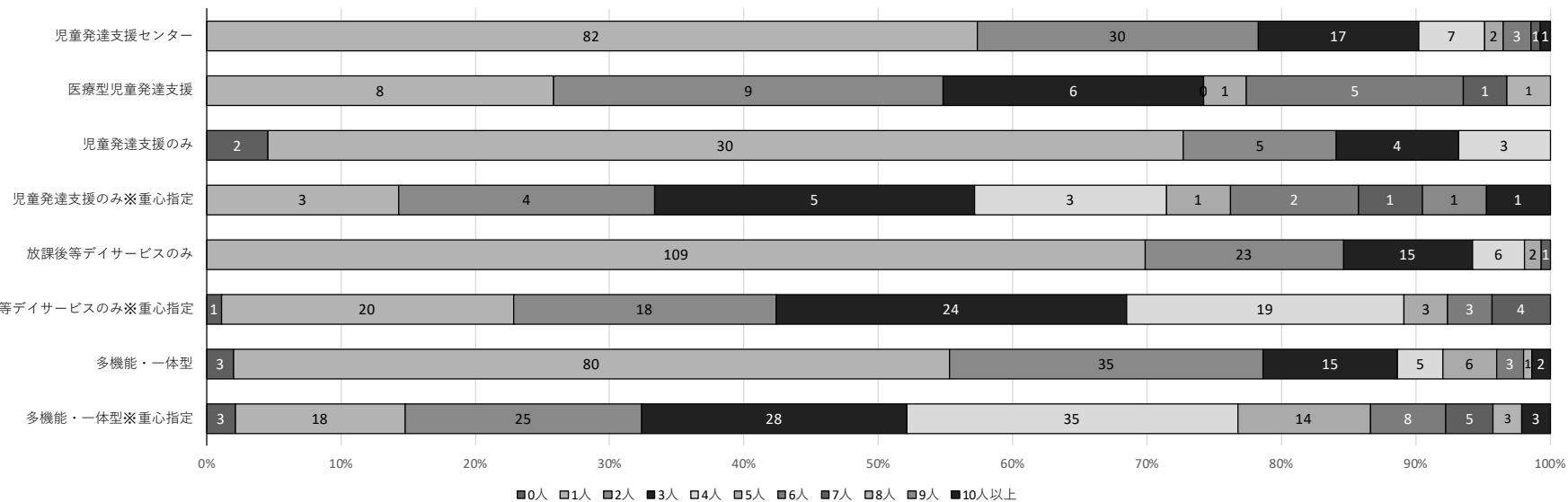
心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	6	(14%)	15	(34%)	7	(16%)	5	(11%)	3	(7%)	8	(18%)	44
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	5	(12%)	15	(35%)	7	(16%)	5	(12%)	3	(7%)	8	(19%)	43
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	6	(13%)	15	(33%)	7	(15%)	5	(11%)	3	(7%)	10	(22%)	46
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4	(10%)	15	(36%)	6	(14%)	5	(12%)	3	(7%)	9	(21%)	42
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4	(10%)	15	(37%)	7	(17%)	5	(12%)	2	(5%)	8	(20%)	41
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	3	(7%)	15	(36%)	7	(17%)	5	(12%)	2	(5%)	10	(24%)	42
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	3	(7%)	13	(31%)	9	(21%)	4	(10%)	3	(7%)	10	(24%)	42
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	3	(9%)	9	(27%)	7	(21%)	3	(9%)	3	(9%)	8	(24%)	33
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	5	(12%)	13	(30%)	9	(21%)	4	(9%)	3	(7%)	9	(21%)	43
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	5	(11%)	14	(30%)	10	(22%)	4	(9%)	3	(7%)	10	(22%)	46
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	4	(9%)	14	(31%)	10	(22%)	4	(9%)	3	(7%)	10	(22%)	45
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	6	(13%)	14	(30%)	10	(21%)	4	(9%)	3	(6%)	10	(21%)	47
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	5	(11%)	14	(30%)	10	(22%)	4	(9%)	3	(7%)	10	(22%)	46
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	4	(11%)	11	(29%)	7	(18%)	4	(11%)	3	(8%)	9	(24%)	38
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	2	(7%)	8	(27%)	6	(20%)	3	(10%)	3	(10%)	8	(27%)	30
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	2	(6%)	8	(24%)	8	(24%)	3	(9%)	3	(9%)	9	(27%)	33

職種別_人リスト_一般社団法人

心理職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮している	11	(22%)	11	(22%)	9	(18%)	4	(8%)	3	(6%)	13	(25%)	51
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案している	9	(18%)	11	(22%)	12	(24%)	4	(8%)	3	(6%)	12	(24%)	51
③事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしている	9	(17%)	11	(21%)	12	(23%)	4	(8%)	3	(6%)	14	(26%)	53
④心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	9	(18%)	11	(22%)	11	(22%)	4	(8%)	3	(6%)	12	(24%)	50
⑤心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	9	(18%)	11	(22%)	12	(24%)	4	(8%)	3	(6%)	11	(22%)	50
⑥心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	7	(14%)	11	(22%)	11	(22%)	4	(8%)	3	(6%)	14	(28%)	50
⑦保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	7	(14%)	11	(22%)	11	(22%)	4	(8%)	3	(6%)	14	(28%)	50
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	6	(13%)	9	(20%)	10	(22%)	5	(11%)	3	(7%)	13	(28%)	46
⑨愛着形成の適切な支援を行っている	7	(14%)	11	(22%)	11	(22%)	4	(8%)	3	(6%)	13	(27%)	49
⑩感覚認知発達の適切な支援を行っている	8	(16%)	11	(22%)	10	(20%)	4	(8%)	3	(6%)	13	(27%)	49
⑪情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っている	7	(14%)	10	(20%)	11	(22%)	6	(12%)	3	(6%)	13	(26%)	50
⑫社会性コミュニケーションの適切な支援を行っている	7	(14%)	11	(22%)	12	(24%)	4	(8%)	3	(6%)	13	(26%)	50
⑬環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っている	7	(14%)	11	(22%)	11	(22%)	4	(8%)	3	(6%)	13	(27%)	49
⑭カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っている	5	(10%)	11	(23%)	10	(21%)	5	(10%)	3	(6%)	14	(29%)	48
⑮保護者に対して適切にグループ支援をしている	4	(10%)	10	(26%)	8	(21%)	3	(8%)	3	(8%)	11	(28%)	39
⑯不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っている	5	(12%)	10	(23%)	9	(21%)	4	(9%)	4	(9%)	11	(26%)	43

(7) 看護職

障害児支援を行う看護職の数



看護職	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重心指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重心指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重心指定
0人	9 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	3 (2%)	3 (2%)
1人	351 (45%)	82 (57%)	8 (26%)	30 (68%)	3 (14%)	109 (70%)	20 (22%)	80 (53%)	18 (13%)
2人	151 (19%)	30 (21%)	9 (29%)	5 (11%)	4 (19%)	23 (15%)	18 (20%)	35 (23%)	25 (18%)
3人	115 (15%)	17 (12%)	6 (19%)	4 (9%)	5 (24%)	15 (10%)	24 (26%)	15 (10%)	28 (20%)
4人	78 (10%)	7 (5%)	0 (0%)	3 (7%)	3 (14%)	6 (4%)	19 (21%)	5 (3%)	35 (25%)
5人	29 (4%)	2 (1%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (5%)	2 (1%)	3 (3%)	6 (4%)	14 (10%)
6人	24 (3%)	3 (2%)	5 (16%)	0 (0%)	2 (10%)	0 (0%)	3 (3%)	3 (2%)	8 (6%)
7人	13 (2%)	1 (1%)	1 (3%)	0 (0%)	1 (5%)	1 (1%)	4 (4%)	0 (0%)	5 (4%)
8人	5 (1%)	0 (0%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	3 (2%)
9人	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
10人以上	9 (1%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	3 (2%)
合計	785 (100%)	143 (100%)	31 (100%)	44 (100%)	21 (100%)	156 (100%)	92 (100%)	150 (100%)	142 (100%)

次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（看護職）が該当しますか。

看護職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	60	(10%)	142	(24%)	124	(21%)	98	(16%)	51	(9%)	124	(21%)	599
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	63	(10%)	146	(23%)	134	(21%)	101	(16%)	58	(9%)	130	(21%)	632
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	79	(11%)	165	(22%)	149	(20%)	115	(16%)	73	(10%)	155	(21%)	736
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	44	(8%)	137	(25%)	109	(20%)	85	(15%)	59	(11%)	119	(22%)	553
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	63	(10%)	154	(24%)	137	(21%)	93	(14%)	63	(10%)	136	(21%)	646
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	60	(9%)	146	(22%)	135	(21%)	103	(16%)	69	(10%)	145	(22%)	658
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	69	(10%)	157	(22%)	148	(21%)	111	(16%)	78	(11%)	142	(20%)	705
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	33	(7%)	90	(20%)	109	(24%)	76	(17%)	51	(11%)	101	(22%)	460
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	97	(14%)	144	(21%)	132	(20%)	99	(15%)	61	(9%)	139	(21%)	672
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	109	(15%)	170	(23%)	139	(19%)	112	(15%)	76	(10%)	143	(19%)	749
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	76	(12%)	144	(22%)	130	(20%)	104	(16%)	62	(10%)	136	(21%)	652
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	85	(12%)	158	(22%)	139	(19%)	120	(16%)	81	(11%)	149	(20%)	732

【事業形態別】

職種別_別リスト_児童発達支援センター

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	5 (6%)	19 (21%)	24 (27%)	11 (12%)	10 (11%)	20 (22%)	89
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	6 (6%)	17 (16%)	25 (24%)	18 (17%)	14 (13%)	24 (23%)	104
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	15 (11%)	21 (15%)	31 (22%)	20 (14%)	16 (12%)	36 (26%)	139
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (5%)	15 (19%)	20 (25%)	9 (11%)	12 (15%)	20 (25%)	80
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	10 (9%)	19 (17%)	29 (26%)	12 (11%)	12 (11%)	28 (25%)	110
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	10 (9%)	19 (16%)	27 (23%)	16 (14%)	14 (12%)	30 (26%)	116
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	15 (11%)	22 (16%)	26 (19%)	20 (15%)	19 (14%)	32 (24%)	134
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	5 (7%)	8 (11%)	20 (29%)	11 (16%)	7 (10%)	19 (27%)	70
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	15 (12%)	19 (16%)	28 (23%)	15 (12%)	14 (11%)	31 (25%)	122
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	20 (14%)	24 (17%)	28 (20%)	19 (13%)	19 (13%)	32 (23%)	142
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	10 (9%)	20 (18%)	26 (23%)	14 (12%)	14 (12%)	29 (26%)	113
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	17 (12%)	22 (16%)	29 (21%)	19 (14%)	18 (13%)	33 (24%)	138

職種別_別リスト_医療型・重症児

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	19 (8%)	47 (20%)	47 (20%)	47 (20%)	21 (9%)	58 (24%)	239
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	17 (7%)	53 (22%)	51 (21%)	43 (18%)	22 (9%)	57 (23%)	243
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	20 (7%)	56 (20%)	60 (21%)	52 (19%)	30 (11%)	63 (22%)	281
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	12 (5%)	55 (24%)	45 (19%)	43 (18%)	25 (11%)	54 (23%)	234
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	17 (7%)	57 (22%)	57 (22%)	40 (16%)	28 (11%)	58 (23%)	257
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	14 (5%)	55 (21%)	56 (22%)	44 (17%)	30 (12%)	61 (23%)	260
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	20 (7%)	56 (20%)	64 (23%)	48 (17%)	28 (10%)	61 (22%)	277
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9 (5%)	32 (17%)	44 (23%)	33 (17%)	26 (14%)	48 (25%)	192
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	33 (12%)	62 (22%)	53 (19%)	45 (16%)	28 (10%)	59 (21%)	280
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	32 (11%)	62 (22%)	56 (20%)	45 (16%)	30 (11%)	59 (21%)	284
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	25 (9%)	53 (20%)	58 (22%)	46 (17%)	25 (9%)	58 (22%)	265
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	23 (8%)	51 (18%)	55 (20%)	53 (19%)	33 (12%)	63 (23%)	278

職種別_別リスト_児童発達支援のみ※重症児除く

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	3 (10%)	6 (20%)	5 (17%)	5 (17%)	2 (7%)	9 (30%)	30
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	5 (14%)	6 (16%)	7 (19%)	7 (19%)	3 (8%)	9 (24%)	37
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	6 (14%)	9 (21%)	7 (16%)	6 (14%)	4 (9%)	11 (26%)	43
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (13%)	5 (17%)	4 (13%)	5 (17%)	2 (7%)	10 (33%)	30
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (11%)	8 (22%)	5 (14%)	6 (16%)	3 (8%)	11 (30%)	37
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4 (11%)	5 (14%)	6 (17%)	6 (17%)	3 (8%)	12 (33%)	36
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	4 (11%)	8 (21%)	5 (13%)	7 (18%)	4 (11%)	10 (26%)	38
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (5%)	3 (16%)	4 (21%)	2 (11%)	3 (16%)	6 (32%)	19
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	6 (18%)	5 (15%)	3 (9%)	5 (15%)	4 (12%)	10 (30%)	33
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	6 (14%)	10 (23%)	7 (16%)	5 (12%)	4 (9%)	11 (26%)	43
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	5 (15%)	6 (18%)	5 (15%)	5 (15%)	2 (6%)	10 (30%)	33
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	4 (9%)	10 (23%)	7 (16%)	6 (14%)	5 (12%)	11 (26%)	43

職種別_別リスト_放課後等デイサービスのみ※重症児除く

看護職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	16	(14%)	34	(29%)	21	(18%)	21	(18%)	10	(8%)	16	(14%)	118
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	17	(14%)	33	(28%)	22	(18%)	21	(18%)	10	(8%)	17	(14%)	120
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	18	(13%)	37	(28%)	24	(18%)	24	(18%)	11	(8%)	20	(15%)	134
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	9	(9%)	30	(30%)	19	(19%)	17	(17%)	10	(10%)	16	(16%)	101
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	15	(13%)	34	(29%)	22	(19%)	21	(18%)	9	(8%)	16	(14%)	117
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	16	(13%)	31	(26%)	22	(18%)	22	(18%)	10	(8%)	18	(15%)	119
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	12	(10%)	34	(28%)	24	(20%)	23	(19%)	11	(9%)	16	(13%)	120
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9	(10%)	20	(23%)	19	(22%)	18	(21%)	7	(8%)	13	(15%)	86
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	20	(17%)	28	(24%)	25	(22%)	20	(17%)	7	(6%)	15	(13%)	115
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	24	(17%)	38	(27%)	25	(18%)	26	(18%)	11	(8%)	17	(12%)	141
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	18	(15%)	33	(27%)	22	(18%)	24	(20%)	10	(8%)	15	(12%)	122
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	21	(16%)	36	(27%)	25	(19%)	24	(18%)	12	(9%)	17	(13%)	135

職種別_別リスト_多機能・一体型※重症児除く

看護職	3か月以上		1年以上		3年以上		5年以上		7年以上		10年以上		合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	17	(14%)	34	(29%)	27	(23%)	13	(11%)	7	(6%)	20	(17%)	118
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	18	(15%)	35	(28%)	29	(24%)	11	(9%)	8	(7%)	22	(18%)	123
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	20	(15%)	40	(30%)	27	(20%)	12	(9%)	11	(8%)	24	(18%)	134
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	15	(14%)	31	(30%)	21	(20%)	10	(10%)	9	(9%)	18	(17%)	104
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	17	(14%)	34	(28%)	24	(20%)	13	(11%)	10	(8%)	22	(18%)	120
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	16	(13%)	34	(28%)	24	(20%)	14	(11%)	11	(9%)	23	(19%)	122
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	18	(14%)	35	(27%)	29	(22%)	12	(9%)	15	(11%)	22	(17%)	131
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9	(10%)	25	(28%)	22	(25%)	10	(11%)	8	(9%)	14	(16%)	88
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	23	(20%)	28	(24%)	23	(20%)	12	(10%)	8	(7%)	23	(20%)	117
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	27	(20%)	34	(25%)	23	(17%)	15	(11%)	12	(9%)	23	(17%)	134
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	18	(16%)	30	(26%)	19	(17%)	14	(12%)	10	(9%)	23	(20%)	114
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	20	(15%)	37	(28%)	23	(17%)	17	(13%)	12	(9%)	24	(18%)	133

【運営法人別】

職種別_人リスト_自治体

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	0 (0%)	3 (9%)	13 (41%)	2 (6%)	2 (6%)	12 (38%)	32
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	0 (0%)	5 (12%)	15 (35%)	4 (9%)	4 (9%)	15 (35%)	43
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	5 (8%)	8 (13%)	14 (22%)	6 (10%)	8 (13%)	22 (35%)	63
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	0 (0%)	4 (14%)	8 (28%)	2 (7%)	3 (10%)	12 (41%)	29
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	3 (6%)	4 (8%)	17 (35%)	2 (4%)	6 (12%)	17 (35%)	49
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	2 (4%)	5 (9%)	17 (32%)	3 (6%)	7 (13%)	19 (36%)	53
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	5 (8%)	4 (7%)	15 (25%)	6 (10%)	10 (17%)	19 (32%)	59
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (4%)	1 (4%)	9 (33%)	4 (15%)	5 (19%)	7 (26%)	27
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	1 (2%)	8 (15%)	12 (22%)	7 (13%)	9 (17%)	17 (31%)	54
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	5 (8%)	9 (14%)	12 (19%)	7 (11%)	11 (17%)	19 (30%)	63
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	1 (2%)	6 (12%)	11 (22%)	8 (16%)	6 (12%)	17 (35%)	49
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	4 (6%)	9 (14%)	13 (20%)	6 (9%)	12 (19%)	20 (31%)	64

職種別_人リスト_社会福祉法人

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	14 (9%)	37 (23%)	31 (19%)	25 (15%)	21 (13%)	35 (21%)	163
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	16 (9%)	33 (19%)	36 (21%)	27 (15%)	26 (15%)	37 (21%)	175
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	22 (11%)	39 (19%)	42 (20%)	35 (17%)	28 (13%)	43 (21%)	209
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	11 (8%)	30 (21%)	30 (21%)	19 (13%)	22 (15%)	30 (21%)	142
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	17 (10%)	35 (21%)	35 (21%)	25 (15%)	22 (13%)	36 (21%)	170
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	16 (9%)	34 (19%)	32 (18%)	31 (18%)	26 (15%)	38 (21%)	177
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	18 (9%)	41 (21%)	38 (19%)	30 (15%)	29 (15%)	39 (20%)	195
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	9 (8%)	20 (17%)	28 (24%)	20 (17%)	14 (12%)	25 (22%)	116
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	34 (17%)	36 (18%)	36 (18%)	26 (13%)	21 (11%)	42 (22%)	195
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	38 (18%)	39 (18%)	40 (19%)	28 (13%)	27 (13%)	43 (20%)	215
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	21 (12%)	35 (20%)	37 (21%)	23 (13%)	24 (13%)	39 (22%)	179
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	30 (14%)	38 (18%)	42 (20%)	30 (14%)	28 (13%)	42 (20%)	210

職種別_人リスト_株式会社

看護職	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	21 (12%)	53 (30%)	39 (22%)	28 (16%)	10 (6%)	26 (15%)	177
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	24 (13%)	55 (31%)	39 (22%)	26 (14%)	11 (6%)	25 (14%)	180
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	27 (14%)	60 (30%)	40 (20%)	29 (15%)	14 (7%)	29 (15%)	199
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	16 (9%)	54 (32%)	33 (19%)	27 (16%)	14 (8%)	26 (15%)	170
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	23 (12%)	60 (32%)	34 (18%)	26 (14%)	13 (7%)	29 (16%)	185
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	23 (12%)	56 (30%)	37 (20%)	27 (15%)	13 (7%)	29 (16%)	185
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	25 (13%)	55 (28%)	41 (21%)	30 (15%)	16 (8%)	27 (14%)	194
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	12 (9%)	37 (27%)	32 (24%)	18 (13%)	13 (10%)	23 (17%)	135
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	28 (16%)	47 (26%)	36 (20%)	26 (15%)	12 (7%)	29 (16%)	178
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	29 (14%)	58 (29%)	40 (20%)	31 (15%)	15 (7%)	28 (14%)	201
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	26 (14%)	51 (28%)	39 (21%)	29 (16%)	12 (6%)	28 (15%)	185
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	24 (12%)	59 (30%)	38 (19%)	32 (16%)	17 (9%)	29 (15%)	199

職種別_人リスト_NPO法人

看護職

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	8 (8%)	20 (20%)	21 (21%)	19 (19%)	10 (10%)	22 (22%)	100
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	5 (5%)	21 (21%)	22 (22%)	19 (19%)	10 (10%)	25 (25%)	102
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	7 (6%)	23 (20%)	25 (22%)	17 (15%)	12 (11%)	30 (26%)	114
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	4 (4%)	19 (21%)	16 (18%)	15 (17%)	11 (12%)	25 (28%)	90
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	4 (4%)	21 (21%)	25 (25%)	17 (17%)	11 (11%)	24 (24%)	102
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	4 (4%)	18 (18%)	22 (22%)	18 (18%)	12 (12%)	28 (27%)	102
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	6 (6%)	23 (21%)	23 (21%)	18 (17%)	12 (11%)	27 (25%)	109
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (1%)	10 (13%)	17 (23%)	14 (19%)	10 (13%)	23 (31%)	75
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	10 (9%)	25 (23%)	23 (21%)	17 (15%)	12 (11%)	23 (21%)	110
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	14 (12%)	26 (22%)	21 (18%)	19 (16%)	12 (10%)	25 (21%)	117
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	10 (10%)	19 (19%)	21 (21%)	16 (16%)	12 (12%)	24 (24%)	102
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	7 (6%)	20 (18%)	19 (17%)	25 (22%)	12 (11%)	29 (26%)	112

職種別_人リスト_合同会社

看護職

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	11 (29%)	7 (18%)	4 (11%)	10 (26%)	1 (3%)	5 (13%)	38
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	12 (29%)	9 (22%)	5 (12%)	9 (22%)	1 (2%)	5 (12%)	41
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	12 (27%)	10 (22%)	6 (13%)	11 (24%)	1 (2%)	5 (11%)	45
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	10 (26%)	10 (26%)	4 (10%)	10 (26%)	1 (3%)	4 (10%)	39
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	11 (26%)	10 (23%)	6 (14%)	10 (23%)	1 (2%)	5 (12%)	43
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	11 (26%)	9 (21%)	6 (14%)	10 (24%)	1 (2%)	5 (12%)	42
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	11 (25%)	10 (23%)	6 (14%)	11 (25%)	1 (2%)	5 (11%)	44
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	8 (23%)	8 (23%)	4 (11%)	8 (23%)	2 (6%)	5 (14%)	35
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	13 (34%)	4 (11%)	6 (16%)	9 (24%)	1 (3%)	5 (13%)	38
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	13 (28%)	11 (24%)	6 (13%)	10 (22%)	1 (2%)	5 (11%)	46
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	12 (29%)	9 (22%)	4 (10%)	10 (24%)	1 (2%)	5 (12%)	41
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	11 (26%)	10 (23%)	5 (12%)	10 (23%)	2 (5%)	5 (12%)	43

職種別_人リスト_一般社団法人

看護職

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	合計
①発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮している	2 (5%)	12 (32%)	5 (14%)	5 (14%)	1 (3%)	12 (32%)	37
②発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案している	3 (8%)	12 (32%)	5 (14%)	5 (14%)	1 (3%)	11 (30%)	37
③事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしている	3 (8%)	12 (30%)	8 (20%)	4 (10%)	1 (3%)	12 (30%)	40
④看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしている	1 (3%)	11 (34%)	5 (16%)	4 (13%)	0 (0%)	11 (34%)	32
⑤看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践している	1 (3%)	12 (32%)	7 (18%)	5 (13%)	1 (3%)	12 (32%)	38
⑥看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えている	1 (3%)	12 (32%)	7 (18%)	5 (13%)	1 (3%)	12 (32%)	38
⑦保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えている	2 (5%)	10 (25%)	10 (25%)	5 (13%)	1 (3%)	12 (30%)	40
⑧地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っている	1 (3%)	8 (28%)	9 (31%)	3 (10%)	0 (0%)	8 (28%)	29
⑨個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っている	3 (8%)	11 (30%)	7 (19%)	5 (14%)	0 (0%)	11 (30%)	37
⑩服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っている	4 (10%)	12 (29%)	7 (17%)	6 (15%)	1 (2%)	11 (27%)	41
⑪食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っている	3 (8%)	10 (28%)	6 (17%)	5 (14%)	0 (0%)	12 (33%)	36
⑫職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施している	3 (8%)	10 (26%)	10 (26%)	3 (8%)	2 (5%)	11 (28%)	39

オ.自由記載

<事業所の取り組みについて>

年に一度 責任者と職員の面談を実施、目指すところを明確化し、それに合う必要研修などを合議の上で受講出来るように配慮し、職場で活かせる取り組みを実践しながら支援員のスキルアップに繋げている。

・経験年数ではなく、常勤か非常勤かによって求める役割や業務の適切さが変わるので、経験年数だけで答えるのが難しかった。

・「標準化されたアセスメント」が具体的に何を指すのか分からなかったので、病院や相談機関などで活用されている検査ととらえて解答している。

・経験年数によって、支援力や指導力の向上が見込まれます。向上によって、職場内のステージも上がって行くことが想像できます。

・職員の経験年数については、自社での経験年数のみを指しているか、それとも個人の前職も含めた経験年数なのかが分かりにくかった。

・直接の支援は、皆が自己研鑽しながら責任もって支援を行っており、経験年数により支援内容を分けているわけではないため、回答しにくい部分があった。

・同法人内のOT・ST・心理職の協力を得て療育を行なうことがある。

・医ケア児が利用する場合も（ケースによるが）同法人内より協力を得ることがある。

・保育士より看護師のほうがどうして低いのでしょうか？

・保育士より介護福祉士のほうが障がい分野では、薬の名前や、身体状態の把握は出来ているが、どうして保育士のほうが強みなのでしょうか？

①専門訓練士OT 1名以外は委託契約のためクラス担当はしていないが、専門的な視点で訓練や助言を受けて、クラスの支援に活かしている。

②地域支援や事業運営等の設問は、管理者や児発管の担う役割が大きい。

①保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士等なり手が少ない

②少しは処遇改善等で手当は良くなってきてますが、まだ仕事量に対する割合には至ってないように感じます。

③期限付きの提出物が多すぎる

④グレーゾーンの子どもたちのケアができていない

⑤なかなかお声がけができない分野なので、もっと保育園、幼稚園、関連機関での親御さんに早めに対処することで改善されることなので、障害児というレッテルをはられないように枠組みを完成していただきたい。

2022年4月に開所のため、まだ職員も最低限で行っておりますが、今後職員の増員を考えており、研修の参加を促します。

2022年8月指定の施設です。

保育士さんは40年以上と5年以上、児童発達支援管理責任者は20年以上のベテランです。

保育士さんは障がい児と関わった経験かないので、このような回答になりました。

ただ、皆さん子どもと関わった経験は豊富なので、回答した経験年数以上の働きをしてきています。

今後も経験年数を重ねながら、数字だけでは測れない子どもの成長にも携わっていただきたいと思います。

PT、STは、非常勤職員で月1~2回の勤務です

アセスメント、職員への指導、保護者対応・支援、関係機関との連携を行うのは、当事業所では、保育・障がい児保育・特別支援教育を専門とする、もと大学教授(経営者)です。しかし、保育士ではないため、アンケートの項目にはとても違和感がありました。また、心理職員ももと大学教授(経営者・心理学博士)であり、支援実践の核になっていきますが、現場は保育士や児童指導員が多くを担っています。従って、これも大変回答しにくいものでした。

ある職種に求められている業務が、事業所ごとに異なるため、高い専門性について答えたかった項目が、その職種の質問リストになかったという箇所がありました。

このアンケート調査の内容を見て、私たちの行っている事業は多種多様の知識と専門性が求められることを再認識して、今後の職員の育成の重要性を改めて感じました。

この実態調査を回答するにあたり、事業所内でのさまざまな視点を見つめ直す事も出来ました。支援の質を高める努力をしたいと思います。

スタッフの経験や年数が圧倒的に足りないと感じました。

スタッフ皆で協力して行っていることが多く、年数で決めるのは難しい。保護者との相談など自発管が行うことが多いので、スタッフでとなると該当なしになるのか？よくわからなかった

すべての業務を全員で分担しているため「何年以上の職員がこれを担当している」という今回のようなアンケートでは回答の仕方が難しいです。

それぞれの専門性が発揮できる状況であることは、こどもさんにとっても豊かな生活につながると思います。尊重しあう関係や統合する力が重要になりますので、認め合う関係が保てるように、管理者(自身の)姿勢が問われているように感じます。

地域の小学校では、障害児童の送迎の際に車両を入場させてくれず、さらに路上駐車もしてはいけず、各事業所で離れたコインパーキングを利用せよと一方的に通達してきて、障害児童支援事業所との連携を著しく断っているように思う。なぜ、送迎車両を学校の敷地内に入場させてくれないかの説明も無い。障害児童支援のクラスをなぜ受け持っているのか、疑問に思う。

メインでその仕事をしているというわけではないと記載が難しいと思いました。

より有意義な運営に適したスタッフ配置を定着させるのが、今後の課題となっています。

リハビリ職(P・T・O・T・S・T・C・P)在籍はありませんが、市からの委託事業のため市リハビリ職と連携を図りながら支援を展開しています。

医療ケア児の受け入れについて、医療型でない放課後等デイサービスも受け入れる事が出来るが、実際問題として医療従事者がいない事業所も多い。また、医療ケアが必要な場合、肢体不自由など重症児の場合も多く適切な介護技術が必要となるが、習得している職員が少ない。(配置基準として介護技術について有無が問われていない為)

医療行為の必要な児童の介助(車いす介助等)は介護福祉士が必要ですが、介護福祉士の必要数がないのは疑問に思います。

印象としては、経験年数というより個人の資質によると思われる。職員の経験年数や資質により支援の質に大きな差が生まれにくいよう、研修、マニュアル作成や事例検討会を行いチームアプローチの実践が大切と思われる。他の児発事業との連携やチームアプローチの実践など加算対象となっておらず、事業所の努力に委ねられているのは課題があると思われる。

何年働いているかという問いでしたが年数よりも個人の資質が問われるところもあるので答えにくい質問でした。5年働いても利用者とのコミュニケーションが出来ないスタッフ、逆に1ヵ月でコミュニケーションを取れるスタッフもいます。勿論、経験も大事ですが年数よりも個人の意識や力量、着眼点の問題かと思います。

介護福祉士と資格取得の為に勉強しているにもかかわらず、人員基準に介護福祉士が該当しない現法律は間違っていると思う。保育士では社会人を育てるための療育の場面、特に小学校3年生以降の児童の療育にはふさわしくないと感じる場面が多い。むしろ介護福祉士の方が適切である。処遇改善特定加算のみで、介護福祉士が求められることに矛盾を感じる。人的基準の見直しを強く求める。

開所して2年半という事で経験値は少ないが、障害を持つ子供を育てた経験などから地域に貢献できる事業所となる様に成長して行きたいと考えている。保育士をはじめ経験値としては少ない職員が大半であるが、日々の打合せの中で支援方法などしっかり話し合った中でプログラムを提供し、利用児童の成長につながる様に取り組んでいる。また、特に保護者との連携、共有に力を注いでおり、支援計画について経過の進捗など定期的なモニタリングは長い時間を設けて全保護者と共有をはかっている。2022年8月1日現在という事で「いる」として入力したが、当事業所の作業療法士は8月1日の入職、若い作業療法士で障害児の経験はない。それでも意識が高く支援に従事している。作業療法士として個別・集団療育を中心に活躍する為の研修プログラムを構築しており1ヵ月が経過した所である。開所して3年目なので、リハや心理以外の職員は1から始めたものばかりです。いろいろな情報がいただけると幸いです。

開設したばかりなので障害児の経験は少ないですが 職員の半分は障がい者の支援経験8年です。

該当しないという項目に多くつけていますが、職員たちがまだ経験値が足りないため、法人の統括や管理者、児童発達管理責任者が主となり適切な対応をさせていただいております。

各事業所が療育の質の向上に向けて取り組んでいけるといいと思いました。

各事業所の事例検討会のような研修があるとありがたい。

学習障害の子ども達が、学校で不適合を起こしていると感じています。特別支援教育士など、LD専門の職員が増えるとよいと感じています。元学校の教師の活用も有効に感じます。

看護師経験が何年かによっても、障害児経験が3年未満であっても看護師経験を活かして行動できることも多い。

障害経験が少ない人へのチームとしての有り方がどのように行われているかでサービス提供量も質も違う。

障害児への健康や医療的ケア等に対するサービス提供の実施は職員が3年以下であろうとその人しか勤務していない時は3年以下の人でも対応する。

PTにおいては、職員の資質(他の経験、コミュニケーション力、分析力、行動力)の影響があるため、経験年数では一概には言えない。

OTは専門の学校で教育を受けて職務についている。(専門の知識に基づいて業務を行っているため)経験で「できる」「できない」と区別できないと思う。

看護職選任で看護師を雇うことができない。支援員としての兼務や他事業と兼務してもらわないと経済的に厳しい。

医療の必要な利用者様の支援はしたいが、やる気だけではどうすることもできない。

看護有資格者はいるが、管理者・児発管の役職についているが今回は経験だったのでそのスタッフのことを記入しています。

関係機関(行政等)との連携業務については、主に管理者および児童発達支援管理責任者が担っています。

勤務期間だけでなく、働かれている方の個性によって対応していただく業務等、変動することがあり、年数だけで判断することに難しい場合もありました。

経営（経済的）に pt st ot 看護師さんをお願いしたいと思いますが、時給（給料）の問題で、経営的（経済的）に難しいと思います。

経験年数についてですが、同一法人で保育園と児童発達支援を運営しており、異動もあるため、障害児支援の経験年数は浅くても保育経験の長い職員が重要な業務を担っています。そのため、経験年数の長い職員と短い職員で担っている業務内容が逆転しているケースが出ております。

経験年数によって能力を押し量るのは一概には言えないのが現実です。そうは言っても水準を作成するために分かりやすい目安ではあることは存じますが、より具体的な能力に応じてポストへの起用する方法を考えなければ、障害児分野も年数が積み重なってきた今、児童発達支援管理責任者などは経験年数を積んだだけで能力に不足のある方が多数発生してしまう恐れがあります。実際に児童発達支援管理責任者の研修へ参加し、グループワークを行った際に、約半数程度の方は管理者に値する能力を有しているとは到底思えませんでした。研修に参加していない(ひどい人は居眠りも)、また能力的に議論に参加出来ていない方にもとにかく一律に資格が授与されている現状は改善の余地があると考えます。

経験年数も重要と思いますが、職員さん毎で持っているスキルが異なること自発的にスキルを獲得しようとしている人では年数では現れない支援の質の差が見られることも現場として感じています。その点の基準を設けることは難しいかと思いますが共有できればと思い記載しました。

経験年数も大事だが、個人の能力によつての違があると思われる。

経験年数や職種、障がいの有無に関わらず、一人の子どもを育てる上での”感性”が重要になってくるのだと思います。子育て経験の有無も確かに必要ではありますが、その職員の生い立ちや今まで経験してきた人生も支援の場では役立つと考えております。3ヶ月であろうと10年であろうと人それぞれの良し悪しもありますので子どもへ良い影響を与えられる支援内容であれば随時チャレンジしています。

経験年数より、適正が課題だと思う。資格、経験年数があっても適切な支援ができるわけではないと日々感じる。

経験年数を重ねると、視点の幅が広がることは日々の業務で実感いたしますので、経験の浅い職員にも職員間で共有しながら様々な視点が広がるよう進めていきたいです。

経験年数関係なく、入職したら他の職員と相談・協力しながら年数関係なく対応しています。年数だけで区切っても質の良い支援なんてできません。

現在の低い介護報酬で国が要求する専門性・及び質の高い支援を提供するのは不可能です。皆、慈善や奉仕の精神、社会に対する責任感で踏ん張っていますが、ギリギリです。このアンケートに書かれていることを標準と考えるなら、その仕事に見合った報酬を考えていただきたい。かかる労力、高い専門的な知識と技術に報酬が全く見合っていない。今の介護報酬では最低限の生活の維持も難しい。

強度行動障害には該当しない行動障害者は各事業所に一定数いると思われま。そこに割く人員を考慮すれば、国の考える配置人員の倍程度の配置をしないと安全は担保できません。ここで書いてもあまり意味はないのかもしれませんが、必要な実態調査の的がずれているように思います。

現在は、医療の発達や発達に対する社会の認知など、軽度の子たちが増え、それに伴い事業所数も増えています。しかし、重度の知的や肢体不自由、重心、医ケアの子たちが通える事業所はあまり変化がなく、行ける場所も限られています。

現在の制度では、少数派の重度の児童を預かる施設の運営は難しいと思います。

報酬等の改定もありましたが、人員や利用児の確保や制度的な部分が難しく、当事者の方でない限り、立ち上げをする人はあまりいないでしょう。少数派の重度の方々に支援が行き届く社会になってくれるといいと思います。安心して施設を立ち上げできる仕組みや、行政などのバックアップ体制等が整備されるといいと思います。

現場の感覚からすると、資格よりも実務経験等の方が、より重要な指標だと考えます。

言語聴覚士と作業療法士については、月に1～2度の頻度で外部から来て頂いています。

個人の能力により大きく差が生じていると思います。

個別での学習支援を中心にしているため、集団や日常生活支援の問いにはほとんどがいきません。

個別支援を中心に取り組んでいるので、個別支援の質問もあるといいと思います。

国が資格に捉われ保育士、教員、社福祉等の配置と定めたが、結果介護技術や障がい知識がある介護福祉士がいなくなり、介護レベルが低下した。

私達が欲しいのは有資格者ではない。障がい児、者に対応できる経験者です。

安い給料では福祉職ができないから、皆質の低い障がい知識のない事業所が蔓延している。

今回、業務や支援内容をチェックすることで、不足している点などに気づくことができ振り返る良い機会となりました。ありがとうございました。

今回、障害児支援を行う職員の経験年数ということで回答させていただきましたが、

ある程度の経験年数が業務を覚え、質の良い支援へと繋がることは確かですが、

ある程度の年数後は、年数を重ねるだけでなく、常に学び自ら経験を積んでいく姿勢と関わり、学ぶ姿勢が大きく影響するのはと回答をしながら感じた次第です。自身も含め、児事業所の職員に自己研鑽の大切さを伝えつつ、支援の質の向上に努めていきたいと思います。

今回のアンケートを通して改めて、事業所の質向上のために職員が継続して勤めやすい、経験を積みやすい体制づくりが大切だと感じました。

今回の回答では実際の経験年数よりも短くても出来るかもしれないが、当事業所では確認できないため実際より長く記載している部分もあるかと考える。また、経験年数での回答とはなっていたが、実際の現場では経験年数が長くても場面によっては適切な支援が難しかったり、短くてもうまく対応する職員もいる。精神的な疾患を持ちながら働いている職員もおり、適切な研修や職員本人の資質、雇用形態（役職員か正職員かパートタイムか）によっても左右されると考えられる。

今回の設問の仕方が、なぜ、経験年数という点のみに着目して事業者に問うているのか、そこにどれほどの意味があるのか疑問に思いながら回答しました。いくら長く経験を重ねていても、従業している間、どれぐらい適切な研修受講や研鑽を重ねているか否かで、事業所の質は大きく左右されると思うので、この問い方はいかがなものかと思うところもあります。

作業療法・理学療法・言語聴覚等の有資格者であることで加算がつきますが、現状、児童指導員とやっている支援は変わらないのではないかと疑問に思っている。本来、有資格者の方々は、ドクターによる処方箋に基づいて支援（本

来は治療と言うのか) をするものだと思うのですが、それもなければ、支援によつての成果を報告する事もなく、加算がついていることに納得は出来ないかと思っています。

作業療法士、言語聴覚士が「在籍」していても形骸化している他事業所の話当事業所利用の父母から聞きます。このような評価や訓練がアップデートされない状況でも、当事業所と同じ診療点数ということが悔しく、残念と言わざるを得ません。

子どもたちの発達支援は、多職種の専門的観点が必要だと常々感じております。在籍が難しい場合は、相談機関などと連携を取り、充実充実した療育を提供していきたいと思ひます。

指導員たちの支援の質が大変良いのに、経験年数に関わらず「児童指導員」「保育士」とひとくくりなこと、専門職名が無いことが残念に思ひます。

指導員としての年数より社会経験や、子育て経験も必要になる仕事だと思ひます。年数と力量は比例しません。年数が浅くても、保護者対応できる人もいます。

支援に必要な人材を集めたくても収入に見合わず集められない。

支援の経験年数を問われる質問が多かったが、人員配置が充実しているわけではないので、職員がいなければ、1年目の職員も担わなければならないのではないかと思ひます。

支援の現場において、通常の学校教育で障害児者に対して学ぶ機会が圧倒的に少ない中、障害児に携わつた経験年数よりも、その職員の持っている知識や取組み姿勢、考え方に支援の質が大きく左右されていると思ひます。これまでいくつかの入退職者を見てきて、比較的長く経験はあつても、知識が不足しており、自分の子育てや自分が育つてきた環境から、結果的に療育が躰的に型にはめようとする傾向があるように思ひます(躰も一つの要素としては重要と思ひますが)。

支援の質の向上をあげる為には職員数を増やすことが必要である。現状の収益では正職員を減し臨時職員で事業運営していかないと回らない。

継続的な質の向上に繋がらない。単価は徐々に下がつていき国の方針質の向上と現状がマッチしていない。

支援の質を高水準で保つていけるだけの資金がたりない。支援員の負担が大きい割に見合つた給料を支払えない。

支援の質を問う場合に「経験のみ」を取りあげると、「経験があれば良い支援ができるという」一義的かつ一面的な質にしかならないと思ひます。医療ケアには当てはまるかもしれませんが、多くの他の場合は「経験歴」では捉えられない豊かな実践の評価を無視してしまうこととなります。どのような理念や療育観の下で支援を行っているかを調査する必要があるのではないのでしょうか?放デイの2類型もその意識を含みこんでいると思ひます。そうしてボトムアップ的に出てきた調査結果を広げて、質の評価をどのようにしていくのかを検討する必要があると思ひます。かなりトップダウン的に見た実態調査のような気がしました。

支援環境の一層の向上につながることをお祈りします。

支援計画や普段の支援に新人社員も参加させています。それは、研修やフォローの体制を十分に完備した上での就業体系です。新人でも勉強や実習を通じて良い意見を持った人はいますし、一概に勤務年数だけでは測れない物はあります。

今回の調査で何を調べたいのかはわかりかねますが、経験=支援の充実 ではなく決してないと思ひます。

理想的な支援は、様々な年齢や経験を持ち寄り、児童にあつた適切な支援と計画の形成だと思ひます。福祉は実務経験が物をいう世界ですが、その考え方が人材不足に一役買つている事を理解して頂けると助かります。

施設の運営で色々考えるいい機会になりました。整えなければならない部分もあると感じました。

肢体不自由児の療育を行なう保育士は会計年度任用職員も経験の長い職員が多く、今後入れ替わりの時期に、十分なスキルのある職員がこどもに向かい対応できるかが課題だと思う。

資格も大事なのですが、実務経験があってこそ資格の知識を発揮していただけるのではと思います。仕事に就く前に資格がなくとも実務経験を積みながら学んでもらえるような方も必要だと思います。経験の浅い保育士の方に高校生の子供を見ていただくのは無理があります。実務経験と知識のある方が一番必要だと思います。実務経験3年以上の方が児童指導員として認めていただけたらと思います。ありがとうございました。

事業所でのいろいろな業務は、資格によって違うこともあります。年数でわかるものなのではないでしょうか。勤務年数が短い人でもよく子どもたちのことを理解して動いている人もいます。資格を持っていて長くいても、子どもたちを理解しようとしなない人もいます。

事業所にはセラピスト(理学療法士、公認心理士)は居ないが、同じ会社に在籍しており。定期的に来ていただいたり、言語聴覚士は、外部講師に定期的に来ていただいている

事業所を新設したばかりで、障害児支援の経験の浅い職員が多い中で支援を行っている。障害児支援の経験は浅いが、それ以外の経験が豊富な人材が揃っているので、子ども達にとって新しい風が吹いていると思う。

児童指導員と保育士とで資格要件とすると保育士の方が加算が上になっていますが、放課後等デイサービスでは小学生から高校生が対象となっているため、専門性とする経験年数が同じである場合、児童指導員の方が専門性が高いケースも良く見られます。児童発達支援では経験が多い保育士が専門職員として扱われるのであれば、放課後等デイサービスでも経験の多い児童指導員が専門職員に該当しても良いのではないかと思います。過去には質の低い支援をして問題になった事業でもありましたが、今は子どもたちのことを本気で思って支援している事業所も、待遇の悪さから人材が集まらず、経営が立ち行かなくなったり、あるいは現場の人手不足でせっかく志をもって入職した若い人たちが疲弊して退職する姿を見ているし、話しにもよく聞きます。専門性は必要、しかし給与は低いとなると、どんどん人材が不足していってしまうと思っています。志を持って勉強して福祉職に入職した人たちが、心身ともに健康で働き、そして障害をもった子どもさんたちの支援を専門性を持って長くできるような環境を整えていただけることを、切に望んでおります。

児童指導員は特別支援学校教諭免許を取得し大学院でさらに障害児の研究をされている方です。その方や通っている大学の教授や関係者の方々からの意見や考察等をいただいています。現場経験は少ないですが、研究者としての経験があるので、ケース会議をはじめ大変心強い戦力になっています。

児童指導員をしながら試験を受け、保育士の資格をとって4か月の有資格者がいます。保育園等での実践経験がなく、個別支援が主の当事業所にいらっしゃるお子さん以外に会う機会がほとんどありません。当事業所内では、お子さんの標準的な発達についてや、幼稚園・保育園等の中の様子について、幼稚園教諭経験のある児童指導員に尋ねることが多いです。支援についてのより具体的な意見は、有資格者より実際にお子さんとお過ごした経験のある人からもらえると感じています。

児童指導員を中心に支援を行っていますが、保育(士)経験者の採用の必要を感じています

児童指導員等のスタッフについて、経験年数も一つの指標とは存じますが、それよりも本人の知識や向上心やコミュニケーション能力及び愛情等が支援に欠かせないと思います。

児童発達支援センターとして、正直なところ、当園の在園児の支援についてぎりぎりの支援体制であり、地域の子育て支援の拠点としての、中核機能は果たせていません。

児童発達支援や放デイなどでの専門職は必須だと思われるが心理職の立ち位置を生かすことに難しさを感じる。

児童発達支援管理責任者やスーパーバイザー的な職員を数に入れるのかどうか等、記入する施設によって回答する際の解釈が違うのではないかと思います。

児発センターでの障害児支援の経験年数が少ない方も、障害児保育を行う保育所での保育士としての経験が10年以上ある職員が多い上での回答となっています。

質問内容にあったように、支援する職員は、日によりばらつきがあるため、情報を共有した上で1人1人のサポートを丁寧に行っております。

そのため、日々、特定の職員が対応することは難しい状況です。

社内研修や日々の業務で気づいたことは障害児支援に携わった年数に関わらず職員間で情報共有や改善に向けて動いている。障害児と関わった経験がなくともその他の社会経験や障害者（18歳以上）の支援をしていたから、先に起こる課題を見通しながら関わられる強みもあり、障害児と何年関わっているからこの仕事ができる等は実際に明確に存在していないよう感じます。

社内研修や毎日の支援について振り返りを行なっているため、経験年数で判断していない。不安があればその都度解決している。

また、福祉経験年数が長い職員より、他職種からの転職により入職した職員の方が人間性が高いと感じる。

大切なお子様をお預かりしているので、経験年数での判断ではなく、支援の考え方・方向性の一致や人間性の方が大切との考えで、採用している。結局は、個人の意識の問題だと思います。

主な職員が該当の業務を担当するというより、基本的にどの職員も支援に携わっている

主は生活介護事業で共生型の児童発達支援及び共生型の放課後等デイサービスの指定を受けているが、実際のところ児童の利用者が0名である。

手厚く支援をしたいと思うが、専門員加算だけではリハ職・看護職を雇うには足りない。

低い給与では、なかなか、応募してもらえない。

当事業所では軽度の方から重度の方まで、ご利用がある。ギリギリで判定の出ている利用者さんでも、支援してみると様々な問題の出てくる方もいる。取りこぼしなく支援をしたいと考えると、支援員の人数を増やさないと支援が足りない。

重心の事業所を開設するためには看護師の採用が必要ですが、お給料の問題があり雇用をすることが難しいのが現状です。また、事業所を開所するためにはしっかりと経験のある職員の雇用が必要になります。求人を出してもお給料が安いので入職する職員がいない状態です。きちんとしたお給料を支払えるような国や県からの補助がないと経験値のある職員を雇うことができません。保育士・児童指導員の求人を出しても半年以上採用することが出来ていません。職員の負担になり療育の質が低下していると感じます。また、重心のお子様を利用できる事業所がないと聞きますので、早く作っていただけると良いと思います。よろしくお願いいたします。

小規模な児童通所施設の為、スタッフ全員で支援を行っています

障がいのある大人の利用できる福祉サービスは障がいの特性や支援区分によりある程度、使い分けされている。（療養介護、生活介護、自立訓練、就労 B、就労 A など）

それに比べ、放課後等デイの位置づけが、不明瞭すぎると思う。現に将来、就労 A、就労 B に移行できる児童が通う放デイ、療養介護や生活介護に移行する児童が通う放デイ、それらの児童がミックスに利用する放デイ、様々な状況の放デイがある。

国はそのような実態の中、どこのなんの部分の支援力の底上げをしたいのか・・・

支援力の底上げに力を入れたいのならば、放デイの位置づけをもう少し細分化し、それぞれの障がいに特化した放デイを区分していかなければ、支援力の底上げは上辺だけで終わってしまうような気がします。

現にいちばん星は将来、生活介護に移行される児童（知的に重度、重心）が多い放デイです。保育士、児童指導員のような教育的な知識より、介護福祉士のような介護技術的な知識のスキルアップが必要だと痛感しています。

障がい児支援は療育に偏りすぎて保護者の就労、レスパイト、子どもの保護、安全確保が手薄になっている。

制度発足時には、保護者の時間確保（家事、育児、就労等）も障害児支援の目的にしてあった。療育のみでなく、保護者、兄弟時のための時間を確保するために放課後等デイサービス、児童発達支援を使いやすくするひつようがあるのでは？専門職を置いて療育ばかりでは、家族が疲弊し経済的困難、虐待を助長しかねず、しわ寄せが子供たちに行くことになるのでは？

障がい児施設職員の処遇改善費をアップして頂けると、もっと働く人材が増えるのではないかと思います。

障がい福祉事業についてもっと充実した制度にすべき。

障害に関係なく、中高校生までを預かる放課後等デイサービスでは保育士の技術・経験では対応出来ないことがある。障害経験も質に大いに関わると思いますが、ベースに保育士、看護師を何年経験していたかにより、即戦力となり得ると回答しながら、気づきました。また、反対に資格がない経験だけの職員等は経験年数が多くても質にはつながってないとも感じました。結局は、対人援助職なので質の向上を一律にはかることは難しいのと、職種、経験に関わらず、人間性と組織の在り方が重要だと気付かされたので、今後に活かしたいと思います。

障害児に関わることに以前に保育士、カウンセラー、経験豊富な指導員で成り立っています。日々研修を受けたり関連本を読んでスタッフでシェアし子供たち、保護者が安全で安心できる居場所づくりを心掛けています。

障害児支援は保育園での加算の教師や、小学校の普通級にいる障害児を担任として当たったのは今回の回答には含まれていません。

障害福祉施設における人員配置(資格者)は、本当の意味で見直しが必要なのだと思います。各省庁の垣根を越えて障害児達の自立に向けた支援の為に。

障害分野における医療食の適切な評価を引き続きお願いした。

職員で、研修を定期的に行なっています。

職員についての実態調査を行う中で、障害特性を含めた児童理解、療育プログラム等サービスの提供、専門的知識や技術の習得、法制度の理解など、適切な支援に基づく人材育成の難しさを考えさせられました。

職員のコミュニケーション能力の低さに困惑している。

職員の顔を思い浮かべながら記入していますが、技量は 経験 10 年 > 7 年 > 5 年 > 3 年とは限りません。

職員の業務状況は、経験年数よりも個々のスキルによる判断が中心となっています。年数のみ、保有資格のみでの判断は難しいです。

職員の資質も個人個人違いますので、任せられる年数は個々にかなり差があります。

障害福祉の経験は浅くても、保育経験の長い保育士は障害児の対応経験もあり、支援に対する理解も早いと思います。

職員の専門性についてのご質問が多かったと思います。私たちの現場では、どのように子どもたちに寄り添い、いっしょに遊ぶか、ということがもっとも大切な職員のスキルと思っています。その中で、集団を形成し、個としての成長を見守っています。ご質問のなかでは、そのような部分は、直接求められていないように感じました。障害児支援においては、もちろん学術的なエビデンスは必要ではあります（これらのことを理解しないで支援し、現場がトラブルで混乱していることも理解します）が、頭でっかちな支援ばかりが目立つようになるのでは、と懸念します。職員として、スキルアップは必要ではありますが、子どもを理解するのに、教科書が要らない場合もあります。

職員の能力や経験によりますので、経験年数との一致をするかという疑問があります。児童指導員は学校経験や不登校児の対応のスキルが高いので、経験年数が少なくても的確な対応ができます。

職員は年数よりも資質で業務内容が違うように思います。

職員全体で研鑽していきたいと考えております。

職種により一人しかいない場合などに選択の余地がないところがありました

職場内では、3年で一通りの仕事がわかるようになる…という目標があるため、3年目になれば独り立ちとなり担う役割も多い。1年の経験の職員も業務にあたっているが、設問が、適切な業務にあたっているかという項目であったため、3年以上の経験者を該当とした。

心理士ではないのですが、個人的に子ども、家族の関わる心理を学びました。通信での心理カウンセラーは認められないとの事ですが少しでも利用者や家族が心穏やかに過ごせる様に日々行ってます。

心理士は外部契約職員として関わっていただいています。

心理職、看護師は、配置していないが、必要に応じて、支援を行っている。

心理職、看護職については配置はしていないが、必要に応じて支援を行なっている。

心理職の方からのアドバイスをいただけたらと思うときがあるのでそろそろ弊社も心理職の方を雇いたいと考え始めている段階です。

心理職員が所属してくれたら、専門的にアプローチできていいな。と思います。

しかし、そういった専門職の職員が働くには、賃金面の見直しをしない限りなかなか厳しいと感じます。

新卒～ベテランまで、同じ内容の支援を提供しているため、回答は平均をとって「3年以上」としています

人材不足が続いています。現在の放課後デイサービス事業所の数やニーズを考えると、障害児支援を専門に学べる大学や専門学校をもっと作ってほしいです。

正直、専門職をこれだけ採用している場合、コロナでのキャンセルが多く雇用の維持が難しい。専門職だから発達や制度を知っているのではないため、指導もしなくてはならない。保育園や幼稚園のように毎月決まった金額が入らないとフランチャイズ以外の事業所は倒産すると考える。本来、国や自治体が行うべきサービスを民間に移行させているのであれば、もっと加算等も簡素化し、手続きを省略すべきである。簡素化によって業務効率も上がるはずである。このような意見要望をどこが取り上げてくれるのか？疑問である。

昔からやっているが今の経験年数で応えるのか、または経験3ヶ月時はしていたなぁと言う振り返りで入力するのがわからず、適当な答えになったところがある

専門職として、児童指導員の専門性を考慮していただきたいと考えます。一つは、放課後等デイサービスで実績を踏んだ職員が、キャリアアップのため、転職を考えてしまうためです。それは事業所にとって大ダメージです。もう一つは、支援の要となるのは、児童指導員です。専門職だけでは、意見がまとまらず、よりよい支援に繋がりません。児童指導員として総合的にその子どもの成長発達において何が必要かを考え、その上でどうしたらそれが実現するか、専門職と話し合い、まとめ、チーム力で良い支援を行うことが重要であると考えます。放課後等デイサービスにおいて、児童指導員は専門職です。

専門職のPT,OT,ST、心理士等が、事業所にいてくれたらどんなにいいかと思うのですが、雇用の競争率が高くてなかなか放課後等デイに来ていただけない状況だと聞きました。ですので、子供達が病院で、言語療法を受けるときに、保護者や病院の許可を得て、見学させていただき、子どもたちの支援や課題づくりに役立たせていただいています。

専門職の経験年数の項目で、当苑のOTは1年未満ではありますが、専門職としての経験は10年以上あり、しっかりとエビデンスへの理解があります。専門職については、バックボーンとなる専門職としての経験年数も非常に大事だと思います。また機能訓練を行う上で専門性を確認するならば、Bobathや嚥下、呼吸の認定を取っているかを確認するのも有用かと思えます。

専門職の採用・増強と人件費・経費等収支のバランスが課題です。

専門性の高い看護師や介護福祉士よりも何故保育士のほうが重視されているのでしょうか

増々障害児・者への対応が難しくなると思えます。今後もチーム一丸となり専門性を活かして取り組みたいと思えます。

アンケート回答することにより、認識を又改たに出来ました。

他の事業所がどんな形式でどんな体制で営業をしているのか、また特徴があるのかを知る機会があると有難いです。多職種連携の必要性を切に願っています。

知識として、資格が必要な分野もあるが、それ以上に物事の本質を見抜く力、自分で考え理解しようとする力、知識や資格に頼り過ぎず柔軟に考えられる力が必要だと感じます。福祉業界に関しては経験年数や所有資格に依存し過ぎのようになっている。

知識や力量、センス等年数で区切って判断することは難しく、“人”によります。

中高生が中心ですので保育士の採用したこともあります但对応できませんでした。

調査の中に、ST/OT/PTさんや保育士さんの質問がございましたので、あえて記入いたします。ST/OT/PTさんは、事業所に居ていただければと思います。特に言語聴覚士さんは特に必要を感じております。言葉が出るようになれば、あるいは自分の思いを言葉で伝えられるようになれば、お子様のストレスは軽減されていきます。何とか配置したいと思いますが、特にお子様への対応が出来るSTさんは限られており、入職していただくには、それなりのお給料が発生してまいります。大手の事業所であるならば、簡単なことかもしれませんが、小規模の会社では、なかなか難しい状態です。また、当事業所は小学生以降のお子様を対象としており、基礎学力の定着を図るとともに、就労に向けてのライフスキルトレーニングに取り組んでおりますが、本当に保育士さんが必要なかと考えてしまいます。勿論児童発達支援事業においては必要なことかと思っておりますが、小学生以降のお子様には、年齢に応じて向き合える指導員さんが必要なのではないかと考えてしまいます。

長い利用時間を希望される利用者（保護者）様よりも言語聴覚療法や専門的な個別の学習を希望される利用者（保護者）様が多く見られています。是非、専門的な支援への評価も考慮頂けたらと思っています。

適切な支援ができる資質と経験年数の間に相関関係は無いと思います。

適切な支援について経験年数で回答を求められたが、支援員の年齢や社会経験の有無によっても適応力が異なり、一概に「障害児支援の経験年数」だけで評価するのは難しい。例えば支援経験1年目でも、短大新卒者と保育士経験10年の職員とでは、障がい児の理解や保護者へ対応等に大きな差があるのが現状です。

適切な支援を求めるレベルにより、回答が変わる可能性があります。職種による違いだけでなく、本人のスキルによるものが大きいと思われれます。

適切な支援を行うには、やはり職員は重要です。もちろん、資格者は必要ですが資格はなくても資質の高い職員はおります。経験を積むことも大切ですが、運営上資格のない職員を育てるという余裕が資金面で難しく感じます。当事業所では、産休が同年に3名重なりました。産休・育休期間の職員配置が大変でした。そうした場合の配慮など考えていただきたく存じます。

当センターのような高い専門性を求められる施設は、常勤の職員を配置できる、安定的な報酬体系が必要と考えます。当園は経験年数ではなく、各担当職員が支援、窓口等を担っており、経験豊富な職員が助言やフォローし、対応しています。

また当事業所の配置ではありませんが、愛川町としてPT、ST、相談員等の嘱託あり

当施設は重症の医療的ケア児をたいしょうとしていますので主に生命の維持、体調管理をメインとしています。質問に対応しない部分が多くあり答えになっていないかもしれず申し訳ございません。

当事業所では、子どもたちひとりひとりの特性に応じて細やかに対応していくために、マンツーマンで関われる職員配置をとっている。その厚い人員体制のなかで可能な限り「丁寧な子育て」を目指すとの方針で療育を捉えている。

当事業所では、人材育成が課題です。療育の質の保障と人材確保のバランスが、経営上も困難な状況です。

当事業所において各スタッフそれぞれが担っている役割と提供すべき支援の内容の再確認をしたことで現況と今後の支援の在り方を理解することができた。

当事業所の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士は、外部から定期的に勤務しています。

当法人には、就労継続支援事業所も開所している。放課後等デイサービスの職員としてキャリアを積むべく、それぞれの職種と従事した年月から取り組もうとしていると、人手が足りないということで、異動を命ぜられてしまう。どうにもならない現状があります。

入社後の研修制度がしっかりしており、試験に合格しないとお子様の前にでてレッスンができません。言語聴覚士も理学療法士もみなさんが本社の試験を受けています。

入所、生活介護と一緒に建物内で運営していますので看護師、管理栄養士がいますので助言、対応しています。

配置基準含め、資格や知識はとても重要ですが、障害分野においては、学校でもあまりやらなかったという声が多かったです。障害の種類もそうですが、特製の理解も人によって症状が全く違うので難しい。

必ずしも資格保持者なので、専門的知識を持って支援ができるとは限らない。資格による人員配置基準、報酬単価は良質な支援に直結するとは考えにくい。

福祉で働こうという人がいない。サービスの質を担保するために職員を酷使せざるをえない。何らかの対策がないと、破綻する。最低給与の保証や指導員の給与金額の指定など、何らかの対策はできないか？質の高いサービスの提供をするための土台をしっかりしてほしい。

平均として3年以上と記入していますが人の出入りが激しく、実態としては未経験からこれらの業務を当てがわれる。しかしその中で適切な支援が出来る人材は限られているのが現状。未経験でも3か月以上から任せられる人もいるが3年以上の経験があっても適切な支援が出来ない人が圧倒的に多い事が見られる。年数や資格では現状として現場ではあまり意味をなしていないと感じます。基準人員や加算として資格は目安として判断されるが現場でそれによる専門性の高い支援を行えるかというのは別問題である事が多い。加算の為、人員として配置される結果、資格を持たない適切な支援が出来る人材が移動となり現場の負担が増加する。

保育士、児童指導員 個人的なスキルにバラツキがあり1年目でできる人と3年目でもできない人がいる場合は、1年目以上に○をつけています。

保育士、児童指導員が医療的ケア児との関わりや経験年数も重要だと思います。看護師だけが医療的ケア児に関わるわけではないので。

保育士、児童指導員とも、保育士等で提携発達むの子どもさん方と接して六る方、もともと子どもと遊ぶことが好きな方は、仕事のつかみ方が上手です。

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭 20年以上の経験があるが障害児しえんは2年目であり経験を生かした支援ができている。

保育士3名で自発とデイを展開している事業所です。ST,OT等のいない現場ですが、保護者へ最善のサポートが出来るように日々努めています。

保育士が加算など考慮した上で人材としては欲しいところですが、保育士の言い分は「保育園で働きたいから保育士になったのに、障害児施設では働きたくない」と何人も言っていました。一方で子育て経験者など少し勉強すれば戦力になる人もたくさんいます。しかし、資格がない方に手当を支払うほどの余裕はないので、採用にはつながりにくい。短期間の講習を受けて児童指導員になれるなどの制度があってもいいんじゃないでしょうか？ぜひご検討ください。あと、もっと現場の声を厚生労働省へ直接届ける機会がもっと必要だと思います。

保育士として障がい児支援の職に就く前にどんな職場でどのような働き方をしていたかによって同じ経験年数の職員でもスキルの違いがでてくると思います。また、チームワークで補えるところと補えないところがあると思うので、個人のスキルアップのための努力をしていかなければならないと思います。

保育士によっても質にバラツキがあるため、3か月ですぐにできる職員もいれば10年以上経験していてもできない職員もいる。そのため、経験年数ももちろんだが個人の能力も踏まえて児発管になれる年数をもう少し短くし、その分研修を厚くして頂けたらと思っています。

保育士の専門性は加算項目等で優遇されていますが、違う資格取得者も優遇されてもいいのではないかと思う場面が多く見られる。

保育士の保育と障がい児の支援は全く違うと思います。保育士経験があっても障がい児支援が無い場合は必要性を感じないです。

保育士も児童指導員も個人資質があるので、経験年数だけでは適切な障害児支援をできるかどうかは判断できない。保育士資格、児童指導員資格は関係ない、必要ない、やる気と思いやりと優しさと、どうしてこの仕事に就きたいか？志高く障害児支援に関われるか、子供達の為に親御さんの為にと自らを律する事ができるのかが重要。資格があるから取り敢えずこの仕事につけるのではなく、やりたいからやるの気持ちを持った方々に職員として働いて欲しい、この場を提供したいと管理者、経営者の私は思っています。

保育士等の有資格者がいるだけで実態はお預かりの専門性を生かしていない事業所が加算を得ている場合が多数存在している。プログラム等上質な支援を行っている事業所を加算対象にするなどの報酬改定を希望しています。ご検討ください。また、高学年や高機能自閉症等の対応として教員免許の資格も有効と考えます。児童指導員と同等ではなく、差をつけて質の良い療育を行うための視点も入れてお考えいただけると良いかと思えます。

保育補助、学童指導員の発達支援員など資格は無くとも3年以上の年数を積み子どもたちの支援に励んでいるパート職員や、外部からの講師として言語聴覚士の先生を呼び個別対応、職員研修、保護者面談等を行っています。

放課後等デイサービスは世間が思う以上に専門性が必要とされ、過酷な現場も多いです。もっと実態を発信し、離職の多いこの業界の事業所の職員がもっと働きやすい環境になることを願っています。

本人支援だけではなく、本人を取り巻く環境としての保護者支援にもっと価値を持った方がいいと思う。専門知識をひけらかすだけではなく、保護者の気持ちを受けとめ、共に子どもの成長発達を促すチームとしてかかわっていく事業所が増えることを願います。

問題を抱えている児童がいると囚われて人手不足になり、特別配置をしています。金銭的にはとても大変な状況です。

有資格者の配置を評価していただける事もありがたいのですが、無資格の職員も含めた「職員総数」の多さも、現場の手厚いサービス提供と、今後の人材育成の観点から評価していただきたいです。

令和3年の法改正での専門職加算の変更において、保育士の価値が下げられていると感じずにいられません。作業療法士や理学療法士がいる事業所の加算報酬が高いのは分かりますが、保育士の加算報酬が下げられたのは非常に残念です。生活力の向上をプログラムとして療育支援している放課後等デイサービスにおいてニーズが高いのは保育士です。保育士の社会的な価値が下げられているのも潜在保育士が増えている一因ではないでしょうか。

II. 事業所で行っている研修についての実態調査

ア.回収結果

都道府県	回答数	施設数 (R2)	回答率	都道府県	回答数	施設数 (R2)	回答率
北海道	323	1803	17.9%	滋賀県	25	193	13.0%
青森県	62	217	28.6%	京都府	52	408	12.7%
岩手県	15	198	7.6%	大阪府	195	2771	7.0%
宮城県	43	338	12.7%	兵庫県	159	1123	14.2%
秋田県	27	90	30.0%	奈良県	19	407	4.7%
山形県	25	164	15.2%	和歌山県	42	199	21.1%
福島県	59	323	18.3%	鳥取県	30	103	29.1%
茨城県	71	585	12.1%	島根県	18	135	13.3%
栃木県	90	344	26.2%	岡山県	67	399	16.8%
群馬県	43	347	12.4%	広島県	148	652	22.7%
埼玉県	172	1222	14.1%	山口県	23	216	10.6%
千葉県	247	1179	20.9%	徳島県	42	244	17.2%
東京都	350	1456	24.0%	香川県	14	147	9.5%
神奈川県	136	1488	9.1%	愛媛県	21	229	9.2%
新潟県	43	214	20.1%	高知県	25	110	22.7%
富山県	33	219	15.1%	福岡県	144	1066	13.5%
石川県	30	227	13.2%	佐賀県	31	219	14.2%
福井県	21	120	17.5%	長崎県	77	378	20.4%
山梨県	0	116	0.0%	熊本県	140	517	27.1%
長野県	42	255	16.5%	大分県	78	241	32.4%
岐阜県	27	386	7.0%	宮崎県	60	227	26.4%
静岡県	91	618	14.7%	鹿児島県	85	567	15.0%
愛知県	85	1595	5.3%	沖縄県	158	723	21.9%
三重県	58	324	17.9%	全国	3746	25102	14.9%

※施設数は令和2年度社会福祉施設等調査よりセンター及び児童発達支援と放課後等デイサービスを合算した数

イ.基礎情報について

(1) 事業所の種類

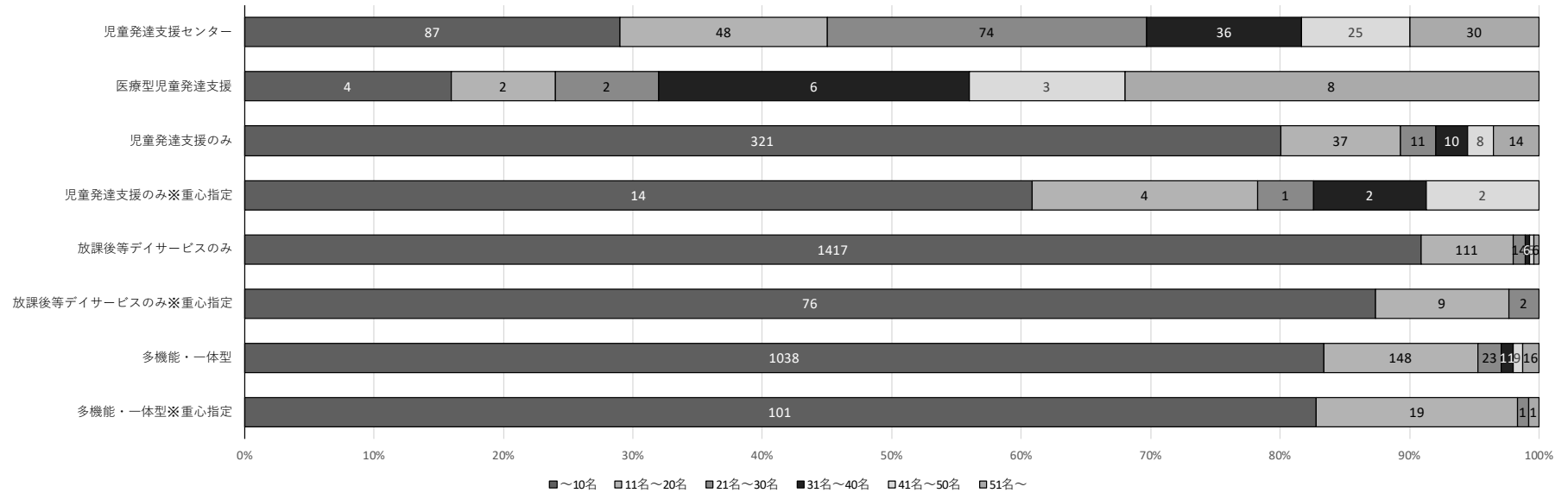
(1) 事業所の種類 全体	
児童発達支援センター	300
児童発達支援事業	1860
放課後等デイサービス事業	3102
保育所等訪問支援	367
居宅訪問型児童発達支援	49
医療型児童発達支援	25
その他	33
児童発達支援のみ（センター除く）	401
放課後等デイサービスのみ	1559
多機能・一体型	1245

(2) 重症心身型の指定の有無

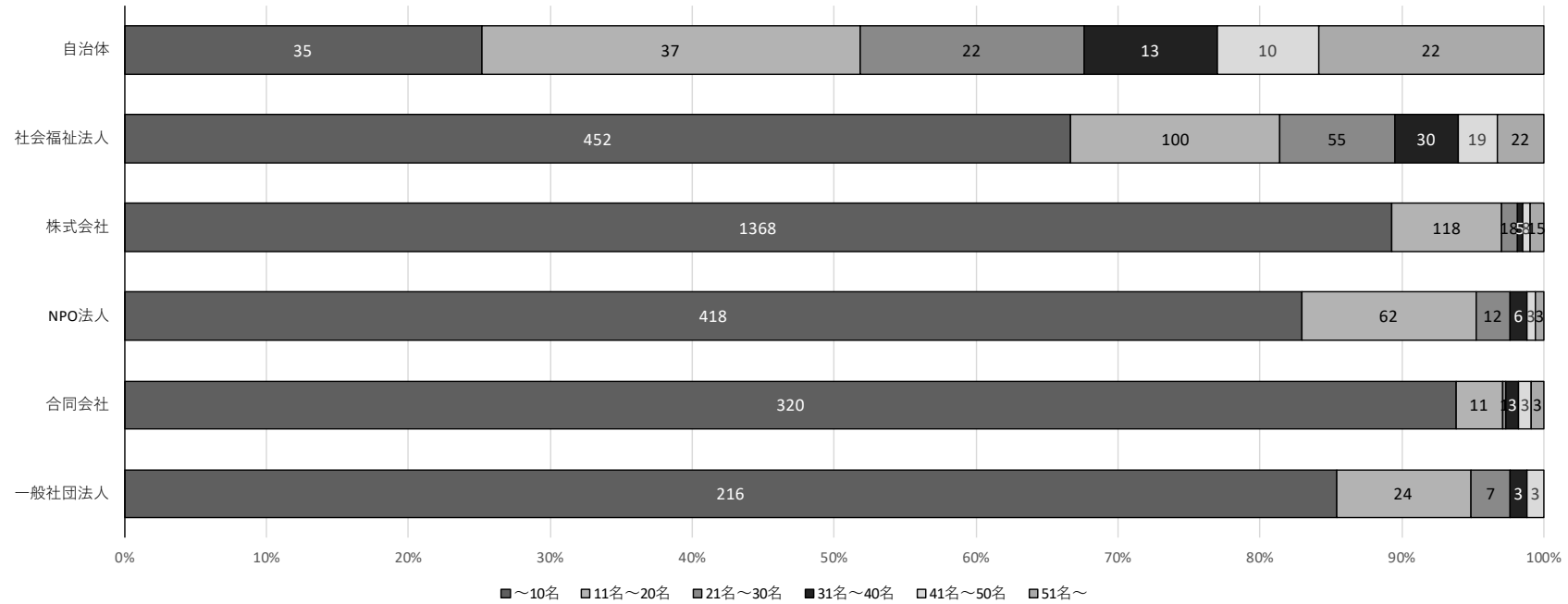
(2) 重症心身型の指定の有無	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	放課後等デイサービスのみ	多機能・一体型
指定あり	262 (7%)	29 (10%)	8 (32%)	23 (5%)	87 (5%)	122 (9%)
指定なし	3484 (93%)	271 (90%)	17 (68%)	401 (95%)	1559 (95%)	1245 (91%)
合計	3746 (100%)	300 (100%)	25 (100%)	424 (100%)	1646 (100%)	1367 (100%)

(2) 重症心身型の指定の有無	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
指定あり	262	(7%)	7	(5%)	83	(12%)	77	(5%)	40	(8%)	13	(4%)	22	(9%)
指定なし	3484	(93%)	132	(95%)	595	(88%)	1455	(95%)	464	(92%)	328	(96%)	231	(91%)
合計	3746	(100%)	139	(100%)	678	(100%)	1532	(100%)	504	(100%)	341	(100%)	253	(100%)

(5) 事業所の定員数

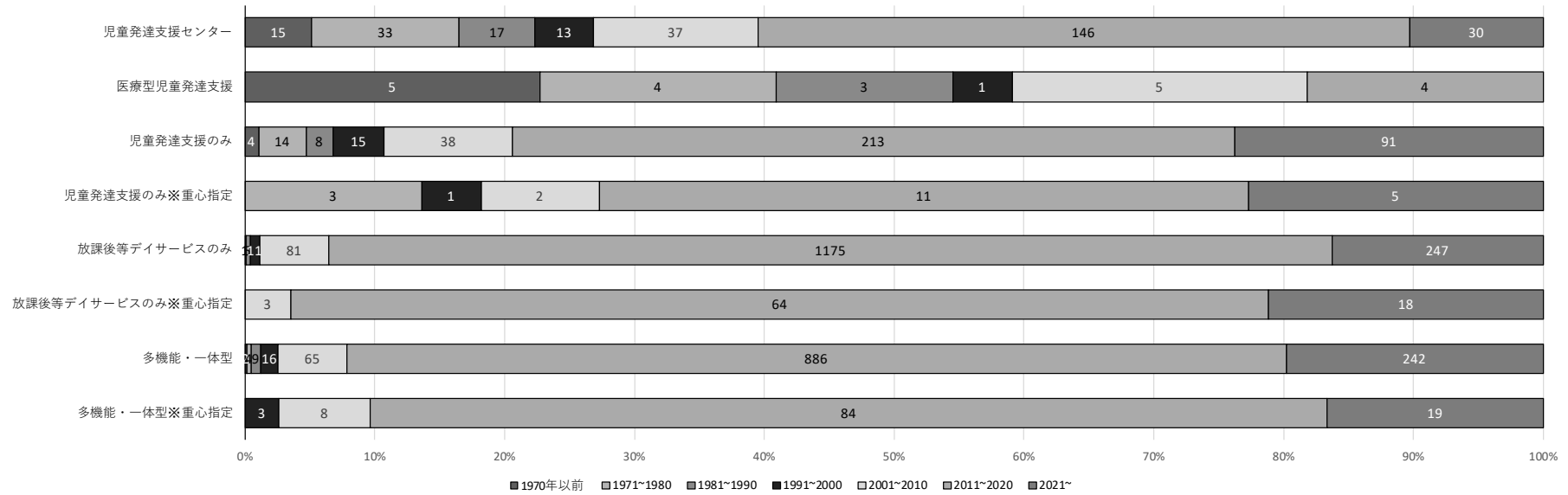


(5) 事業所の定員数	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重症児指定	放課後等デイサービスののみ	放課後等デイサービスののみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重症児指定
~10名	3057 (82%)	87 (29%)	4 (16%)	321 (80%)	14 (61%)	1417 (91%)	76 (87%)	1038 (83%)	101 (83%)
11名~20名	378 (10%)	48 (16%)	2 (8%)	37 (9%)	4 (17%)	111 (7%)	9 (10%)	148 (12%)	19 (16%)
21名~30名	127 (3%)	74 (25%)	2 (8%)	11 (3%)	1 (4%)	14 (1%)	2 (2%)	23 (2%)	1 (1%)
31名~40名	65 (2%)	36 (12%)	6 (24%)	10 (2%)	2 (9%)	6 (0%)	0 (0%)	11 (1%)	0 (0%)
41名~50名	49 (1%)	25 (8%)	3 (12%)	8 (2%)	2 (9%)	5 (0%)	0 (0%)	9 (1%)	0 (0%)
51名~	70 (2%)	30 (10%)	8 (32%)	14 (3%)	0 (0%)	6 (0%)	0 (0%)	16 (1%)	1 (1%)
合計	3746 (100%)	300 (100%)	25 (100%)	401 (100%)	23 (100%)	1559 (100%)	87 (100%)	1245 (100%)	122 (100%)



(5) 事業所の定員数	全体	自治体	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	合同会社	一般社団法人
~10名	3057 (82%)	35 (25%)	452 (67%)	1368 (89%)	418 (83%)	320 (94%)	216 (85%)
11名~20名	378 (10%)	37 (27%)	100 (15%)	118 (8%)	62 (12%)	11 (3%)	24 (9%)
21名~30名	127 (3%)	22 (16%)	55 (8%)	18 (1%)	12 (2%)	1 (0%)	7 (3%)
31名~40名	65 (2%)	13 (9%)	30 (4%)	5 (0%)	6 (1%)	3 (1%)	3 (1%)
41名~50名	49 (1%)	10 (7%)	19 (3%)	8 (1%)	3 (1%)	3 (1%)	3 (1%)
51名~	70 (2%)	22 (16%)	22 (3%)	15 (1%)	3 (1%)	3 (1%)	0 (0%)
合計	3746 (100%)	139 (100%)	678 (100%)	1532 (100%)	504 (100%)	341 (100%)	253 (100%)

(6) 事業所の開設年

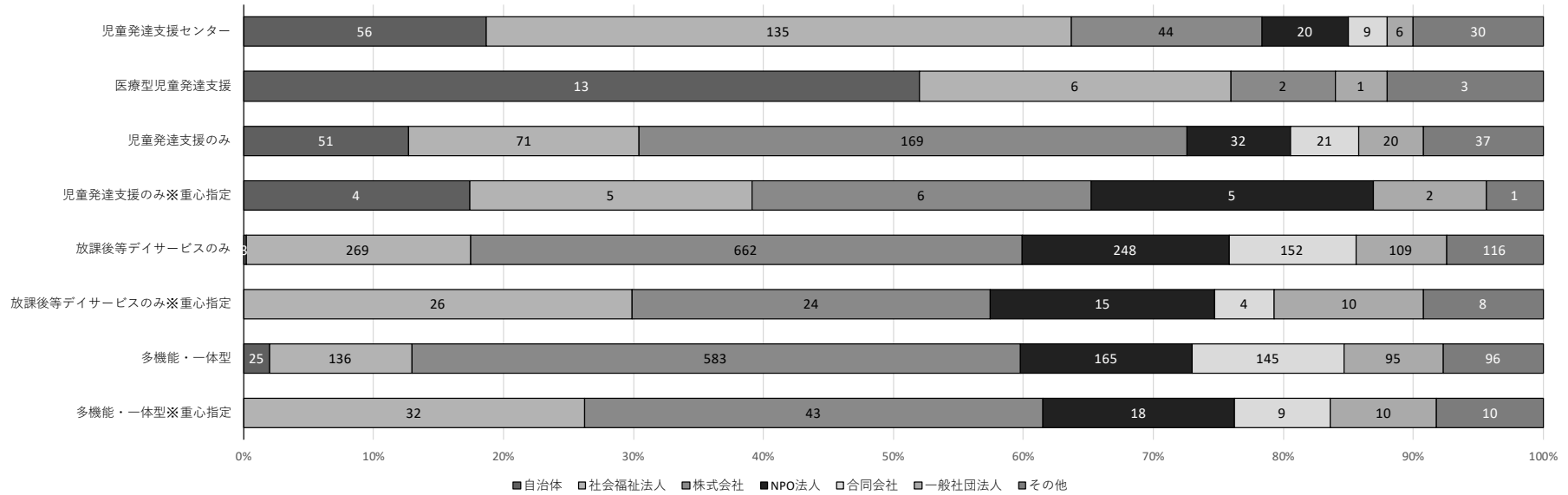


(6) 事業所の開設年 (西暦)	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※ 重症児指定	放課後等デイサービスのみ	放課後等デイサービスのみ※ 重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※ 重症児指定
1970年以前	22 (1%)	15 (5%)	5 (23%)	4 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (0%)	0 (0%)
1971~1980	55 (2%)	33 (11%)	4 (18%)	14 (4%)	3 (14%)	1 (0%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)
1981~1990	39 (1%)	17 (6%)	3 (14%)	8 (2%)	0 (0%)	5 (0%)	0 (0%)	9 (1%)	0 (0%)
1991~2000	59 (2%)	13 (4%)	1 (5%)	15 (4%)	1 (5%)	11 (1%)	0 (0%)	16 (1%)	3 (3%)
2001~2010	234 (6%)	37 (13%)	5 (23%)	38 (10%)	2 (9%)	81 (5%)	3 (4%)	65 (5%)	8 (7%)
2011~2020	2586 (71%)	146 (50%)	4 (18%)	213 (56%)	11 (50%)	1175 (77%)	64 (75%)	886 (72%)	84 (74%)
2021~	653 (18%)	30 (10%)	0 (0%)	91 (24%)	5 (23%)	247 (16%)	18 (21%)	242 (20%)	19 (17%)
未回答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	3648 (100%)	291 (100%)	22 (100%)	383 (100%)	22 (100%)	1520 (100%)	85 (100%)	1224 (100%)	114 (100%)



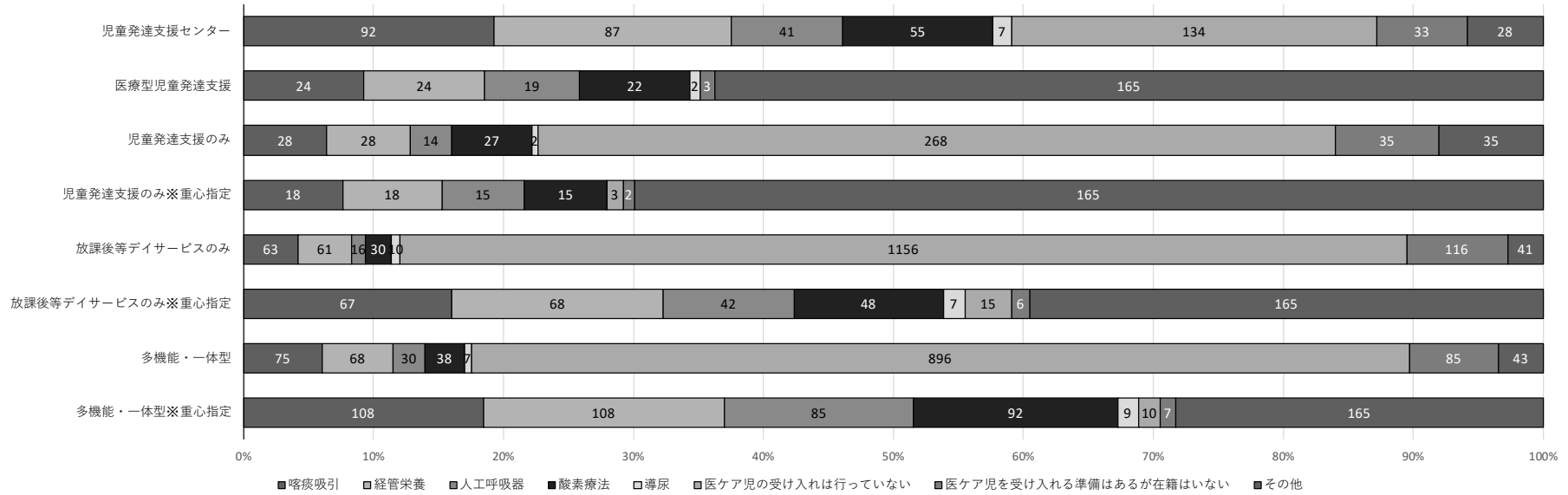
(6) 事業所の開設年（西暦）	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
1970年以前	22	(1%)	9	(7%)	9	(1%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
1971~1980	55	(2%)	23	(17%)	26	(4%)	1	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
1981~1990	39	(1%)	16	(12%)	13	(2%)	2	(0%)	4	(1%)	0	(0%)	1	(0%)
1991~2000	59	(2%)	18	(13%)	21	(3%)	3	(0%)	7	(1%)	1	(0%)	5	(2%)
2001~2010	234	(6%)	26	(19%)	94	(14%)	12	(1%)	63	(13%)	6	(2%)	2	(1%)
2011~2020	2586	(71%)	41	(30%)	432	(66%)	1114	(74%)	374	(77%)	221	(68%)	195	(78%)
2021~	653	(18%)	3	(2%)	58	(9%)	372	(25%)	38	(8%)	99	(30%)	46	(18%)
合計	3648	(100%)	136	(100%)	653	(100%)	1504	(100%)	488	(100%)	327	(100%)	249	(100%)

(7) 運営主体

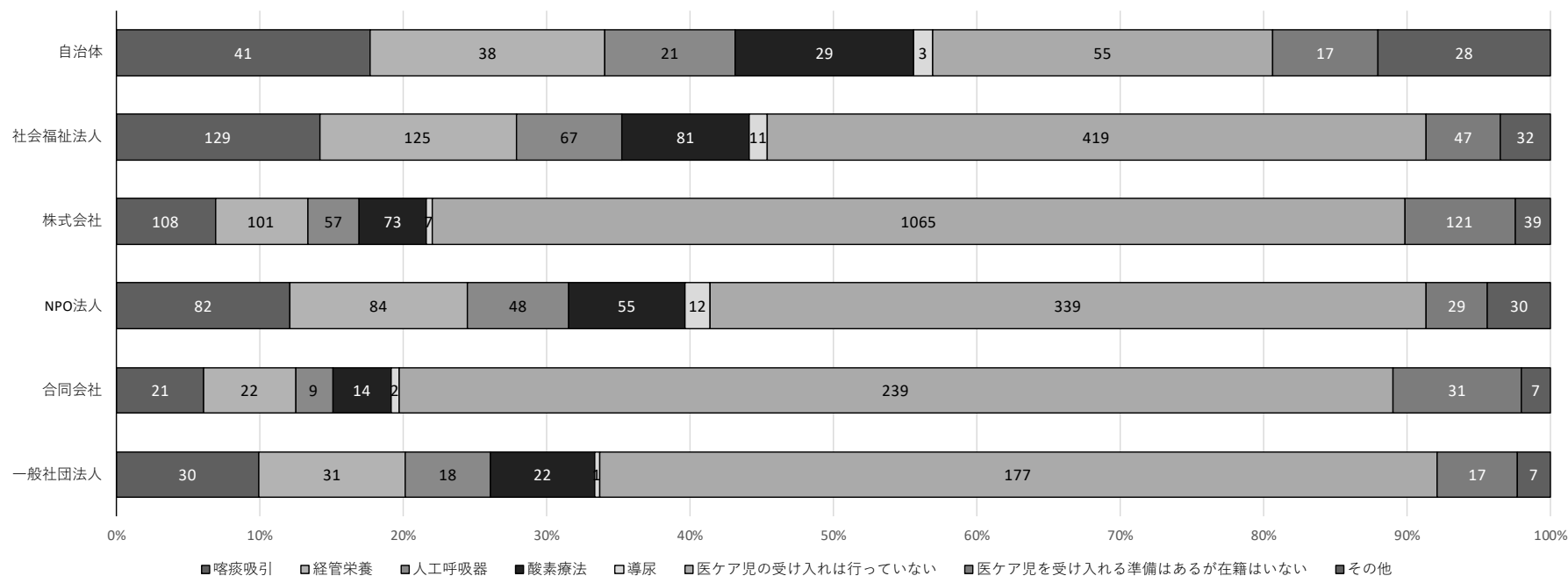


(7) 運営主体	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重症児指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重症児指定
自治体	139 (4%)	56 (19%)	13 (52%)	51 (13%)	4 (17%)	3 (0%)	0 (0%)	25 (2%)	0 (0%)
社会福祉法人	678 (18%)	135 (45%)	6 (24%)	71 (18%)	5 (22%)	269 (17%)	26 (30%)	136 (11%)	32 (26%)
株式会社	1532 (41%)	44 (15%)	2 (8%)	169 (42%)	6 (26%)	662 (42%)	24 (28%)	583 (47%)	43 (35%)
NPO法人	504 (13%)	20 (7%)	0 (0%)	32 (8%)	5 (22%)	248 (16%)	15 (17%)	165 (13%)	18 (15%)
合同会社	341 (9%)	9 (3%)	0 (0%)	21 (5%)	0 (0%)	152 (10%)	4 (5%)	145 (12%)	9 (7%)
一般社団法人	253 (7%)	6 (2%)	1 (4%)	20 (5%)	2 (9%)	109 (7%)	10 (11%)	95 (8%)	10 (8%)
その他	299 (8%)	30 (10%)	3 (12%)	37 (9%)	1 (4%)	116 (7%)	8 (9%)	96 (8%)	10 (8%)
合計	3746 (100%)	300 (100%)	25 (100%)	401 (100%)	23 (100%)	1559 (100%)	87 (100%)	1245 (100%)	122 (100%)

(8) 行える医療行為

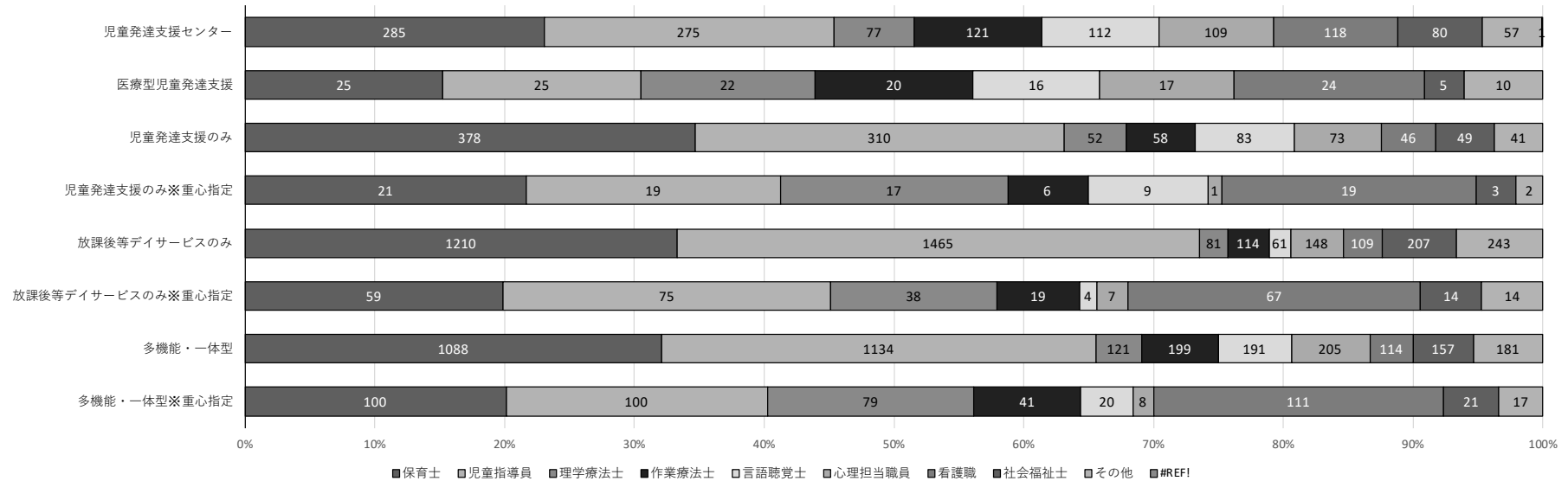


(8) 行える医療行為	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重症児指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重症児指定
喀痰吸引	452 (14%)	92 (36%)	24 (96%)	28 (8%)	18 (82%)	63 (5%)	67 (79%)	75 (7%)	108 (89%)
経管栄養	439 (14%)	87 (34%)	24 (96%)	28 (8%)	18 (82%)	61 (5%)	68 (80%)	68 (6%)	108 (89%)
人工呼吸器	244 (8%)	41 (16%)	19 (76%)	14 (4%)	15 (68%)	16 (1%)	42 (49%)	30 (3%)	85 (70%)
酸素療法	306 (9%)	55 (21%)	22 (88%)	27 (8%)	15 (68%)	30 (2%)	48 (56%)	38 (4%)	92 (76%)
導尿	42 (1%)	7 (3%)	2 (8%)	2 (1%)	0 (0%)	10 (1%)	7 (8%)	7 (1%)	9 (7%)
医ケア児の受け入れは行っていない	2487 (77%)	134 (52%)	0 (0%)	268 (81%)	3 (14%)	1156 (86%)	15 (18%)	896 (85%)	10 (8%)
医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はしない	286 (9%)	33 (13%)	3 (12%)	35 (11%)	2 (9%)	116 (9%)	6 (7%)	85 (8%)	7 (6%)
その他	165 (5%)	28 (11%)	165 (660%)	35 (11%)	165 (750%)	41 (3%)	165 (194%)	43 (4%)	165 (136%)
合計	3228	258	25	331	22	1348	85	1055	121

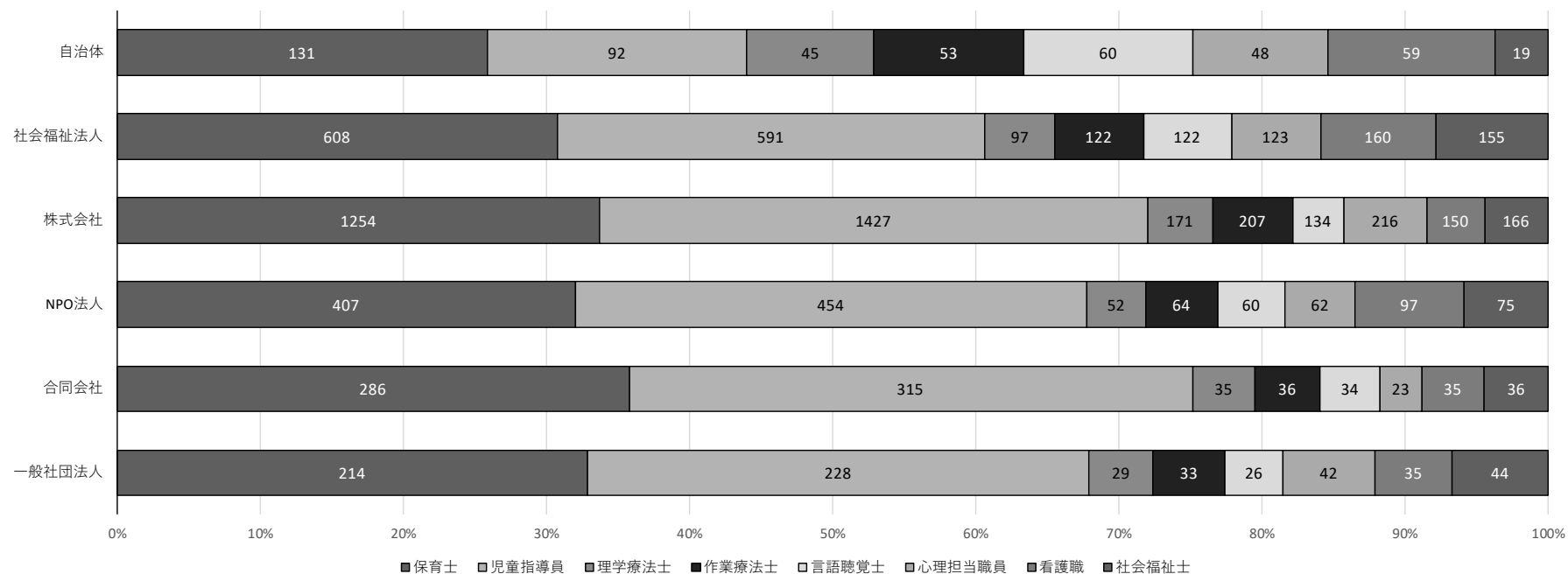


(8) 行える医療行為	全体	自治体	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	合同会社	一般社団法人
喀痰吸引	452 (14%)	41 (37%)	129 (22%)	108 (8%)	82 (18%)	21 (7%)	30 (13%)
経管栄養	439 (14%)	38 (35%)	125 (21%)	101 (8%)	84 (18%)	22 (7%)	31 (14%)
人工呼吸器	244 (8%)	21 (19%)	67 (11%)	57 (4%)	48 (10%)	9 (3%)	18 (8%)
酸素療法	306 (9%)	29 (26%)	81 (14%)	73 (6%)	55 (12%)	14 (5%)	22 (10%)
導尿	42 (1%)	3 (3%)	11 (2%)	7 (1%)	12 (3%)	2 (1%)	1 (0%)
医ケア児の受け入れは行っていない	2487 (77%)	55 (50%)	419 (71%)	1065 (83%)	339 (74%)	239 (81%)	177 (78%)
医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はいない	286 (9%)	17 (15%)	47 (8%)	121 (9%)	29 (6%)	31 (11%)	17 (7%)
その他	165 (5%)	28 (25%)	32 (5%)	39 (3%)	30 (7%)	7 (2%)	7 (3%)
合計	3228	110	594	1288	458	295	227

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)



(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重症児指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重症児指定
保育士	3147 (84%)	285 (95%)	25 (100%)	378 (94%)	21 (91%)	1210 (78%)	59 (68%)	1088 (87%)	100 (82%)
児童指導員	3383 (90%)	275 (92%)	25 (100%)	310 (77%)	19 (83%)	1465 (94%)	75 (86%)	1134 (91%)	100 (82%)
理学療法士	467 (12%)	77 (26%)	22 (88%)	52 (13%)	17 (74%)	81 (5%)	38 (44%)	121 (10%)	79 (65%)
作業療法士	559 (15%)	121 (40%)	20 (80%)	58 (14%)	6 (26%)	114 (7%)	19 (22%)	199 (16%)	41 (34%)
言語聴覚士	481 (13%)	112 (37%)	16 (64%)	83 (21%)	9 (39%)	61 (4%)	4 (5%)	191 (15%)	20 (16%)
心理担当職員	551 (15%)	109 (36%)	17 (68%)	73 (18%)	1 (4%)	148 (9%)	7 (8%)	205 (16%)	8 (7%)
看護職	587 (16%)	118 (39%)	24 (96%)	46 (11%)	19 (83%)	109 (7%)	67 (77%)	114 (9%)	111 (91%)
社会福祉士	532 (14%)	80 (27%)	5 (20%)	49 (12%)	3 (13%)	207 (13%)	14 (16%)	157 (13%)	21 (17%)
その他	556 (15%)	57 (19%)	10 (40%)	41 (10%)	2 (9%)	243 (16%)	14 (16%)	181 (15%)	17 (14%)



職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)	全体	自治体	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	合同会社	一般社団法人
保育士	3147 (84%)	131 (94%)	608 (90%)	1254 (82%)	407 (81%)	286 (84%)	214 (85%)
児童指導員	3383 (90%)	92 (66%)	591 (87%)	1427 (93%)	454 (90%)	315 (92%)	228 (90%)
理学療法士	467 (12%)	45 (32%)	97 (14%)	171 (11%)	52 (10%)	35 (10%)	29 (11%)
作業療法士	559 (15%)	53 (38%)	122 (18%)	207 (14%)	64 (13%)	36 (11%)	33 (13%)
言語聴覚士	481 (13%)	60 (43%)	122 (18%)	134 (9%)	60 (12%)	34 (10%)	26 (10%)
心理担当職員	551 (15%)	48 (35%)	123 (18%)	216 (14%)	62 (12%)	23 (7%)	42 (17%)
看護職	587 (16%)	59 (42%)	160 (24%)	150 (10%)	97 (19%)	35 (10%)	35 (14%)
社会福祉士	532 (14%)	19 (14%)	155 (23%)	166 (11%)	75 (15%)	36 (11%)	44 (17%)
その他	556 (15%)	22 (16%)	123 (18%)	185 (12%)	80 (16%)	47 (14%)	50 (20%)

ウ.調査結果

1. 事業所で行っている研修について

(1) 貴事業所では、令和3年度、障害児支援を行う者を主たる対象とする研修を何か行いましたか。なお、事業所として主体的に実施して
いなくとも、従業員が外部研修を受けるにあたって研修費を補助した場合も、「行った」に含みます。

	全体	児童発達支援セン ター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※ 重症児指定	放課後等デイサービ スのみ	放課後等デイサービ スのみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重 症児指定
行った	3435 (92%)	287 (96%)	25 (100%)	360 (90%)	20 (87%)	1430 (92%)	74 (85%)	1151 (92%)	105 (86%)
行っていない	311 (8%)	13 (4%)	0 (0%)	41 (10%)	3 (13%)	129 (8%)	13 (15%)	94 (8%)	17 (14%)
合計	3746 (100%)	300 (100%)	25 (100%)	401 (100%)	23 (100%)	1559 (100%)	87 (100%)	1245 (100%)	122 (100%)

	全体	自治体	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	合同会社	一般社団法人
行った	3435 (92%)	133 (96%)	617 (91%)	1387 (91%)	478 (95%)	310 (91%)	238 (94%)
行っていない	311 (8%)	6 (4%)	61 (9%)	145 (9%)	26 (5%)	31 (9%)	15 (6%)
合計	3746 (100%)	139 (100%)	678 (100%)	1532 (100%)	504 (100%)	341 (100%)	253 (100%)

2. 【研修①】研修時間と内容について

(1) 貴事業所の職員は、2022年7月の1か月間において、職員一人当たり、平均何時間、研修に参加しましたか。もっとも近いものを選択してください。職員が外部研修を受けるにあたって事業所が研修費を補助した場合も含まれます。職員によってばらつきがある場合には、管理者からみた平均的な職員について回答してください。なお、2022年7月に特殊な事情があった場合には、該当月以外の平均的な実態がわかる1か月の状況について回答してください。

	全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		児童発達支援のみ※重症児指定		放課後等デイサービスのみのみ		放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定		多機能・一体型		多機能・一体型※重症児指定	
0時間（研修に参加していない）	412	(12%)	20	(7%)	1	(4%)	47	(13%)	0	(0%)	186	(13%)	13	(18%)	121	(11%)	24	(23%)
0.5時間（30分）	288	(8%)	35	(12%)	2	(8%)	31	(9%)	6	(30%)	122	(9%)	11	(15%)	71	(6%)	12	(11%)
1時間	894	(26%)	63	(22%)	11	(44%)	87	(24%)	5	(25%)	377	(26%)	25	(34%)	305	(27%)	30	(29%)
2時間	976	(28%)	84	(29%)	5	(20%)	101	(28%)	6	(30%)	393	(28%)	16	(22%)	351	(31%)	24	(23%)
3時間	324	(9%)	29	(10%)	1	(4%)	44	(12%)	1	(5%)	138	(10%)	2	(3%)	105	(9%)	4	(4%)
4時間	203	(6%)	22	(8%)	1	(4%)	21	(6%)	0	(0%)	79	(6%)	2	(3%)	76	(7%)	1	(1%)
5時間	83	(2%)	11	(4%)	2	(8%)	12	(3%)	1	(5%)	30	(2%)	0	(0%)	27	(2%)	1	(1%)
6時間	69	(2%)	7	(2%)	2	(8%)	3	(1%)	1	(5%)	24	(2%)	2	(3%)	28	(2%)	4	(4%)
7時間	29	(1%)	4	(1%)	0	(0%)	4	(1%)	0	(0%)	8	(1%)	0	(0%)	12	(1%)	1	(1%)
8時間以上	147	(4%)	11	(4%)	0	(0%)	10	(3%)	0	(0%)	68	(5%)	3	(4%)	51	(4%)	4	(4%)
未回答	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
合計	3425	(100%)	286	(100%)	25	(100%)	360	(100%)	20	(100%)	1425	(100%)	74	(100%)	1147	(100%)	105	(100%)

	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
0時間（研修に参加していない）	412	(12%)	11	(8%)	103	(17%)	145	(10%)	55	(12%)	30	(10%)	34	(14%)
0.5時間（30分）	288	(8%)	9	(7%)	64	(10%)	98	(7%)	38	(8%)	27	(9%)	21	(9%)
1時間	894	(26%)	21	(16%)	143	(23%)	390	(28%)	120	(25%)	73	(24%)	67	(28%)
2時間	976	(28%)	48	(36%)	148	(24%)	434	(31%)	140	(30%)	83	(27%)	55	(23%)
3時間	324	(9%)	18	(14%)	61	(10%)	135	(10%)	34	(7%)	29	(9%)	25	(11%)
4時間	203	(6%)	5	(4%)	45	(7%)	67	(5%)	42	(9%)	21	(7%)	9	(4%)
5時間	83	(2%)	12	(9%)	14	(2%)	22	(2%)	10	(2%)	9	(3%)	9	(4%)
6時間	69	(2%)	1	(1%)	12	(2%)	31	(2%)	8	(2%)	7	(2%)	6	(3%)
7時間	29	(1%)	4	(3%)	2	(0%)	10	(1%)	3	(1%)	6	(2%)	2	(1%)
8時間以上	147	(4%)	4	(3%)	24	(4%)	53	(4%)	24	(5%)	24	(8%)	8	(3%)
合計	3425	(100%)	133	(100%)	616	(100%)	1385	(100%)	474	(100%)	309	(100%)	236	(100%)

(2) (1) の研修時間のうち、オンラインで実施したものはどの程度（何割）でしたか。

	全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		児童発達支援のみ※重症児指定		放課後等デイサービスのみのみ		放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定		多機能・一体型		多機能・一体型※重症児指定	
オンラインでは実施していない（すべて対面）	995	(29%)	65	(23%)	4	(16%)	92	(26%)	4	(20%)	456	(32%)	24	(33%)	332	(29%)	18	(18%)
1割未満	136	(4%)	17	(6%)	1	(4%)	16	(5%)	1	(5%)	44	(3%)	3	(4%)	50	(4%)	5	(5%)
1割～3割	229	(7%)	28	(10%)	3	(12%)	27	(8%)	1	(5%)	99	(7%)	1	(1%)	64	(6%)	8	(8%)
3割～5割	220	(7%)	36	(13%)	4	(16%)	26	(7%)	0	(0%)	74	(5%)	6	(8%)	70	(6%)	8	(8%)
5割～8割	257	(8%)	21	(7%)	4	(16%)	21	(6%)	2	(10%)	108	(8%)	4	(5%)	88	(8%)	13	(13%)
8割以上	299	(9%)	27	(10%)	4	(16%)	41	(12%)	3	(15%)	122	(9%)	5	(7%)	93	(8%)	7	(7%)
10割（すべてオンライン）	879	(26%)	69	(24%)	4	(16%)	90	(26%)	9	(45%)	338	(24%)	19	(26%)	331	(29%)	22	(22%)
研修に参加した職員はいない	367	(11%)	20	(7%)	1	(4%)	39	(11%)	0	(0%)	170	(12%)	11	(15%)	107	(9%)	20	(20%)
未回答	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
合計	3382	(100%)	283	(100%)	25	(100%)	352	(100%)	20	(100%)	1411	(100%)	73	(100%)	1135	(100%)	101	(100%)

	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
オンラインでは実施していない（すべて対面）	995	(29%)	34	(26%)	158	(26%)	411	(30%)	148	(32%)	97	(31%)	67	(29%)
1割未満	136	(4%)	7	(5%)	27	(4%)	44	(3%)	15	(3%)	12	(4%)	14	(6%)
1割～3割	229	(7%)	10	(8%)	52	(9%)	72	(5%)	30	(6%)	26	(8%)	25	(11%)
3割～5割	220	(7%)	16	(12%)	33	(5%)	80	(6%)	43	(9%)	17	(6%)	7	(3%)
5割～8割	257	(8%)	5	(4%)	56	(9%)	108	(8%)	36	(8%)	19	(6%)	16	(7%)
8割以上	299	(9%)	13	(10%)	48	(8%)	127	(9%)	39	(8%)	33	(11%)	19	(8%)
10割（すべてオンライン）	879	(26%)	35	(27%)	141	(23%)	394	(29%)	108	(23%)	77	(25%)	57	(24%)
研修に参加した職員はいない	367	(11%)	12	(9%)	92	(15%)	132	(10%)	47	(10%)	27	(9%)	30	(13%)
合計	3382	(100%)	132	(100%)	607	(100%)	1368	(100%)	466	(100%)	308	(100%)	235	(100%)

(3) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。コロナ前の1年間(2018年4月~2019年3月の1年間)において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。

※開設年が2020年より早い事業所に限定	全体	児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		児童発達支援のみ※重症児指定		放課後等デイサービスのみのみ		放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定		多機能・一体型		多機能・一体型※重症児指定	
0	222 (9%)	9 (4%)	0 (0%)	31 (16%)	1 (7%)	97 (10%)	3 (7%)	74 (10%)	7 (10%)								
1~10	1674 (64%)	87 (41%)	7 (44%)	103 (52%)	10 (67%)	661 (67%)	33 (72%)	492 (65%)	48 (66%)								
11~20	375 (14%)	47 (22%)	3 (19%)	42 (21%)	4 (27%)	131 (13%)	8 (17%)	100 (13%)	11 (15%)								
21~30	151 (6%)	22 (10%)	1 (6%)	12 (6%)	0 (0%)	51 (5%)	1 (2%)	47 (6%)	5 (7%)								
31~40	73 (3%)	18 (8%)	2 (13%)	3 (2%)	0 (0%)	24 (2%)	1 (2%)	19 (3%)	1 (1%)								
41~51	38 (1%)	9 (4%)	1 (6%)	3 (2%)	0 (0%)	11 (1%)	0 (0%)	12 (2%)	0 (0%)								
51~60	16 (1%)	5 (2%)	1 (6%)	1 (1%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)	3 (0%)	0 (0%)								
61~70	8 (0%)	4 (2%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)								
71~80	6 (0%)	3 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)								
81~90	12 (0%)	3 (1%)	1 (6%)	1 (1%)	0 (0%)	5 (1%)	0 (0%)	3 (0%)	0 (0%)								
91~100	4 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)								
101以上	20 (1%)	4 (2%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)	8 (1%)	0 (0%)								
未回答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)								
合計	2599 (100%)	213 (100%)	16 (100%)	199 (100%)	15 (100%)	991 (100%)	46 (100%)	759 (100%)	73 (100%)								

※開設年が2020年より早い事業所に限定	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
0	222	(9%)	0	(0%)	30	(6%)	113	(14%)	21	(6%)	24	(14%)	15	(10%)
1~10	1674	(64%)	46	(40%)	269	(57%)	560	(68%)	226	(60%)	108	(65%)	92	(62%)
11~20	375	(14%)	32	(28%)	80	(17%)	85	(10%)	74	(20%)	16	(10%)	30	(20%)
21~30	151	(6%)	14	(12%)	49	(10%)	30	(4%)	27	(7%)	6	(4%)	6	(4%)
31~40	73	(3%)	6	(5%)	20	(4%)	17	(2%)	10	(3%)	7	(4%)	3	(2%)
41~51	38	(1%)	7	(6%)	6	(1%)	8	(1%)	4	(1%)	4	(2%)	2	(1%)
51~60	16	(1%)	5	(4%)	3	(1%)	2	(0%)	3	(1%)	0	(0%)	0	(0%)
61~70	8	(0%)	1	(1%)	5	(1%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
71~80	6	(0%)	1	(1%)	1	(0%)	1	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
81~90	12	(0%)	0	(0%)	5	(1%)	1	(0%)	5	(1%)	0	(0%)	1	(1%)
91~100	4	(0%)	2	(2%)	1	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
101以上	20	(1%)	2	(2%)	5	(1%)	3	(0%)	5	(1%)	1	(1%)	0	(0%)
合計	2599	(100%)	116	(100%)	474	(100%)	821	(100%)	377	(100%)	166	(100%)	149	(100%)

(4)(3)で職員の参加した研修のうち、どの程度(何割程度)がオンライン研修でしたか。

	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	児童発達支援のみ※重症児指定	放課後等デイサービスのみのみ	放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定	多機能・一体型	多機能・一体型※重症児指定
オンラインでは実施していない(すべて対面)	1177 (37%)	87 (32%)	5 (23%)	96 (29%)	6 (32%)	550 (41%)	25 (39%)	375 (35%)	38 (39%)
1割未満	623 (20%)	112 (42%)	13 (59%)	72 (22%)	6 (32%)	211 (16%)	14 (22%)	183 (17%)	21 (22%)
1割～3割	155 (5%)	14 (5%)	1 (5%)	11 (3%)	0 (0%)	68 (5%)	0 (0%)	55 (5%)	5 (5%)
3割～5割	114 (4%)	5 (2%)	0 (0%)	11 (3%)	0 (0%)	57 (4%)	2 (3%)	37 (3%)	2 (2%)
5割～8割	108 (3%)	4 (1%)	1 (5%)	7 (2%)	1 (5%)	46 (3%)	6 (9%)	39 (4%)	5 (5%)
8割以上	109 (3%)	5 (2%)	0 (0%)	6 (2%)	1 (5%)	50 (4%)	2 (3%)	40 (4%)	5 (5%)
10割(すべてオンライン)	213 (7%)	10 (4%)	1 (5%)	15 (5%)	1 (5%)	88 (7%)	2 (3%)	91 (9%)	5 (5%)
研修に参加した職員はいない	694 (22%)	31 (12%)	1 (5%)	112 (34%)	4 (21%)	276 (21%)	13 (20%)	242 (23%)	16 (16%)
未回答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	3193 (100%)	268 (100%)	22 (100%)	330 (100%)	19 (100%)	1346 (100%)	64 (100%)	1062 (100%)	97 (100%)

	全体	自治体	社会福祉法人	株式会社	NPO法人	合同会社	一般社団法人
オンラインでは実施していない(すべて対面)	1177 (37%)	31 (24%)	236 (41%)	437 (34%)	222 (48%)	81 (29%)	71 (32%)
1割未満	623 (20%)	82 (64%)	168 (29%)	137 (11%)	102 (22%)	48 (17%)	30 (14%)
1割～3割	155 (5%)	2 (2%)	30 (5%)	67 (5%)	20 (4%)	11 (4%)	14 (6%)
3割～5割	114 (4%)	0 (0%)	13 (2%)	55 (4%)	15 (3%)	10 (4%)	10 (5%)
5割～8割	108 (3%)	2 (2%)	23 (4%)	53 (4%)	11 (2%)	4 (1%)	11 (5%)
8割以上	109 (3%)	1 (1%)	14 (2%)	54 (4%)	7 (2%)	9 (3%)	15 (7%)
10割(すべてオンライン)	213 (7%)	4 (3%)	24 (4%)	110 (9%)	18 (4%)	24 (8%)	18 (8%)
研修に参加した職員はいない	694 (22%)	7 (5%)	73 (13%)	355 (28%)	66 (14%)	96 (34%)	52 (24%)
合計	3193 (100%)	129 (100%)	581 (100%)	1268 (100%)	461 (100%)	283 (100%)	221 (100%)

(5) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。2021年4月～2022年3月の1年間（コロナ禍の1年間）において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。

※開設年が2020年より早い事業所に限定	全体	児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		児童発達支援のみ※重症児指定		放課後等デイサービスのみのみ		放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定		多機能・一体型		多機能・一体型※重症児指定	
0	311 (10%)	9 (3%)	0 (0%)	34 (10%)	1 (5%)	146 (11%)	5 (7%)	111 (10%)	5 (5%)								
1~10	2141 (66%)	138 (50%)	11 (48%)	215 (63%)	15 (75%)	907 (68%)	50 (72%)	735 (68%)	74 (75%)								
11~20	415 (13%)	48 (17%)	3 (13%)	54 (16%)	2 (10%)	172 (13%)	7 (10%)	121 (11%)	11 (11%)								
21~30	179 (6%)	31 (11%)	1 (4%)	12 (4%)	1 (5%)	65 (5%)	6 (9%)	58 (5%)	6 (6%)								
31~40	62 (2%)	10 (4%)	2 (9%)	6 (2%)	0 (0%)	21 (2%)	0 (0%)	23 (2%)	2 (2%)								
41~51	34 (1%)	11 (4%)	1 (4%)	4 (1%)	1 (5%)	7 (1%)	0 (0%)	11 (1%)	0 (0%)								
51~60	24 (1%)	6 (2%)	0 (0%)	6 (2%)	0 (0%)	6 (0%)	1 (1%)	5 (0%)	0 (0%)								
61~70	12 (0%)	5 (2%)	2 (9%)	1 (0%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	1 (1%)								
71~80	14 (0%)	6 (2%)	2 (9%)	2 (1%)	0 (0%)	2 (0%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)								
81~90	7 (0%)	1 (0%)	1 (4%)	3 (1%)	0 (0%)	1 (0%)	0 (0%)	2 (0%)	0 (0%)								
91~100	7 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (0%)	0 (0%)	3 (0%)	0 (0%)								
101以上	28 (1%)	12 (4%)	0 (0%)	3 (1%)	0 (0%)	3 (0%)	0 (0%)	10 (1%)	0 (0%)								
未回答	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)								
合計	3234 (100%)	277 (100%)	23 (100%)	340 (100%)	20 (100%)	1338 (100%)	69 (100%)	1084 (100%)	99 (100%)								

※開設年が2020年より早い事業所に限定	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
0	311	(10%)	1	(1%)	43	(7%)	165	(13%)	31	(7%)	32	(11%)	16	(7%)
1~10	2141	(66%)	67	(52%)	369	(62%)	863	(68%)	300	(66%)	201	(71%)	161	(70%)
11~20	415	(13%)	22	(17%)	100	(17%)	143	(11%)	62	(14%)	26	(9%)	31	(13%)
21~30	179	(6%)	13	(10%)	40	(7%)	46	(4%)	37	(8%)	12	(4%)	14	(6%)
31~40	62	(2%)	8	(6%)	12	(2%)	24	(2%)	9	(2%)	1	(0%)	2	(1%)
41~51	34	(1%)	5	(4%)	9	(2%)	7	(1%)	5	(1%)	3	(1%)	2	(1%)
51~60	24	(1%)	2	(2%)	7	(1%)	8	(1%)	2	(0%)	3	(1%)	2	(1%)
61~70	12	(0%)	3	(2%)	3	(1%)	5	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
71~80	14	(0%)	2	(2%)	5	(1%)	4	(0%)	3	(1%)	0	(0%)	0	(0%)
81~90	7	(0%)	1	(1%)	2	(0%)	1	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	2	(1%)
91~100	7	(0%)	0	(0%)	1	(0%)	5	(0%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)
101以上	28	(1%)	4	(3%)	9	(2%)	5	(0%)	4	(1%)	4	(1%)	0	(0%)
合計	3234	(100%)	128	(100%)	600	(100%)	1276	(100%)	455	(100%)	283	(100%)	230	(100%)

(6) (5) で職員の参加した研修のうち、どの程度（何割程度）がオンライン研修でしたか。

	全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		児童発達支援のみ※重症児指定		放課後等デイサービスのみのみ		放課後等デイサービスのみのみ※重症児指定		多機能・一体型		多機能・一体型※重症児指定	
オンラインでは実施していない（すべて対面）	250	(7%)	9	(3%)	0	(0%)	21	(6%)	0	(0%)	131	(9%)	6	(8%)	76	(7%)	7	(7%)
1割未満	146	(4%)	14	(5%)	0	(0%)	16	(5%)	0	(0%)	69	(5%)	4	(5%)	39	(3%)	3	(3%)
1割~3割	226	(7%)	28	(10%)	2	(9%)	26	(7%)	2	(10%)	93	(7%)	1	(1%)	68	(6%)	8	(8%)
3割~5割	302	(9%)	33	(12%)	4	(17%)	33	(9%)	0	(0%)	128	(9%)	7	(10%)	90	(8%)	11	(11%)
5割~8割	418	(12%)	47	(17%)	6	(26%)	50	(14%)	3	(15%)	152	(11%)	14	(19%)	138	(12%)	14	(14%)
8割以上	600	(18%)	64	(23%)	6	(26%)	61	(17%)	7	(35%)	228	(16%)	14	(19%)	204	(18%)	20	(20%)
10割（すべてオンライン）	1076	(32%)	77	(28%)	5	(22%)	110	(31%)	7	(35%)	439	(31%)	21	(29%)	382	(34%)	36	(35%)
研修に参加した職員はいない	327	(10%)	6	(2%)	0	(0%)	33	(9%)	1	(5%)	155	(11%)	6	(8%)	123	(11%)	3	(3%)
未回答	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
合計	3345	(100%)	278	(100%)	23	(100%)	350	(100%)	20	(100%)	1395	(100%)	73	(100%)	1120	(100%)	102	(100%)

	全体		自治体		社会福祉法人		株式会社		NPO法人		合同会社		一般社団法人	
オンラインでは実施していない（すべて対面）	250	(7%)	1	(1%)	23	(4%)	123	(9%)	46	(10%)	24	(8%)	16	(7%)
1割未満	146	(4%)	5	(4%)	36	(6%)	48	(4%)	20	(4%)	13	(4%)	12	(5%)
1割～3割	226	(7%)	6	(5%)	53	(9%)	85	(6%)	28	(6%)	22	(7%)	13	(6%)
3割～5割	302	(9%)	11	(8%)	57	(9%)	107	(8%)	51	(11%)	25	(8%)	25	(11%)
5割～8割	418	(12%)	27	(21%)	98	(16%)	154	(12%)	54	(12%)	31	(10%)	26	(11%)
8割以上	600	(18%)	36	(28%)	125	(21%)	212	(16%)	92	(20%)	53	(17%)	39	(17%)
10割（すべてオンライン）	1076	(32%)	42	(32%)	176	(29%)	433	(32%)	141	(30%)	100	(33%)	87	(37%)
研修に参加した職員はいない	327	(10%)	2	(2%)	40	(7%)	173	(13%)	33	(7%)	35	(12%)	18	(8%)
合計	3345	(100%)	130	(100%)	608	(100%)	1335	(100%)	465	(100%)	303	(100%)	236	(100%)

エ.自由記載

(研修について)

昨今のコロナ禍状況を踏まえ、集団研修から zoom を活用した研修を取り入れるように配慮している。特に、県からの研修については、zoom 研修に切り替えるようにしている。また、各月の主担当者は、内部研修を月に一度実施し、各分野の情報更新と全職員への情報の周知徹底を行っている。

2022 年 4 月 1 日より開始いたしました事業所なので、これからどんどん研修等参加していき、各職員、勉強していきたいと思います。

5 月に開所し、研修も少しずつ行っています。研修を行い、支援内容を充実させていきます。参加できる研修は積極的に参加します。

LGBT 観点でのこれからの療育におけるの同性異性について

R4.3 に「職員を利用者、家族等によるハラスメントから守るために」というガイドラインが出て、利用者からの著しい迷惑行為を防止するためのマニュアル作成が勧められている。「利用者からの著しい迷惑行為」の捉え方が、利用者や家族にとっての不利益になっている状況があり、今後さらにそのような状況が増える懸念がある。障害特性による行動を迷惑行為と認識し、利用を断るなど、事業所が利用者を選別することを後押ししているようで問題を感じている。専門知識を持った支援者による支援を必要としている利用者が、必要な支援を受けられるよう、職員育成や職員配置など環境を整えていく動きこそ必要であると思う。

インクルージョンについて考えてください。視覚障害児の個別サポートについて考えてほしい。

オンデマンド研修を増やして頂きたいです。

オンラインでの研修の中では動画視聴（視聴可能期間内）し、課題を提供する研修を何度か受講しまして、コロナ過であったので日程の拘束がなく受けやすいと感じました。

オンラインではなく 対面で行えると良いです。

オンラインではなく、対面で行われると良いです。

オンラインで研修が受けられるのは、大変ありがたいことだと思います。実践に活かせるよう、PDCA で取り組みたいと思います。

オンラインによる研修の方が参加しやすいとの職員からの意見が多く寄せられた。 今後も継続的に多岐にわたる研修の実施をしていただきたいと思っています。

オンラインの研修もありますが、有料が多く、また PC 環境などの面で中々参加できず、社内研修がメインになっています。他事業所の職員と同じ場での研修は刺激にもなるので、今年度は自立支援協議会（児童発達支援センター）での研修を増やしていただけると助かります。

この 2 年コロナ対応に追われ、療育内容も変更しながら実施しています。社会性の育成に必要な他児との関わりも制限しながらの療育提供に悩むばかりです。コロナ禍でありながらも人との関わり楽しさを共有できる活動内容や各施設の工夫点を共有できればと感じます。

コロナがない時代は、施設内研修・外部研修のいずれも盛んであったが、近年は非常に縮小しているため、この状況は異常事態であると考えます。

コロナで減収した場合の補助を希望します。サービス継続補助の 25 万では補填できません。

コロナの影響で集会、研修会などが中止になったり回数が減少したり、オンライン参加ができない環境等で2020～2021年度は厳しかったため、事業所内身に研修で補ってきました。

コロナの終息が見えない中ですが、できるだけオンライン研修等で常に最新の動向を把握していけるように努めていきたいと思えます。

コロナの状況もあり、施設内の研修がほとんどになりました。

コロナ以前に比べて、オンラインによる研修が主流となってきたように感じます。

対面のオンタイムでの研修もありがたいですが、実施日時によって参加できる人数等も限られてしまうため、オンラインで動画視聴の期間が長くあると、より研修に参加できる機会が増えるかと思えます。また、人材育成が大きな課題だと思えますので、色々な研修の機会がいただけるとありがたいです。

コロナ渦に於いて落ち着いて研修に参加できないこともありましたので、落ち着いて研修に参加したいと思えます

コロナ禍で、オンライン研修が増えたことにより、時間的、費用的負担が軽減し、研修を受けやすく、回数が増えました。地域での底上げ、地域格差を減らすためにも、オンライン研修の活用が望まれます。

コロナ禍でZoomの研修が増えたことは参加のしやすさに繋がっている為、社会情勢が落ち着いたとしても対面とともにZoomでの研修も多く開催があった方が良く感じています。

コロナ禍における研修はご案内のように難しい面があります。現状実施されているリモート形式については対面形式と違いやはり緊張感が不足していることも否めません。その時に把握がどこまでできるか？という疑問を禁じえず、いわゆる“研修のための研修”になっているのでは？という不安があり、その即効性などに疑問が残る側面があると私は考えています。

コロナ禍により、オンラインやオンデマンドによる研修の機会が増えて、職場にしながら多くの職員が受講できるようになった。今後もオンライン研修と対面（演習など）のものを必要に応じて参加できるように研修計画を立てていく。オンライン研修については、可能な限り時間を調整して聴講し、職員の研修を充実させていきたい。

コロナ感染対策のため、外部研修への参加が難しい。オンライン研修も支援時間内であると体制上檀家申し込みが難しく、配信期間や時間の幅がある研修があると参加しやすい。

コロナ関係で人が足りない状況にあります。研修を予定していても罹患したり、休日をしっかりとることを優先させたい状況にあります。研修をYouTubeにし、ある程度期間を設けていただくと研修に参加しやすいように感じます。センター機能の充実をお願いしたいです。

どこで何の研修が行われているか各事業所が知るすべがあればよいと思えます。学びたい気持ちのある職員も多いのでわかりやすい情報提供があったらいいと思えます。

ネット環境の整備、感染者の増加により、今年度はさらにオンライン研修が増えている状況です。集合研修とオンライン研修の選択ができる研修も増えています。

意義のある研修は随時参加させたい

一昨年、昨年、と新型コロナ蔓延により、今まで定期的に行っていた研修が実施できない状況が続いていましたが、リモート研修も多くなり少しずつですが研修へ参加できる状況になってきたことは嬉しく思っています。一日も早く新型コロナ蔓延状態が収まってくれることを願うのみです。

一般的標題の研修内容ではなく、現場での困りごとを吸い上げるような内容の研修を指定権者が行ってほしい。指定権者と現場の考え方に乖離が見られるため。

夏休みが終わり、スタッフのイライラ？が積もってきた感じがあり、管理者としてのフォローを悩んでいます。話を聞いてあげるのが一番なのですが、なかなか心のうちは話してもらえず、悩んでいます。管理者として利用者だけではなく、スタッフのメンタルケアにも気をくばる管理者になりたいです。どうかアドバイスをお願いしたいです。

海外の福祉従事者のガイドラインには、二次障害（合併症）がでることを前提に精神疾患の学習をするべきとある。日本は二次障害を防ぐという考えがあり、家族や支援者は二次障害が出た時に起きてしまった・防げなかったと自分を責めてしまう。二次障害を防ぐことも大事だが防災訓練のように、あらかじめ二次障害を把握しておくで早期発見・早期治療につながる。二次障害の研修は、防ぐことに焦点を当てたものよりも、なったときやリスクファクター等に焦点を当てた研修をしてほしい。

外部研修への参加が少なくなっている面は、事業所内の人材育成計画の中で研修プログラムを充実させています

学習障害をお持ちの児童等への支援についてニーズがあり、研修等があればありがたい

監査を担当された方が見る、模範となるような支援記録の様式や記録方法、ICT化などが上手く出来ている事業所から、支援記録に関するレクチャー等が受けられる研修があると良い

看護師不足にならないように、外部看護師への啓発運動をして欲しい。

虐待の研修についてですが、日々支援していく中での事例を多く扱ったような研修があると、自分の経験と結びつけて考えられるので気づきが多く、他の職員とも共有し易いかなと思います。

よろしくお願い致します。

近年、児童デイサービス全般のレベルが低すぎ、利益のみ追及している事業所も多い

近年の研修状況を振り返ることで、改めてコロナが契機になっていると痛感しました。今はオンライン開催が当たり前となり、感染リスクを気にせず参加できるようになってきたため、今後は積極的に参加し学びを深めていきたいと思いました。

経験をたくさん積めるような研修に参加できると良いです。

研修が学校の長期休みと重なる、春夏冬を避けて研修をしてほしい。放課後の時間帯は職員を割くことが難しいことが多いので、12時までの時間帯でオンラインで研修を行っていただけると参加が比較的しやすい。

研修が行われていてもお知らせが急であったり周知がしきれていない事が多く参加できない事があります。保護者向けの研修を事業所がお知らせするなどできるかと思います。もっと保護者に子どもの環境整備・発達の凸凹がそのこの個性だと受け止めることなど知識をつけてもらいたい。悪質な事業所もあり保護者に見極めるための知識の提供をしてほしい。研修のある日は事業所が協力し託児を行うなどすることで保護者の支援にもなるのではないのでしょうか。

研修は受けた後が大事だと思っています。いかに現場に落とし込み、スタッフ全員で共有するかが大事かと思われま

す。

研修を受講させたくても、サービス提供時間内だと人員配置からはずされるのを是正して欲しい。子供のための研修でもあると理解して欲しい。

研修会は、コロナウイルス感染症が流行りあきらかに件数が減ってしまいました。しかしオンライン研修が始まり以前より参加しやすくなったとも考えています。今までは県内の研修が主でしたが、県外の研修もこれからは考えに入れる事ができるようになりました。

研修時間を確保することがなかなか難しいので日々の担当者会議（支援者会議）の中で小出しにしながら進めていくことが良いのではないかと考えます。そういった意味では職員を管理する側の工夫が必要であると改めて感じます。

研修内容と実務の乖離

障害福祉課の場合、児童福祉部門の研修を県から委託を受け、とある法人が研修会を企画運営しています。

研修内容は平易で理解しやすく説明して頂いています。ただ、研修内容と業務との隔たりがあるように思わざるを得ません。

研修を運営している法人の相談員が作成するサービス利用計画書、モニタリングは郵送か電話での聞き取りであり、個々の状況を鑑みたサービス提供なのかと、疑問を抱かざるを得ません。

県の御担当者も前任から引き継ぎの連続であることは容易に推測でき、ここ数年は内容や研修スライド自体の推敲が行われているのか、疑問を抱くことも少なくありません。

県主催のキャリアアップ研修等（初任者、中堅、チームリーダー、管理職員、職場研修指導、虐待防止研修等）1度だけでなく、2度、3度と受講して知識・スキルを積みあげられるとよいと思います。

現在、障害児通所支援に関する検討会が開催されていて、会議資料を拝見していますが、児童発達支援センターや地域自立支援協議会に求める役割が多岐でありながら、かなり現実離れしたたたき台が提出されていて、あまりに都市個別支援計画やモニタリングを統一したひな形を作ってほしい。また研修会等を実施してほしい。

公的にされる研修を充実して多くの職員に参加できるようにしてほしい

行政機関等でもっと研修の機会を増やしてほしい

行政研修等の案内が該当月に案内が来る。すでに、数か月前に日々のスケジュールは決まっており、その中には担当者会議や保護者面談等もある。行政研修に出したくても、出せない現状もある事を知って欲しい。

今後もより広い範囲で職員が研修を受けられるよう行政で企画し紹介していただきたい。

最寄りの児童発達支援センターがセンターとしての役割を放棄していて困っています

最近では zoom 研修が出来るようになり、参加しやすくなったと思います。

昨年度は開所していなかったので、記載が出来ませんでした。

事業所が参加できる研修の年間カレンダーのようなものがあると、研修を選択して参加しやすくなる。参加できる研修を一覧で分かるようなサイトがあるといい(研修実施団体が、サイト実施予定の研修を登録して、どこでいつどのような研修が行われているのか把握できるようになったら素晴らしい)

事業所向けの研修がより充実されることを期待しております。資質向上のため意欲的に参加したいと思います。

事業所内では認知行動療法や愛着障害についてなどの学びをしています。発達障害からの二次障害に繋がらないよう、障害や心理についてもっと学ぶ機会があればと思います。

事業所内で行う専門研修で県内講師の分野別問い合わせ一覧を共有したいです

事業所内の職員が講師となる事が難しい研修を外部で行なっていただけると助かります。

児童発達支援事業の「質の向上」を図るためには、事業主（管理者）、療育スタッフの意識改革と知識の向上が不可欠だと考えます。形骸的な研修ではなく、実践的かつ「想い」のある講師による研修の開催を望みます。

児発管で配置されていると、公認心理師や保育士の資格を持っていても加算上はダブルでカウントできず、実際は資格を活かした支援を実施していても事業所の加算や実績として評価される制度になっていないため、児発管として配置するか、専門職として配置するかどちらか一方を選んで配置するほかなく、「スペシャル児発管」のような位置づけがあってもよいように感じる。

自治体で無料のeラーニングコンテンツを充実させ、それを活用して事業所内の研修に活かせるようにしてほしい。またその活用のためのリーダー研修を実施してほしい。

質を高めるための研修、職員一人一人が自信をつけられるような研修が出来ればと思います。当法人の管理職の方々も、福祉を始めるにあたっては、必ず研修を受け、どういうシステムであるのかを学んで欲しいと思っています。お金の部分だけを見て欲しくありません。

重心児に対する研修が少なく中々参加できません。現状では行動障害など加算に対する研修が多く、専門性の高い変形、拘縮、緊張が強い児に対する介助技術や表出の乏しい児に対するコミュニケーションの手法など現場職員が欲している研修がほとんどありません。都が行っている医療的ケア児支援者養成研修は毎年参加しておりますが、一般的な内容が多くすでに医ケアのある重心児に携わっている施設向けの研修を開催して欲しいです。

処遇改善についての考え方や書類の書き方等具体的に教えていただける研修がほしいです。

小学校高学年から性について興味関心を持つ児童にたいしての対応や家族支援について等の研修を取り入れてほしい。

小児 SST 研修を再度やって欲しいです

障がいの特性や対応についての研修は障害福祉サービス従事者だけではなく 保育園 学校関係者にも必須ではないか？と現場で対応をしていて痛感しています。

もっと発達障害の特性に対しての理解が広がって欲しいと感じています。

障害のある人を「改善」させよう(?)とするようなプログラムが「良し」となるような施設にはしたくないです。

障害児の性教育についての研修を提供していただきたいです。

報酬の単価が下がり、最低賃金が上がり、コロナの影響下での経営方法、人材不足の補い方法等、県や国の考えをお聞きしたいです。国が設定した単価で、どう運営していくかのモデル等があれば知りたいです。

障害児者支援情報のオンデマンド的ライブラリーがあると良い

障害福祉事業所でペアレントトレーニングは虐待防止、家族支援において必須の研修だが、茨城県で職員が受けられる場は児相であった。茨城県の児童相談所は、一昨年度まで地域の保育士等に向けて精研式ペアレントトレーニングの指導者養成講座を開いていて、例年事業所の職員が参加していた。今年度、筑西、土浦児童相談所共に研修の問い合わせをしたところ、そんな研修はないとの回答で、方針が変わったようだ。障害特性、支援については、オンラインで研修が豊富にあるが、普及が必要なのは、ペアレントトレーニングだと考える。

職員に対する研修がありましたら積極的に参加したいと思います。

職員の学びの機会を多く設けたいので、ぜひいろんな研修の機会を設けて頂けると助かります。日々の支援を優先していく中で、外部の研修こそ学びが多いと思いながらも、日にちや時間帯等で外部研修への参加が難しい実情があるので、数日間手の空いた時にいつでも見れるような研修動画があると職員全員に研修が行き届くので、検討して頂けたら幸いです。

職員育成のための研修プログラムを作り、入職1年目から、そのプログラムに沿って受講できるよう、研修体制を整えていただくことを希望します。

職員研修を通じて新たな情報も提供できるように取り組みます。

新型コロナウイルスの感染がまだおさまらない中ですので、オンラインでも研修数を増やしていただくと学びの場が増えるため参加したいです。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインでの研修がより充実していくことで研修に参加する機会が増やせると考えている。また、平日は利用者を預かることが優先されるため、休日に開催する研修会も充実してほしいと思います。

新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン研修が増加して参加しやすくなった。一方で、感染拡大により中止となった研修や職員が自宅待機となったために職員配置に余裕がなくなり、予定の研修をやむなくキャンセルしたケースがあった。

人員が確保できれば、色々な研修に参加したいと思います。

人員基準を維持しながら職員を研修に参加させることに苦慮しています。

人材育成については、危機的状況にあると考えます。

制度が変わるごとに加算等の事務についての説明会

積極的に研修の開催があるといいです。

専門職（心理・ST・OT・PT）が定期的に訪問してくれる制度があれば職員のスキルアップにも繋がりモチベーションも上がるのではないかと期待します。

送迎時に親との会話で、

- ・虐待にならないようにアドバイス
- ・家庭内での子どものことについての意見の違いの相談
- ・子どものしつけ方の相談

など、毎日がトレーニングの場であると思っています。

知識や技術を習得することや高めることが大切であり、そのために研修を重ねてスキルアップを行っていますが、専門性が高まり仕事の責任も重くなる一方で、処遇（給与）がほとんど変わらない実態が福祉業界では多いのではないのでしょうか。

そのため、研修を重ねても業界を離れてしまう方が多く、常に人材不足に悩まされている事業所が多いのではないかと考えます。

知識を持ったスタッフが携われるよう、研修の機会を増やして頂いたらありがたいです。

地域で共通認識・言語を持って、自立支援協議会などの福祉のみならず、行政、医療・教育と話をしてやっていこうねとなる様な流れを研修が少しでも担えるといいなと思います。インクルーシブ、人権、自分自身を大事にすることと、他者にも同じように権利がある事が基本になると思いました。

地域力アップが課題です。事業所の乱立が、療育の質を下げている状況です。

中学生以上の利用者さんの性的な行動について困っています。女性職員ばかりで対応に困ることが多いのですが、その教育まで放デイで負うべきではない、家庭や学校で対応すべきという意見もあります。ですが日々の利用で対処せざるを得ない場面も多く、職員が精神的にも疲弊しています。そういった問題への指導が欲しいです。

聴覚障害と強度行動障害の重複児の対応の仕方の研修

提供してほしい研修を 65 個の中から 10 個に絞るのは難しかった。

当事業所は令和 4 年度新規参入ですので行った研修は 3 年度の 1 月からです。

特にありませんが、事業所内研修もマンネリ化しがちですので展開方法など他事業所の例などを知ることができたらいいなと思っています。

日々、子どもたちの療育に向き合っている中で、マンネリ化しないように意識を持っていますが、研修を受けることで事業所外に出て刺激を受け、そのことを職員と共有しあい新たに前向きな支援へとつなげていけたらと願います。活発な研修会の実施を希望します。（コロナ化ではありますが…）

日々の活動準備に追われる中、障がいの特性や療育に特化した研修への参加に偏りがちになっていることは否めない。一方で感染症対策や防災、児童虐待に関する研修などについては公務としての参加を認められないことが殆どである。後進の指導と人材育成については、経営上の問題から余裕を持ったスタッフの確保ができておらず、日々の活動に向き合うことだけになってしまい、後進を育てるなどの人材育成のために人も時間も費やすことができない。

日々職員会議を通じて、研修している。

福祉関連の研修は多数ありますが、学校教育との連携した研修が必要と思います

福祉事業全体の質の向上のためにも研修の機会があるのは、良いと思います。

福祉制度について幼児期や学齢期等と子供の年齢で区

弊社の月例研修では、障害特性や構造化などの研修に力を入れております。このアンケート調査を見て、持ったバランスよく研修を行う必要があることを実感いたしました。

放課後等デイサービスです。地域で有意義であると思われる外部研修を見つけても、最も忙しい、平日午後から夕方に実施されているものが散見されます。事業所によっても参加しやすい曜日や時間帯が異なりますので、同じ研修を2回以上、平日午前と午後に分けて計4回実施していただくと参加率が高められるかと思えます。都合の良い話ばかりですみません。

放課後等デイサービスは、平日は放課後から子供達が来所して忙しいので、午前中なら比較的融通が付き易いので、午前中の研修だと参加しやすいです。午後の研修となると、学校の終了時に複数の学校の送迎にそれぞれ職員が必要になったり、不安定な子どもに職員が付き添うこともあるので、午後に研修に出るのは厳しい状況です。また、長期休暇中は朝から子供達が来所するので、研修に参加するのは厳しいです。最近は、オンラインで午前中に研修を受けることが多いです。見逃し配信を利用することもあります。

コロナ禍のため、出かける研修は参加困難な状況です。

障害状況を改善し、子どもたちを育てる事業ですので、職員研修は必要です。が、オンライン研修も従事者少数のため、利用児がいる時間帯は難しいです。

法人全体として、広い視野で多くの研修を組んでいます。施設としてはありがたい限りです。特に、ここ数年はリモートでの研修が増えたことにより、それぞれの分野に詳しく経験豊富な講師の先生による研修を多数受けることができるようになりました。一方、会場で直接受けることができる研修だからこそ、そのときの雰囲気を含め、そこで得られる知識や技能があると思います。今後もバランスよく研修を取り入れていきたいと考えています。

毎月社内研修は実施しておりますが、専門的知識・技術等の外部研修には限られた職員しか参加できないのが現状です。職員が外部研修に参加するためには、人員を多く確保しなければならないため、多くの職員が個々に勤務の時間を調整して視聴できるようなWEB研修などの実施をお願いしたいと思います。

毎週1回はレッスンの様子や支援の打合せなどを全指導員に情報の共有として行い、一定した質の療育を提供しています。

様々な研修の中から選んでオンラインで受講できるようなシステムがあると、より多くの職員が学びたい研修を受講できると思います。よろしくお願い致します。

例年ですと研修は、ほぼ全員何らかの研修に参加しています。学びは大切なものと捉えておりますので、唯ここ数年のコロナ禍によりオンライン参加となり、参加数が少ないです。毎年全国発達支援の研修、県主催の研修には必ず参加してきました。2018年度のオンライン参加は1回のみでしたが、2022年度はかなりの研修に参加しています。

Ⅲ.各職種の支援の実態調査

ア. 回収結果

対象件数	有効回答数
513	168

イ. 基礎情報について

(1) 事業所の種類

(1) 事業所の種類	全体	全体
児童発達支援センター	80	80
児童発達支援事業	62	62
放課後等デイサービス事業	65	65
保育所等訪問支援	47	47
居宅訪問型児童発達支援	9	9
医療型児童発達支援	80	80
児童発達支援のみ（センター除く）	20	20
放課後等デイサービスのみ	18	18
多機能・一体型	33	33

(2) 重症心身型の指定の有無

(2) 重症心身型の指定の有無	全体		児童発達支援セン		医療型児童発達支援		児童発達支援のみ		放課後等デイサービ		多機能・一体型	
指定あり	12	(7%)	7	(9%)	2	(9%)	1	(5%)	1	(6%)	2	(6%)
指定なし	156	(93%)	73	(91%)	21	(91%)	19	(95%)	17	(94%)	31	(94%)
合計	168	(100%)	80	(100%)	23	(100%)	20	(100%)	18	(100%)	33	(100%)

(5) 事業所の定員数

(5) 事業所の定員数 全体			児童発達支援センター		医療型児童発達支援+重症児		児童発達支援のみ※重症児指定除く		放課後等デイサービスのみ※重症児指定除く		多機能・一体型※重症児指定除く	
～10名	58	(34%)	4	(5%)	4	(15%)	15	(79%)	14	(82%)	21	(68%)
11名～20名	28	(17%)	12	(15%)	6	(22%)	3	(16%)	1	(6%)	7	(23%)
21名～30名	29	(17%)	26	(33%)	2	(7%)	0	(0%)	1	(6%)	1	(3%)
31名～40名	24	(14%)	18	(23%)	8	(30%)	0	(0%)	1	(6%)	0	(0%)
41名～50名	13	(8%)	8	(10%)	4	(15%)	1	(5%)	0	(0%)	0	(0%)
51名～	17	(10%)	12	(15%)	3	(11%)	0	(0%)	0	(0%)	2	(6%)
合計	169	(100%)	80	(100%)	27	(100%)	19	(100%)	17	(100%)	31	(100%)

(6) 事業所の開設年

(6) 事業所の開設年（西暦） 全体			児童発達支援センター		医療型児童発達支援+重症児		児童発達支援のみ※重症児指定除く		放課後等デイサービスのみ※重症児指定除く		多機能・一体型※重症児指定除く	
1970年以前	10	(6%)	6	(8%)	5	(19%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
1971～1980	28	(17%)	21	(26%)	7	(26%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
1981～1990	11	(7%)	10	(13%)	2	(7%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
1991～2000	9	(5%)	5	(6%)	5	(19%)	0	(0%)	1	(6%)	0	(0%)
2001～2010	26	(15%)	13	(16%)	2	(7%)	6	(32%)	2	(12%)	5	(16%)
2011～2020	77	(46%)	24	(30%)	6	(22%)	12	(63%)	11	(65%)	24	(77%)
2021～	7	(4%)	1	(1%)	0	(0%)	1	(5%)	3	(18%)	2	(6%)
合計	168	(100%)	80	(100%)	27	(100%)	19	(100%)	17	(100%)	31	(100%)

(7) 運営主体

(7) 運営主体 全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援+重症児		児童発達支援のみ※重症児指定除く		放課後等デイサービスのみ※重症児指定除く		多機能・一体型※重症児指定除く	
自治体	20 (13%)	11 (15%)	11 (48%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		
社会福祉法人	89 (58%)	58 (81%)	10 (43%)	12 (63%)	7 (44%)	5 (17%)					
株式会社	13 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (11%)	4 (25%)	7 (23%)					
NPO法人	20 (13%)	2 (3%)	0 (0%)	3 (16%)	5 (31%)	10 (33%)					
合同会社	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (5%)	0 (0%)	0 (0%)					
一般社団法人	11 (7%)	1 (1%)	2 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	8 (27%)					
合計	154 (100%)	72 (100%)	23 (100%)	19 (100%)	16 (100%)	30 (100%)					

(8) 行える医療行為

(8) 行える医療行為 全体		児童発達支援センター		医療型児童発達支援+重症児		児童発達支援のみ※重症児指定除く		放課後等デイサービスのみ※重症児指定除く		多機能・一体型※重症児指定除く	
喀痰吸引	63 (38%)	37 (46%)	26 (113%)	2 (10%)	1 (6%)	2 (6%)					
経管栄養	61 (36%)	38 (48%)	26 (113%)	1 (5%)	1 (6%)	0 (0%)					
人工呼吸器	33 (20%)	19 (24%)	18 (78%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)					
酸素療法	46 (27%)	26 (33%)	22 (96%)	2 (10%)	1 (6%)	0 (0%)					
導尿	8 (5%)	5 (6%)	4 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)					
医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はいない	11 (7%)	5 (6%)	1 (4%)	2 (10%)	1 (6%)	3 (9%)					
医ケア児の受け入れは行っていない	91 (54%)	37 (46%)	0 (0%)	13 (65%)	14 (78%)	27 (82%)					

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員) 全体			児童発達支援センター		医療型児童発達支援+重症児		児童発達支援のみ※重症児指定除く		放課後等デイサービスのみ※重症児指定除く		多機能・一体型※重症児指定除く	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
保育士	162	(96%)	80	(100%)	26	(113%)	2	(10%)	1	(6%)	2	(6%)
児童指導員	149	(89%)	75	(94%)	26	(113%)	1	(5%)	1	(6%)	0	(0%)
理学療法士	58	(35%)	33	(41%)	18	(78%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
作業療法士	82	(49%)	46	(58%)	22	(96%)	2	(10%)	1	(6%)	0	(0%)
言語聴覚士	78	(46%)	48	(60%)	4	(17%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
心理担当職員	68	(40%)	39	(49%)	1	(4%)	2	(10%)	1	(6%)	3	(9%)
看護職	69	(41%)	38	(48%)	0	(0%)	13	(65%)	14	(78%)	27	(82%)
社会福祉士	53	(32%)	35	(44%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)

※その職種が一人以上配置される事業所

ウ. 調査結果

PT領域	保育士	児童指導員	PT	OT	ST	心理職	看護職
(1) 本人支援① [運動発達]	136 (84%)	124 (83%)	54 (93%)	75 (91%)	31 (40%)	23 (34%)	29 (42%)
(1) 本人支援① [運動障害 (麻痺、形成不全等)]	58 (36%)	57 (38%)	51 (88%)	57 (70%)	19 (24%)	5 (7%)	31 (45%)
(1) 本人支援① [上肢機能・操作性・巧緻性]	88 (54%)	79 (53%)	43 (74%)	69 (84%)	29 (37%)	14 (21%)	21 (30%)
(1) 本人支援① [姿勢管理]	103 (64%)	97 (65%)	54 (93%)	71 (87%)	36 (46%)	15 (22%)	35 (51%)
(1) 本人支援① [車椅子・座位保持]	69 (43%)	61 (41%)	52 (90%)	52 (63%)	20 (26%)	6 (9%)	26 (38%)
(1) 本人支援① [装具]	44 (27%)	40 (27%)	45 (78%)	37 (45%)	6 (8%)	2 (3%)	19 (28%)

OT領域	保育士	児童指導員	PT	OT	ST	心理職	看護職
(1) 本人支援① [ADL]	116 (72%)	108 (72%)	45 (78%)	68 (83%)	39 (50%)	25 (37%)	38 (55%)
(1) 本人支援① [感覚統合]	112 (69%)	99 (66%)	23 (40%)	70 (85%)	31 (40%)	21 (31%)	15 (22%)
(1) 本人支援① [目と手の協応]	122 (75%)	109 (73%)	30 (52%)	76 (93%)	44 (56%)	31 (46%)	17 (25%)
(1) 本人支援① [道具の操作]	129 (80%)	112 (75%)	31 (53%)	75 (91%)	41 (53%)	27 (40%)	18 (26%)
(1) 本人支援① [眼球運動]	73 (45%)	68 (46%)	21 (36%)	60 (73%)	35 (45%)	18 (26%)	17 (25%)

ST領域	保育士	児童指導員	PT	OT	ST	心理職	看護職
(1) 本人支援① [摂食機能]	87 (54%)	76 (51%)	27 (47%)	41 (50%)	65 (83%)	14 (21%)	35 (51%)
(1) 本人支援① [話す]	138 (85%)	126 (85%)	12 (21%)	39 (48%)	73 (94%)	35 (51%)	23 (33%)
(1) 本人支援① [聞く]	138 (85%)	126 (85%)	12 (21%)	41 (50%)	72 (92%)	36 (53%)	23 (33%)
(1) 本人支援② [コミュニケーション]	145 (90%)	133 (89%)	27 (47%)	55 (67%)	74 (95%)	52 (76%)	33 (48%)
(1) 本人支援② [発声]	110 (68%)	99 (66%)	13 (22%)	35 (43%)	75 (96%)	34 (50%)	21 (30%)
(1) 本人支援② [発音・構音]	69 (43%)	59 (40%)	6 (10%)	18 (22%)	74 (95%)	15 (22%)	16 (23%)
(1) 本人支援② [人工内耳・補聴器目]	28 (17%)	21 (14%)	1 (2%)	5 (6%)	40 (51%)	4 (6%)	14 (20%)
(1) 本人支援② [手話]	35 (22%)	31 (21%)	4 (7%)	5 (6%)	35 (45%)	4 (6%)	6 (9%)
(1) 本人支援② [サイン言語]	77 (48%)	70 (47%)	13 (22%)	23 (28%)	60 (77%)	21 (31%)	23 (33%)
(1) 本人支援② [聴力検査]	4 (2%)	2 (1%)	0 (0%)	2 (2%)	24 (31%)	3 (4%)	2 (3%)

心理職領域	保育士	児童指導員	PT	OT	ST	心理職	看護職
(1) 本人支援② [発達検査・知能検査]	20 (12%)	19 (13%)	3 (5%)	14 (17%)	35 (45%)	52 (76%)	4 (6%)
(1) 本人支援② [その他の心理検査]	13 (8%)	11 (7%)	2 (3%)	13 (16%)	19 (24%)	39 (57%)	1 (1%)
(1) 本人支援② [社会性の育ち]	144 (89%)	129 (87%)	25 (43%)	48 (59%)	52 (67%)	49 (72%)	26 (38%)
(1) 本人支援② [発達にあった遊びの構築]	145 (90%)	125 (84%)	27 (47%)	55 (67%)	51 (65%)	43 (63%)	26 (38%)
(1) 本人支援② [認知機能]	134 (83%)	118 (79%)	16 (28%)	60 (73%)	61 (78%)	50 (74%)	25 (36%)

集団活動	保育士	児童指導員	PT	OT	ST	心理職	看護職
(2) 集団活動 [集団活動の行動観察]	147 (91%)	135 (91%)	35 (60%)	59 (72%)	52 (67%)	55 (81%)	34 (49%)
(2) 集団活動 [生活環境の観察]	140 (86%)	129 (87%)	33 (57%)	56 (68%)	44 (56%)	42 (62%)	39 (57%)
(2) 集団活動 [集団活動への参加]	148 (91%)	137 (92%)	34 (59%)	58 (71%)	48 (62%)	45 (66%)	37 (54%)

保護者支援	保育士		児童指導員		PT		OT		ST		心理職		看護職	
(3) 保護者 [発達状態の説明]	130	(80%)	115	(77%)	46	(79%)	60	(73%)	68	(87%)	57	(84%)	28	(41%)
(3) 保護者 [家庭での関わり、家庭生活へのアドバイス]	137	(85%)	122	(82%)	48	(83%)	66	(80%)	70	(90%)	56	(82%)	42	(61%)
(3) 保護者 [障害の理解、受容]	127	(78%)	115	(77%)	35	(60%)	48	(59%)	54	(69%)	57	(84%)	34	(49%)
(3) 保護者 [カウンセリング]	59	(36%)	46	(31%)	11	(19%)	17	(21%)	29	(37%)	48	(71%)	15	(22%)
(3) 保護者 [研修]	92	(57%)	85	(57%)	36	(62%)	51	(62%)	57	(73%)	44	(65%)	26	(38%)
(3) 保護者 [情報提供]	131	(81%)	119	(80%)	45	(78%)	59	(72%)	64	(82%)	54	(79%)	41	(59%)
(3) 保護者 [虐待予防を念頭においた対応やアドバイス]	114	(70%)	104	(70%)	25	(43%)	39	(48%)	41	(53%)	47	(69%)	34	(49%)

各種支援の実態調査	保育士				児童指導員				PT				OT			
	センター		それ以外		センター		それ以外		センター		それ以外		センター		それ以外	
(1) 本人支援① [運動発達]	80	(82.5%)	56	(86.2%)	72	(80.9%)	52	(86.7%)	45	(91.8%)	9	(100.0%)	59	(95.2%)	16	(80.0%)
(1) 本人支援① [運動障害 (麻痺、形成不全等)]	43	(44.3%)	15	(23.1%)	39	(43.8%)	18	(30.0%)	45	(91.8%)	6	(66.7%)	47	(75.8%)	10	(50.0%)
(1) 本人支援① [上肢機能・操作性・巧緻性]	59	(60.8%)	29	(44.6%)	53	(59.6%)	26	(43.3%)	35	(71.4%)	8	(88.9%)	57	(91.9%)	12	(60.0%)
(1) 本人支援① [姿勢管理]	62	(63.9%)	41	(63.1%)	57	(64.0%)	40	(66.7%)	46	(93.9%)	8	(88.9%)	55	(88.7%)	16	(80.0%)
(1) 本人支援① [車椅子・座位保持]	43	(44.3%)	26	(40.0%)	38	(42.7%)	23	(38.3%)	44	(89.8%)	8	(88.9%)	43	(69.4%)	9	(45.0%)
(1) 本人支援① [装具]	34	(35.1%)	10	(15.4%)	29	(32.6%)	11	(18.3%)	40	(81.6%)	5	(55.6%)	32	(51.6%)	5	(25.0%)
(1) 本人支援① [ADL]	77	(79.4%)	39	(60.0%)	70	(78.7%)	38	(63.3%)	37	(75.5%)	8	(88.9%)	56	(90.3%)	12	(60.0%)
(1) 本人支援① [感覚統合]	65	(67.0%)	47	(72.3%)	55	(61.8%)	44	(73.3%)	14	(28.6%)	9	(100.0%)	57	(91.9%)	13	(65.0%)
(1) 本人支援① [目と手の協応]	72	(74.2%)	50	(76.9%)	62	(69.7%)	47	(78.3%)	23	(46.9%)	7	(77.8%)	60	(96.8%)	16	(80.0%)
(1) 本人支援① [道具の操作]	76	(78.4%)	53	(81.5%)	64	(71.9%)	48	(80.0%)	24	(49.0%)	7	(77.8%)	60	(96.8%)	15	(75.0%)
(1) 本人支援① [眼球運動]	47	(48.5%)	26	(40.0%)	39	(43.8%)	29	(48.3%)	17	(34.7%)	4	(44.4%)	47	(75.8%)	13	(65.0%)
(1) 本人支援① [摂食機能]	62	(63.9%)	25	(38.5%)	53	(59.6%)	23	(38.3%)	21	(42.9%)	6	(66.7%)	32	(51.6%)	9	(45.0%)
(1) 本人支援① [話す]	81	(83.5%)	57	(87.7%)	73	(82.0%)	53	(88.3%)	8	(16.3%)	4	(44.4%)	25	(40.3%)	14	(70.0%)
(1) 本人支援① [聞く]	81	(83.5%)	57	(87.7%)	73	(82.0%)	53	(88.3%)	8	(16.3%)	4	(44.4%)	28	(45.2%)	13	(65.0%)
(1) 本人支援② [コミュニケーション]	84	(86.6%)	61	(93.8%)	77	(86.5%)	56	(93.3%)	19	(38.8%)	8	(88.9%)	41	(66.1%)	14	(70.0%)
(1) 本人支援② [発声]	64	(66.0%)	46	(70.8%)	57	(64.0%)	42	(70.0%)	9	(18.4%)	4	(44.4%)	23	(37.1%)	12	(60.0%)
(1) 本人支援② [発音・構音]	37	(38.1%)	32	(49.2%)	30	(33.7%)	29	(48.3%)	4	(8.2%)	2	(22.2%)	11	(17.7%)	7	(35.0%)
(1) 本人支援② [人工内耳・補聴器目]	21	(21.6%)	7	(10.8%)	16	(18.0%)	5	(8.3%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	4	(6.5%)	1	(5.0%)
(1) 本人支援② [手話]	26	(26.8%)	9	(13.8%)	22	(24.7%)	9	(15.0%)	1	(2.0%)	3	(33.3%)	2	(3.2%)	3	(15.0%)
(1) 本人支援② [サイン言語]	50	(51.5%)	27	(41.5%)	43	(48.3%)	27	(45.0%)	9	(18.4%)	4	(44.4%)	15	(24.2%)	8	(40.0%)
(1) 本人支援② [聴力検査]	2	(2.1%)	2	(3.1%)	0	(0.0%)	2	(3.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(10.0%)
(1) 本人支援② [発達検査・知能検査]	16	(16.5%)	4	(6.2%)	13	(14.6%)	6	(10.0%)	2	(4.1%)	1	(11.1%)	12	(19.4%)	2	(10.0%)
(1) 本人支援② [その他の心理検査]	5	(5.2%)	8	(12.3%)	5	(5.6%)	6	(10.0%)	1	(2.0%)	1	(11.1%)	11	(17.7%)	2	(10.0%)
(1) 本人支援② [社会性の育ち]	85	(87.6%)	59	(90.8%)	77	(86.5%)	52	(86.7%)	16	(32.7%)	9	(100.0%)	35	(56.5%)	13	(65.0%)
(1) 本人支援② [発達にあった遊びの構築]	86	(88.7%)	59	(90.8%)	76	(85.4%)	49	(81.7%)	20	(40.8%)	7	(77.8%)	43	(69.4%)	12	(60.0%)
(1) 本人支援② [認知機能]	81	(83.5%)	53	(81.5%)	72	(80.9%)	46	(76.7%)	10	(20.4%)	6	(66.7%)	48	(77.4%)	12	(60.0%)
(2) 集団活動 [集団活動の行動観察]	86	(88.7%)	61	(93.8%)	80	(89.9%)	55	(91.7%)	26	(53.1%)	9	(100.0%)	43	(69.4%)	16	(80.0%)
(2) 集団活動 [生活環境の観察]	84	(86.6%)	56	(86.2%)	77	(86.5%)	52	(86.7%)	24	(49.0%)	9	(100.0%)	41	(66.1%)	15	(75.0%)
(2) 集団活動 [集団活動への参加]	87	(89.7%)	61	(93.8%)	81	(91.0%)	56	(93.3%)	27	(55.1%)	7	(77.8%)	42	(67.7%)	16	(80.0%)
(3) 保護者 [発達状態の説明]	82	(84.5%)	48	(73.8%)	69	(77.5%)	46	(76.7%)	38	(77.6%)	8	(88.9%)	46	(74.2%)	14	(70.0%)
(3) 保護者 [家庭での関わり、家庭生活へのアドバイス]	86	(88.7%)	51	(78.5%)	77	(86.5%)	45	(75.0%)	40	(81.6%)	8	(88.9%)	52	(83.9%)	14	(70.0%)
(3) 保護者 [障害の理解、受容]	81	(83.5%)	46	(70.8%)	74	(83.1%)	41	(68.3%)	31	(63.3%)	4	(44.4%)	36	(58.1%)	12	(60.0%)
(3) 保護者 [カウンセリング]	37	(38.1%)	22	(33.8%)	30	(33.7%)	16	(26.7%)	10	(20.4%)	1	(11.1%)	14	(22.6%)	3	(15.0%)
(3) 保護者 [研修]	67	(69.1%)	25	(38.5%)	60	(67.4%)	25	(41.7%)	33	(67.3%)	3	(33.3%)	47	(75.8%)	4	(20.0%)
(3) 保護者 [情報提供]	82	(84.5%)	49	(75.4%)	73	(82.0%)	46	(76.7%)	37	(75.5%)	8	(88.9%)	47	(75.8%)	12	(60.0%)
(3) 保護者 [虐待予防を念頭においた対応やアドバイス]	73	(75.3%)	41	(63.1%)	67	(75.3%)	37	(61.7%)	22	(44.9%)	3	(33.3%)	29	(46.8%)	10	(50.0%)

各種支援の実態調査	ST		心理職		看護職	
	センター	それ以外	センター	それ以外	センター	それ以外
(1) 本人支援① [運動発達]	23 (35.9%)	8 (57.1%)	14 (31.1%)	9 (39.1%)	21 (38.2%)	8 (57.1%)
(1) 本人支援① [運動障害 (麻痺、形成不全等)]	19 (29.7%)	0 (0.0%)	4 (8.9%)	1 (4.3%)	24 (43.6%)	7 (50.0%)
(1) 本人支援① [上肢機能・操作性・巧緻性]	24 (37.5%)	5 (35.7%)	8 (17.8%)	6 (26.1%)	17 (30.9%)	4 (28.6%)
(1) 本人支援① [姿勢管理]	26 (40.6%)	10 (71.4%)	5 (11.1%)	10 (43.5%)	26 (47.3%)	9 (64.3%)
(1) 本人支援① [車椅子・座位保持]	14 (21.9%)	6 (42.9%)	2 (4.4%)	4 (17.4%)	20 (36.4%)	6 (42.9%)
(1) 本人支援① [装具]	5 (7.8%)	1 (7.1%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)	15 (27.3%)	4 (28.6%)
(1) 本人支援① [ADL]	30 (46.9%)	9 (64.3%)	17 (37.8%)	8 (34.8%)	29 (52.7%)	9 (64.3%)
(1) 本人支援① [感覚統合]	20 (31.3%)	11 (78.6%)	10 (22.2%)	11 (47.8%)	10 (18.2%)	5 (35.7%)
(1) 本人支援① [目と手の協応]	33 (51.6%)	11 (78.6%)	19 (42.2%)	12 (52.2%)	11 (20.0%)	6 (42.9%)
(1) 本人支援① [道具の操作]	31 (48.4%)	10 (71.4%)	16 (35.6%)	11 (47.8%)	13 (23.6%)	5 (35.7%)
(1) 本人支援① [眼球運動]	28 (43.8%)	7 (50.0%)	13 (28.9%)	5 (21.7%)	14 (25.5%)	3 (21.4%)
(1) 本人支援① [摂食機能]	54 (84.4%)	11 (78.6%)	9 (20.0%)	5 (21.7%)	28 (50.9%)	7 (50.0%)
(1) 本人支援① [話す]	59 (92.2%)	14 (100.0%)	20 (44.4%)	15 (65.2%)	16 (29.1%)	7 (50.0%)
(1) 本人支援① [聞く]	59 (92.2%)	13 (92.9%)	21 (46.7%)	15 (65.2%)	16 (29.1%)	7 (50.0%)
(1) 本人支援② [コミュニケーション]	61 (95.3%)	13 (92.9%)	32 (71.1%)	20 (87.0%)	22 (40.0%)	11 (78.6%)
(1) 本人支援② [発声]	61 (95.3%)	14 (100.0%)	20 (44.4%)	14 (60.9%)	13 (23.6%)	8 (57.1%)
(1) 本人支援② [発音・構音]	60 (93.8%)	14 (100.0%)	7 (15.6%)	8 (34.8%)	9 (16.4%)	7 (50.0%)
(1) 本人支援② [人工内耳・補聴器目]	36 (56.3%)	4 (28.6%)	3 (6.7%)	1 (4.3%)	11 (20.0%)	3 (21.4%)
(1) 本人支援② [手話]	30 (46.9%)	5 (35.7%)	4 (8.9%)	0 (0.0%)	3 (5.5%)	3 (21.4%)
(1) 本人支援② [サイン言語]	50 (78.1%)	10 (71.4%)	14 (31.1%)	7 (30.4%)	17 (30.9%)	6 (42.9%)
(1) 本人支援② [聴力検査]	22 (34.4%)	2 (14.3%)	3 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	1 (7.1%)
(1) 本人支援② [発達検査・知能検査]	27 (42.2%)	8 (57.1%)	38 (84.4%)	14 (60.9%)	3 (5.5%)	1 (7.1%)
(1) 本人支援② [その他の心理検査]	14 (21.9%)	5 (35.7%)	28 (62.2%)	11 (47.8%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)
(1) 本人支援② [社会性の育ち]	41 (64.1%)	11 (78.6%)	33 (73.3%)	16 (69.6%)	16 (29.1%)	10 (71.4%)
(1) 本人支援② [発達にあった遊びの構築]	39 (60.9%)	12 (85.7%)	29 (64.4%)	14 (60.9%)	17 (30.9%)	9 (64.3%)
(1) 本人支援② [認知機能]	49 (76.6%)	12 (85.7%)	34 (75.6%)	16 (69.6%)	16 (29.1%)	9 (64.3%)
(2) 集団活動 [集団活動の行動観察]	40 (62.5%)	12 (85.7%)	36 (80.0%)	19 (82.6%)	25 (45.5%)	9 (64.3%)
(2) 集団活動 [生活環境の観察]	34 (53.1%)	10 (71.4%)	25 (55.6%)	17 (73.9%)	30 (54.5%)	9 (64.3%)
(2) 集団活動 [集団活動への参加]	37 (57.8%)	11 (78.6%)	28 (62.2%)	17 (73.9%)	28 (50.9%)	9 (64.3%)
(3) 保護者 [発達状態の説明]	54 (84.4%)	14 (100.0%)	39 (86.7%)	18 (78.3%)	24 (43.6%)	4 (28.6%)
(3) 保護者 [家庭での関わり、家庭生活へのアドバイス]	56 (87.5%)	14 (100.0%)	37 (82.2%)	19 (82.6%)	35 (63.6%)	7 (50.0%)
(3) 保護者 [障害の理解、受容]	43 (67.2%)	11 (78.6%)	38 (84.4%)	19 (82.6%)	28 (50.9%)	6 (42.9%)
(3) 保護者 [カウンセリング]	23 (35.9%)	6 (42.9%)	34 (75.6%)	14 (60.9%)	13 (23.6%)	2 (14.3%)
(3) 保護者 [研修]	50 (78.1%)	7 (50.0%)	32 (71.1%)	12 (52.2%)	23 (41.8%)	3 (21.4%)
(3) 保護者 [情報提供]	52 (81.3%)	12 (85.7%)	34 (75.6%)	20 (87.0%)	35 (63.6%)	6 (42.9%)
(3) 保護者 [虐待予防を念頭においた対応やアドバイス]	34 (53.1%)	7 (50.0%)	30 (66.7%)	17 (73.9%)	29 (52.7%)	5 (35.7%)

各種支援の実態調査	保育士			児童指導員			PT			OT		
	センター	医療+重症児	それ以外	センター	医療+重症児	それ以外	センター	医療+重症児	それ以外	センター	医療+重症児	それ以外
	(1) 本人支援①[運動発達]	87.5%	69.2%	85.5%	84.0%	73.9%	86.0%	87.9%	100.0%	100.0%	95.7%	95.7%
(1) 本人支援①[運動障害(麻痺・形成不全等)]	46.3%	50.0%	21.0%	45.3%	52.2%	28.1%	87.9%	100.0%	50.0%	69.6%	87.0%	44.4%
(1) 本人支援①[上肢機能・操作性・巧緻性]	62.5%	65.4%	41.9%	61.3%	56.5%	42.1%	75.8%	72.0%	83.3%	89.1%	100.0%	55.6%
(1) 本人支援①[姿勢管理]	67.5%	57.7%	62.9%	66.7%	56.5%	66.7%	90.9%	100.0%	83.3%	87.0%	91.3%	77.8%
(1) 本人支援①[車椅子・座位保持]	47.5%	38.5%	40.3%	45.3%	34.8%	38.6%	84.8%	100.0%	83.3%	69.6%	69.6%	38.9%
(1) 本人支援①[装具]	40.0%	23.1%	12.9%	36.0%	21.7%	15.8%	75.8%	96.0%	33.3%	50.0%	56.5%	22.2%
(1) 本人支援①[ADL]	81.3%	76.9%	58.1%	81.3%	73.9%	61.4%	72.7%	84.0%	83.3%	89.1%	95.7%	55.6%
(1) 本人支援①[感覚統合]	68.8%	57.7%	74.2%	64.0%	47.8%	75.4%	24.2%	40.0%	100.0%	89.1%	100.0%	61.1%
(1) 本人支援①[目と手の協応]	76.3%	65.4%	79.0%	73.3%	52.2%	80.7%	51.5%	52.0%	66.7%	95.7%	100.0%	77.8%
(1) 本人支援①[道具の操作]	80.0%	73.1%	82.3%	74.7%	60.9%	80.7%	51.5%	56.0%	66.7%	95.7%	100.0%	72.2%
(1) 本人支援①[眼球運動]	50.0%	46.2%	40.3%	46.7%	30.4%	50.9%	33.3%	40.0%	33.3%	78.3%	78.3%	61.1%
(1) 本人支援①[摂食機能]	66.3%	61.5%	37.1%	62.7%	47.8%	38.6%	42.4%	52.0%	50.0%	54.3%	52.2%	38.9%
(1) 本人支援①[話す]	85.0%	76.9%	88.7%	85.3%	65.2%	91.2%	21.2%	12.0%	33.3%	50.0%	30.4%	66.7%
(1) 本人支援①[聞く]	85.0%	76.9%	88.7%	85.3%	65.2%	91.2%	21.2%	12.0%	33.3%	56.5%	30.4%	61.1%
(1) 本人支援②[コミュニケーション]	87.5%	84.6%	93.5%	88.0%	82.6%	93.0%	36.4%	52.0%	83.3%	69.6%	65.2%	66.7%
(1) 本人支援②[発声]	67.5%	65.4%	71.0%	65.3%	56.5%	71.9%	18.2%	20.0%	33.3%	45.7%	17.4%	61.1%
(1) 本人支援②[発音・構音]	38.8%	38.5%	48.4%	36.0%	21.7%	49.1%	6.1%	16.0%	0.0%	21.7%	8.7%	33.3%
(1) 本人支援②[人工内耳・補聴器目]	21.3%	19.2%	9.7%	18.7%	8.7%	8.8%	0.0%	4.0%	0.0%	6.5%	4.3%	5.6%
(1) 本人支援②[手話]	28.8%	30.8%	11.3%	26.7%	30.4%	12.3%	3.0%	8.0%	16.7%	4.3%	8.7%	5.6%
(1) 本人支援②[サイン言語]	50.0%	61.5%	38.7%	46.7%	52.2%	43.9%	18.2%	28.0%	16.7%	26.1%	21.7%	33.3%
(1) 本人支援②[聴力検査]	2.5%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
(1) 本人支援②[発達検査・知能検査]	13.8%	23.1%	6.5%	13.3%	17.4%	10.5%	3.0%	4.0%	16.7%	23.9%	8.7%	11.1%
(1) 本人支援②[それ以外の心理検査]	5.0%	3.8%	12.9%	5.3%	4.3%	10.5%	3.0%	0.0%	16.7%	21.7%	4.3%	11.1%
(1) 本人支援②[社会性の育ち]	88.8%	88.5%	90.3%	88.0%	87.0%	86.0%	30.3%	40.0%	100.0%	60.9%	47.8%	61.1%
(1) 本人支援②[発達にあった遊びの構築]	88.8%	88.5%	91.9%	86.7%	82.6%	82.5%	45.5%	44.0%	83.3%	76.1%	60.9%	61.1%
(1) 本人支援②[認知機能]	83.8%	80.8%	83.9%	81.3%	73.9%	78.9%	24.2%	20.0%	66.7%	80.4%	65.2%	61.1%
(2) 集団活動[集団活動の行動観察]	87.5%	96.2%	93.5%	89.3%	95.7%	91.2%	63.6%	52.0%	100.0%	80.4%	52.2%	77.8%
(2) 集団活動[生活環境の観察]	85.0%	96.2%	85.5%	85.3%	91.3%	86.0%	57.6%	48.0%	100.0%	76.1%	47.8%	72.2%
(2) 集団活動[集団活動への参加]	88.8%	96.2%	93.5%	90.7%	95.7%	93.0%	63.6%	52.0%	66.7%	78.3%	47.8%	77.8%
(3) 保護者[発達状態の説明]	85.0%	88.5%	72.6%	80.0%	60.9%	80.7%	75.8%	88.0%	83.3%	73.9%	82.6%	66.7%
(3) 保護者[家庭での関わり、家庭生活へのアドバイス]	90.0%	88.5%	77.4%	88.0%	73.9%	78.9%	72.7%	100.0%	83.3%	80.4%	95.7%	66.7%
(3) 保護者[障害の理解、受容]	86.3%	73.1%	72.6%	86.7%	65.2%	71.9%	57.6%	76.0%	33.3%	52.2%	78.3%	55.6%
(3) 保護者[カウンセリング]	40.0%	34.6%	35.5%	36.0%	30.4%	28.1%	27.3%	16.0%	16.7%	26.1%	17.4%	16.7%
(3) 保護者[研修]	71.3%	61.5%	40.3%	68.0%	69.6%	42.1%	69.7%	68.0%	33.3%	78.3%	73.9%	16.7%
(3) 保護者[情報提供]	87.5%	73.1%	77.4%	85.3%	69.6%	78.9%	75.8%	84.0%	83.3%	76.1%	82.6%	55.6%
(3) 保護者[虐待予防を念頭においた対応やアドバイス]	75.0%	73.1%	66.1%	73.3%	78.3%	64.9%	39.4%	52.0%	33.3%	43.5%	47.8%	55.6%

各種支援の実態調査	ST			心理職			看護職		
	センター	医療+重症児	それ以外	センター	医療+重症児	それ以外	センター	医療+重症児	それ以外
	(1) 本人支援① [運動発達]	39.6%	27.3%	57.1%	30.8%	30.0%	36.4%	42.1%	44.4%
(1) 本人支援① [運動障害 (麻痺、形成不全等)]	31.3%	27.3%	0.0%	7.7%	20.0%	4.5%	42.1%	48.1%	40.0%
(1) 本人支援① [上肢機能・操作性・巧緻性]	41.7%	31.8%	35.7%	15.4%	30.0%	22.7%	31.6%	25.9%	30.0%
(1) 本人支援① [姿勢管理]	41.7%	40.9%	71.4%	7.7%	20.0%	45.5%	52.6%	48.1%	50.0%
(1) 本人支援① [車椅子・座位保持]	27.1%	9.1%	42.9%	5.1%	0.0%	18.2%	42.1%	25.9%	40.0%
(1) 本人支援① [装具]	10.4%	4.5%	7.1%	5.1%	0.0%	0.0%	34.2%	22.2%	10.0%
(1) 本人支援① [ADL]	52.1%	31.8%	64.3%	38.5%	50.0%	31.8%	60.5%	55.6%	50.0%
(1) 本人支援① [感覚統合]	29.2%	36.4%	78.6%	20.5%	50.0%	45.5%	18.4%	18.5%	40.0%
(1) 本人支援① [目と手の協応]	56.3%	36.4%	78.6%	43.6%	40.0%	50.0%	23.7%	14.8%	50.0%
(1) 本人支援① [道具の操作]	56.3%	27.3%	71.4%	35.9%	40.0%	45.5%	28.9%	14.8%	40.0%
(1) 本人支援① [眼球運動]	43.8%	45.5%	50.0%	30.8%	20.0%	22.7%	26.3%	25.9%	20.0%
(1) 本人支援① [摂食機能]	83.3%	86.4%	78.6%	17.9%	30.0%	22.7%	55.3%	55.6%	30.0%
(1) 本人支援① [話す]	89.6%	100.0%	100.0%	46.2%	40.0%	68.2%	34.2%	25.9%	50.0%
(1) 本人支援① [聞く]	89.6%	100.0%	92.9%	46.2%	50.0%	68.2%	34.2%	25.9%	50.0%
(1) 本人支援② [コミュニケーション]	93.8%	100.0%	92.9%	71.8%	80.0%	86.4%	47.4%	40.7%	70.0%
(1) 本人支援② [発声]	93.8%	100.0%	100.0%	46.2%	30.0%	63.6%	23.7%	25.9%	60.0%
(1) 本人支援② [発音・構音]	91.7%	100.0%	100.0%	17.9%	0.0%	36.4%	18.4%	14.8%	50.0%
(1) 本人支援② [人工内耳・補聴器目]	56.3%	63.6%	28.6%	7.7%	0.0%	4.5%	21.1%	22.2%	20.0%
(1) 本人支援② [手話]	45.8%	54.5%	35.7%	10.3%	10.0%	0.0%	7.9%	7.4%	10.0%
(1) 本人支援② [サイン言語]	70.8%	95.5%	71.4%	28.2%	40.0%	31.8%	31.6%	33.3%	30.0%
(1) 本人支援② [聴力検査]	35.4%	40.9%	14.3%	5.1%	10.0%	0.0%	2.6%	0.0%	10.0%
(1) 本人支援② [発達検査・知能検査]	41.7%	45.5%	57.1%	82.1%	100.0%	59.1%	5.3%	7.4%	10.0%
(1) 本人支援② [それ以外の心理検査]	25.0%	9.1%	35.7%	64.1%	60.0%	50.0%	0.0%	3.7%	0.0%
(1) 本人支援② [社会性の育ち]	66.7%	59.1%	78.6%	71.8%	80.0%	68.2%	31.6%	37.0%	70.0%
(1) 本人支援② [発達にあった遊びの構築]	64.6%	59.1%	85.7%	66.7%	70.0%	59.1%	34.2%	33.3%	60.0%
(1) 本人支援② [認知機能]	79.2%	68.2%	85.7%	76.9%	80.0%	68.2%	31.6%	33.3%	70.0%
(2) 集団活動 [集団活動の行動観察]	72.9%	50.0%	85.7%	79.5%	90.0%	81.8%	52.6%	40.7%	70.0%
(2) 集団活動 [生活環境の観察]	64.6%	36.4%	71.4%	53.8%	80.0%	72.7%	60.5%	51.9%	70.0%
(2) 集団活動 [集団活動への参加]	66.7%	40.9%	78.6%	64.1%	60.0%	72.7%	57.9%	48.1%	70.0%
(3) 保護者 [発達状態の説明]	87.5%	81.8%	100.0%	84.6%	90.0%	81.8%	42.1%	48.1%	30.0%
(3) 保護者 [家庭での関わり、家庭生活へのアドバイス]	85.4%	95.5%	100.0%	82.1%	80.0%	86.4%	60.5%	74.1%	50.0%
(3) 保護者 [障害の理解、受容]	68.8%	68.2%	78.6%	84.6%	80.0%	86.4%	52.6%	51.9%	50.0%
(3) 保護者 [カウンセリング]	41.7%	27.3%	42.9%	74.4%	80.0%	63.6%	28.9%	18.5%	20.0%
(3) 保護者 [研修]	83.3%	72.7%	50.0%	71.8%	80.0%	50.0%	44.7%	40.7%	30.0%
(3) 保護者 [情報提供]	85.4%	77.3%	85.7%	74.4%	90.0%	86.4%	63.2%	66.7%	50.0%
(3) 保護者 [虐待予防を念頭においた対応やアドバイス]	52.1%	54.5%	50.0%	64.1%	70.0%	77.3%	52.6%	55.6%	40.0%

エ. 自由記載

この調査では資格を持っている者がやっていたらきちんとやられているような結果が出るような感じがします。資格を持っていても現場では役に立たない人はヤマほどいます。

支援スタッフも柔軟な対応が求められると日々感じています。

保護者支援については、親子利用しているため、職種に関わらず、各職員が状況に応じて関わりを持っている。

当施設の児童指導員は、保育士、言語聴覚士、教員の資格を有するものがあっている。研修を受けて、児童指導員が検査を実施している。PT、OTの訪問支援や医療機関と連携をとりながら、トータルに親子を捉え、本人支援、保護者支援、運動支援を行っている。

OT,ST,Nrs,児童指導員、保育士は集団の療育に携わっているため、同じ項目にチェックがついています。PTは外部講師として月に2回程度みえているため専門業務が中心になります。

当センターでは常勤の相談支援専門員や専門職の方と共に保育士や看護師 多職種で連携しながら個別の支援につなげています。

保護者支援は主に、児童発達支援管理責任者が主として行う形となっています。

職員間の連携を意識しながら互いの分野だけでなく、1人ひとりにアプローチをしていき、みんなでサポートする体制を大切にしています。なかなかうまくいかないこともあります。

医療ケア児や重心身児などの受入れを行いたい思いはあるが、医療体制や看護職員の配置など、人員不足もあり難しい状態である。地域の医療関係との連携を、行政からも働きかけていただければ受け入れしやすくなるのではないかと感じる。

保護者支援に関しては、児発管が中心に行っている。

通園施設内だけでなく外来機能の他職種や総合相談部のソーシャルワーカー等と連携してサービスにあっている

児発管の業務は多岐にわたって学ぶことも現場に入らざるを得ない状況もあり、負担感も多いです。持続可能な児発管のあり方を示唆して欲しいです。

直接支援（特に保護者支援）はチームアプローチで行っているので職種に関係なくコミットしている。またソーシャルワーカーが職種に入っていなかったがワーカーの役割はチームの中で大きい。

本人支援、家族支援、地域支援など、多職種連携(チーム支援)を大切にしていますが、その中に管理栄養士、調理員も深く関わり支援しています。子どもたちの生きるために一番大切な力である摂食嚥下や偏食対応等食支援にも力を入れています。管理栄養士のチェック欄も入れていただきたいと考えます。

他部署にリハビリ職員や心理士がいるため、必要時は連携を取っている。

IV.現場の職員の困り感調査

ア.回収結果

有効回答数 423

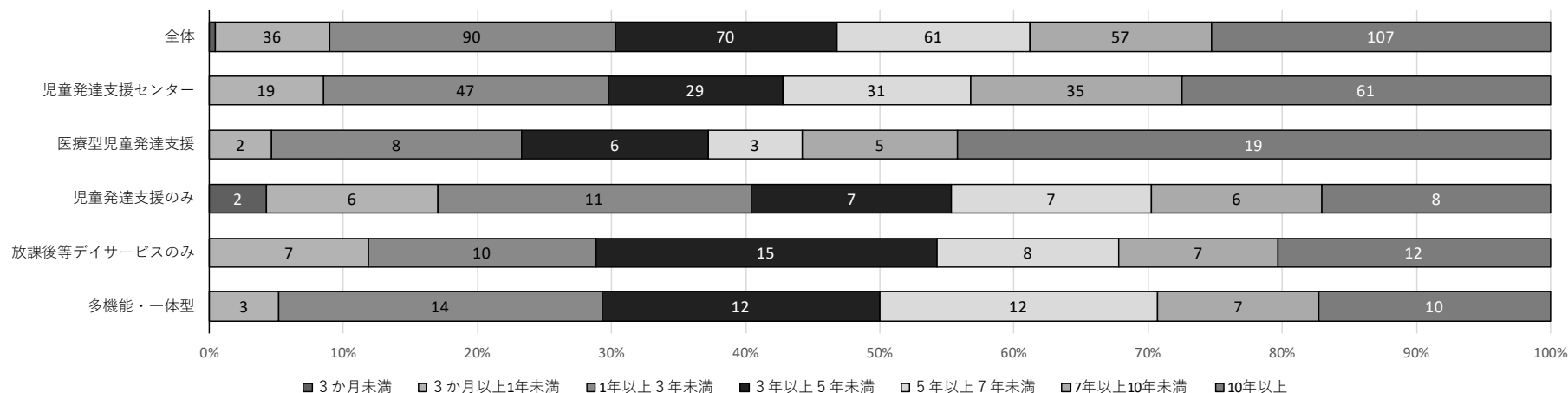
※全国児童発達支援協議会（CDS）から加盟団体（513）へメールとFAXで依頼を送り、各事業所内で3名程度の職員（経験年数が異なる者）を回答者として選任してもらい、それぞれの職員が直接回答する方法とした。

イ.基礎情報について

回答者情報（回答者現場の職員）

(1)あなたの障害児支援の経験は何年（何か月）ですか。

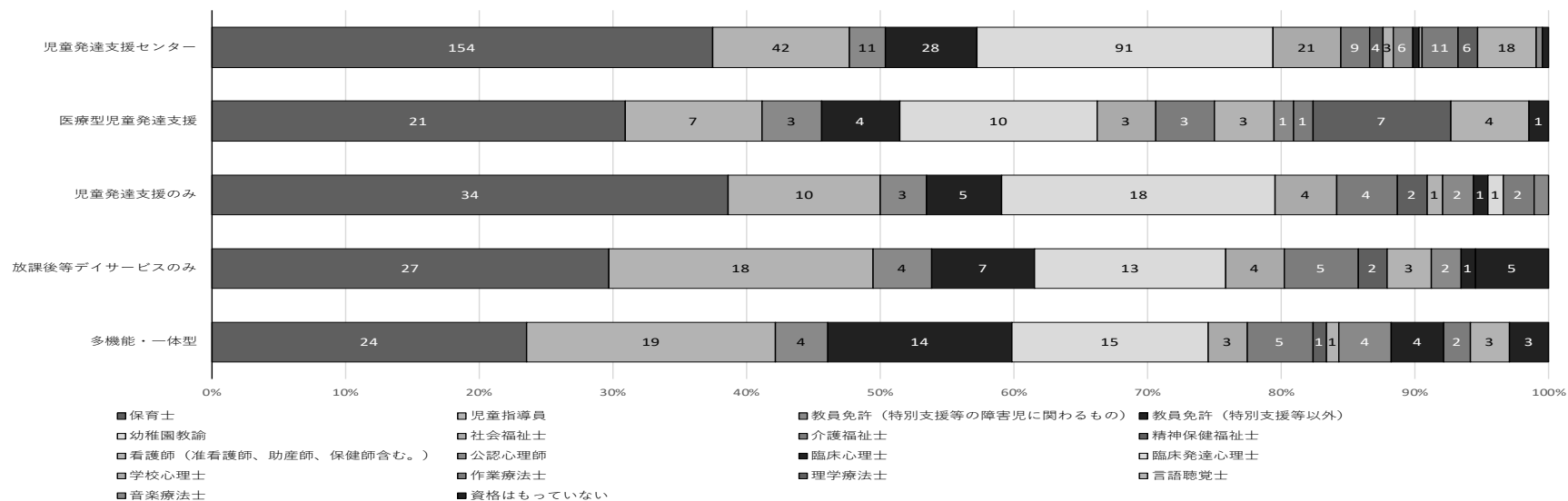
※経験とは、障害児支援の経験を指します。他事業所における障害児支援の経験も含む



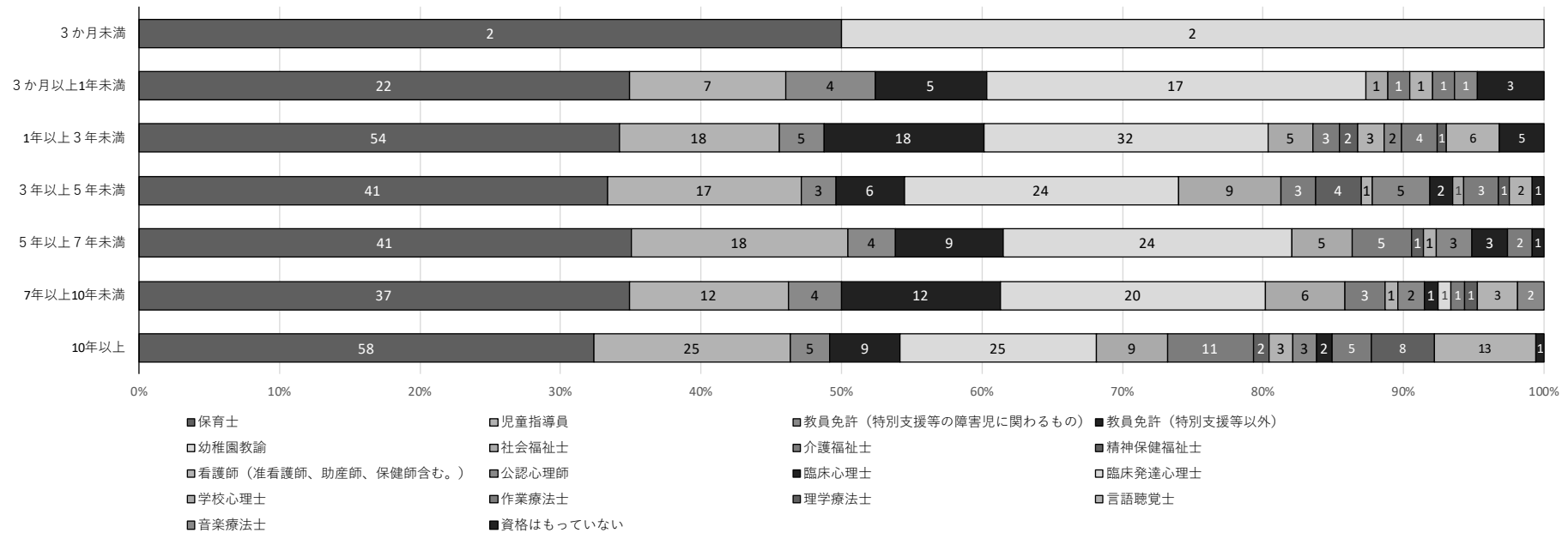
(1)あなたの障害児支援の経験は何年（何か月）ですか。

	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	放課後等デイサービスのみのみ	多機能・一体型
3か月未満	2 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3か月以上1年未満	36 (8.5%)	19 (8.6%)	2 (4.7%)	6 (12.8%)	7 (11.9%)	3 (5.2%)
1年以上3年未満	90 (21.3%)	47 (21.2%)	8 (18.6%)	11 (23.4%)	10 (16.9%)	14 (24.1%)
3年以上5年未満	70 (16.5%)	29 (13.1%)	6 (14.0%)	7 (14.9%)	15 (25.4%)	12 (20.7%)
5年以上7年未満	61 (14.4%)	31 (14.0%)	3 (7.0%)	7 (14.9%)	8 (13.6%)	12 (20.7%)
7年以上10年未満	57 (13.5%)	35 (15.8%)	5 (11.6%)	6 (12.8%)	7 (11.9%)	7 (12.1%)
10年以上	107 (25.3%)	61 (27.5%)	19 (44.2%)	8 (17.0%)	12 (20.3%)	10 (17.2%)
合計	423 (100%)	222 (100%)	43 (100%)	47 (100%)	59 (100%)	58 (100%)

(2) あなたは次の資格のうちどれを所持していますか。



(2) あなたは次の資格のうちどれを所持していますか。	全体	児童発達支援センター	医療型児童発達支援	児童発達支援のみ	放課後等デイサービスのみのみ	多機能・一体型
保育士	255 (60.3%)	154 (69.4%)	21 (48.8%)	34 (72.3%)	27 (45.8%)	24 (41.4%)
児童指導員	97 (22.9%)	42 (18.9%)	7 (16.3%)	10 (21.3%)	18 (30.5%)	19 (32.8%)
教員免許 (特別支援等の障害児に関わるもの)	25 (5.9%)	11 (5.0%)	3 (7.0%)	3 (6.4%)	4 (6.8%)	4 (6.9%)
教員免許 (特別支援等以外)	59 (13.9%)	28 (12.6%)	4 (9.3%)	5 (10.6%)	7 (11.9%)	14 (24.1%)
幼稚園教諭	144 (34.0%)	91 (41.0%)	10 (23.3%)	18 (38.3%)	13 (22.0%)	15 (25.9%)
社会福祉士	35 (8.3%)	21 (9.5%)	3 (7.0%)	4 (8.5%)	4 (6.8%)	3 (5.2%)
介護福祉士	26 (6.1%)	9 (4.1%)	3 (7.0%)	4 (8.5%)	5 (8.5%)	5 (8.6%)
精神保健福祉士	9 (2.1%)	4 (1.8%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)
看護師 (准看護師、助産師、保健師含む。)	10 (2.4%)	3 (1.4%)	3 (7.0%)	1 (2.1%)	3 (5.1%)	1 (1.7%)
公認心理師	15 (3.5%)	6 (2.7%)	1 (2.3%)	2 (4.3%)	2 (3.4%)	4 (6.9%)
臨床心理士	8 (1.9%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	1 (1.7%)	4 (6.9%)
臨床発達心理士	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
学校心理士	1 (0.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
作業療法士	16 (3.8%)	11 (5.0%)	1 (2.3%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)
理学療法士	11 (2.6%)	6 (2.7%)	7 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
言語聴覚士	24 (5.7%)	18 (8.1%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.2%)
音楽療法士	3 (0.7%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
資格はもっていない	11 (2.6%)	2 (0.9%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	5 (8.5%)	3 (5.2%)



(2) あなたは次の資格のうちどれを所持していますか。

	3ヶ月未満	3ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
保育士	2 (100.0%)	22 (61.1%)	54 (60.0%)	41 (58.6%)	41 (67.2%)	37 (64.9%)	58 (54.2%)
児童指導員	0 (0.0%)	7 (19.4%)	18 (20.0%)	17 (24.3%)	18 (29.5%)	12 (21.1%)	25 (23.4%)
教員免許 (特別支援等の障害児に関わるもの)	0 (0.0%)	4 (11.1%)	5 (5.6%)	3 (4.3%)	4 (6.6%)	4 (7.0%)	5 (4.7%)
教員免許 (特別支援等以外)	0 (0.0%)	5 (13.9%)	18 (20.0%)	6 (8.6%)	9 (14.8%)	12 (21.1%)	9 (8.4%)
幼稚園教諭	2 (100.0%)	17 (47.2%)	32 (35.6%)	24 (34.3%)	24 (39.3%)	20 (35.1%)	25 (23.4%)
社会福祉士	0 (0.0%)	1 (2.8%)	5 (5.6%)	9 (12.9%)	5 (8.2%)	6 (10.5%)	9 (8.4%)
介護福祉士	0 (0.0%)	1 (2.8%)	3 (3.3%)	3 (4.3%)	5 (8.2%)	3 (5.3%)	11 (10.3%)
精神保健福祉士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)	4 (5.7%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)
看護師 (准看護師、助産師、保健師含む。)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	3 (3.3%)	1 (1.4%)	1 (1.6%)	1 (1.8%)	3 (2.8%)
公認心理師	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)	5 (7.1%)	3 (4.9%)	2 (3.5%)	3 (2.8%)
臨床心理士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)	3 (4.9%)	1 (1.8%)	2 (1.9%)
臨床発達心理士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)
学校心理士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
作業療法士	0 (0.0%)	1 (2.8%)	4 (4.4%)	3 (4.3%)	2 (3.3%)	1 (1.8%)	5 (4.7%)
理学療法士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	8 (7.5%)
言語聴覚士	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (6.7%)	2 (2.9%)	0 (0.0%)	3 (5.3%)	13 (12.1%)
音楽療法士	0 (0.0%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.5%)	0 (0.0%)
資格はもっていない	0 (0.0%)	3 (8.3%)	5 (5.6%)	1 (1.4%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)

(3) 事業所の種類

あなたの所属する事業所の種類について選択してください。複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。

事業所の種類 全体	
児童発達支援センター	222
児童発達支援事業	132
放課後等デイサービス事業	148
保育所等訪問支援	74
居宅訪問型児童発達支援	12
医療型児童発達支援	43
児童発達支援のみ（センター除く）	47
放課後等デイサービスのみのみ	59
多機能・一体型	58

ウ.調査結果

【全体】

【自分問題】

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	7 (19.4%)	23 (63.9%)	6 (16.7%)	0	36
1年以上3年未満	0 (0.0%)	22 (24.4%)	60 (66.7%)	8 (8.9%)	0	90
3年以上5年未満	0 (0.0%)	17 (24.3%)	42 (60.0%)	11 (15.7%)	0	70
5年以上7年未満	0 (0.0%)	13 (21.3%)	41 (67.2%)	7 (11.5%)	0	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	8 (14.0%)	38 (66.7%)	11 (19.3%)	0	57
10年以上	1 (0.9%)	11 (10.4%)	66 (62.3%)	28 (26.4%)	1	107
全体	1 (0.2%)	78 (18.6%)	270 (64.3%)	71 (16.9%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）						
3か月以上1年未満	2 (5.6%)	7 (19.4%)	18 (50.0%)	9 (25.0%)	0	36
1年以上3年未満	2 (2.2%)	16 (17.8%)	59 (65.6%)	13 (14.4%)	0	90
3年以上5年未満	0 (0.0%)	11 (15.7%)	47 (67.1%)	12 (17.1%)	0	70
5年以上7年未満	2 (3.3%)	8 (13.1%)	45 (73.8%)	6 (9.8%)	0	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	10 (17.5%)	37 (64.9%)	10 (17.5%)	0	57
10年以上	2 (1.9%)	6 (5.7%)	74 (69.8%)	24 (22.6%)	1	107
全体	8 (1.9%)	58 (13.8%)	280 (66.7%)	74 (17.6%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて						
3か月以上1年未満	2 (5.6%)	7 (19.4%)	20 (55.6%)	7 (19.4%)	0	36
1年以上3年未満	9 (10.0%)	23 (25.6%)	51 (56.7%)	7 (7.8%)	0	90
3年以上5年未満	0 (0.0%)	14 (20.0%)	47 (67.1%)	9 (12.9%)	0	70
5年以上7年未満	1 (1.6%)	12 (19.7%)	44 (72.1%)	4 (6.6%)	0	61
7年以上10年未満	1 (1.8%)	20 (35.1%)	30 (52.6%)	6 (10.5%)	0	57
10年以上	2 (1.9%)	21 (19.8%)	66 (62.3%)	17 (16.0%)	1	107
全体	15 (3.6%)	97 (23.1%)	258 (61.4%)	50 (11.9%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いかけていけない、腰が痛い等）						
3か月以上1年未満	2 (5.6%)	7 (19.4%)	12 (33.3%)	15 (41.7%)	0	36
1年以上3年未満	2 (2.2%)	14 (15.6%)	45 (50.0%)	29 (32.2%)	0	90
3年以上5年未満	2 (2.9%)	17 (24.3%)	31 (44.3%)	20 (28.6%)	0	70
5年以上7年未満	1 (1.6%)	16 (26.2%)	28 (45.9%)	16 (26.2%)	0	61
7年以上10年未満	2 (3.5%)	18 (31.6%)	24 (42.1%)	13 (22.8%)	0	57
10年以上	5 (4.7%)	37 (34.9%)	50 (47.2%)	14 (13.2%)	1	107
全体	14 (3.3%)	109 (26.0%)	190 (45.2%)	107 (25.5%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	21	(58.3%)	12	(33.3%)	3	(8.3%)	0	36
1年以上3年未満	3	(3.3%)	31	(34.4%)	49	(54.4%)	7	(7.8%)	0	90
3年以上5年未満	1	(1.4%)	23	(32.9%)	42	(60.0%)	4	(5.7%)	0	70
5年以上7年未満	3	(4.9%)	18	(29.5%)	36	(59.0%)	4	(6.6%)	0	61
7年以上10年未満	1	(1.8%)	19	(33.3%)	32	(56.1%)	5	(8.8%)	0	57
10年以上	0	(0.0%)	28	(26.2%)	72	(67.3%)	7	(6.5%)	0	107
全体	8	(1.9%)	140	(33.3%)	243	(57.7%)	30	(7.1%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	25	(69.4%)	10	(27.8%)	1	(2.8%)	0	36
1年以上3年未満	2	(2.2%)	39	(43.3%)	43	(47.8%)	6	(6.7%)	0	90
3年以上5年未満	1	(1.4%)	21	(30.0%)	44	(62.9%)	4	(5.7%)	0	70
5年以上7年未満	2	(3.3%)	22	(36.1%)	34	(55.7%)	3	(4.9%)	0	61
7年以上10年未満	1	(1.8%)	22	(38.6%)	29	(50.9%)	5	(8.8%)	0	57
10年以上	2	(1.9%)	27	(25.2%)	68	(63.6%)	10	(9.3%)	0	107
全体	8	(1.9%)	156	(37.1%)	228	(54.2%)	29	(6.9%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
3.個々のこだわりへの対応										
3か月以上1年未満	1	(2.8%)	21	(58.3%)	13	(36.1%)	1	(2.8%)	0	36
1年以上3年未満	4	(4.4%)	41	(45.6%)	41	(45.6%)	4	(4.4%)	0	90
3年以上5年未満	4	(5.7%)	30	(42.9%)	34	(48.6%)	2	(2.9%)	0	70
5年以上7年未満	4	(6.6%)	28	(45.9%)	28	(45.9%)	1	(1.6%)	0	61
7年以上10年未満	1	(1.8%)	34	(59.6%)	20	(35.1%)	2	(3.5%)	0	57
10年以上	1	(0.9%)	38	(35.5%)	65	(60.7%)	3	(2.8%)	0	107
全体	15	(3.6%)	192	(45.6%)	201	(47.7%)	13	(3.1%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
4.こどもの気持ちのくみ取り										
3か月以上1年未満	1	(2.8%)	21	(58.3%)	14	(38.9%)	0	(0.0%)	0	36
1年以上3年未満	4	(4.4%)	38	(42.2%)	43	(47.8%)	5	(5.6%)	0	90
3年以上5年未満	0	(0.0%)	27	(38.6%)	37	(52.9%)	6	(8.6%)	0	70
5年以上7年未満	2	(3.3%)	19	(31.1%)	39	(63.9%)	1	(1.6%)	0	61
7年以上10年未満	0	(0.0%)	25	(43.9%)	29	(50.9%)	3	(5.3%)	0	57
10年以上	1	(0.9%)	30	(28.0%)	75	(70.1%)	1	(0.9%)	0	107
全体	8	(1.9%)	160	(38.0%)	237	(56.3%)	16	(3.8%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
5.受け止めるところと、導くところの境界線						
3か月以上1年未満	4 (11.1%)	24 (66.7%)	6 (16.7%)	2 (5.6%)	0	36
1年以上3年未満	12 (13.5%)	44 (49.4%)	30 (33.7%)	3 (3.4%)	1	90
3年以上5年未満	5 (7.1%)	35 (50.0%)	27 (38.6%)	3 (4.3%)	0	70
5年以上7年未満	2 (3.3%)	28 (45.9%)	30 (49.2%)	1 (1.6%)	0	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	30 (52.6%)	23 (40.4%)	4 (7.0%)	0	57
10年以上	2 (1.9%)	47 (43.9%)	57 (53.3%)	1 (0.9%)	0	107
全体	25 (6.0%)	208 (49.5%)	173 (41.2%)	14 (3.3%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
6.その子に合った学習支援について						
3か月以上1年未満	3 (9.7%)	15 (48.4%)	13 (41.9%)	0 (0.0%)	5	36
1年以上3年未満	6 (8.0%)	30 (40.0%)	36 (48.0%)	3 (4.0%)	15	90
3年以上5年未満	4 (6.6%)	35 (57.4%)	20 (32.8%)	2 (3.3%)	9	70
5年以上7年未満	0 (0.0%)	22 (43.1%)	29 (56.9%)	0 (0.0%)	10	61
7年以上10年未満	1 (2.0%)	30 (61.2%)	17 (34.7%)	1 (2.0%)	8	57
10年以上	1 (1.1%)	33 (36.7%)	56 (62.2%)	0 (0.0%)	17	107
全体	15 (4.2%)	165 (46.2%)	171 (47.9%)	6 (1.7%)	64	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ						
3か月以上1年未満	3 (8.3%)	25 (69.4%)	8 (22.2%)	0 (0.0%)	0	36
1年以上3年未満	8 (9.0%)	56 (62.9%)	22 (24.7%)	3 (3.4%)	1	90
3年以上5年未満	5 (7.2%)	38 (55.1%)	24 (34.8%)	2 (2.9%)	1	70
5年以上7年未満	2 (3.3%)	38 (62.3%)	21 (34.4%)	0 (0.0%)	0	61
7年以上10年未満	5 (8.8%)	26 (45.6%)	23 (40.4%)	3 (5.3%)	0	57
10年以上	3 (2.8%)	46 (43.0%)	58 (54.2%)	0 (0.0%)	0	107
全体	26 (6.2%)	229 (54.7%)	156 (37.2%)	8 (1.9%)	2	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
8.子ども同士のトラブルの対応						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	18 (50.0%)	17 (47.2%)	1 (2.8%)	0	36
1年以上3年未満	6 (6.8%)	31 (35.2%)	46 (52.3%)	5 (5.7%)	2	90
3年以上5年未満	2 (2.9%)	21 (30.9%)	38 (55.9%)	7 (10.3%)	2	70
5年以上7年未満	2 (3.3%)	17 (28.3%)	39 (65.0%)	2 (3.3%)	1	61
7年以上10年未満	2 (3.6%)	19 (33.9%)	30 (53.6%)	5 (8.9%)	1	57
10年以上	2 (1.9%)	21 (20.2%)	74 (71.2%)	7 (6.7%)	3	107
全体	14 (3.4%)	127 (30.8%)	244 (59.2%)	27 (6.6%)	9	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応										
3か月以上1年未満	3	(8.3%)	18	(50.0%)	13	(36.1%)	2	(5.6%)	0	36
1年以上3年未満	5	(5.6%)	39	(43.3%)	43	(47.8%)	3	(3.3%)	0	90
3年以上5年未満	2	(2.9%)	36	(51.4%)	28	(40.0%)	4	(5.7%)	0	70
5年以上7年未満	1	(1.7%)	24	(40.0%)	35	(58.3%)	0	(0.0%)	1	61
7年以上10年未満	2	(3.5%)	21	(36.8%)	32	(56.1%)	2	(3.5%)	0	57
10年以上	3	(2.8%)	33	(31.1%)	69	(65.1%)	1	(0.9%)	1	107
全体	16	(3.8%)	171	(40.8%)	220	(52.5%)	12	(2.9%)	2	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
10.子どもがパニックや痙攣を起こしたときのクールダウンのさせ方										
3か月以上1年未満	7	(19.4%)	21	(58.3%)	8	(22.2%)	0	(0.0%)	0	36
1年以上3年未満	9	(10.1%)	39	(43.8%)	37	(41.6%)	4	(4.5%)	1	90
3年以上5年未満	6	(8.6%)	35	(50.0%)	26	(37.1%)	3	(4.3%)	0	70
5年以上7年未満	2	(3.3%)	26	(42.6%)	33	(54.1%)	0	(0.0%)	0	61
7年以上10年未満	4	(7.0%)	27	(47.4%)	24	(42.1%)	2	(3.5%)	0	57
10年以上	3	(2.8%)	36	(34.0%)	65	(61.3%)	2	(1.9%)	1	107
全体	31	(7.4%)	184	(43.9%)	193	(46.1%)	11	(2.6%)	2	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
11.子どもとのコミュニケーションの難しさ										
3か月以上1年未満	1	(2.8%)	11	(30.6%)	22	(61.1%)	2	(5.6%)	0	36
1年以上3年未満	6	(6.7%)	21	(23.3%)	54	(60.0%)	9	(10.0%)	0	90
3年以上5年未満	0	(0.0%)	22	(31.4%)	36	(51.4%)	12	(17.1%)	0	70
5年以上7年未満	1	(1.6%)	16	(26.2%)	42	(68.9%)	2	(3.3%)	0	61
7年以上10年未満	0	(0.0%)	21	(36.8%)	32	(56.1%)	4	(7.0%)	0	57
10年以上	0	(0.0%)	26	(24.5%)	74	(69.8%)	6	(5.7%)	1	107
全体	8	(1.9%)	117	(27.9%)	260	(61.9%)	35	(8.3%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安										
3か月以上1年未満	3	(8.3%)	22	(61.1%)	11	(30.6%)	0	(0.0%)	0	36
1年以上3年未満	11	(12.2%)	38	(42.2%)	40	(44.4%)	1	(1.1%)	0	90
3年以上5年未満	2	(2.9%)	38	(54.3%)	30	(42.9%)	0	(0.0%)	0	70
5年以上7年未満	2	(3.3%)	26	(42.6%)	33	(54.1%)	0	(0.0%)	0	61
7年以上10年未満	1	(1.8%)	37	(64.9%)	17	(29.8%)	2	(3.5%)	0	57
10年以上	3	(2.8%)	43	(40.6%)	60	(56.6%)	0	(0.0%)	1	107
全体	22	(5.2%)	204	(48.6%)	191	(45.5%)	3	(0.7%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	8 (22.9%)	21 (60.0%)	6 (17.1%)	0 (0.0%)	1	36
1年以上3年未満	20 (22.2%)	47 (52.2%)	23 (25.6%)	0 (0.0%)	0	90
3年以上5年未満	9 (12.9%)	33 (47.1%)	26 (37.1%)	2 (2.9%)	0	70
5年以上7年未満	5 (8.2%)	34 (55.7%)	22 (36.1%)	0 (0.0%)	0	61
7年以上10年未満	5 (8.9%)	28 (50.0%)	22 (39.3%)	1 (1.8%)	1	57
10年以上	4 (3.7%)	48 (44.9%)	55 (51.4%)	0 (0.0%)	0	107
全体	51 (12.2%)	211 (50.4%)	154 (36.8%)	3 (0.7%)	2	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	4 (11.8%)	20 (58.8%)	10 (29.4%)	0 (0.0%)	2	36
1年以上3年未満	13 (14.6%)	46 (51.7%)	29 (32.6%)	1 (1.1%)	1	90
3年以上5年未満	5 (7.1%)	35 (50.0%)	29 (41.4%)	1 (1.4%)	0	70
5年以上7年未満	6 (9.8%)	26 (42.6%)	28 (45.9%)	1 (1.6%)	0	61
7年以上10年未満	4 (7.3%)	22 (40.0%)	26 (47.3%)	3 (5.5%)	2	57
10年以上	3 (2.9%)	40 (39.2%)	57 (55.9%)	2 (2.0%)	5	107
全体	35 (8.5%)	189 (46.0%)	179 (43.6%)	8 (1.9%)	10	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいか	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	4 (11.8%)	19 (55.9%)	11 (32.4%)	0 (0.0%)	2	36
1年以上3年未満	14 (15.6%)	45 (50.0%)	30 (33.3%)	1 (1.1%)	0	90
3年以上5年未満	5 (7.1%)	36 (51.4%)	28 (40.0%)	1 (1.4%)	0	70
5年以上7年未満	4 (6.6%)	30 (49.2%)	27 (44.3%)	0 (0.0%)	0	61
7年以上10年未満	4 (7.0%)	27 (47.4%)	25 (43.9%)	1 (1.8%)	0	57
10年以上	3 (2.8%)	39 (36.8%)	64 (60.4%)	0 (0.0%)	1	107
全体	34 (8.1%)	196 (46.9%)	185 (44.3%)	3 (0.7%)	3	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎること	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (3.8%)	7 (26.9%)	13 (50.0%)	5 (19.2%)	10	36
1年以上3年未満	3 (4.4%)	20 (29.4%)	33 (48.5%)	12 (17.6%)	22	90
3年以上5年未満	4 (7.4%)	19 (35.2%)	25 (46.3%)	6 (11.1%)	16	70
5年以上7年未満	4 (8.9%)	12 (26.7%)	23 (51.1%)	6 (13.3%)	16	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	15 (35.7%)	21 (50.0%)	6 (14.3%)	15	57
10年以上	2 (2.8%)	17 (23.9%)	43 (60.6%)	9 (12.7%)	36	107
全体	14 (4.6%)	90 (29.4%)	158 (51.6%)	44 (14.4%)	115	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方						
3か月以上1年未満	2 (6.7%)	15 (50.0%)	12 (40.0%)	1 (3.3%)	6	36
1年以上3年未満	7 (9.5%)	24 (32.4%)	37 (50.0%)	6 (8.1%)	16	90
3年以上5年未満	2 (3.4%)	20 (33.9%)	36 (61.0%)	1 (1.7%)	11	70
5年以上7年未満	0 (0.0%)	16 (28.6%)	40 (71.4%)	0 (0.0%)	5	61
7年以上10年未満	2 (3.7%)	14 (25.9%)	34 (63.0%)	4 (7.4%)	3	57
10年以上	1 (1.1%)	10 (11.5%)	65 (74.7%)	11 (12.6%)	20	107
全体	14 (3.9%)	99 (27.5%)	224 (62.2%)	23 (6.4%)	61	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
18.絵本など視覚教材の用い方						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (27.3%)	22 (66.7%)	2 (6.1%)	3	36
1年以上3年未満	2 (2.4%)	23 (27.1%)	52 (61.2%)	8 (9.4%)	5	90
3年以上5年未満	1 (1.5%)	22 (32.8%)	41 (61.2%)	3 (4.5%)	3	70
5年以上7年未満	0 (0.0%)	10 (16.9%)	45 (76.3%)	4 (6.8%)	2	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	13 (23.6%)	33 (60.0%)	9 (16.4%)	2	57
10年以上	1 (1.0%)	15 (14.7%)	77 (75.5%)	9 (8.8%)	5	107
全体	4 (1.0%)	92 (22.9%)	270 (67.3%)	35 (8.7%)	20	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
19.支援教材づくりの難しさ						
3か月以上1年未満	3 (9.1%)	15 (45.5%)	12 (36.4%)	3 (9.1%)	3	36
1年以上3年未満	9 (10.6%)	32 (37.6%)	39 (45.9%)	5 (5.9%)	5	90
3年以上5年未満	3 (4.4%)	41 (60.3%)	23 (33.8%)	1 (1.5%)	2	70
5年以上7年未満	3 (5.1%)	26 (44.1%)	30 (50.8%)	0 (0.0%)	2	61
7年以上10年未満	2 (3.7%)	28 (51.9%)	19 (35.2%)	5 (9.3%)	3	57
10年以上	2 (2.0%)	33 (33.3%)	54 (54.5%)	10 (10.1%)	8	107
全体	22 (5.5%)	175 (44.0%)	177 (44.5%)	24 (6.0%)	23	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
20.手遊びのやり方						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (28.1%)	20 (62.5%)	3 (9.4%)	4	36
1年以上3年未満	6 (7.1%)	14 (16.5%)	58 (68.2%)	7 (8.2%)	5	90
3年以上5年未満	1 (1.6%)	22 (34.9%)	36 (57.1%)	4 (6.3%)	7	70
5年以上7年未満	1 (1.7%)	12 (20.3%)	42 (71.2%)	4 (6.8%)	2	61
7年以上10年未満	0 (0.0%)	11 (20.0%)	38 (69.1%)	6 (10.9%)	2	57
10年以上	2 (2.0%)	10 (10.2%)	72 (73.5%)	14 (14.3%)	9	107
全体	10 (2.6%)	78 (19.9%)	266 (67.9%)	38 (9.7%)	29	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集団、他児童の配慮含む）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	6 (16.7%)	20 (55.6%)	9 (25.0%)	1 (2.8%)	0	36
1年以上3年未満	12 (14.0%)	45 (52.3%)	26 (30.2%)	3 (3.5%)	4	90
3年以上5年未満	2 (3.0%)	36 (53.7%)	29 (43.3%)	0 (0.0%)	3	70
5年以上7年未満	3 (4.9%)	36 (59.0%)	22 (36.1%)	0 (0.0%)	0	61
7年以上10年未満	3 (5.4%)	24 (42.9%)	26 (46.4%)	3 (5.4%)	1	57
10年以上	4 (3.9%)	38 (37.3%)	58 (56.9%)	2 (2.0%)	5	107
全体	30 (7.4%)	199 (48.8%)	170 (41.7%)	9 (2.2%)	13	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (5.6%)	16 (44.4%)	14 (38.9%)	4 (11.1%)	0	36
1年以上3年未満	3 (3.4%)	33 (37.9%)	44 (50.6%)	7 (8.0%)	3	90
3年以上5年未満	1 (1.5%)	32 (47.8%)	31 (46.3%)	3 (4.5%)	3	70
5年以上7年未満	1 (1.7%)	18 (30.0%)	37 (61.7%)	4 (6.7%)	1	61
7年以上10年未満	2 (3.6%)	17 (30.9%)	28 (50.9%)	8 (14.5%)	2	57
10年以上	1 (1.0%)	28 (29.2%)	62 (64.6%)	5 (5.2%)	11	107
全体	10 (2.5%)	144 (35.9%)	216 (53.9%)	31 (7.7%)	20	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

23.子どもへの他害、自傷行為への対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3 (8.3%)	15 (41.7%)	16 (44.4%)	2 (5.6%)	0	36
1年以上3年未満	10 (11.4%)	28 (31.8%)	44 (50.0%)	6 (6.8%)	2	90
3年以上5年未満	5 (7.2%)	36 (52.2%)	27 (39.1%)	1 (1.4%)	1	70
5年以上7年未満	4 (6.7%)	24 (40.0%)	30 (50.0%)	2 (3.3%)	1	61
7年以上10年未満	5 (8.9%)	25 (44.6%)	23 (41.1%)	3 (5.4%)	1	57
10年以上	5 (4.8%)	45 (43.3%)	52 (50.0%)	2 (1.9%)	3	107
全体	32 (7.7%)	173 (41.9%)	192 (46.5%)	16 (3.9%)	8	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

24.散歩等で子どもの安全を守ること

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (15.2%)	26 (78.8%)	2 (6.1%)	3	36
1年以上3年未満	1 (1.2%)	14 (17.3%)	60 (74.1%)	6 (7.4%)	9	90
3年以上5年未満	2 (3.1%)	12 (18.8%)	47 (73.4%)	3 (4.7%)	6	70
5年以上7年未満	0 (0.0%)	10 (18.5%)	42 (77.8%)	2 (3.7%)	7	61
7年以上10年未満	2 (3.8%)	11 (20.8%)	36 (67.9%)	4 (7.5%)	4	57
10年以上	1 (1.1%)	18 (19.4%)	67 (72.0%)	7 (7.5%)	14	107
全体	6 (1.6%)	70 (18.5%)	278 (73.5%)	24 (6.3%)	43	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
25.食事の支援										
3か月以上1年未満	2	(6.5%)	12	(38.7%)	16	(51.6%)	1	(3.2%)	5	36
1年以上3年未満	5	(6.8%)	30	(40.5%)	34	(45.9%)	5	(6.8%)	16	90
3年以上5年未満	4	(7.3%)	16	(29.1%)	33	(60.0%)	2	(3.6%)	15	70
5年以上7年未満	2	(4.0%)	17	(34.0%)	31	(62.0%)	0	(0.0%)	11	61
7年以上10年未満	2	(4.2%)	19	(39.6%)	26	(54.2%)	1	(2.1%)	9	57
10年以上	1	(1.1%)	27	(30.0%)	56	(62.2%)	6	(6.7%)	17	107
全体	16	(4.6%)	121	(34.8%)	196	(56.3%)	15	(4.3%)	73	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
26.排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	12	(35.3%)	17	(50.0%)	5	(14.7%)	2	36
1年以上3年未満	5	(6.1%)	22	(26.8%)	47	(57.3%)	8	(9.8%)	8	90
3年以上5年未満	0	(0.0%)	17	(27.4%)	42	(67.7%)	3	(4.8%)	8	70
5年以上7年未満	1	(1.8%)	11	(19.6%)	43	(76.8%)	1	(1.8%)	5	61
7年以上10年未満	1	(2.0%)	11	(22.0%)	33	(66.0%)	5	(10.0%)	7	57
10年以上	0	(0.0%)	12	(12.4%)	82	(84.5%)	3	(3.1%)	10	107
全体	7	(1.8%)	85	(22.3%)	264	(69.3%)	25	(6.6%)	40	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
1.外部機関との連携の難しさ										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	10	(45.5%)	10	(45.5%)	2	(9.1%)	14	36
1年以上3年未満	11	(15.9%)	19	(27.5%)	37	(53.6%)	2	(2.9%)	21	90
3年以上5年未満	7	(11.1%)	29	(46.0%)	27	(42.9%)	0	(0.0%)	7	70
5年以上7年未満	4	(8.3%)	22	(45.8%)	22	(45.8%)	0	(0.0%)	13	61
7年以上10年未満	3	(6.1%)	28	(57.1%)	17	(34.7%)	1	(2.0%)	8	57
10年以上	12	(12.6%)	38	(40.0%)	45	(47.4%)	0	(0.0%)	12	107
全体	37	(10.7%)	146	(42.2%)	158	(45.7%)	5	(1.4%)	75	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
2.地域資源がなくて繋がられない										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	7	(36.8%)	10	(52.6%)	2	(10.5%)	17	36
1年以上3年未満	3	(5.2%)	18	(31.0%)	36	(62.1%)	1	(1.7%)	32	90
3年以上5年未満	3	(5.5%)	20	(36.4%)	31	(56.4%)	1	(1.8%)	15	70
5年以上7年未満	2	(4.5%)	11	(25.0%)	31	(70.5%)	0	(0.0%)	17	61
7年以上10年未満	3	(7.1%)	17	(40.5%)	19	(45.2%)	3	(7.1%)	15	57
10年以上	7	(7.8%)	31	(34.4%)	51	(56.7%)	1	(1.1%)	17	107
全体	18	(5.8%)	104	(33.8%)	178	(57.8%)	8	(2.6%)	113	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
1.保護者との関係づくりが難しい										
3か月以上1年未満	2	(6.1%)	14	(42.4%)	17	(51.5%)	0	(0.0%)	3	36
1年以上3年未満	6	(6.7%)	33	(36.7%)	49	(54.4%)	2	(2.2%)	0	90
3年以上5年未満	4	(5.7%)	28	(40.0%)	36	(51.4%)	2	(2.9%)	0	70
5年以上7年未満	4	(6.6%)	19	(31.1%)	37	(60.7%)	1	(1.6%)	0	61
7年以上10年未満	4	(7.0%)	20	(35.1%)	33	(57.9%)	0	(0.0%)	0	57
10年以上	4	(3.8%)	32	(30.2%)	69	(65.1%)	1	(0.9%)	1	107
全体	24	(5.8%)	146	(35.0%)	241	(57.8%)	6	(1.4%)	4	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応										
3か月以上1年未満	2	(6.7%)	9	(30.0%)	17	(56.7%)	2	(6.7%)	6	36
1年以上3年未満	2	(2.3%)	22	(25.3%)	58	(66.7%)	5	(5.7%)	3	90
3年以上5年未満	1	(1.4%)	19	(27.1%)	46	(65.7%)	4	(5.7%)	0	70
5年以上7年未満	0	(0.0%)	14	(23.7%)	43	(72.9%)	2	(3.4%)	2	61
7年以上10年未満	3	(5.3%)	13	(22.8%)	38	(66.7%)	3	(5.3%)	0	57
10年以上	2	(1.9%)	19	(18.3%)	78	(75.0%)	5	(4.8%)	3	107
全体	10	(2.5%)	96	(23.6%)	280	(68.8%)	21	(5.2%)	14	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ										
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	20	(62.5%)	11	(34.4%)	1	(3.1%)	4	36
1年以上3年未満	16	(18.2%)	41	(46.6%)	31	(35.2%)	0	(0.0%)	2	90
3年以上5年未満	8	(11.6%)	35	(50.7%)	25	(36.2%)	1	(1.4%)	1	70
5年以上7年未満	4	(6.7%)	34	(56.7%)	21	(35.0%)	1	(1.7%)	1	61
7年以上10年未満	9	(15.8%)	30	(52.6%)	18	(31.6%)	0	(0.0%)	0	57
10年以上	7	(6.6%)	64	(60.4%)	35	(33.0%)	0	(0.0%)	1	107
全体	44	(10.7%)	224	(54.4%)	141	(34.2%)	3	(0.7%)	9	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数			
4.困り感(外国籍や知的障害、精神疾患等)のある保護者とのコミュニケーションの難しさ										
3か月以上1年未満	1	(3.8%)	14	(53.8%)	11	(42.3%)	0	(0.0%)	10	36
1年以上3年未満	5	(6.3%)	39	(49.4%)	34	(43.0%)	1	(1.3%)	11	90
3年以上5年未満	8	(11.9%)	31	(46.3%)	26	(38.8%)	2	(3.0%)	3	70
5年以上7年未満	5	(8.8%)	31	(54.4%)	19	(33.3%)	2	(3.5%)	4	61
7年以上10年未満	6	(10.7%)	32	(57.1%)	15	(26.8%)	3	(5.4%)	1	57
10年以上	12	(12.2%)	53	(54.1%)	32	(32.7%)	1	(1.0%)	9	107
全体	37	(9.7%)	200	(52.2%)	137	(35.8%)	9	(2.3%)	38	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
5.批判的な保護者との関係づくり						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	14 (50.0%)	12 (42.9%)	2 (7.1%)		8 36
1年以上3年未満	7 (8.6%)	36 (44.4%)	37 (45.7%)	1 (1.2%)		9 90
3年以上5年未満	7 (10.8%)	28 (43.1%)	28 (43.1%)	2 (3.1%)		5 70
5年以上7年未満	5 (8.8%)	24 (42.1%)	26 (45.6%)	2 (3.5%)		4 61
7年以上10年未満	11 (20.8%)	28 (52.8%)	14 (26.4%)	0 (0.0%)		4 57
10年以上	8 (8.2%)	46 (47.4%)	40 (41.2%)	3 (3.1%)		10 107
全体	38 (10.0%)	176 (46.2%)	157 (41.2%)	10 (2.6%)		40 421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
6.不適切な子育てをしている保護者への支援						
3か月以上1年未満	1 (3.8%)	14 (53.8%)	11 (42.3%)	0 (0.0%)		7 33
1年以上3年未満	11 (15.3%)	31 (43.1%)	30 (41.7%)	0 (0.0%)		12 84
3年以上5年未満	11 (17.7%)	31 (50.0%)	20 (32.3%)	0 (0.0%)		7 69
5年以上7年未満	6 (10.9%)	29 (52.7%)	20 (36.4%)	0 (0.0%)		4 59
7年以上10年未満	9 (16.4%)	34 (61.8%)	12 (21.8%)	0 (0.0%)		2 57
10年以上	11 (11.3%)	62 (63.9%)	24 (24.7%)	0 (0.0%)		10 107
全体	49 (13.4%)	201 (54.8%)	117 (31.9%)	0 (0.0%)		42 409

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
7.事業所内面談の時間をとるのが難しい						
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (23.8%)	9 (42.9%)	7 (33.3%)		15 36
1年以上3年未満	3 (4.5%)	19 (28.4%)	39 (58.2%)	6 (9.0%)		23 90
3年以上5年未満	2 (3.4%)	17 (28.8%)	32 (54.2%)	8 (13.6%)		11 70
5年以上7年未満	1 (1.9%)	9 (17.0%)	37 (69.8%)	6 (11.3%)		8 61
7年以上10年未満	4 (8.0%)	17 (34.0%)	26 (52.0%)	3 (6.0%)		7 57
10年以上	6 (6.6%)	36 (39.6%)	43 (47.3%)	6 (6.6%)		16 107
全体	16 (4.7%)	103 (30.2%)	186 (54.5%)	36 (10.6%)		80 421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ						
3か月以上1年未満	4 (12.1%)	19 (57.6%)	10 (30.3%)	0 (0.0%)		3 36
1年以上3年未満	14 (16.3%)	44 (51.2%)	28 (32.6%)	0 (0.0%)		4 90
3年以上5年未満	8 (11.8%)	49 (72.1%)	11 (16.2%)	0 (0.0%)		2 70
5年以上7年未満	8 (13.3%)	33 (55.0%)	18 (30.0%)	1 (1.7%)		1 61
7年以上10年未満	9 (15.8%)	31 (54.4%)	17 (29.8%)	0 (0.0%)		0 57
10年以上	14 (13.9%)	56 (55.4%)	30 (29.7%)	1 (1.0%)		6 107
全体	57 (14.1%)	232 (57.3%)	114 (28.1%)	2 (0.5%)		16 421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
1.事業所（組織）の方針が理解できない							
3か月以上1年未満	1	(2.8%)	5 (13.9%)	17 (47.2%)	13 (36.1%)	0	36
1年以上3年未満	0	(0.0%)	13 (14.6%)	45 (50.6%)	31 (34.8%)	1	90
3年以上5年未満	3	(4.3%)	6 (8.6%)	34 (48.6%)	27 (38.6%)	0	70
5年以上7年未満	1	(1.6%)	4 (6.6%)	37 (60.7%)	19 (31.1%)	0	61
7年以上10年未満	1	(1.8%)	8 (14.0%)	35 (61.4%)	13 (22.8%)	0	57
10年以上	3	(2.8%)	8 (7.5%)	61 (57.0%)	35 (32.7%)	0	107
全体	9	(2.1%)	44 (10.5%)	229 (54.5%)	138 (32.9%)	1	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
 ()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
2.ほかの職員や上司、部下との情報共有							
3か月以上1年未満	4	(11.1%)	7 (19.4%)	19 (52.8%)	6 (16.7%)	0	36
1年以上3年未満	6	(6.7%)	20 (22.2%)	45 (50.0%)	19 (21.1%)	0	90
3年以上5年未満	2	(2.9%)	21 (30.0%)	30 (42.9%)	17 (24.3%)	0	70
5年以上7年未満	2	(3.3%)	11 (18.0%)	38 (62.3%)	10 (16.4%)	0	61
7年以上10年未満	2	(3.5%)	13 (22.8%)	36 (63.2%)	6 (10.5%)	0	57
10年以上	6	(5.6%)	30 (28.0%)	54 (50.5%)	17 (15.9%)	0	107
全体	22	(5.2%)	102 (24.2%)	222 (52.7%)	75 (17.8%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
 ()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3.建物の構造							
3か月以上1年未満	3	(8.3%)	8 (22.2%)	14 (38.9%)	11 (30.6%)	0	36
1年以上3年未満	9	(10.1%)	21 (23.6%)	43 (48.3%)	16 (18.0%)	1	90
3年以上5年未満	7	(10.1%)	20 (29.0%)	28 (40.6%)	14 (20.3%)	1	70
5年以上7年未満	1	(1.6%)	23 (37.7%)	30 (49.2%)	7 (11.5%)	0	61
7年以上10年未満	6	(10.5%)	22 (38.6%)	20 (35.1%)	9 (15.8%)	0	57
10年以上	13	(12.1%)	38 (35.5%)	47 (43.9%)	9 (8.4%)	0	107
全体	39	(9.3%)	132 (31.5%)	182 (43.4%)	66 (15.8%)	2	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
 ()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

		とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
4.教材・設備が限定的である							
3か月以上1年未満	1	(2.8%)	10 (27.8%)	13 (36.1%)	12 (33.3%)	0	36
1年以上3年未満	8	(9.0%)	28 (31.5%)	42 (47.2%)	11 (12.4%)	1	90
3年以上5年未満	4	(5.8%)	19 (27.5%)	33 (47.8%)	13 (18.8%)	1	70
5年以上7年未満	1	(1.6%)	19 (31.1%)	36 (59.0%)	5 (8.2%)	0	61
7年以上10年未満	6	(10.7%)	22 (39.3%)	21 (37.5%)	7 (12.5%)	1	57
10年以上	8	(7.5%)	39 (36.8%)	54 (50.9%)	5 (4.7%)	1	107
全体	28	(6.7%)	137 (32.9%)	199 (47.7%)	53 (12.7%)	4	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
 ()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり
行っているものがないため、相談しても不安が常に付き
まとう

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (2.8%)	3 (8.3%)	13 (36.1%)	19 (52.8%)	0	36
1年以上3年未満	2 (2.2%)	9 (10.0%)	44 (48.9%)	35 (38.9%)	0	90
3年以上5年未満	2 (2.9%)	8 (11.4%)	33 (47.1%)	27 (38.6%)	0	70
5年以上7年未満	1 (1.6%)	6 (9.8%)	34 (55.7%)	20 (32.8%)	0	61
7年以上10年未満	2 (3.5%)	8 (14.0%)	33 (57.9%)	14 (24.6%)	0	57
10年以上	4 (3.7%)	15 (14.0%)	62 (57.9%)	26 (24.3%)	0	107
全体	12 (2.9%)	49 (11.6%)	219 (52.0%)	141 (33.5%)	0	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分
の意見が言えない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3 (8.6%)	5 (14.3%)	17 (48.6%)	10 (28.6%)	1	36
1年以上3年未満	4 (4.5%)	12 (13.6%)	52 (59.1%)	20 (22.7%)	2	90
3年以上5年未満	0 (0.0%)	8 (11.6%)	31 (44.9%)	30 (43.5%)	1	70
5年以上7年未満	1 (1.6%)	8 (13.1%)	37 (60.7%)	15 (24.6%)	0	61
7年以上10年未満	3 (5.7%)	6 (11.3%)	32 (60.4%)	12 (22.6%)	4	57
10年以上	3 (2.8%)	7 (6.5%)	65 (60.7%)	32 (29.9%)	0	107
全体	14 (3.4%)	46 (11.1%)	234 (56.7%)	119 (28.8%)	8	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な時間
がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	5 (14.3%)	7 (20.0%)	13 (37.1%)	10 (28.6%)	1	36
1年以上3年未満	22 (25.3%)	30 (34.5%)	29 (33.3%)	6 (6.9%)	3	90
3年以上5年未満	6 (8.6%)	31 (44.3%)	23 (32.9%)	10 (14.3%)	0	70
5年以上7年未満	9 (14.8%)	25 (41.0%)	26 (42.6%)	1 (1.6%)	0	61
7年以上10年未満	12 (21.1%)	25 (43.9%)	19 (33.3%)	1 (1.8%)	0	57
10年以上	17 (16.3%)	45 (43.3%)	37 (35.6%)	5 (4.8%)	3	107
全体	71 (17.1%)	163 (39.4%)	147 (35.5%)	33 (8.0%)	7	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

8.人員不足

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	7 (19.4%)	15 (41.7%)	13 (36.1%)	1 (2.8%)	0	36
1年以上3年未満	32 (36.0%)	27 (30.3%)	24 (27.0%)	6 (6.7%)	1	90
3年以上5年未満	23 (32.9%)	28 (40.0%)	15 (21.4%)	4 (5.7%)	0	70
5年以上7年未満	10 (16.7%)	30 (50.0%)	19 (31.7%)	1 (1.7%)	1	61
7年以上10年未満	16 (28.1%)	24 (42.1%)	13 (22.8%)	4 (7.0%)	0	57
10年以上	26 (24.5%)	45 (42.5%)	30 (28.3%)	5 (4.7%)	1	107
全体	114 (27.3%)	169 (40.4%)	114 (27.3%)	21 (5.0%)	3	421

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

					関係業務を行っていない		回答数
	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない			
9. 日々の発達支援がマンネリ化している。							
3か月以上1年未満	1 (2.8%)	13 (36.1%)	16 (44.4%)	6 (16.7%)	0	36	
1年以上3年未満	7 (7.8%)	39 (43.3%)	39 (43.3%)	5 (5.6%)	0	90	
3年以上5年未満	4 (5.7%)	33 (47.1%)	29 (41.4%)	4 (5.7%)	0	70	
5年以上7年未満	5 (8.2%)	25 (41.0%)	31 (50.8%)	0 (0.0%)	0	61	
7年以上10年未満	4 (7.0%)	27 (47.4%)	23 (40.4%)	3 (5.3%)	0	57	
10年以上	6 (5.7%)	49 (46.2%)	46 (43.4%)	5 (4.7%)	1	107	
全体	27 (6.4%)	186 (44.3%)	184 (43.8%)	23 (5.5%)	1	421	

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

					関係業務を行っていない		回答数
	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない			
10. 職場内の人間関係に関する悩み							
3か月以上1年未満	4 (11.1%)	6 (16.7%)	17 (47.2%)	9 (25.0%)	0	36	
1年以上3年未満	9 (10.0%)	19 (21.1%)	41 (45.6%)	21 (23.3%)	0	90	
3年以上5年未満	4 (5.7%)	11 (15.7%)	35 (50.0%)	20 (28.6%)	0	70	
5年以上7年未満	3 (4.9%)	17 (27.9%)	27 (44.3%)	14 (23.0%)	0	61	
7年以上10年未満	5 (8.8%)	16 (28.1%)	29 (50.9%)	7 (12.3%)	0	57	
10年以上	19 (17.8%)	22 (20.6%)	46 (43.0%)	20 (18.7%)	0	107	
全体	44 (10.5%)	91 (21.6%)	195 (46.3%)	91 (21.6%)	0	421	

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

					関係業務を行っていない		回答数
	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない			
11. 研修が足りない							
3か月以上1年未満	2 (5.6%)	6 (16.7%)	20 (55.6%)	8 (22.2%)	0	36	
1年以上3年未満	9 (10.0%)	15 (16.7%)	53 (58.9%)	13 (14.4%)	0	90	
3年以上5年未満	3 (4.3%)	17 (24.3%)	35 (50.0%)	15 (21.4%)	0	70	
5年以上7年未満	1 (1.6%)	19 (31.1%)	33 (54.1%)	8 (13.1%)	0	61	
7年以上10年未満	6 (10.7%)	13 (23.2%)	28 (50.0%)	9 (16.1%)	1	57	
10年以上	7 (6.5%)	30 (28.0%)	62 (57.9%)	8 (7.5%)	0	107	
全体	28 (6.7%)	100 (23.8%)	231 (55.0%)	61 (14.5%)	1	421	

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【事業形態別】

【自分問題】

児童発達支援センター

1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (26.3%)	11 (57.9%)	3 (15.8%)	0	19
1年以上3年未満	0 (0.0%)	17 (36.2%)	28 (59.6%)	2 (4.3%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	11 (37.9%)	15 (51.7%)	3 (10.3%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	7 (22.6%)	20 (64.5%)	4 (12.9%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (11.4%)	24 (68.6%)	7 (20.0%)	0	35
10年以上	1 (1.7%)	3 (5.0%)	40 (66.7%)	16 (26.7%)	1	61
全体	1 (0.5%)	47 (21.3%)	138 (62.4%)	35 (15.8%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	7 (36.8%)	10 (52.6%)	2 (10.5%)	0	19
1年以上3年未満	0 (0.0%)	13 (27.7%)	28 (59.6%)	6 (12.8%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	9 (31.0%)	18 (62.1%)	2 (6.9%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	4 (12.9%)	23 (74.2%)	3 (9.7%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	5 (14.3%)	24 (68.6%)	6 (17.1%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	3 (5.0%)	40 (66.7%)	15 (25.0%)	1	61
全体	3 (1.4%)	41 (18.6%)	143 (64.7%)	34 (15.4%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	6 (31.6%)	9 (47.4%)	3 (15.8%)	0	19
1年以上3年未満	8 (17.0%)	12 (25.5%)	24 (51.1%)	3 (6.4%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (13.8%)	21 (72.4%)	4 (13.8%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	3 (9.7%)	27 (87.1%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	14 (40.0%)	15 (42.9%)	5 (14.3%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	10 (16.7%)	40 (66.7%)	8 (13.3%)	1	61
全体	13 (5.9%)	49 (22.2%)	136 (61.5%)	23 (10.4%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いか けられない、腰が痛い等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	4 (21.1%)	6 (31.6%)	8 (42.1%)	0	19
1年以上3年未満	2 (4.3%)	5 (10.6%)	26 (55.3%)	14 (29.8%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	8 (27.6%)	13 (44.8%)	7 (24.1%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	8 (25.8%)	11 (35.5%)	11 (35.5%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	11 (31.4%)	14 (40.0%)	9 (25.7%)	0	35
10年以上	3 (5.0%)	19 (31.7%)	30 (50.0%)	8 (13.3%)	1	61
全体	9 (4.1%)	55 (24.9%)	100 (45.2%)	57 (25.8%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

児童発達支援センター

1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	11 (57.9%)	6 (31.6%)	2 (10.5%)	0	19
1年以上3年未満	2 (4.3%)	18 (38.3%)	23 (48.9%)	4 (8.5%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	13 (44.8%)	14 (48.3%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	10 (32.3%)	18 (58.1%)	2 (6.5%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	10 (28.6%)	20 (57.1%)	4 (11.4%)	0	35
10年以上	0 (0.0%)	17 (27.9%)	41 (67.2%)	3 (4.9%)	0	61
全体	5 (2.3%)	79 (35.6%)	122 (55.0%)	16 (7.2%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	15 (78.9%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	1 (2.1%)	25 (53.2%)	19 (40.4%)	2 (4.3%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	11 (37.9%)	16 (55.2%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	11 (35.5%)	18 (58.1%)	1 (3.2%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	13 (37.1%)	17 (48.6%)	4 (11.4%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	16 (26.2%)	40 (65.6%)	3 (4.9%)	0	61
全体	6 (2.7%)	91 (41.0%)	113 (50.9%)	12 (5.4%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

3.個々のこだわりへの対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	12 (63.2%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	4 (8.5%)	25 (53.2%)	16 (34.0%)	2 (4.3%)	0	47
3年以上5年未満	3 (10.3%)	15 (51.7%)	10 (34.5%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	3 (9.7%)	13 (41.9%)	15 (48.4%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	20 (57.1%)	13 (37.1%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	1 (1.6%)	22 (36.1%)	37 (60.7%)	1 (1.6%)	0	61
全体	12 (5.4%)	107 (48.2%)	97 (43.7%)	6 (2.7%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

4.こどもの気持ちのくみ取り

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	12 (63.2%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	3 (6.4%)	26 (55.3%)	17 (36.2%)	1 (2.1%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	15 (51.7%)	13 (44.8%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	7 (22.6%)	23 (74.2%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	12 (34.3%)	21 (60.0%)	2 (5.7%)	0	35
10年以上	1 (1.6%)	18 (29.5%)	42 (68.9%)	0 (0.0%)	0	61
全体	6 (2.7%)	90 (40.5%)	122 (55.0%)	4 (1.8%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

5.受け止めるところと、導くところの境界線	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (10.5%)	13 (68.4%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	7 (14.9%)	28 (59.6%)	12 (25.5%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	4 (13.8%)	17 (58.6%)	8 (27.6%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	13 (41.9%)	17 (54.8%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	17 (48.6%)	16 (45.7%)	2 (5.7%)	0	35
10年以上	1 (1.6%)	27 (44.3%)	32 (52.5%)	1 (1.6%)	0	61
全体	15 (6.8%)	115 (51.8%)	88 (39.6%)	4 (1.8%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

6.その子に合った学習支援について	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (6.7%)	8 (53.3%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	4	19
1年以上3年未満	3 (7.7%)	17 (43.6%)	19 (48.7%)	0 (0.0%)	8	47
3年以上5年未満	1 (4.0%)	17 (68.0%)	7 (28.0%)	0 (0.0%)	4	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	9 (34.6%)	17 (65.4%)	0 (0.0%)	5	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	17 (58.6%)	12 (41.4%)	0 (0.0%)	6	35
10年以上	1 (2.0%)	15 (29.4%)	35 (68.6%)	0 (0.0%)	10	61
全体	6 (3.2%)	83 (44.9%)	96 (51.9%)	0 (0.0%)	37	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	13 (68.4%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	6 (12.8%)	31 (66.0%)	10 (21.3%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	3 (10.3%)	18 (62.1%)	8 (27.6%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	19 (61.3%)	12 (38.7%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	20 (57.1%)	14 (40.0%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	28 (45.9%)	31 (50.8%)	0 (0.0%)	0	61
全体	13 (5.9%)	129 (58.1%)	80 (36.0%)	0 (0.0%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

8.子ども同士のトラブルの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	7 (36.8%)	11 (57.9%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	6 (12.8%)	19 (40.4%)	20 (42.6%)	2 (4.3%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.6%)	11 (39.3%)	16 (57.1%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	8 (25.8%)	22 (71.0%)	1 (3.2%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	15 (44.1%)	17 (50.0%)	1 (2.9%)	1	35
10年以上	2 (3.3%)	15 (24.6%)	42 (68.9%)	2 (3.3%)	0	61
全体	10 (4.5%)	75 (34.1%)	128 (58.2%)	7 (3.2%)	2	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (10.5%)	9 (47.4%)	6 (31.6%)	2 (10.5%)	0	19
1年以上3年未満	4 (8.5%)	21 (44.7%)	22 (46.8%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	2 (6.9%)	20 (69.0%)	7 (24.1%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	12 (38.7%)	18 (58.1%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	13 (37.1%)	21 (60.0%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	23 (37.7%)	36 (59.0%)	0 (0.0%)	0	61
全体	12 (5.4%)	98 (44.1%)	110 (49.5%)	2 (0.9%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

10.子どもがパニックや痙攣を起こしたときのクールダウンのさせ方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	4 (21.1%)	11 (57.9%)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	6 (13.0%)	25 (54.3%)	13 (28.3%)	2 (4.3%)	1	47
3年以上5年未満	5 (17.2%)	18 (62.1%)	6 (20.7%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	14 (45.2%)	17 (54.8%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	17 (48.6%)	16 (45.7%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	3 (4.9%)	20 (32.8%)	38 (62.3%)	0 (0.0%)	0	61
全体	19 (8.6%)	105 (47.5%)	94 (42.5%)	3 (1.4%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

11.子どもとのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	8 (42.1%)	10 (52.6%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	6 (12.8%)	15 (31.9%)	23 (48.9%)	3 (6.4%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	13 (44.8%)	14 (48.3%)	2 (6.9%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	10 (32.3%)	19 (61.3%)	2 (6.5%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	12 (34.3%)	21 (60.0%)	2 (5.7%)	0	35
10年以上	0 (0.0%)	17 (28.3%)	42 (70.0%)	1 (1.7%)	1	61
全体	7 (3.2%)	75 (33.9%)	129 (58.4%)	10 (4.5%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (10.5%)	12 (63.2%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	7 (14.9%)	25 (53.2%)	15 (31.9%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	2 (6.9%)	19 (65.5%)	8 (27.6%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	15 (48.4%)	15 (48.4%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	22 (62.9%)	12 (34.3%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	3 (5.0%)	27 (45.0%)	30 (50.0%)	0 (0.0%)	1	61
全体	15 (6.8%)	120 (54.3%)	85 (38.5%)	1 (0.5%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	4 (22.2%)	12 (66.7%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1	19
1年以上3年未満	13 (27.7%)	25 (53.2%)	9 (19.1%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	5 (17.2%)	18 (62.1%)	5 (17.2%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	2 (6.5%)	17 (54.8%)	12 (38.7%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	3 (8.6%)	20 (57.1%)	11 (31.4%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	3 (4.9%)	26 (42.6%)	32 (52.5%)	0 (0.0%)	0	61
全体	30 (13.6%)	118 (53.4%)	71 (32.1%)	2 (0.9%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (11.8%)	12 (70.6%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	2	19
1年以上3年未満	9 (19.1%)	28 (59.6%)	10 (21.3%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	3 (10.3%)	17 (58.6%)	9 (31.0%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	4 (12.9%)	12 (38.7%)	15 (48.4%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	4 (11.4%)	15 (42.9%)	15 (42.9%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	3 (5.0%)	25 (41.7%)	31 (51.7%)	1 (1.7%)	1	61
全体	25 (11.4%)	109 (49.8%)	83 (37.9%)	2 (0.9%)	3	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (11.8%)	9 (52.9%)	6 (35.3%)	0 (0.0%)	2	19
1年以上3年未満	9 (19.1%)	26 (55.3%)	12 (25.5%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	2 (6.9%)	18 (62.1%)	9 (31.0%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	3 (9.7%)	12 (38.7%)	16 (51.6%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	3 (8.6%)	16 (45.7%)	15 (42.9%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	3 (5.0%)	22 (36.7%)	35 (58.3%)	0 (0.0%)	1	61
全体	22 (10.0%)	103 (47.0%)	93 (42.5%)	1 (0.5%)	3	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎるこ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	8	19
1年以上3年未満	2 (6.1%)	13 (39.4%)	12 (36.4%)	6 (18.2%)	14	47
3年以上5年未満	3 (17.6%)	5 (29.4%)	8 (47.1%)	1 (5.9%)	12	29
5年以上7年未満	1 (5.3%)	5 (26.3%)	9 (47.4%)	4 (21.1%)	12	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	8 (33.3%)	12 (50.0%)	4 (16.7%)	11	35
10年以上	1 (2.6%)	12 (31.6%)	19 (50.0%)	6 (15.8%)	23	61
全体	7 (4.9%)	46 (32.4%)	66 (46.5%)	23 (16.2%)	80	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (6.7%)	9 (60.0%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	4	19
1年以上3年未満	6 (14.6%)	16 (39.0%)	17 (41.5%)	2 (4.9%)	6	47
3年以上5年未満	2 (8.3%)	13 (54.2%)	9 (37.5%)	0 (0.0%)	5	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (20.0%)	24 (80.0%)	0 (0.0%)	1	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	9 (26.5%)	23 (67.6%)	1 (2.9%)	1	35
10年以上	1 (1.9%)	6 (11.1%)	40 (74.1%)	7 (13.0%)	7	61
全体	11 (5.6%)	59 (29.8%)	117 (59.1%)	11 (5.6%)	24	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

18.絵本など視覚教材の用い方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	7 (41.2%)	8 (47.1%)	2 (11.8%)	2	19
1年以上3年未満	2 (4.3%)	17 (37.0%)	22 (47.8%)	5 (10.9%)	1	47
3年以上5年未満	1 (3.6%)	9 (32.1%)	18 (64.3%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (19.4%)	23 (74.2%)	2 (6.5%)	0	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	8 (22.9%)	24 (68.6%)	3 (8.6%)	0	35
10年以上	1 (1.7%)	10 (16.7%)	45 (75.0%)	4 (6.7%)	1	61
全体	4 (1.8%)	57 (26.3%)	140 (64.5%)	16 (7.4%)	5	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

19.支援教材づくりの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (12.5%)	9 (56.3%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	3	19
1年以上3年未満	7 (15.9%)	16 (36.4%)	19 (43.2%)	2 (4.5%)	3	47
3年以上5年未満	2 (7.1%)	18 (64.3%)	8 (28.6%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	2 (6.5%)	16 (51.6%)	13 (41.9%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	18 (51.4%)	14 (40.0%)	2 (5.7%)	0	35
10年以上	2 (3.3%)	25 (41.7%)	29 (48.3%)	4 (6.7%)	1	61
全体	16 (7.5%)	102 (47.7%)	87 (40.7%)	9 (4.2%)	8	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

20.手遊びのやり方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	6 (37.5%)	9 (56.3%)	1 (6.3%)	3	19
1年以上3年未満	4 (8.7%)	9 (19.6%)	30 (65.2%)	3 (6.5%)	1	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	12 (41.4%)	15 (51.7%)	2 (6.9%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (16.7%)	22 (73.3%)	3 (10.0%)	1	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	7 (20.0%)	24 (68.6%)	4 (11.4%)	0	35
10年以上	1 (1.7%)	8 (13.3%)	42 (70.0%)	9 (15.0%)	1	61
全体	5 (2.3%)	47 (21.8%)	142 (65.7%)	22 (10.2%)	6	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数
()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	4 (21.1%)	9 (47.4%)	5 (26.3%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	9 (19.6%)	27 (58.7%)	9 (19.6%)	1 (2.2%)	1	47
3年以上5年未満	2 (7.1%)	20 (71.4%)	6 (21.4%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	17 (54.8%)	13 (41.9%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	15 (44.1%)	16 (47.1%)	2 (5.9%)	1	35
10年以上	4 (6.7%)	23 (38.3%)	32 (53.3%)	1 (1.7%)	1	61
全体	21 (9.6%)	111 (50.9%)	81 (37.2%)	5 (2.3%)	4	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	7 (36.8%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	0	19
1年以上3年未満	3 (6.5%)	15 (32.6%)	25 (54.3%)	3 (6.5%)	1	47
3年以上5年未満	1 (3.6%)	16 (57.1%)	11 (39.3%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	8 (26.7%)	19 (63.3%)	3 (10.0%)	1	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	8 (24.2%)	21 (63.6%)	4 (12.1%)	2	35
10年以上	1 (1.9%)	17 (31.5%)	35 (64.8%)	1 (1.9%)	7	61
全体	6 (2.9%)	71 (33.8%)	119 (56.7%)	14 (6.7%)	12	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

23.子どもへの他害、自傷行為への対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	10 (52.6%)	6 (31.6%)	2 (10.5%)	0	19
1年以上3年未満	6 (13.0%)	17 (37.0%)	22 (47.8%)	1 (2.2%)	1	47
3年以上5年未満	3 (10.3%)	16 (55.2%)	10 (34.5%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.3%)	11 (36.7%)	17 (56.7%)	1 (3.3%)	1	31
7年以上10年未満	2 (5.9%)	15 (44.1%)	15 (44.1%)	2 (5.9%)	1	35
10年以上	4 (6.7%)	26 (43.3%)	30 (50.0%)	0 (0.0%)	1	61
全体	17 (7.8%)	95 (43.6%)	100 (45.9%)	6 (2.8%)	4	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

24. 散歩等で子どもの安全を守ること

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (18.8%)	11 (68.8%)	2 (12.5%)	3	19
1年以上3年未満	1 (2.3%)	12 (27.3%)	29 (65.9%)	2 (4.5%)	3	47
3年以上5年未満	2 (7.1%)	5 (17.9%)	21 (75.0%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	9 (31.0%)	18 (62.1%)	2 (6.9%)	2	31
7年以上10年未満	1 (3.0%)	7 (21.2%)	23 (69.7%)	2 (6.1%)	2	35
10年以上	0 (0.0%)	17 (29.3%)	37 (63.8%)	4 (6.9%)	3	61
全体	4 (1.9%)	53 (25.5%)	139 (66.8%)	12 (5.8%)	14	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

25.食事の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (11.1%)	8 (44.4%)	7 (38.9%)	1 (5.6%)	1	19
1年以上3年未満	5 (11.1%)	25 (55.6%)	14 (31.1%)	1 (2.2%)	2	47
3年以上5年未満	3 (11.5%)	11 (42.3%)	12 (46.2%)	0 (0.0%)	3	29
5年以上7年未満	2 (7.1%)	11 (39.3%)	15 (53.6%)	0 (0.0%)	3	31
7年以上10年未満	1 (3.1%)	15 (46.9%)	16 (50.0%)	0 (0.0%)	3	35
10年以上	0 (0.0%)	18 (32.1%)	36 (64.3%)	2 (3.6%)	5	61
全体	13 (6.3%)	88 (42.9%)	100 (48.8%)	4 (2.0%)	17	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

26.排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (50.0%)	7 (38.9%)	2 (11.1%)	1	19
1年以上3年未満	5 (10.9%)	17 (37.0%)	23 (50.0%)	1 (2.2%)	1	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	10 (37.0%)	17 (63.0%)	0 (0.0%)	2	29
5年以上7年未満	1 (3.3%)	9 (30.0%)	20 (66.7%)	0 (0.0%)	1	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	7 (21.9%)	23 (71.9%)	2 (6.3%)	3	35
10年以上	0 (0.0%)	9 (15.5%)	47 (81.0%)	2 (3.4%)	3	61
全体	6 (2.8%)	61 (28.9%)	137 (64.9%)	7 (3.3%)	11	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

児童発達支援センター

1.外部機関との連携の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (38.5%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	6	19
1年以上3年未満	9 (23.1%)	10 (25.6%)	19 (48.7%)	1 (2.6%)	8	47
3年以上5年未満	2 (7.4%)	10 (37.0%)	15 (55.6%)	0 (0.0%)	2	29
5年以上7年未満	2 (7.4%)	15 (55.6%)	10 (37.0%)	0 (0.0%)	4	31
7年以上10年未満	1 (3.2%)	20 (64.5%)	10 (32.3%)	0 (0.0%)	4	35
10年以上	6 (10.3%)	23 (39.7%)	29 (50.0%)	0 (0.0%)	3	61
全体	20 (10.3%)	83 (42.6%)	89 (45.6%)	3 (1.5%)	27	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

2.地域資源がなくて繋がられない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	8	19
1年以上3年未満	3 (9.4%)	11 (34.4%)	17 (53.1%)	1 (3.1%)	15	47
3年以上5年未満	2 (9.5%)	3 (14.3%)	16 (76.2%)	0 (0.0%)	8	29
5年以上7年未満	1 (4.2%)	5 (20.8%)	18 (75.0%)	0 (0.0%)	7	31
7年以上10年未満	0 (0.0%)	10 (41.7%)	12 (50.0%)	2 (8.3%)	11	35
10年以上	4 (7.4%)	16 (29.6%)	33 (61.1%)	1 (1.9%)	7	61
全体	10 (6.0%)	48 (28.9%)	102 (61.4%)	6 (3.6%)	56	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

児童発達支援センター

1.保護者との関係づくりが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (50.0%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	1	19
1年以上3年未満	5 (10.6%)	19 (40.4%)	23 (48.9%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	4 (13.8%)	15 (51.7%)	10 (34.5%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	3 (9.7%)	9 (29.0%)	18 (58.1%)	1 (3.2%)	0	31
7年以上10年未満	2 (5.7%)	11 (31.4%)	22 (62.9%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	3 (5.0%)	17 (28.3%)	39 (65.0%)	1 (1.7%)	1	61
全体	17 (7.7%)	80 (36.4%)	121 (55.0%)	2 (0.9%)	2	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.6%)	5 (27.8%)	11 (61.1%)	1 (5.6%)	1	19
1年以上3年未満	2 (4.3%)	14 (29.8%)	30 (63.8%)	1 (2.1%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	10 (34.5%)	18 (62.1%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (19.4%)	24 (77.4%)	1 (3.2%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	9 (25.7%)	25 (71.4%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	2 (3.4%)	8 (13.6%)	44 (74.6%)	5 (8.5%)	2	61
全体	7 (3.2%)	52 (23.7%)	152 (69.4%)	8 (3.7%)	3	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (50.0%)	8 (44.4%)	1 (5.6%)	1	19
1年以上3年未満	8 (17.0%)	27 (57.4%)	12 (25.5%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	4 (13.8%)	17 (58.6%)	8 (27.6%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	2 (6.5%)	14 (45.2%)	15 (48.4%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	6 (17.1%)	20 (57.1%)	9 (25.7%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	4 (6.7%)	36 (60.0%)	20 (33.3%)	0 (0.0%)	1	61
全体	24 (10.9%)	123 (55.9%)	72 (32.7%)	1 (0.5%)	2	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

4.困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	9 (64.3%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	5	19
1年以上3年未満	3 (7.5%)	23 (57.5%)	13 (32.5%)	1 (2.5%)	7	47
3年以上5年未満	4 (14.3%)	16 (57.1%)	8 (28.6%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	4 (13.3%)	14 (46.7%)	12 (40.0%)	0 (0.0%)	1	31
7年以上10年未満	4 (11.4%)	22 (62.9%)	8 (22.9%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	10 (17.5%)	29 (50.9%)	17 (29.8%)	1 (1.8%)	4	61
全体	25 (12.3%)	113 (55.4%)	63 (30.9%)	3 (1.5%)	18	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

5.批判的な保護者との関係づくり	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	6 (40.0%)	9 (60.0%)	0 (0.0%)	4	19
1年以上3年未満	5 (11.9%)	25 (59.5%)	12 (28.6%)	0 (0.0%)	5	47
3年以上5年未満	4 (13.8%)	14 (48.3%)	10 (34.5%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	2 (6.5%)	15 (48.4%)	14 (45.2%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	7 (21.9%)	19 (59.4%)	6 (18.8%)	0 (0.0%)	3	35
10年以上	6 (10.5%)	27 (47.4%)	22 (38.6%)	2 (3.5%)	4	61
全体	24 (11.7%)	106 (51.5%)	73 (35.4%)	3 (1.5%)	16	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

6.不適切な子育てをしている保護者への支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (7.7%)	5 (38.5%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	4	17
1年以上3年未満	7 (17.9%)	20 (51.3%)	12 (30.8%)	0 (0.0%)	7	46
3年以上5年未満	9 (32.1%)	11 (39.3%)	8 (28.6%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	4 (13.3%)	15 (50.0%)	11 (36.7%)	0 (0.0%)	1	31
7年以上10年未満	6 (17.6%)	22 (64.7%)	6 (17.6%)	0 (0.0%)	1	35
10年以上	6 (10.7%)	37 (66.1%)	13 (23.2%)	0 (0.0%)	5	61
全体	33 (16.5%)	110 (55.0%)	57 (28.5%)	0 (0.0%)	19	219

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

7.事業所内面談の時間をとるのが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (27.3%)	5 (45.5%)	3 (27.3%)	8	19
1年以上3年未満	2 (5.3%)	11 (28.9%)	21 (55.3%)	4 (10.5%)	9	47
3年以上5年未満	2 (8.0%)	7 (28.0%)	15 (60.0%)	1 (4.0%)	4	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (17.9%)	20 (71.4%)	3 (10.7%)	3	31
7年以上10年未満	2 (6.3%)	10 (31.3%)	17 (53.1%)	3 (9.4%)	3	35
10年以上	3 (5.7%)	19 (35.8%)	29 (54.7%)	2 (3.8%)	8	61
全体	9 (4.8%)	55 (29.4%)	107 (57.2%)	16 (8.6%)	35	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (11.1%)	11 (61.1%)	5 (27.8%)	0 (0.0%)	1	19
1年以上3年未満	9 (19.1%)	29 (61.7%)	9 (19.1%)	0 (0.0%)	0	47
3年以上5年未満	5 (17.9%)	21 (75.0%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)	1	29
5年以上7年未満	5 (16.1%)	16 (51.6%)	10 (32.3%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	5 (14.3%)	18 (51.4%)	12 (34.3%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	7 (12.1%)	33 (56.9%)	17 (29.3%)	1 (1.7%)	3	61
全体	33 (15.2%)	128 (59.0%)	55 (25.3%)	1 (0.5%)	5	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

児童発達支援センター

1.事業所（組織）の方針が理解できない	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(15.8%)	10	(52.6%)	6	(31.6%)	0	19
1年以上3年未満	0	(0.0%)	9	(19.1%)	20	(42.6%)	18	(38.3%)	0	47
3年以上5年未満	1	(3.4%)	2	(6.9%)	18	(62.1%)	8	(27.6%)	0	29
5年以上7年未満	1	(3.2%)	3	(9.7%)	16	(51.6%)	11	(35.5%)	0	31
7年以上10年未満	0	(0.0%)	5	(14.3%)	25	(71.4%)	5	(14.3%)	0	35
10年以上	2	(3.3%)	6	(9.8%)	32	(52.5%)	21	(34.4%)	0	61
全体	4	(1.8%)	28	(12.6%)	121	(54.5%)	69	(31.1%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

2.ほかの職員や上司、部下との情報共有	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3	(15.8%)	5	(26.3%)	8	(42.1%)	3	(15.8%)	0	19
1年以上3年未満	4	(8.5%)	11	(23.4%)	23	(48.9%)	9	(19.1%)	0	47
3年以上5年未満	1	(3.4%)	8	(27.6%)	16	(55.2%)	4	(13.8%)	0	29
5年以上7年未満	1	(3.2%)	6	(19.4%)	19	(61.3%)	5	(16.1%)	0	31
7年以上10年未満	0	(0.0%)	9	(25.7%)	22	(62.9%)	4	(11.4%)	0	35
10年以上	4	(6.6%)	17	(27.9%)	31	(50.8%)	9	(14.8%)	0	61
全体	13	(5.9%)	56	(25.2%)	119	(53.6%)	34	(15.3%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

3.建物の構造	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2	(10.5%)	6	(31.6%)	5	(26.3%)	6	(31.6%)	0	19
1年以上3年未満	6	(12.8%)	12	(25.5%)	22	(46.8%)	7	(14.9%)	0	47
3年以上5年未満	4	(13.8%)	9	(31.0%)	12	(41.4%)	4	(13.8%)	0	29
5年以上7年未満	1	(3.2%)	13	(41.9%)	16	(51.6%)	1	(3.2%)	0	31
7年以上10年未満	3	(8.6%)	14	(40.0%)	14	(40.0%)	4	(11.4%)	0	35
10年以上	7	(11.5%)	24	(39.3%)	28	(45.9%)	2	(3.3%)	0	61
全体	23	(10.4%)	78	(35.1%)	97	(43.7%)	24	(10.8%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

4.教材・設備が限定的である	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(5.3%)	6	(31.6%)	7	(36.8%)	5	(26.3%)	0	19
1年以上3年未満	5	(10.6%)	15	(31.9%)	24	(51.1%)	3	(6.4%)	0	47
3年以上5年未満	1	(3.4%)	10	(34.5%)	16	(55.2%)	2	(6.9%)	0	29
5年以上7年未満	1	(3.2%)	13	(41.9%)	15	(48.4%)	2	(6.5%)	0	31
7年以上10年未満	3	(8.6%)	13	(37.1%)	16	(45.7%)	3	(8.6%)	0	35
10年以上	6	(9.8%)	23	(37.7%)	30	(49.2%)	2	(3.3%)	0	61
全体	17	(7.7%)	80	(36.0%)	108	(48.6%)	17	(7.7%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (10.5%)	7 (36.8%)	10 (52.6%)	0	19
1年以上3年未満	2 (4.3%)	5 (10.6%)	19 (40.4%)	21 (44.7%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	4 (13.8%)	11 (37.9%)	13 (44.8%)	0	29
5年以上7年未満	1 (3.2%)	3 (9.7%)	14 (45.2%)	13 (41.9%)	0	31
7年以上10年未満	1 (2.9%)	5 (14.3%)	26 (74.3%)	3 (8.6%)	0	35
10年以上	3 (4.9%)	7 (11.5%)	35 (57.4%)	16 (26.2%)	0	61
全体	8 (3.6%)	26 (11.7%)	112 (50.5%)	76 (34.2%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.6%)	3 (16.7%)	10 (55.6%)	4 (22.2%)	1	19
1年以上3年未満	4 (8.5%)	10 (21.3%)	23 (48.9%)	10 (21.3%)	0	47
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (17.2%)	15 (51.7%)	9 (31.0%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (9.7%)	21 (67.7%)	7 (22.6%)	0	31
7年以上10年未満	2 (6.1%)	4 (12.1%)	22 (66.7%)	5 (15.2%)	2	35
10年以上	2 (3.3%)	2 (3.3%)	38 (62.3%)	19 (31.1%)	0	61
全体	9 (4.1%)	27 (12.3%)	129 (58.9%)	54 (24.7%)	3	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	5 (26.3%)	4 (21.1%)	6 (31.6%)	4 (21.1%)	0	19
1年以上3年未満	16 (34.0%)	16 (34.0%)	14 (29.8%)	1 (2.1%)	0	47
3年以上5年未満	6 (20.7%)	14 (48.3%)	7 (24.1%)	2 (6.9%)	0	29
5年以上7年未満	5 (16.1%)	17 (54.8%)	9 (29.0%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	9 (25.7%)	15 (42.9%)	11 (31.4%)	0 (0.0%)	0	35
10年以上	12 (20.0%)	28 (46.7%)	17 (28.3%)	3 (5.0%)	1	61
全体	53 (24.0%)	94 (42.5%)	64 (29.0%)	10 (4.5%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

8.人員不足

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3 (15.8%)	9 (47.4%)	7 (36.8%)	0 (0.0%)	0	19
1年以上3年未満	20 (42.6%)	11 (23.4%)	13 (27.7%)	3 (6.4%)	0	47
3年以上5年未満	11 (37.9%)	13 (44.8%)	5 (17.2%)	0 (0.0%)	0	29
5年以上7年未満	5 (16.1%)	17 (54.8%)	9 (29.0%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	11 (31.4%)	15 (42.9%)	8 (22.9%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	13 (21.3%)	30 (49.2%)	16 (26.2%)	2 (3.3%)	0	61
全体	63 (28.4%)	95 (42.8%)	58 (26.1%)	6 (2.7%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

9. 日々の発達支援がマンネリ化している。	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (5.3%)	10 (52.6%)	7 (36.8%)	1 (5.3%)	0	19
1年以上3年未満	6 (12.8%)	21 (44.7%)	17 (36.2%)	3 (6.4%)	0	47
3年以上5年未満	2 (6.9%)	17 (58.6%)	9 (31.0%)	1 (3.4%)	0	29
5年以上7年未満	3 (9.7%)	12 (38.7%)	16 (51.6%)	0 (0.0%)	0	31
7年以上10年未満	3 (8.6%)	20 (57.1%)	11 (31.4%)	1 (2.9%)	0	35
10年以上	4 (6.6%)	29 (47.5%)	25 (41.0%)	3 (4.9%)	0	61
全体	19 (8.6%)	109 (49.1%)	85 (38.3%)	9 (4.1%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

10. 職場内の人間関係に関する悩み	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3 (15.8%)	5 (26.3%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	0	19
1年以上3年未満	7 (14.9%)	11 (23.4%)	19 (40.4%)	10 (21.3%)	0	47
3年以上5年未満	2 (6.9%)	7 (24.1%)	14 (48.3%)	6 (20.7%)	0	29
5年以上7年未満	2 (6.5%)	8 (25.8%)	15 (48.4%)	6 (19.4%)	0	31
7年以上10年未満	2 (5.7%)	11 (31.4%)	18 (51.4%)	4 (11.4%)	0	35
10年以上	11 (18.0%)	13 (21.3%)	25 (41.0%)	12 (19.7%)	0	61
全体	27 (12.2%)	55 (24.8%)	99 (44.6%)	41 (18.5%)	0	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援センター

11. 研修が足りない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (21.1%)	12 (63.2%)	3 (15.8%)	0	19
1年以上3年未満	5 (10.6%)	8 (17.0%)	26 (55.3%)	8 (17.0%)	0	47
3年以上5年未満	1 (3.4%)	7 (24.1%)	17 (58.6%)	4 (13.8%)	0	29
5年以上7年未満	0 (0.0%)	11 (35.5%)	18 (58.1%)	2 (6.5%)	0	31
7年以上10年未満	5 (14.7%)	9 (26.5%)	18 (52.9%)	2 (5.9%)	1	35
10年以上	6 (9.8%)	13 (21.3%)	37 (60.7%)	5 (8.2%)	0	61
全体	17 (7.7%)	52 (23.5%)	128 (57.9%)	24 (10.9%)	1	222

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【自分問題】

医療型児童発達支援

1. 子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	1 (5.3%)	12 (63.2%)	6 (31.6%)	0	19
全体	0 (0.0%)	4 (9.3%)	29 (67.4%)	10 (23.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	1 (5.3%)	14 (73.7%)	4 (21.1%)	0	19
全体	0 (0.0%)	3 (7.0%)	31 (72.1%)	9 (20.9%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.3%)	4 (21.1%)	11 (57.9%)	3 (15.8%)	0	19
全体	2 (4.7%)	9 (20.9%)	28 (65.1%)	4 (9.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いか
けられない、腰が痛い等）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	2 (10.5%)	6 (31.6%)	6 (31.6%)	5 (26.3%)	0	19
全体	3 (7.0%)	10 (23.3%)	20 (46.5%)	10 (23.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

医療型児童発達支援

1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (26.3%)	12 (63.2%)	2 (10.5%)	0	19
全体	2 (4.7%)	13 (30.2%)	24 (55.8%)	4 (9.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (26.3%)	12 (63.2%)	2 (10.5%)	0	19
全体	1 (2.3%)	16 (37.2%)	21 (48.8%)	5 (11.6%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

3.個々のこだわりへの対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	8 (42.1%)	10 (52.6%)	1 (5.3%)	0	19
全体	2 (4.7%)	18 (41.9%)	20 (46.5%)	3 (7.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

4.こどもの気持ちのくみ取り

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (26.3%)	13 (68.4%)	1 (5.3%)	0	19
全体	1 (2.3%)	11 (25.6%)	26 (60.5%)	5 (11.6%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

5.受け止めるところと、導くところの境界線

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (42.9%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.3%)	9 (47.4%)	9 (47.4%)	0 (0.0%)	0	19
全体	4 (9.5%)	15 (35.7%)	21 (50.0%)	2 (4.8%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

6.その子に合った学習支援について	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1	(16.7%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	2	8
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(60.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	1	3
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	5
10年以上	0	(0.0%)	7	(50.0%)	7	(50.0%)	0	(0.0%)	5	19
全体	1	(3.2%)	14	(45.2%)	15	(48.4%)	1	(3.2%)	12	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1	(12.5%)	3	(37.5%)	3	(37.5%)	1	(12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	5
10年以上	0	(0.0%)	7	(36.8%)	12	(63.2%)	0	(0.0%)	0	19
全体	2	(4.7%)	19	(44.2%)	21	(48.8%)	1	(2.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

8.子ども同士のトラブルの対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(25.0%)	4	(50.0%)	2	(25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	1	3
7年以上10年未満	1	(25.0%)	0	(0.0%)	2	(50.0%)	1	(25.0%)	1	5
10年以上	0	(0.0%)	2	(12.5%)	9	(56.3%)	5	(31.3%)	3	19
全体	1	(2.6%)	5	(13.2%)	23	(60.5%)	9	(23.7%)	5	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1	(12.5%)	3	(37.5%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	1	3
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(40.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	0	5
10年以上	1	(5.6%)	3	(16.7%)	13	(72.2%)	1	(5.6%)	1	19
全体	2	(4.9%)	10	(24.4%)	26	(63.4%)	3	(7.3%)	2	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

10.子どもがパニックや痙攣を起こしたときのクールダウンのさせ方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (25.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (27.8%)	11 (61.1%)	2 (11.1%)	1	19
全体	3 (7.1%)	12 (28.6%)	25 (59.5%)	2 (4.8%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

11.子どもとのコミュニケーションの難しさ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (25.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	4 (21.1%)	14 (73.7%)	1 (5.3%)	0	19
全体	2 (4.7%)	8 (18.6%)	29 (67.4%)	4 (9.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	8 (42.1%)	11 (57.9%)	0 (0.0%)	0	19
全体	3 (7.0%)	16 (37.2%)	24 (55.8%)	0 (0.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	11 (57.9%)	8 (42.1%)	0 (0.0%)	0	19
全体	6 (14.0%)	20 (46.5%)	17 (39.5%)	0 (0.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	6 (35.3%)	11 (64.7%)	0 (0.0%)	2	19
全体	6 (15.0%)	12 (30.0%)	22 (55.0%)	0 (0.0%)	3	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	7 (36.8%)	12 (63.2%)	0 (0.0%)	0	19
全体	4 (9.5%)	15 (35.7%)	23 (54.8%)	0 (0.0%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎるこ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	5	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	3	5
10年以上	0 (0.0%)	2 (18.2%)	7 (63.6%)	2 (18.2%)	8	19
全体	1 (4.2%)	6 (25.0%)	14 (58.3%)	3 (12.5%)	19	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	3	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	9	19
全体	1 (3.4%)	5 (17.2%)	21 (72.4%)	2 (6.9%)	14	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

18.絵本など視覚教材の用い方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	1 (5.9%)	14 (82.4%)	2 (11.8%)	2	19
全体	1 (2.6%)	6 (15.4%)	29 (74.4%)	3 (7.7%)	4	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

19.支援教材づくりの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (33.3%)	8 (53.3%)	2 (13.3%)	4	19
全体	2 (5.7%)	13 (37.1%)	18 (51.4%)	2 (5.7%)	8	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

20.手遊びのやり方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	1	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.9%)	1 (5.9%)	15 (88.2%)	0 (0.0%)	2	19
全体	3 (7.7%)	4 (10.3%)	31 (79.5%)	1 (2.6%)	4	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方(本人、集	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1	5
10年以上	0 (0.0%)	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)	5	19
全体	1 (2.7%)	13 (35.1%)	21 (56.8%)	2 (5.4%)	6	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1	5
10年以上	0 (0.0%)	2 (14.3%)	8 (57.1%)	4 (28.6%)	5	19
全体	0 (0.0%)	6 (17.1%)	21 (60.0%)	8 (22.9%)	8	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

23.子どもへの他害、自傷行為への対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	7 (41.2%)	9 (52.9%)	1 (5.9%)	2	19
全体	1 (2.4%)	14 (34.1%)	21 (51.2%)	5 (12.2%)	2	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

24.散歩等で子どもの安全を守ること	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (85.7%)	2 (14.3%)	5	19
全体	0 (0.0%)	2 (5.4%)	30 (81.1%)	5 (13.5%)	6	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

25.食事の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	4 (22.2%)	12 (66.7%)	2 (11.1%)	1	19
全体	2 (4.9%)	13 (31.7%)	24 (58.5%)	2 (4.9%)	2	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

26. 排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1	2
1年以上3年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	5	19
全体	1 (2.8%)	5 (13.9%)	29 (80.6%)	1 (2.8%)	7	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

医療型児童発達支援

1.外部機関との連携の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	2	2
1年以上3年未満	2 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	2	8
3年以上5年未満	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.9%)	9 (52.9%)	7 (41.2%)	0 (0.0%)	2	19
全体	5 (13.9%)	18 (50.0%)	13 (36.1%)	0 (0.0%)	7	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

2.地域資源がなくて繋がられない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	2	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	2	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	2	5
10年以上	0 (0.0%)	6 (37.5%)	10 (62.5%)	0 (0.0%)	3	19
全体	0 (0.0%)	11 (34.4%)	21 (65.6%)	0 (0.0%)	11	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

医療型児童発達支援

1.保護者との関係づくりが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.3%)	8 (42.1%)	10 (52.6%)	0 (0.0%)	0	19
全体	3 (7.0%)	13 (30.2%)	26 (60.5%)	1 (2.3%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	5 (27.8%)	12 (66.7%)	1 (5.6%)	1	19
全体	2 (4.9%)	7 (17.1%)	29 (70.7%)	3 (7.3%)	2	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.3%)	12 (63.2%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0	19
全体	5 (11.6%)	24 (55.8%)	14 (32.6%)	0 (0.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

4.困り感(外国籍や知的障害、精神疾患等)のある保護者とのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (6.3%)	11 (68.8%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	3	19
全体	3 (7.7%)	22 (56.4%)	14 (35.9%)	0 (0.0%)	4	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

5.批判的な保護者との関係づくり	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	2 (11.8%)	7 (41.2%)	7 (41.2%)	1 (5.9%)	2	19
全体	3 (7.7%)	16 (41.0%)	18 (46.2%)	2 (5.1%)	4	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

6.不適切な子育てをしている保護者への支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (42.9%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
7年以上10年未満	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	2 (11.8%)	10 (58.8%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	2	19
全体	7 (18.4%)	18 (47.4%)	13 (34.2%)	0 (0.0%)	3	41

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

7.事業所内面談の時間をとるのが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!	2	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1	5
10年以上	1 (6.7%)	7 (46.7%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	4	19
全体	2 (5.7%)	11 (31.4%)	17 (48.6%)	5 (14.3%)	8	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	3 (37.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	3 (16.7%)	10 (55.6%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)	1	19
全体	8 (19.0%)	21 (50.0%)	12 (28.6%)	1 (2.4%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

医療型児童発達支援

1.事業所（組織）の方針が理解できない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	1	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0	5
10年以上	0 (0.0%)	3 (15.8%)	15 (78.9%)	1 (5.3%)	0	19
全体	0 (0.0%)	3 (7.1%)	33 (78.6%)	6 (14.3%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

2.ほかの職員や上司、部下との情報共有	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (25.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	2 (10.5%)	6 (31.6%)	10 (52.6%)	1 (5.3%)	0	19
全体	5 (11.6%)	11 (25.6%)	21 (48.8%)	6 (14.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

3.建物の構造	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	4 (21.1%)	3 (15.8%)	10 (52.6%)	2 (10.5%)	0	19
全体	6 (14.0%)	11 (25.6%)	21 (48.8%)	5 (11.6%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

4.教材・設備が限定的である	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
3年以上5年未満	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.6%)	8 (44.4%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	1	19
全体	3 (7.1%)	13 (31.0%)	24 (57.1%)	2 (4.8%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0	2
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0	3
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0	5
10年以上	1 (5.3%)	4 (21.1%)	11 (57.9%)	3 (15.8%)	0	19
全体	1 (2.3%)	6 (14.0%)	22 (51.2%)	14 (32.6%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1	5
10年以上	1 (5.3%)	1 (5.3%)	13 (68.4%)	4 (21.1%)	0	19
全体	3 (7.1%)	2 (4.8%)	26 (61.9%)	11 (26.2%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.9%)	7 (41.2%)	8 (47.1%)	1 (5.9%)	2	19
全体	3 (7.3%)	16 (39.0%)	20 (48.8%)	2 (4.9%)	2	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

8.人員不足

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	4 (50.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	7 (36.8%)	4 (21.1%)	7 (36.8%)	1 (5.3%)	0	19
全体	15 (34.9%)	10 (23.3%)	16 (37.2%)	2 (4.7%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

9.日々の発達支援がマンネリ化している。

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0	2
1年以上3年未満	1 (12.5%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0	5
10年以上	1 (5.6%)	7 (38.9%)	10 (55.6%)	0 (0.0%)	1	19
全体	5 (11.9%)	16 (38.1%)	20 (47.6%)	1 (2.4%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

10.職場内の人間関係に関する悩み	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
7年以上10年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0	5
10年以上	5 (26.3%)	4 (21.1%)	7 (36.8%)	3 (15.8%)	0	19
全体	8 (18.6%)	12 (27.9%)	17 (39.5%)	6 (14.0%)	0	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

医療型児童発達支援

11.研修が足りない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0	2
1年以上3年未満	2 (25.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0	6
5年以上7年未満	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	3
7年以上10年未満	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1	5
10年以上	1 (5.3%)	6 (31.6%)	12 (63.2%)	0 (0.0%)	0	19
全体	5 (11.9%)	15 (35.7%)	21 (50.0%)	1 (2.4%)	1	43

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【自分問題】

児童発達支援のみ

1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	2 (18.2%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	0	8
全体	0 (0.0%)	9 (20.0%)	26 (57.8%)	10 (22.2%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0	6
1年以上3年未満	2 (18.2%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	2 (25.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	0	8
全体	2 (4.4%)	6 (13.3%)	27 (60.0%)	10 (22.2%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0	6
1年以上3年未満	1 (9.1%)	3 (27.3%)	4 (36.4%)	3 (27.3%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	2 (25.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	0	8
全体	1 (2.2%)	8 (17.8%)	28 (62.2%)	8 (17.8%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いか けられない、腰が痛い等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	0 (0.0%)	13 (28.9%)	21 (46.7%)	11 (24.4%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

児童発達支援のみ

1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を 行う	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0	8
全体	1 (2.2%)	19 (42.2%)	22 (48.9%)	3 (6.7%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援） を行う	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
全体	0 (0.0%)	15 (33.3%)	27 (60.0%)	3 (6.7%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

3.個々のこだわりへの対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(36.4%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	0	11
3年以上5年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	1	(12.5%)	6	(75.0%)	1	(12.5%)	0	8
全体	1	(2.2%)	18	(40.0%)	25	(55.6%)	1	(2.2%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

4.こどもの気持ちのくみ取り	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	5	(45.5%)	5	(45.5%)	1	(9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	0	(0.0%)	21	(46.7%)	22	(48.9%)	2	(4.4%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

5.受け止めるところと、導くところの境界線	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	0	6
1年以上3年未満	1	(9.1%)	5	(45.5%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	3	(37.5%)	5	(62.5%)	0	(0.0%)	0	8
全体	1	(2.2%)	24	(53.3%)	16	(35.6%)	4	(8.9%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

6.その子に合った学習支援について	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(20.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	1	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	5	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(60.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	2	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	2	8
全体	1	(2.9%)	17	(50.0%)	14	(41.2%)	2	(5.9%)	11	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (60.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	3 (6.8%)	20 (45.5%)	19 (43.2%)	2 (4.5%)	1	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

8.子ども同士のトラブルの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	1 (2.2%)	16 (35.6%)	24 (53.3%)	4 (8.9%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	1 (2.2%)	18 (40.0%)	23 (51.1%)	3 (6.7%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

10.子どもがパニックや癇癢を起こしたときのクールダウンのさせ方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
全体	3 (6.7%)	17 (37.8%)	23 (51.1%)	2 (4.4%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

11.子どもとのコミュニケーションの難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(9.1%)	6	(54.5%)	4	(36.4%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	2	(28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	1	(12.5%)	7	(87.5%)	0	(0.0%)	0	8
全体	0	(0.0%)	9	(20.0%)	28	(62.2%)	8	(17.8%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	3	(27.3%)	3	(27.3%)	5	(45.5%)	0	(0.0%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	5	(83.3%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	3	(6.7%)	17	(37.8%)	25	(55.6%)	0	(0.0%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	3	(27.3%)	6	(54.5%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	0	11
3年以上5年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	2	(33.3%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	6	(13.3%)	21	(46.7%)	18	(40.0%)	0	(0.0%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	3	(27.3%)	3	(27.3%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	0	11
3年以上5年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	4	(8.9%)	15	(33.3%)	24	(53.3%)	2	(4.4%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法が
いのか

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	3 (27.3%)	5 (45.5%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
全体	6 (13.3%)	22 (48.9%)	16 (35.6%)	1 (2.2%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学
習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎるこ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	1	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	4	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	2	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	2	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2	6
10年以上	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	4	8
全体	1 (3.3%)	2 (6.7%)	20 (66.7%)	7 (23.3%)	15	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	1 (10.0%)	2 (20.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	1	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	2	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	2	8
全体	1 (2.6%)	13 (34.2%)	20 (52.6%)	4 (10.5%)	7	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

18.絵本など視覚教材の用い方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	1	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
全体	0 (0.0%)	9 (21.4%)	27 (64.3%)	6 (14.3%)	3	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

19.支援教材づくりの難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	1	(9.1%)	3	(27.3%)	5	(45.5%)	2	(18.2%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	1	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	1	6
10年以上	0	(0.0%)	1	(12.5%)	5	(62.5%)	2	(25.0%)	0	8
全体	1	(2.3%)	11	(25.6%)	25	(58.1%)	6	(14.0%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

20.手遊びのやり方	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	0	6
1年以上3年未満	1	(10.0%)	1	(10.0%)	7	(70.0%)	1	(10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(62.5%)	3	(37.5%)	0	8
全体	1	(2.3%)	6	(14.0%)	29	(67.4%)	7	(16.3%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方(本人、集	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	5	(83.3%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	2	(20.0%)	4	(40.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	1	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	2	(33.3%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	4	(9.1%)	21	(47.7%)	19	(43.2%)	0	(0.0%)	1	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	7	(70.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	1	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	5	(71.4%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	1	(12.5%)	7	(87.5%)	0	(0.0%)	0	8
全体	0	(0.0%)	18	(41.9%)	23	(53.5%)	2	(4.7%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

23.子どもへの他害、自傷行為への対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	2	(20.0%)	1	(10.0%)	6	(60.0%)	1	(10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	5	(83.3%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	1	(12.5%)	3	(37.5%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	3	(7.0%)	17	(39.5%)	22	(51.2%)	1	(2.3%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

24.散歩等で子どもの安全を守ること	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(90.0%)	1	(10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)	0	(0.0%)	1	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	1	6
10年以上	1	(16.7%)	0	(0.0%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	2	8
全体	1	(2.6%)	5	(12.8%)	29	(74.4%)	4	(10.3%)	6	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

25.食事の支援	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(22.2%)	4	(44.4%)	3	(33.3%)	2	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(20.0%)	4	(80.0%)	0	(0.0%)	2	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	3	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
10年以上	1	(25.0%)	1	(25.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	4	8
全体	1	(3.3%)	10	(33.3%)	16	(53.3%)	3	(10.0%)	15	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

26.排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(9.1%)	6	(54.5%)	4	(36.4%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	1	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	2	6
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)	0	(0.0%)	1	8
全体	0	(0.0%)	6	(14.6%)	28	(68.3%)	7	(17.1%)	4	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

児童発達支援のみ

1.外部機関との連携の難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	4	11
3年以上5年未満	2	(40.0%)	2	(40.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	2	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	3	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
10年以上	1	(16.7%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	2	8
全体	3	(10.0%)	9	(30.0%)	18	(60.0%)	0	(0.0%)	15	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

2.地域資源がなくて繋がられない	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	5	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(75.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	3	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	3	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
10年以上	1	(16.7%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	2	8
全体	1	(3.6%)	10	(35.7%)	17	(60.7%)	0	(0.0%)	17	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

児童発達支援のみ

1.保護者との関係づくりが難しい	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	3	(60.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	6
1年以上3年未満	1	(9.1%)	3	(27.3%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	1	(14.3%)	2	(28.6%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	1	(12.5%)	7	(87.5%)	0	(0.0%)	0	8
全体	2	(4.5%)	15	(34.1%)	26	(59.1%)	1	(2.3%)	1	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	2	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(27.3%)	7	(63.6%)	1	(9.1%)	0	11
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	1	7
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(33.3%)	2	(33.3%)	2	(33.3%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
全体	0	(0.0%)	11	(26.2%)	28	(66.7%)	3	(7.1%)	3	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1	6
1年以上3年未満	2 (18.2%)	6 (54.5%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0	11
3年以上5年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	4 (9.3%)	28 (65.1%)	11 (25.6%)	0 (0.0%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

4.困り感(外国籍や知的障害、精神疾患等)のある保護者とのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (45.5%)	6 (54.5%)	0 (0.0%)	0	11
3年以上5年未満	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
5年以上7年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1	6
10年以上	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
全体	4 (9.8%)	21 (51.2%)	16 (39.0%)	0 (0.0%)	4	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

5.批判的な保護者との関係づくり	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2	6
1年以上3年未満	1 (9.1%)	3 (27.3%)	7 (63.6%)	0 (0.0%)	0	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2	7
5年以上7年未満	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	3 (7.7%)	16 (41.0%)	18 (46.2%)	2 (5.1%)	6	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

6.不適切な子育てをしている保護者への支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	1	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2	7
5年以上7年未満	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1	8
全体	2 (5.4%)	21 (56.8%)	14 (37.8%)	0 (0.0%)	7	44

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

7.事業所内面談の時間をとるのが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	4	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	5	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	2	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2	6
10年以上	0 (0.0%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1	8
全体	0 (0.0%)	14 (48.3%)	11 (37.9%)	4 (13.8%)	16	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1	6
1年以上3年未満	1 (10.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	1	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
全体	3 (7.0%)	26 (60.5%)	14 (32.6%)	0 (0.0%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

児童発達支援のみ

1.事業所（組織）の方針が理解できない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (63.6%)	4 (36.4%)	0	11
3年以上5年未満	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0	8
全体	2 (4.4%)	4 (8.9%)	21 (46.7%)	18 (40.0%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

2.ほかの職員や上司、部下との情報共有	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (27.3%)	5 (45.5%)	3 (27.3%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
全体	2 (4.4%)	12 (26.7%)	22 (48.9%)	9 (20.0%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

3.建物の構造	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0	6
1年以上3年未満	2 (18.2%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	4 (36.4%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0	8
全体	3 (6.7%)	9 (20.0%)	21 (46.7%)	12 (26.7%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

4.教材・設備が限定的である	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	2 (18.2%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
全体	3 (6.8%)	15 (34.1%)	15 (34.1%)	11 (25.0%)	1	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	4 (36.4%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)	2 (25.0%)	0	8
全体	1 (2.2%)	3 (6.7%)	25 (55.6%)	16 (35.6%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)	1	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1	6
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0	8
全体	0 (0.0%)	4 (9.3%)	21 (48.8%)	18 (41.9%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

7. 支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1	6
1年以上3年未満	2 (20.0%)	4 (40.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1	11
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0	7
5年以上7年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	2 (25.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
全体	7 (16.3%)	14 (32.6%)	17 (39.5%)	5 (11.6%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

8. 人員不足

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0	6
1年以上3年未満	3 (30.0%)	3 (30.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1	11
3年以上5年未満	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
7年以上10年未満	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0	6
10年以上	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	0	8
全体	11 (25.6%)	14 (32.6%)	13 (30.2%)	5 (11.6%)	2	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

9. 日々の発達支援がマンネリ化している。

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (45.5%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	0	8
全体	2 (4.4%)	13 (28.9%)	24 (53.3%)	6 (13.3%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

10. 職場内の人間関係に関する悩み

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (18.2%)	6 (54.5%)	3 (27.3%)	0	11
3年以上5年未満	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0	7
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0	6
10年以上	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
全体	1 (2.2%)	13 (28.9%)	18 (40.0%)	13 (28.9%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

児童発達支援のみ

11.研修が足りない	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(66.7%)	2	(33.3%)	0	6
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(18.2%)	7	(63.6%)	2	(18.2%)	0	11
3年以上5年未満	1	(14.3%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
5年以上7年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
7年以上10年未満	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	0	6
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	0	8
全体	2	(4.4%)	9	(20.0%)	23	(51.1%)	11	(24.4%)	0	45

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【自分問題】

放課後等デイサービスのみ

1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	5	(71.4%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(30.0%)	7	(70.0%)	0	(0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(6.7%)	11	(73.3%)	3	(20.0%)	0	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	2	(25.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	3	(25.0%)	8	(66.7%)	1	(8.3%)	0	12
全体	0	(0.0%)	12	(20.3%)	43	(72.9%)	4	(6.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2	(28.6%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(10.0%)	7	(70.0%)	2	(20.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	11	(73.3%)	4	(26.7%)	0	15
5年以上7年未満	1	(12.5%)	1	(12.5%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	4	(57.1%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(75.0%)	3	(25.0%)	0	12
全体	3	(5.1%)	4	(6.8%)	40	(67.8%)	12	(20.3%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(14.3%)	1	(14.3%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(30.0%)	7	(70.0%)	0	(0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	5	(33.3%)	8	(53.3%)	2	(13.3%)	0	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(37.5%)	4	(50.0%)	1	(12.5%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	4	(33.3%)	0	12
全体	1	(1.7%)	19	(32.2%)	30	(50.8%)	9	(15.3%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いか
けられない、腰が痛い等）

	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(14.3%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(60.0%)	4	(40.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(20.0%)	8	(53.3%)	4	(26.7%)	0	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(75.0%)	2	(25.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	7	(58.3%)	4	(33.3%)	1	(8.3%)	0	12
全体	1	(1.7%)	15	(25.4%)	29	(49.2%)	14	(23.7%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

放課後等デイサービスのみ

1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を
行う

	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(20.0%)	7	(70.0%)	1	(10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(20.0%)	10	(66.7%)	2	(13.3%)	0	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(12.5%)	7	(87.5%)	0	(0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	3	(25.0%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	0	12
全体	0	(0.0%)	17	(28.8%)	38	(64.4%)	4	(6.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）
を行う

	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(40.0%)	5	(50.0%)	1	(10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(20.0%)	10	(66.7%)	2	(13.3%)	0	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(37.5%)	5	(62.5%)	0	(0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	4	(33.3%)	8	(66.7%)	0	(0.0%)	0	12
全体	0	(0.0%)	22	(37.3%)	33	(55.9%)	4	(6.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

3.個々のこだわりへの対応

	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を 行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(40.0%)	5	(50.0%)	1	(10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(26.7%)	11	(73.3%)	0	(0.0%)	0	15
5年以上7年未満	1	(12.5%)	3	(37.5%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(57.1%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	6	(50.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	0	12
全体	2	(3.4%)	24	(40.7%)	32	(54.2%)	1	(1.7%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

4.こどもの気持ちのくみ取り	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (26.7%)	10 (66.7%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	0 (0.0%)	25 (42.4%)	33 (55.9%)	1 (1.7%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

5.受け止めるところと、導くところの境界線	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	1 (6.7%)	5 (33.3%)	9 (60.0%)	0 (0.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	4 (6.8%)	30 (50.8%)	24 (40.7%)	1 (1.7%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

6.その子に合った学習支援について	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	2 (16.7%)	3 (25.0%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	3	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	1	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	4 (7.4%)	23 (42.6%)	25 (46.3%)	2 (3.7%)	5	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	5 (50.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	1 (7.1%)	6 (42.9%)	6 (42.9%)	1 (7.1%)	1	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	8 (13.8%)	29 (50.0%)	19 (32.8%)	2 (3.4%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスののみ

8. 子ども同士のトラブルの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)	1	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	2 (25.0%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (16.7%)	10 (83.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	2 (3.4%)	17 (29.3%)	38 (65.5%)	1 (1.7%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスののみ

9. 次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (40.0%)	8 (53.3%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (25.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	1 (1.7%)	24 (40.7%)	32 (54.2%)	2 (3.4%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスののみ

10. 子どもがパニックや癇癇を起こしたときのクールダウンのさせ方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (30.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (33.3%)	9 (60.0%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	5 (8.5%)	22 (37.3%)	30 (50.8%)	2 (3.4%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスののみ

11. 子どもとのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (26.7%)	8 (53.3%)	3 (20.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (33.3%)	6 (50.0%)	2 (16.7%)	0	12
全体	0 (0.0%)	18 (30.5%)	35 (59.3%)	6 (10.2%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (30.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (13.3%)	13 (86.7%)	0 (0.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	1 (1.7%)	24 (40.7%)	34 (57.6%)	0 (0.0%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	1 (6.7%)	2 (13.3%)	11 (73.3%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	1	7
10年以上	1 (8.3%)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	7 (12.1%)	23 (39.7%)	27 (46.6%)	1 (1.7%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	7 (70.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (26.7%)	11 (73.3%)	0 (0.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (54.5%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	1	12
全体	2 (3.5%)	27 (47.4%)	27 (47.4%)	1 (1.8%)	2	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	2 (13.3%)	4 (26.7%)	9 (60.0%)	0 (0.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	3 (5.1%)	28 (47.5%)	28 (47.5%)	0 (0.0%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎるこ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (35.7%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)	1	15
5年以上7年未満	3 (37.5%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (36.4%)	7 (63.6%)	0 (0.0%)	1	12
全体	4 (7.1%)	18 (32.1%)	28 (50.0%)	6 (10.7%)	3	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	2	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (15.4%)	10 (76.9%)	1 (7.7%)	2	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	1	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)	0 (0.0%)	1	12
全体	1 (1.9%)	10 (19.2%)	38 (73.1%)	3 (5.8%)	7	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

18.絵本など視覚教材の用い方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	2 (22.2%)	1	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (30.8%)	8 (61.5%)	1 (7.7%)	2	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (27.3%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	1	12
全体	0 (0.0%)	14 (26.4%)	33 (62.3%)	6 (11.3%)	6	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

19.支援教材づくりの難しさ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	1	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (30.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	2	12
全体	2 (3.6%)	24 (43.6%)	27 (49.1%)	2 (3.6%)	4	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

20.手遊びのやり方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (11.1%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	11 (91.7%)	0 (0.0%)	3	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	1	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	2	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (11.1%)	8 (88.9%)	0 (0.0%)	3	12
全体	0 (0.0%)	9 (18.8%)	37 (77.1%)	2 (4.2%)	11	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方(本人、集	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (46.2%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	2	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	3 (5.3%)	27 (47.4%)	26 (45.6%)	1 (1.8%)	2	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (26.7%)	9 (60.0%)	2 (13.3%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	4 (6.8%)	20 (33.9%)	31 (52.5%)	4 (6.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

23.子どもへの他害、自傷行為への対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	2 (20.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (33.3%)	9 (60.0%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0	12
全体	5 (8.5%)	22 (37.3%)	29 (49.2%)	3 (5.1%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

24. 散歩等で子どもの安全を守ること	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(11.1%)	8	(88.9%)	0	(0.0%)	1	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(7.7%)	12	(92.3%)	0	(0.0%)	2	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)	0	(0.0%)	1	8
7年以上10年未満	1	(16.7%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	1	7
10年以上	0	(0.0%)	1	(8.3%)	11	(91.7%)	0	(0.0%)	0	12
全体	1	(1.9%)	5	(9.3%)	48	(88.9%)	0	(0.0%)	5	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

25. 食事の支援	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	5	(71.4%)	0	(0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)	0	(0.0%)	6	10
3年以上5年未満	1	(9.1%)	1	(9.1%)	9	(81.8%)	0	(0.0%)	4	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	1	8
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	1	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(18.2%)	7	(63.6%)	2	(18.2%)	1	12
全体	1	(2.2%)	7	(15.2%)	36	(78.3%)	2	(4.3%)	13	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

26. 排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	3	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(16.7%)	9	(75.0%)	1	(8.3%)	3	15
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)	0	(0.0%)	1	8
7年以上10年未満	1	(16.7%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	1	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(16.7%)	9	(75.0%)	1	(8.3%)	0	12
全体	1	(2.0%)	8	(15.7%)	37	(72.5%)	5	(9.8%)	8	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

放課後等デイサービスのみ

1. 外部機関との連携の難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	3	7
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(44.4%)	5	(55.6%)	0	(0.0%)	1	10
3年以上5年未満	0	(0.0%)	6	(42.9%)	8	(57.1%)	0	(0.0%)	1	15
5年以上7年未満	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	3	8
7年以上10年未満	1	(16.7%)	2	(33.3%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	1	7
10年以上	2	(25.0%)	4	(50.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	4	12
全体	4	(8.7%)	21	(45.7%)	21	(45.7%)	0	(0.0%)	13	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

2.地域資源がなくて繋がられない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	4	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	1	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (38.5%)	7 (53.8%)	1 (7.7%)	2	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	3	8
7年以上10年未満	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
10年以上	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	4	12
全体	3 (6.8%)	18 (40.9%)	22 (50.0%)	1 (2.3%)	15	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

放課後等デイサービスのみ

1.保護者との関係づくりが難しい	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (13.3%)	12 (80.0%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	2 (3.4%)	17 (29.3%)	38 (65.5%)	1 (1.7%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (20.0%)	11 (73.3%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	2 (3.4%)	15 (25.9%)	39 (67.2%)	2 (3.4%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1	7
1年以上3年未満	2 (20.0%)	1 (10.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	2 (13.3%)	6 (40.0%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
全体	7 (12.1%)	24 (41.4%)	25 (43.1%)	2 (3.4%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

4. 困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	3	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	1	10
3年以上5年未満	1 (7.1%)	6 (42.9%)	6 (42.9%)	1 (7.1%)	1	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	3 (5.6%)	21 (38.9%)	25 (46.3%)	5 (9.3%)	5	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

5. 批判的な保護者との関係づくり

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	1 (7.7%)	5 (38.5%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	2	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (37.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	4	12
全体	3 (5.8%)	18 (34.6%)	28 (53.8%)	3 (5.8%)	7	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

6. 不適切な子育てをしている保護者への支援

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1	6
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	0	9
3年以上5年未満	1 (7.7%)	8 (61.5%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	1	14
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0	7
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	1 (10.0%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	2	12
全体	4 (7.8%)	24 (47.1%)	23 (45.1%)	0 (0.0%)	4	55

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

7. 事業所内面談の時間をとるのが難しい

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (30.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	3 (23.1%)	2	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	3	12
全体	2 (3.8%)	16 (30.8%)	25 (48.1%)	9 (17.3%)	7	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	3 (30.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	1 (6.7%)	8 (53.3%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	0	15
5年以上7年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	2 (20.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	2	12
全体	8 (14.5%)	26 (47.3%)	20 (36.4%)	1 (1.8%)	4	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

放課後等デイサービスのみ

1.事業所（組織）の方針が理解できない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (6.7%)	5 (33.3%)	9 (60.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	0 (0.0%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0	12
全体	3 (5.1%)	4 (6.8%)	32 (54.2%)	20 (33.9%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

2.ほかの職員や上司、部下との情報共有

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (20.0%)	3 (20.0%)	9 (60.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	6 (50.0%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0	12
全体	2 (3.4%)	16 (27.1%)	29 (49.2%)	12 (20.3%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

3.建物の構造

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	4 (26.7%)	5 (33.3%)	6 (40.0%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0	7
10年以上	2 (16.7%)	7 (58.3%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)	0	12
全体	3 (5.1%)	21 (35.6%)	19 (32.2%)	16 (27.1%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

4.教材・設備が限定的である

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	2 (20.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	5 (33.3%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	6 (50.0%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	3 (5.1%)	16 (27.1%)	27 (45.8%)	13 (22.0%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (6.7%)	7 (46.7%)	7 (46.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (33.3%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	0	12
全体	2 (3.4%)	9 (15.3%)	31 (52.5%)	17 (28.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (90.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (6.7%)	4 (26.7%)	10 (66.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (16.7%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (25.0%)	7 (58.3%)	2 (16.7%)	0	12
全体	3 (5.2%)	6 (10.3%)	30 (51.7%)	19 (32.8%)	1	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみのみ

7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (20.0%)	6 (40.0%)	6 (40.0%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	6 (50.0%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0	12
全体	4 (6.8%)	17 (28.8%)	27 (45.8%)	11 (18.6%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

8.人員不足	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0	7
1年以上3年未満	2 (20.0%)	5 (50.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	3 (20.0%)	5 (33.3%)	5 (33.3%)	2 (13.3%)	0	15
5年以上7年未満	2 (25.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	2 (16.7%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	12 (20.3%)	27 (45.8%)	18 (30.5%)	2 (3.4%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

9.日々の発達支援がマンネリ化している。	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	8 (53.3%)	5 (33.3%)	2 (13.3%)	0	15
5年以上7年未満	1 (12.5%)	2 (25.0%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0	12
全体	3 (5.1%)	28 (47.5%)	24 (40.7%)	4 (6.8%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

10.職場内の人間関係に関する悩み	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (14.3%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	0	7
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (53.3%)	7 (46.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	0	8
7年以上10年未満	1 (14.3%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	3 (25.0%)	3 (25.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
全体	5 (8.5%)	8 (13.6%)	34 (57.6%)	12 (20.3%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

放課後等デイサービスのみ

11.研修が足りない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	2 (28.6%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
1年以上3年未満	1 (10.0%)	0 (0.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0	10
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	7 (46.7%)	0	15
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)	0	8
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0	12
全体	3 (5.1%)	14 (23.7%)	29 (49.2%)	13 (22.0%)	0	59

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【自分問題】

多機能・一体型

1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (7.1%)	11 (78.6%)	2 (14.3%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (25.0%)	6 (50.0%)	3 (25.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	3 (30.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	7 (12.1%)	37 (63.8%)	14 (24.1%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (85.7%)	2 (14.3%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	2 (16.7%)	9 (75.0%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	7 (70.0%)	2 (20.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	5 (8.6%)	43 (74.1%)	10 (17.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	3 (21.4%)	10 (71.4%)	1 (7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (33.3%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	11 (19.0%)	40 (69.0%)	7 (12.1%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いつけられない、腰が痛い等）	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (14.3%)	6 (42.9%)	6 (42.9%)	0	14
3年以上5年未満	1 (8.3%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	5 (41.7%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (30.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	0	10
全体	2 (3.4%)	15 (25.9%)	25 (43.1%)	16 (27.6%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【発達支援（本人との関わり）】

多機能・一体型

1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (42.9%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	17 (29.3%)	38 (65.5%)	3 (5.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (35.7%)	9 (64.3%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	4 (33.3%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	18 (31.0%)	35 (60.3%)	5 (8.6%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

3.個々のこだわりへの対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (35.7%)	9 (64.3%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	26 (44.8%)	30 (51.7%)	2 (3.4%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

4.こどもの気持ちのくみ取り

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	3 (25.0%)	6 (50.0%)	3 (25.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	17 (29.3%)	36 (62.1%)	5 (8.6%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

5.受け止めるところと、導くところの境界線	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	8	(57.1%)	6	(42.9%)	0	(0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	6	(50.0%)	4	(33.3%)	2	(16.7%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	7	(58.3%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	4	(57.1%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	3	(30.0%)	7	(70.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	0	(0.0%)	28	(48.3%)	27	(46.6%)	3	(5.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

6.その子に合った学習支援について	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	5	(38.5%)	8	(61.5%)	0	(0.0%)	1	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	7	(63.6%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	1	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	6	(50.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	4	(57.1%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	6	(66.7%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	1	10
全体	1	(1.8%)	30	(54.5%)	23	(41.8%)	1	(1.8%)	3	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	11	(78.6%)	3	(21.4%)	0	(0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	8	(66.7%)	3	(25.0%)	1	(8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	9	(75.0%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	4	(40.0%)	6	(60.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	0	(0.0%)	36	(62.1%)	19	(32.8%)	3	(5.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

8.子ども同士のトラブルの対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(23.1%)	10	(76.9%)	0	(0.0%)	1	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	4	(33.3%)	0	12
5年以上7年未満	1	(8.3%)	4	(33.3%)	7	(58.3%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(14.3%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	3	(30.0%)	7	(70.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	1	(1.8%)	15	(26.3%)	35	(61.4%)	6	(10.5%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (42.9%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	24 (41.4%)	32 (55.2%)	2 (3.4%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

10.子どもがパニックや痙攣を起こしたときのクールダウンのさせ方	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	1 (7.1%)	6 (42.9%)	7 (50.0%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (50.0%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	1 (1.7%)	31 (53.4%)	24 (41.4%)	2 (3.4%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

11.子どもとのコミュニケーションの難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	2 (14.3%)	11 (78.6%)	1 (7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	7 (70.0%)	2 (20.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	9 (15.5%)	42 (72.4%)	7 (12.1%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	5 (35.7%)	9 (64.3%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	1 (1.7%)	28 (48.3%)	28 (48.3%)	1 (1.7%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	1 (7.1%)	9 (64.3%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	1 (8.3%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	3 (30.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	3 (5.2%)	32 (55.2%)	23 (39.7%)	0 (0.0%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

14.プログラム、スケジュール、課題を考えること

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (42.9%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	1 (8.3%)	6 (50.0%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (22.2%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	1	10
全体	1 (1.8%)	26 (46.4%)	26 (46.4%)	3 (5.4%)	2	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	7 (50.0%)	7 (50.0%)	0 (0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	30 (51.7%)	27 (46.6%)	1 (1.7%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎるこ

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (28.6%)	8 (57.1%)	2 (14.3%)	0	14
3年以上5年未満	1 (8.3%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	1 (1.7%)	19 (32.8%)	34 (58.6%)	4 (6.9%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	2	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(33.3%)	7	(58.3%)	1	(8.3%)	2	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	4	(36.4%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	1	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(25.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	2	10
全体	1	(2.0%)	13	(25.5%)	34	(66.7%)	3	(5.9%)	7	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

18.絵本など視覚教材の用い方	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(14.3%)	12	(85.7%)	0	(0.0%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(9.1%)	10	(90.9%)	0	(0.0%)	1	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(77.8%)	2	(22.2%)	1	10
全体	0	(0.0%)	6	(10.7%)	46	(82.1%)	4	(7.1%)	2	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

19.支援教材づくりの難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	5	(35.7%)	8	(57.1%)	1	(7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	9	(75.0%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	1	(9.1%)	5	(45.5%)	5	(45.5%)	0	(0.0%)	1	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	4	(66.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	7
10年以上	0	(0.0%)	1	(11.1%)	6	(66.7%)	2	(22.2%)	1	10
全体	1	(1.8%)	26	(47.3%)	23	(41.8%)	5	(9.1%)	3	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

20.手遊びのやり方	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(21.4%)	10	(71.4%)	1	(7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	5	(50.0%)	4	(40.0%)	1	(10.0%)	2	12
5年以上7年未満	1	(8.3%)	2	(16.7%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	4	(57.1%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	3	10
全体	1	(1.9%)	12	(22.6%)	35	(66.0%)	5	(9.4%)	5	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	1	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	4 (40.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	31 (54.4%)	25 (43.9%)	1 (1.8%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	4 (57.1%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	29 (50.0%)	26 (44.8%)	3 (5.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

23.子どもへの他害、自傷行為への対応

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	6 (42.9%)	7 (50.0%)	1 (7.1%)	0	14
3年以上5年未満	1 (8.3%)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	2 (16.7%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0	10
全体	5 (8.6%)	27 (46.6%)	24 (41.4%)	2 (3.4%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

24. 散歩等で子どもの安全を守ること

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (91.7%)	1 (8.3%)	2	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	2	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	2 (28.6%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)	4	10
全体	0 (0.0%)	4 (8.0%)	42 (84.0%)	4 (8.0%)	8	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

25.食事の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (10.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	4	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	2 (25.0%)	4	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	3 (33.3%)	6 (66.7%)	0 (0.0%)	3	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	3	7
10年以上	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	6	10
全体	0 (0.0%)	8 (21.6%)	25 (67.6%)	4 (10.8%)	21	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

26.排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	2	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	2	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (11.1%)	8 (88.9%)	0 (0.0%)	1	10
全体	0 (0.0%)	6 (11.5%)	41 (78.8%)	5 (9.6%)	6	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【地域】

多機能・一体型

1.外部機関との連携の難しさ	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2	3
1年以上3年未満	1 (11.1%)	3 (33.3%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	5	14
3年以上5年未満	1 (10.0%)	6 (60.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	2	12
5年以上7年未満	1 (9.1%)	3 (27.3%)	7 (63.6%)	0 (0.0%)	1	12
7年以上10年未満	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	2 (22.2%)	2 (22.2%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	1	10
全体	6 (13.0%)	18 (39.1%)	20 (43.5%)	2 (4.3%)	12	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

2.地域資源がなくて繋がられない	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	2	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (16.7%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	8	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	2	12
5年以上7年未満	1 (10.0%)	3 (30.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	2	12
7年以上10年未満	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1	7
10年以上	1 (11.1%)	3 (33.3%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	1	10
全体	3 (7.1%)	15 (35.7%)	23 (54.8%)	1 (2.4%)	16	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【家族支援】

多機能・一体型

1.保護者との関係づくりが難しい	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(33.3%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	6	(42.9%)	7	(50.0%)	1	(7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	6	(50.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	4	(40.0%)	6	(60.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	2	(3.4%)	23	(39.7%)	32	(55.2%)	1	(1.7%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	2	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	7	(58.3%)	2	(16.7%)	2	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	5	(41.7%)	7	(58.3%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	4	(33.3%)	7	(58.3%)	1	(8.3%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(20.0%)	8	(80.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	1	(1.9%)	14	(25.9%)	35	(64.8%)	4	(7.4%)	4	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	3
1年以上3年未満	1	(8.3%)	5	(41.7%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	2	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	6	(50.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	2	(16.7%)	8	(66.7%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	5	(71.4%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	6	(60.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	0	10
全体	4	(7.3%)	31	(56.4%)	20	(36.4%)	0	(0.0%)	3	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

4.困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	3
1年以上3年未満	1	(8.3%)	6	(50.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	2	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(33.3%)	7	(58.3%)	1	(8.3%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	8	(72.7%)	3	(27.3%)	0	(0.0%)	1	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	3	(42.9%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	4	(50.0%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	2	10
全体	2	(3.8%)	26	(50.0%)	23	(44.2%)	1	(1.9%)	6	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

5.批判的な保護者との関係づくり	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	3
1年以上3年未満	1	(8.3%)	5	(41.7%)	5	(41.7%)	1	(8.3%)	2	14
3年以上5年未満	1	(8.3%)	6	(50.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	1	(10.0%)	4	(40.0%)	5	(50.0%)	0	(0.0%)	2	12
7年以上10年未満	2	(28.6%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	6	(66.7%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	1	10
全体	5	(9.6%)	25	(48.1%)	21	(40.4%)	1	(1.9%)	6	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

6.不適切な子育てをしている保護者への支援	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	2	(22.2%)	4	(44.4%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	3	12
3年以上5年未満	0	(0.0%)	7	(70.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	2	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	8	(80.0%)	2	(20.0%)	0	(0.0%)	2	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	5	(71.4%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	2	(22.2%)	5	(55.6%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	1	10
全体	5	(10.4%)	31	(64.6%)	12	(25.0%)	0	(0.0%)	8	56

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

7.事業所内面談の時間をとるのが難しい	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	1	3
1年以上3年未満	1	(12.5%)	2	(25.0%)	5	(62.5%)	0	(0.0%)	6	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(88.9%)	1	(11.1%)	3	12
5年以上7年未満	1	(9.1%)	2	(18.2%)	8	(72.7%)	0	(0.0%)	1	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	1	(16.7%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	1	7
10年以上	2	(22.2%)	1	(11.1%)	5	(55.6%)	1	(11.1%)	1	10
全体	4	(8.9%)	6	(13.3%)	32	(71.1%)	3	(6.7%)	13	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	1	(9.1%)	6	(54.5%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	3	14
3年以上5年未満	1	(9.1%)	10	(90.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	12
5年以上7年未満	1	(8.3%)	7	(58.3%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	7
10年以上	2	(22.2%)	4	(44.4%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	1	10
全体	6	(11.3%)	33	(62.3%)	14	(26.4%)	0	(0.0%)	5	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【支援をとりまく環境】

多機能・一体型

1.事業所（組織）の方針が理解できない	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	2	(14.3%)	6	(42.9%)	6	(42.9%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	1	(8.3%)	6	(50.0%)	5	(41.7%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(75.0%)	3	(25.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(30.0%)	7	(70.0%)	0	10
全体	0	(0.0%)	4	(6.9%)	27	(46.6%)	27	(46.6%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

2.ほかの職員や上司、部下との情報共有	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(7.1%)	7	(50.0%)	6	(42.9%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(16.7%)	8	(66.7%)	2	(16.7%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(8.3%)	8	(66.7%)	3	(25.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	1	(10.0%)	5	(50.0%)	4	(40.0%)	0	10
全体	0	(0.0%)	6	(10.3%)	34	(58.6%)	18	(31.0%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

3.建物の構造	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	3
1年以上3年未満	1	(7.1%)	2	(14.3%)	9	(64.3%)	2	(14.3%)	0	14
3年以上5年未満	1	(8.3%)	2	(16.7%)	6	(50.0%)	3	(25.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	4	(33.3%)	6	(50.0%)	2	(16.7%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	5	(50.0%)	4	(40.0%)	1	(10.0%)	0	10
全体	4	(6.9%)	15	(25.9%)	29	(50.0%)	10	(17.2%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

4.教材・設備が限定的である	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	4	(30.8%)	6	(46.2%)	3	(23.1%)	1	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	2	(16.7%)	6	(50.0%)	4	(33.3%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	1	(8.3%)	10	(83.3%)	1	(8.3%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	1	(10.0%)	8	(80.0%)	1	(10.0%)	0	10
全体	1	(1.8%)	12	(21.1%)	33	(57.9%)	11	(19.3%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)	0	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	3 (25.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	5 (50.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	3 (5.2%)	31 (53.4%)	24 (41.4%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

6.発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	0 (0.0%)	1 (7.1%)	10 (71.4%)	3 (21.4%)	0	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	4 (36.4%)	1	12
5年以上7年未満	0 (0.0%)	2 (16.7%)	7 (58.3%)	3 (25.0%)	0	12
7年以上10年未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)	0	7
10年以上	0 (0.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	0	10
全体	0 (0.0%)	6 (10.5%)	31 (54.4%)	20 (35.1%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	1 (7.7%)	4 (30.8%)	5 (38.5%)	3 (23.1%)	1	14
3年以上5年未満	0 (0.0%)	6 (50.0%)	6 (50.0%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	1 (8.3%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
10年以上	1 (10.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0	10
全体	4 (7.0%)	24 (42.1%)	22 (38.6%)	7 (12.3%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

8.人員不足

	とても困っている	困っている	あまり困っていない	全く困っていない	関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	3
1年以上3年未満	3 (21.4%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	0	14
3年以上5年未満	4 (33.3%)	6 (50.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0	12
5年以上7年未満	2 (16.7%)	6 (50.0%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	0	12
7年以上10年未満	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0	7
10年以上	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1	10
全体	15 (26.3%)	25 (43.9%)	11 (19.3%)	6 (10.5%)	1	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

9. 日々の発達支援がマンネリ化している。	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	5	(35.7%)	8	(57.1%)	1	(7.1%)	0	14
3年以上5年未満	0	(0.0%)	4	(33.3%)	8	(66.7%)	0	(0.0%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	8	(66.7%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	2	(28.6%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(20.0%)	7	(70.0%)	1	(10.0%)	0	10
全体	0	(0.0%)	22	(37.9%)	32	(55.2%)	4	(6.9%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

10. 職場内の人間関係に関する悩み	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	3
1年以上3年未満	0	(0.0%)	1	(7.1%)	7	(50.0%)	6	(42.9%)	0	14
3年以上5年未満	1	(8.3%)	0	(0.0%)	6	(50.0%)	5	(41.7%)	0	12
5年以上7年未満	1	(8.3%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	3	(25.0%)	0	12
7年以上10年未満	1	(14.3%)	0	(0.0%)	4	(57.1%)	2	(28.6%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(20.0%)	4	(40.0%)	4	(40.0%)	0	10
全体	3	(5.2%)	7	(12.1%)	28	(48.3%)	20	(34.5%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

多機能・一体型

11. 研修が足りない	とても困っている		困っている		あまり困っていない		全く困っていない		関係業務を行っていない	回答数
3か月以上1年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	3
1年以上3年未満	1	(7.1%)	3	(21.4%)	8	(57.1%)	2	(14.3%)	0	14
3年以上5年未満	1	(8.3%)	2	(16.7%)	7	(58.3%)	2	(16.7%)	0	12
5年以上7年未満	0	(0.0%)	3	(25.0%)	8	(66.7%)	1	(8.3%)	0	12
7年以上10年未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	4	(57.1%)	0	7
10年以上	0	(0.0%)	2	(20.0%)	7	(70.0%)	1	(10.0%)	0	10
全体	2	(3.4%)	10	(17.2%)	34	(58.6%)	12	(20.7%)	0	58

回答数は「関係業務を行っていない」を除く数

()内は各経験年数における関係業務を行っていないを除く回答数を母数とした割合

【経験年数別】【困り感別】

	とても困っている						困っている						あまり困っていない						全く困っていない					
	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上
	1.子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	19.4%	24.4%	24.3%	21.3%	14.0%	10.4%	63.9%	66.7%	60.0%	67.2%	66.7%	62.3%	16.7%	8.9%	15.7%	11.5%	19.3%
2.自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）	5.6%	2.2%	0.0%	3.3%	0.0%	1.9%	19.4%	17.8%	15.7%	13.1%	17.5%	5.7%	50.0%	65.6%	67.1%	73.8%	64.9%	69.8%	25.0%	14.4%	17.1%	9.8%	17.5%	22.6%
3.自分の価値観と支援の在り方のギャップについて	5.6%	10.0%	0.0%	1.6%	1.8%	1.9%	19.4%	25.6%	20.0%	19.7%	35.1%	19.8%	55.6%	56.7%	67.1%	72.1%	52.6%	62.3%	19.4%	7.8%	12.9%	6.6%	10.5%	16.0%
4.身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いかけられない、腰が痛い等）	5.6%	2.2%	2.9%	1.6%	3.5%	4.7%	19.4%	15.6%	24.3%	26.2%	31.6%	34.9%	33.3%	50.0%	44.3%	45.9%	42.1%	47.2%	41.7%	32.2%	28.6%	26.2%	22.8%	13.2%

	とても困っている							困っている							あまり困っていない							全く困っていない																		
	3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上		3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上		3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上					
	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上				
発達支援（本人との関わり）	1.障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う	0.0%	3.3%	1.4%	4.9%	1.8%	0.0%	58.3%	34.4%	32.9%	29.5%	33.3%	26.2%	33.3%	54.4%	60.0%	59.0%	56.1%	67.3%	8.3%	7.8%	5.7%	6.6%	8.8%	6.5%															
	2.発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う	0.0%	2.2%	1.4%	3.3%	1.8%	1.9%	69.4%	43.3%	30.0%	36.1%	38.6%	25.2%	27.8%	47.8%	62.9%	55.7%	50.9%	63.6%	2.8%	6.7%	5.7%	4.9%	8.8%	9.3%															
	3.個々のかつわりの対応	2.8%	4.4%	5.7%	6.6%	1.8%	0.9%	58.3%	45.6%	42.9%	45.9%	59.6%	35.5%	36.1%	45.6%	48.6%	45.9%	35.1%	60.7%	2.8%	4.4%	2.9%	1.6%	3.5%	2.8%															
	4.こどもの気持ちのくみ取り	2.8%	4.4%	0.0%	3.3%	0.0%	0.9%	58.3%	42.2%	38.6%	31.1%	43.9%	28.0%	38.9%	47.8%	52.9%	63.9%	50.9%	70.1%	0.0%	5.6%	8.6%	1.6%	5.3%	0.9%															
	5.受け止めるところと、導くところの境界線	11.1%	13.5%	7.1%	3.3%	0.0%	1.9%	66.7%	49.4%	50.0%	45.9%	52.6%	43.9%	16.7%	33.7%	38.6%	49.2%	40.4%	53.3%	5.6%	3.4%	4.3%	1.6%	7.0%	0.9%															
	6.その子に合った学習支援について	9.7%	8.0%	6.6%	0.0%	2.0%	1.1%	48.4%	40.0%	57.4%	43.1%	61.2%	36.7%	41.9%	48.0%	32.8%	56.9%	34.7%	62.2%	0.0%	4.0%	3.3%	0.0%	2.0%	0.0%															
	7.指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ	8.3%	9.0%	7.2%	3.3%	8.8%	2.8%	69.4%	62.9%	55.1%	62.3%	45.6%	43.0%	22.2%	24.7%	34.8%	34.4%	40.4%	54.2%	0.0%	3.4%	2.9%	0.0%	5.3%	0.0%															
	8.子ども同士のトラブルの対応	0.0%	6.8%	2.9%	3.3%	3.6%	1.9%	50.0%	35.2%	30.9%	28.3%	33.9%	20.2%	47.2%	52.3%	55.9%	65.0%	53.6%	71.2%	2.8%	5.7%	10.3%	3.3%	8.9%	6.7%															
	9.次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応	8.3%	5.6%	2.9%	1.7%	3.5%	2.8%	50.0%	43.3%	51.4%	40.0%	36.8%	31.1%	36.1%	47.8%	40.0%	58.3%	56.1%	65.1%	5.6%	3.3%	5.7%	0.0%	3.5%	0.9%															
	10.子どもがパニックや癇癪を起こしたときのクールダウンのさせ方	19.4%	10.1%	8.6%	3.3%	7.0%	2.8%	58.3%	43.8%	50.0%	42.6%	47.4%	34.0%	22.2%	41.6%	37.1%	54.1%	42.1%	61.3%	0.0%	4.5%	4.3%	0.0%	3.5%	1.9%															
	11.子どもとのコミュニケーションの難しさ	2.8%	6.7%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	30.6%	23.3%	31.4%	26.2%	36.8%	24.5%	61.1%	60.0%	51.4%	68.9%	56.1%	69.8%	5.6%	10.0%	17.1%	3.3%	7.0%	5.7%															
	12.実施した発達支援の妥当性への悩み・不安	8.3%	12.2%	2.9%	3.3%	1.8%	2.8%	61.1%	42.2%	54.3%	42.6%	64.9%	40.6%	30.6%	44.4%	42.9%	54.1%	29.8%	56.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%															
	13.専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）	22.9%	22.2%	12.9%	8.2%	8.9%	3.7%	60.0%	52.2%	47.1%	55.7%	50.0%	44.9%	17.1%	25.6%	37.1%	36.1%	39.3%	51.4%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	1.8%	0.0%															
	14.プログラム、スケジュール、課題を考えると	11.8%	14.6%	7.1%	9.8%	7.3%	2.9%	58.8%	51.7%	50.0%	42.6%	40.0%	39.2%	29.4%	32.6%	41.4%	45.9%	47.3%	55.9%	0.0%	1.1%	1.4%	1.6%	5.5%	2.0%															
	15.発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか	11.8%	15.6%	7.1%	6.6%	7.0%	2.8%	55.9%	50.0%	51.4%	49.2%	47.4%	36.8%	32.4%	33.3%	40.0%	44.3%	43.9%	60.4%	0.0%	1.1%	1.4%	0.0%	1.8%	0.0%															
	16.小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎる	3.8%	4.4%	7.4%	8.9%	0.0%	2.8%	26.9%	29.4%	35.2%	26.7%	35.7%	23.9%	50.0%	48.5%	46.3%	51.1%	50.0%	60.6%	19.2%	17.6%	11.1%	13.3%	14.3%	12.7%															
	17.集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方	6.7%	9.5%	3.4%	0.0%	3.7%	1.1%	50.0%	32.4%	33.9%	28.6%	25.9%	11.5%	40.0%	50.0%	61.0%	71.4%	63.0%	74.7%	3.3%	8.1%	1.7%	0.0%	7.4%	12.6%															
	18.絵本など視覚教材の用い方	0.0%	2.4%	1.5%	0.0%	0.0%	1.0%	27.3%	27.1%	32.8%	16.9%	23.6%	14.7%	66.7%	61.2%	61.2%	76.3%	60.0%	75.5%	6.1%	9.4%	4.5%	6.8%	16.4%	8.8%															
	19.支援教材づくりの難しさ	9.1%	10.6%	4.4%	5.1%	3.7%	2.0%	45.5%	37.6%	60.3%	44.1%	51.9%	33.3%	36.4%	45.9%	33.8%	50.8%	35.2%	54.5%	9.1%	5.9%	1.5%	0.0%	9.3%	10.1%															
	20.手遊びのやり方	0.0%	7.1%	1.6%	1.7%	0.0%	2.0%	28.1%	16.5%	34.9%	20.3%	20.0%	10.2%	62.5%	68.2%	57.1%	71.2%	69.1%	73.5%	9.4%	8.2%	6.3%	6.8%	10.9%	14.3%															
	21.大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集団、他児童の配慮含む）	16.7%	14.0%	3.0%	4.9%	5.4%	3.9%	55.6%	52.3%	53.7%	59.0%	42.9%	37.3%	25.0%	30.2%	43.3%	36.1%	46.4%	56.9%	2.8%	3.5%	0.0%	0.0%	5.4%	2.0%															
	22.子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方	5.6%	3.4%	1.5%	1.7%	3.6%	1.0%	44.4%	37.9%	47.8%	30.0%	30.9%	29.2%	38.9%	50.6%	46.3%	61.7%	50.9%	64.6%	11.1%	8.0%	4.5%	6.7%	14.5%	5.2%															
	23.子どもへの他害、自傷行為への対応	8.3%	11.4%	7.2%	6.7%	8.9%	4.8%	41.7%	31.8%	52.2%	40.0%	44.6%	43.3%	44.4%	50.0%	39.1%	50.0%	41.1%	50.0%	5.6%	6.8%	1.4%	3.3%	5.4%	1.9%															
	24.散歩等で子どもの安全を守ること	0.0%	1.2%	3.1%	0.0%	3.8%	1.1%	15.2%	17.3%	18.8%	18.5%	20.8%	19.4%	78.8%	74.1%	73.4%	77.8%	67.9%	72.0%	6.1%	7.4%	4.7%	3.7%	7.5%	7.5%															
	25.食事の支援	6.5%	6.8%	7.3%	4.0%	4.2%	1.1%	38.7%	40.5%	29.1%	34.0%	39.6%	30.0%	51.6%	45.9%	60.0%	62.0%	54.2%	62.2%	3.2%	6.8%	0.0%	0.0%	2.1%	6.7%															
	26.排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援	0.0%	6.1%	0.0%	1.8%	2.0%	0.0%	35.3%	26.8%	27.4%	19.6%	22.0%	12.4%	50.0%	57.3%	67.7%	76.8%	66.0%	84.5%	14.7%	9.8%	4.8%	1.8%	10.0%	3.1%															

	とても困っている							困っている							あまり困っていない							全く困っていない																
	3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上		3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上		3か月以上 1年未満		1年以上3 年未満		3年以上5 年未満		5年以上7 年未満		7年以上10 年未満		10年以上			
	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上		
地域	1.外部機関との連携の難しさ	0.0%	15.9%	11.1%	8.3%	6.1%	12.6%	45.5%	27.5%	46.0%	45.8%	57.1%	40.0%	45.5%	53.6%	42.9%	45.8%	34.7%	47.4%	9.1%	2.9%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%													
	2.地域資源がなくて繋がられない	0.0%	5.2%	5.5%	4.5%	7.1%	7.8%	36.8%	31.0%	36.4%	25.0%	40.5%	34.4%	52.6%	62.1%	56.4%	70.5%	45.2%	56.7%	10.5%	1.7%	1.8%	0.0%	7.1%	1.1%													

	とても困っている							困っている							あまり困っていない							全く困っていない						
	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上				
	1.保護者との関係づくりが難しい	6.1%	6.7%	5.7%	6.6%	7.0%	3.8%	42.4%	36.7%	40.0%	31.1%	35.1%	30.2%	51.5%	54.4%	51.4%	60.7%	57.9%	65.1%	0.0%	2.2%	2.9%	1.6%	0.0%	0.9%			
2.子どもが怪我をしたときの保護者への対応	6.7%	2.3%	1.4%	0.0%	5.3%	1.9%	30.0%	25.3%	27.1%	23.7%	22.8%	18.3%	56.7%	66.7%	65.7%	72.9%	66.7%	75.0%	6.7%	5.7%	5.7%	3.4%	5.3%	4.8%				
3.保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ	0.0%	18.2%	11.6%	6.7%	15.8%	6.6%	62.5%	46.6%	50.7%	56.7%	52.6%	60.4%	34.4%	35.2%	36.2%	35.0%	31.6%	33.0%	3.1%	0.0%	1.4%	1.7%	0.0%	0.0%				
4.困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ	3.8%	6.3%	11.9%	8.8%	10.7%	12.2%	53.8%	49.4%	46.3%	54.4%	57.1%	54.1%	42.3%	43.0%	38.8%	33.3%	26.8%	32.7%	0.0%	1.3%	3.0%	3.5%	5.4%	1.0%				
5.批判的な保護者との関係づくり	0.0%	8.6%	10.8%	8.8%	20.8%	8.2%	50.0%	44.4%	43.1%	42.1%	52.8%	47.4%	42.9%	45.7%	43.1%	45.6%	26.4%	41.2%	7.1%	1.2%	3.1%	3.5%	0.0%	3.1%				
6.不適切な子育てをしている保護者への支援	3.8%	15.3%	17.7%	10.9%	16.4%	11.3%	53.8%	43.1%	50.0%	52.7%	61.8%	63.9%	42.3%	41.7%	32.3%	36.4%	21.8%	24.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
7.事業所内面談の時間をとるのが難しい	0.0%	4.5%	3.4%	1.9%	8.0%	6.6%	23.8%	28.4%	28.8%	17.0%	34.0%	39.6%	42.9%	58.2%	54.2%	69.8%	52.0%	47.3%	33.3%	9.0%	13.6%	11.3%	6.0%	6.6%				
8.子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ	12.1%	16.3%	11.8%	13.3%	15.8%	13.9%	57.6%	51.2%	72.1%	55.0%	54.4%	55.4%	30.3%	32.6%	16.2%	30.0%	29.8%	29.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.0%				

	とても困っている							困っている							あまり困っていない							全く困っていない						
	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上	3か月以上 1年未満	1年以上3 年未満	3年以上5 年未満	5年以上7 年未満	7年以上10 年未満	10年以上				
	1.事業所（組織）の方針が理解できない	2.8%	0.0%	4.3%	1.6%	1.8%	2.8%	13.9%	14.6%	8.6%	6.6%	14.0%	7.5%	47.2%	50.6%	48.6%	60.7%	61.4%	57.0%	36.1%	34.8%	38.6%	31.1%	22.8%	32.7%			
2.ほかの職員や上司、部下との情報共有	11.1%	6.7%	2.9%	3.3%	3.5%	5.6%	19.4%	22.2%	30.0%	18.0%	22.8%	28.0%	52.8%	50.0%	42.9%	62.3%	63.2%	50.5%	16.7%	21.1%	24.3%	16.4%	10.5%	15.9%				
3.建物の構造	8.3%	10.1%	10.1%	1.6%	10.5%	12.1%	22.2%	23.6%	29.0%	37.7%	38.6%	35.5%	38.9%	48.3%	40.6%	49.2%	35.1%	43.9%	30.6%	18.0%	20.3%	11.5%	15.8%	8.4%				
4.教材・設備が限定的である	2.8%	9.0%	5.8%	1.6%	10.7%	7.5%	27.8%	31.5%	27.5%	31.1%	39.3%	36.8%	36.1%	47.2%	47.8%	59.0%	37.5%	50.9%	33.3%	12.4%	18.8%	8.2%	12.5%	4.7%				
5.同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがいないため、相談しても不安が常に付きまとう	2.8%	2.2%	2.9%	1.6%	3.5%	3.7%	8.3%	10.0%	11.4%	9.8%	14.0%	14.0%	36.1%	48.9%	47.1%	55.7%	57.9%	57.9%	52.8%	38.9%	38.6%	32.8%	24.6%	24.3%				
6.発達支援のケースカンファレンスで議論がうまくいかない、自分の意見が言えない	8.6%	4.5%	0.0%	1.6%	5.7%	2.8%	14.3%	13.6%	11.6%	13.1%	11.3%	6.5%	48.6%	59.1%	44.9%	60.7%	60.4%	60.7%	28.6%	22.7%	43.5%	24.6%	22.6%	29.9%				
7.支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な十分な時間がとれない	14.3%	25.3%	8.6%	14.8%	21.1%	16.3%	20.0%	34.5%	44.3%	41.0%	43.9%	43.3%	37.1%	33.3%	32.9%	42.6%	33.3%	35.6%	28.6%	6.9%	14.3%	1.6%	1.8%	4.8%				
8.人員不足	19.4%	36.0%	32.9%	16.7%	28.1%	24.5%	41.7%	30.3%	40.0%	50.0%	42.1%	42.5%	36.1%	27.0%	21.4%	31.7%	22.8%	28.3%	2.8%	6.7%	5.7%	1.7%	7.0%	4.7%				
9.日々の発達支援がマンネリ化している。	2.8%	7.8%	5.7%	8.2%	7.0%	5.7%	36.1%	43.3%	47.1%	41.0%	47.4%	46.2%	44.4%	43.3%	41.4%	50.8%	40.4%	43.4%	16.7%	5.6%	5.7%	0.0%	5.3%	4.7%				
10.職場内の人間関係に関する悩み	11.1%	10.0%	5.7%	4.9%	8.8%	17.8%	16.7%	21.1%	15.7%	27.9%	28.1%	20.6%	47.2%	45.6%	50.0%	44.3%	50.9%	43.0%	25.0%	23.3%	28.6%	23.0%	12.3%	18.7%				
11.研修が足りない	5.6%	10.0%	4.3%	1.6%	10.7%	6.5%	16.7%	16.7%	24.3%	31.1%	23.2%	28.0%	55.6%	58.9%	50.0%	54.1%	50.0%	57.9%	22.2%	14.4%	21.4%	13.1%	16.1%	7.5%				

エ.自由記載

障害とは何か、発達支援とは何かという点に関しては入職時よりも経験を重ねたことにより、難しいテーマであると感じますが、そこに関しても面白さを感じながら業務にあたることができていると感じています。

子ども個人個人への関わりに関しては大変さを感じることもありますが、職員間で連携することにより、解決できることも多くあると思いますが、それは頼れる職員がいることや、悩みを共有することができる職員がいるからだからこそだと思います。

支援教材づくりの難しさに関しては作ることは楽しいし、作りがいもありますが、作る時間がないという点で難しさを感じています。

保護者との関係づくりに関しては就職時よりも様々な保護者がいることを知り、様々な対応方法があることを学んだことにより、以前よりは対応することができるようになったかと思っています。

核家族化が進んでいることや、貧困化が進んでいること、共働きの世帯が増えていることなども影響してかはわかりませんが、継続して母子（父子）ともに通園することが難しいという方が少しずつ増えてきているように感じます。そういった時にサポートを継続していくためにどうすればよいかを考えることもありますが、限界を感じる場面も多いです。

コロナの影響により、リモートワークが進んだことで、お父様が支援の場に参加できるようになったことは、子ども理解に繋げることができる点や、家族環境が見えるという点で良いこともあったと考えています。

日々の事務作業が多く、子どものことについて話し合う時間が就業時間内にとることが難しい場合があります。全ての事務職が無くなれば良いというわけではありませんが、もう少し簡略化することができれば、余裕を持って業務に取り組むことができるのではないかと思います。

コロナの影響もあり、掃除をする箇所が増え、次のこどもの支援を行うまでの時間が短くなってしまったことには厳しさを感じることもあります。

- ・通所事業所の家族全体の支援の難しさを感じています。
- ・他事業所はどのようにして、地域交流の場を設けているのか等、外部の研修に参加できる機会が増えれば良いなと感じています。

新人教育が難しいと感じる昨今

全体的にすごく困っているというのは無いが、職員不足による負担と、職員不足のため子ども達に手厚いサポートができないという悩みはあります！

子どもの成長時期によって困り感を感じるときとそうでない時があります

自分の支援について改めて見つめ直すことが出来ました。

福祉現場における処遇改善について、国として考え変えていってもらえるのではないかと思います。

質の高い支援を提供するためにも、マンパワーは不可欠ですが、マンパワーを得るためには福祉現場で働く人の環境が悪すぎると思います。

社会のためにも、福祉の現場で働く人たちは必要だと思うので、福祉の現場で働く人たちを確保するためにも国が動いて欲しいと思います。

親子通園なので保護者としっかり情報交換ができることで、子どもへの理解の乖離や批判は起きにくいしあっても時間をかけながらすり合わせができる。保護者支援は子供たちが安定した環境で成長するためにも大事な土台になると思い力を入れている。

コロナ禍で部屋をわけて活動することもあり、子供にわかりやすい環境が十分に整えてあげられないことが続いた。

県職員なので異動があり、知識や技術、理念の継承が十分に繋がらないこともあるので支援の質が変動しやすいことが課題。前職で、保育園や障害者との関わりがあったが療育の現場は始めとなので、成長をうまく促すことが難しいと改めて感じている。

働く環境を会社が整えてくれているので、働きやすさを感じています。子どもに対しての支援は日々行う中で悩みがつかまません。

子どもへ支援する中で、これでいいのかな？–いつも自問自答してしまう。保護者からの質問に対し、答えのない中でどう返答するのか、支援を続けて行くのか、悩みます。経験年数が上がると、指導する側になってくるため責任も多く、負担と不安が増えるばかりです。

実際に子ども達と関わることは少なく、全体把握や指導の立場になり、現場との支援内容、方法の共有等の難しさを感じます。また今までの施設のやり方もあるため、現場はその方法を継続しており変えることの難しさがあると感じています。

毎日忙しいですが、充実しています。

個人の困り感があっても他の職員に助けられながらなんとかこなしている部分もあり、そのところなどを回答に書けないのが残念だった。個人でできていなくてもチームで立ち向かっていることは多くあります。

自己研鑽の大切さは感じているため、研修参加は積極的におこなう必要性はあるが時間配分の取り方について検討するには…。

研修だけでなくじぶんで新しい情報の収集の必要性を感じている。

児童発達支援事業の職員への処遇（給料）が低すぎる。

サテライト化になり不安

勤務時間など急な変更

職員の人員不足という点でとても困っています。

特にコロナ禍になってから顕著に出ている課題なのかもしれませんが、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業を営む上で、一職員として何が一番大事かと考えた時にやはり利用者の発達支援になるであろうと考えていますが、近年やらなければいけない業務が増えていて（自己評価アンケート、虐待防止研修、情報公表等）、さらにコロナ禍での日々の消毒作業等の業務が加わり逼迫している状況で、職員にゆとり（余裕）がなく、本来割くべき時間であろう利用者の発達支援のためのケースカンファレンスや、教材準備や、または保護者支援・関係者との連携に時間が割けなくなっている状況があります。そのような状況で一部の職員が休んでしまったり、辞めてしまった場合の人員確保についてもとても困っています。

当事業所でも実際、本人または子どもの病気や行事等による休み、家庭内のコロナ感染による休み、精神疾患による休職・退職などで人員確保に困っている状況です。

近年、事業所の数が増えている一方、必要な人員を確保するのに、経験というより資格が必要で、その資格を持った方が必ずしも児童発達支援や放課後等デイサービスの仕事で働きたいかといえばそうではなく、希少なのではないかと感じています。その希少な人材にもかかわらず、多くの事業所が人材を求めていることで、求人が集まりにくい状況があると感じています。かといって収入にも限りがあるため人件費もかけられず・・・。

国の方向性としては、職員の支援の質を求めているのだらうと思いますが、質というものをとても考えさせられます。

質の評価はまずは資格ありきなのでしょうか？

経験に対しての評価は難しいかとは思いますが、仕組み作りをしていくべきなのでは？とも思います。

是非とも全国で起こっている課題を集めて整理して頂き、より良い制度として成熟してもらえよう国に訴えて頂きたいと思えます。

長々となり要点も整理できず申し訳ないですが、是非ともよろしくお願い致します。

日々やらなければいけないことに追われており、お子さんの情報共有や職員間の伝達が十分ではないように思う。

V. 調査票

障害児支援を行う職員についての実態調査

(事業所調査)

【ご回答方法】

■以下の Google フォームから回答をお願いします。

障害児支援を行う職員についての実態調査



<https://forms.gle/XcNYEWdGcpDmS1T47>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中での一時保存はできません。回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回でお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年9月16日（金）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、1年・3年・5年・7年・10年以上の障害児支援の経験を有する職員が、障害児支援の現場で、どのような職務を担い、実行しているのか、平均的な実態（傾向）を把握するための調査です。期待ではなく、貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。

■各事業所の管理者においては、所属する職員の平均的な実態について、管理者の把握する範囲で回答をお願いします。職員一人一人に確認する必要はありません。

■経験とは、障害児支援の経験を指します。他事業所における障害児支援の経験も含まれます。

■職員個人によってばらつきがある場合は、平均を回答してください。（例：「家族に対して相談および助言、必要な情報提供（福祉制度等を含む。）を行っている。」という質問について、3年目の職員が3

人いて、うち2人は行っているが、1人は行っていない場合、3年目で過半数の職員が行っているため、「3年以上」を「○（行っている）」としてください

■年によってばらつきがある場合、平均を回答してください。（例：「家族に対して相談および助言、必要な情報提供（福祉制度等を含む。）を行っている。」という質問について、去年は、たまたま3年目の職員が行っていたが、その前はずっと、7年目以上の職員が行っていた場合、「7年目以上」に「○」をしてください）

■過去3年程度の実態に基づいて回答をお願いします。迷う場合には、管理者の把握する平均的な実態（大体その経験年数以上で行っている）を優先してください。

0 基礎情報について

基礎情報については、特に支障がない場合には、2022（令和4）年8月1日現在でご記入下さい。

(1) 事業所の種類

事業所の種類について選択してください。事業所番号単位で一つの事業所としてください。同一事業所番号で複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。例）児童発達支援と放課後等デイサービスを併せて行っている多機能型事業所の場合は「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」の両方にチェックを入れてください。

※事業所番号ごとに記入してください。□児童発達支援センター

児童発達支援事業

放課後等デイサービス事業

保育所等訪問支援

居宅訪問型児童発達支援

医療型児童発達支援

その他（ ）

(2) 重症心身型の指定の有無

指定あり

指定なし

(3) 事業所の所在地（都道府県）

(4) 事業所の所在地（市区町村）

例）〇〇市、〇〇町、〇〇村、〇〇区（東京都23区の場合のみ）

(5) 事業所の定員数

多機能型の場合や重度心身型などすべて併せた定員数を回答ください。

～10名 11名～20名 21名～30名 31名～40名 41名～50名 51名～

(6) 事業所の開設年

プルダウンで選択 (1970～2022)

(7) 運営主体

自治体 社会福祉法人 (社会福祉業団、社会福祉協議会を除く) 株式会社

NPO法人 合同会社 一般社団法人 有限会社

その他 ()

(8) 行える医療行為

喀痰吸引 経管栄養 人工呼吸器 酸素療法

医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はない 医ケア児の受け入れは行っていない

その他 ()

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

配置されている職員をすべて選択してください。

保育士

児童指導員 (機能訓練担当や看護職含まず)

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

心理担当職員

看護職

社会福祉士

その他 ()

(10)回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

①管理者

②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名 (ふりがな)

1. 職種共通

次の内容（発達支援・家族支援・地域支援・事業運営等）について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。

回答に当たって

- ・「1. 職種共通」については、職員の資格や職種を問いません。職員の資格や職種を問わず、貴事業所における障害児支援に携わる職員の平均的な実態を念頭にご回答ください。
- ・本調査は、1年・3年・5年・7年・10年以上の障害児支援の経験を有する職員が、障害児支援の現場で、どのような職務を担い、実行しているのか、平均的な実態（傾向）を把握するための調査です。期待ではなく、貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。
- ・本調査における「適切に支援する」「適切な支援」等は、周囲からのサポートがなしで自ら主体的に実践することを指します。
- ・事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

(1) 発達支援

- ① 個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑭ 子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑮ 移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑯ 子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑰ 服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑱ 下記について理解し、適切な配慮と適切な支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	該当なし
発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

知的障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肢体不自由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重症心身障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療的ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聴覚障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
視覚障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マルトリートメント（虐待等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（２）家族支援

- ① クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 家族支援プログラム（例：ペアレントトレーニング）を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑦ 虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(3) 地域支援

- ① 担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(4) 事業運営等（施設整備・安全対策・保健衛生・運営管理・倫理等）

- ① 障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ タイムテーブルや活動プログラムの立案をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。

- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

2. 職種別

(1) 保育士

(ア)－1. 貴事業所では、障害児支援に携わる保育士はいますか。

- いる → 設問 (ア)－2 へ
 いない → 設問 (ウ)－1 へ

(ア)－2. 障害児支援を行う保育士の数

① 総数	人
うち ②障害児支援の経験年数3か月未満	人
③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満	人
④障害児支援の経験年数1年以上3年未満	人
⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満	人
⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満	人
⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満	人
⑧障害児支援の経験年数10年以上	人

(イ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（保育士）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、保育士としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ④ 保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑭ いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(2) 児童指導員

(ウ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる児童指導員はいますか。

いる → 設問(ウ)ー 2 へ

いない → 設問 (オ) ー 1 へ

(ウ)ー 2. 障害児支援を行う児童指導員の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3か月以上 1年未満 人

④障害児支援の経験年数 1年以上 3年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3年以上 5年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5年以上 7年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7年以上 10年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 10年以上 人

(エ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（児童指導員）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、児童指導員としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どものための個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ③ 事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ④ 児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑤ 児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑥ 児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑦ 保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑨ 子どもの発達について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑩ いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑪ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(3) OT (作業療法士)

(オ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる OT (作業療法士) はいますか。

いる → 設問(オ)ー 2 へ

いない → 設問 (キ) ー 1 へ

(オ) ー 2. 障害児支援を行う OT (作業療法士) の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3 か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3 か月以上 1 年未満 人

④障害児支援の経験年数 1 年以上 3 年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3 年以上 5 年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5 年以上 7 年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7 年以上 1 0 年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 1 0 年以上 人

(カ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上 (何か月以上) の障害児支援の経験を有する職員 (作業療法士 (OT)) が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、作業療法士 (OT) としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT (作業療法士) としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

② 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者として、クラスの子どものための個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT (作業療法士) の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

③ 事業所内において、必要な時に、OT (作業療法士) の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

④ OT (作業療法士) として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(4) PT (理学療法士)

(キ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる PT (理学療法士) はいますか。

いる → 設問(キ)ー 2 へ

いない → 設問 (ケ) へ

(キ)ー 2. 障害児支援を行う PT (理学療法士) の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3 か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3 か月以上 1 年未満 人

④障害児支援の経験年数 1 年以上 3 年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3 年以上 5 年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5 年以上 7 年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7 年以上 1 0 年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 1 0 年以上 人

(ク) 次の内容について、貴事業所では、何年以上 (何か月以上) の障害児支援の経験を有する職員 (PT (理学療法士)) が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、PT (理学療法士) としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT (理学療法士) としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

② 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT (理学療法士) の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

③ 事業所内において、必要な時に、PT (理学療法士) の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

- ④ PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 心身機能・運動発達について、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 生活における姿勢保持について、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 車いす、IT 機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑬ 変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(5) ST（言語聴覚士）

- (ケ)ー1. 貴事業所では、障害児支援に携わる ST（言語聴覚士）はいますか。

いる → 設問(ケ)ー2へ

いない → 設問(サ)ー1へ

- (ケ)ー2. 障害児支援を行う ST（言語聴覚士）の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数3か月未満 人

③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満 人

④障害児支援の経験年数1年以上3年未満 人

⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満 人

⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満 人

⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満 人

⑧障害児支援の経験年数10年以上 人

- (コ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（ST（言語聴覚士））が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、ST（言語聴覚士）としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ③ 事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

⑬ 聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

⑭ 手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

（6）心理職

（サ）－1．貴事業所では、障害児支援に携わる心理職はいますか。

いる → 設問（サ）－2へ

いない → 設問（ス）－1へ

（サ）－2．障害児支援を行う心理職の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数3か月未満 人

③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満 人

④障害児支援の経験年数1年以上3年未満 人

⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満 人

⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満 人

⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満 人

⑧障害児支援の経験年数10年以上 人

（シ）次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（心理職）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注）経験年数は、心理職としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 愛着形成の適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 感覚認知発達の適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑪ 情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 社会性コミュニケーションの適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑭ カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑮ 保護者に対して適切にグループ支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑯ 不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(7) 看護職

(ス)ー1. 貴事業所では、障害児支援に携わる看護職員はいますか。

- いる → 設問 (ス)ー2 へ
 いない → 設問 (ソ) へ

(ス)ー2. 障害児支援を行う看護職の数

- ① 総数 人
- うち ②障害児支援の経験年数3か月未満 人
③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満 人
④障害児支援の経験年数1年以上3年未満 人
⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満 人
⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満 人

- ⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満 人
- ⑧障害児支援の経験年数10年以上 人

(七) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（看護職）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、看護職としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

3. その他

(ソ) お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。研修に関する調査についてもご協力賜れば幸いです。

事業所で行っている研修についての実態調査

(事業所調査)

【ご回答方法】

■以下の Google フォームから回答をお願いします。

事業所で行っている研修についての実態調査



<https://forms.gle/QEkiKt7M45oKnYN97>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中での一時保存はできません。 回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回をお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年9月16日（金）15時までにご回答をお願いいたします。

0 基礎情報について

基礎情報については、特に支障がない場合には、2022（令和4）年8月1日現在でご記入下さい。

(1) 事業所の種類

事業所の種類について選択してください。事業所番号単位で一つの事業所としてください。同一事業所番号で複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。例) 児童発達支援と放課後等デイサービスを併せて行っている多機能型事業所の場合は「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」の両方にチェックを入れてください。

※事業所番号ごとに記入してください。 児童発達支援センター

児童発達支援事業

放課後等デイサービス事業

- 保育所等訪問支援
- 居宅訪問型児童発達支援
- 医療型児童発達支援
- その他 ()

(2) 重症心身型の指定の有無

- 指定あり
- 指定なし

(3) 事業所の所在地 (都道府県)

(4) 事業所の所在地 (市区町村)

例) ○○市、○○町、○○村、○○区 (東京都 23 区の場合のみ)

(5) 事業所の定員数

多機能型の場合や重度心身型などすべて併せた定員数を回答ください。

- ~10 名
- 11 名~20 名
- 21 名~30 名
- 31 名~40 名
- 41 名~50 名
- 51 名~

(6) 事業所の開設年

プルダウンで選択 (1970~2022)

(7) 運営主体

- 自治体
- 社会福祉法人 (社会福祉業団、社会福祉協議会を除く)
- 株式会社
- NPO 法人
- 合同会社
- 一般社団法人
- 有限会社
- その他 ()

(8) 行える医療行為

- 喀痰吸引
- 経管栄養
- 人工呼吸器
- 酸素療法
- 医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はない
- 医ケア児の受け入れは行っていない
- その他 ()

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

配置されている職員をすべて選択してください。

- 保育士
- 児童指導員 (機能訓練担当や看護職含まず)
- 理学療法士

- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 心理担当職員
- 看護職
- 社会福祉士
- その他（ ）

(10)回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

- ①管理者
- ②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名（ふりがな）

1. 事業所で行っている研修について

(1) 貴事業所では、令和3年度、障害児支援を行う者を主たる対象とする研修を何か行いましたか。なお、事業所として主体的に実施してなくとも、従業員が外部研修を受けるにあたって研修費を補助した場合も、「行った」に含みません。

行った → 設問2へ

行っていない → 設問9へ

2. 【研修①】研修時間と内容について

(1) 貴事業所の職員は、2022年7月の1か月間において、職員一人当たり、平均何時間、研修に参加しましたか。もっとも近いものを選択してください。職員が外部研修を受けるにあたって事業所が研修費を補助した場合も含みます。職員によってはらつきがある場合には、管理者からみた平均的な職員について回答してください。なお、2022年7月に特殊な事情があった場合には、該当月以外の平均的な実態がわかる1か月の状況について回答してください。

0時間（研修に参加していない） 0.5時間 1時間 2時間 3時間 4時間
5時間 6時間 7時間 8時間以上

(2) (1)の研修時間のうち、オンラインで実施したものはどの程度（何割）でしたか。

オンラインでは実施していない（すべて対面） 1割未満 1割～3割 3割～5割
5割～8割 8割以上 10割（すべてオンライン） 研修に参加した職員はいない

(3) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。コロナ前の1年間（2018年4月～2019年3月の1年間）において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。（半角数字）

(4) (3)で職員の参加した研修のうち、どの程度（何割程度）がオンライン研修でしたか。

1割未満 1割～3割 3割～5割 5割～8割 8割以上 10割
研修に参加した職員はいない

(5) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。2021年4月～2022年3月の1年間（コロナ禍の1年間）において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。（半角数字）

(6) (5)で職員の参加した研修のうち、どの程度（何割程度）がオンライン研修でしたか。

1割未満 1割～3割 3割～5割 5割～8割 8割以上 10割

研修に参加した職員はいない

(7) 研修内容（あてはまるものをすべて選択してください）

2021年4月～2022年3月の1年間（2021年度）において、貴事業所の職員が参加した研修について、該当するものをすべて選択してください。職員が外部研修を受けるにあたって事業所が研修費を補助した場合も含まれます。研修内容・項目については、おおよそ近いと思われる内容・項目であれば選択してください。

1. 制度

1. 制度
児童福祉法
障害福祉関連法
障害のある子どもの制度（障害者手帳と利用できる制度 等）
海外の発達支援の制度と動向
後見人制度

2. 発達支援

1. 発達段階の基礎
発達支援とは
乳幼児期の発達支援
学童期・青年期の発達支援
2. 障害特性について
障害特性について
3. 子どもへの介入
アセスメントに基づく支援
健康/生活
運動/感覚
認知/行動
言語コミュニケーション
人間関係/社会性
食事への支援・偏食対応
4. 医療的支援
成長・生理機能
医療的ケア
合併症
日常の健康管理
救急対応
遺伝

3. 家族支援

1. 家族支援の理念	
	家族支援の定義
2. 障害受容	
	妊娠期からの支援
	障害の受容
	きょうだい児
3. 支援方法	
	事業所内相談支援・日々の情報共有
	基本カウンセリング
	メンタルヘルスケア
	グループワーク
	ペアレントトレーニング
	生活支援
4. 家族の虐待予防	
	虐待について
	トラウマの影響
	社会的養護

4. 地域支援

1. 地域支援の理念	
	地域支援の理念
2. 地域支援の実際	
	センターの中核的な拠点機能
	保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業
3. ソーシャルワーク	
	他機関連携（児相・医療・学校等）
	ネットワーク
4. 協議会等	
	自立支援協議会・要保護児童対策協議会

5. 発達支援者に求められる姿勢

1. 障害のある子どもの職員として	
	障害のある子どもの支援者として
	ポジティブアプローチ
2. 支援者としての倫理	

	倫理
3.	チームアプローチ
	チームアプローチ
4.	職員の虐待予防
	職員の虐待予防
	障害者虐待予防（身体拘束 等）
	アンガーマネジメント
5.	事例検討
	事例検討会
	アサーション

6. 事業運営・安全

1.	事業運営
	契約制度
	サービス提供の流れと事務手続き
	BCP 研修
2.	環境整備
	環境整備
3.	安全リスクマネジメント
	安全管理
	個人情報保護・守秘義務
	コロナ対応
	災害対策
	不審者対応
	送迎について
	職員のメンタルケア
	コンプライアンス
4.	マネジメント
	マネジメント
	職員育成
	会計表の読み方

7. その他研修

1.	その他研修 （例：IT 機器・療育技法・資格取得・アセスメント）

3. 児童発達支援センター・行政機関に提供してほしい研修について

- 今後、児童発達支援センター・行政機関において、地域の中で提供してほしい研修はありますか。優先度の高いものを、次の選択肢から10個以内で選択してください。なお、本質問の回答者が児童発達支援センターの場合には、地域の障害児支援の底上げのため、地域において提供すべきと思われる研修をご選択ください
- 下記には、「その他」を除いて65個の研修を載せています。
- 65個の研修は前述の設問2で聞いた研修内容と同じです。
- その他を除いて、10個以内選択してください。10個より少なくても構いません。

1. 制度

2. 制度	
	児童福祉法
	障害福祉関連法
	障害のある子どもの制度（障害者手帳と利用できる制度 等）
	海外の発達支援の制度と動向
	後見人制度

2. 発達支援

5. 発達段階の基礎	
	発達支援とは
	乳幼児期の発達支援
	学童期・青年期の発達支援
6. 障害特性について	
	障害特性について
7. 子どもへの介入	
	アセスメントに基づく支援
	健康/生活
	運動/感覚
	認知/行動
	言語コミュニケーション
	人間関係/社会性
	食事への支援・偏食対応
8. 医療的支援	
	成長・生理機能
	医療的ケア
	合併症
	日常の健康管理
	救急対応

	遺伝
--	----

3. 家族支援

5.	家族支援の理念
	家族支援の定義
6.	障害受容
	妊娠期からの支援
	障害の受容
	きょうだい児
7.	支援方法
	事業所内相談支援・日々の情報共有
	基本カウンセリング
	メンタルヘルスケア
	グループワーク
	ペアレントトレーニング
	生活支援
8.	家族の虐待予防
	虐待について
	トラウマの影響
	社会的養護

4. 地域支援

5.	地域支援の理念
	地域支援の理念
6.	地域支援の実際
	センターの中核的な拠点機能
	保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業
7.	ソーシャルワーク
	他機関連携（児相・医療・学校等）
	ネットワーク
8.	協議会等
	自立支援協議会・要保護児童対策協議会

5. 発達支援者に求められる姿勢

6.	障害のある子どもの職員として
	障害のある子どもの支援者として
	ポジティブアプローチ
7.	支援者としての倫理
	倫理

8.	チームアプローチ
	チームアプローチ
9.	職員の虐待予防
	職員の虐待予防
	障害者虐待予防（身体拘束 等）
	アンガーマネジメント
10.	事例検討
	事例検討会
	アサーション

6. 事業運営・安全


5.	事業運営
	契約制度
	サービス提供の流れと事務手続き
	BCP 研修
6.	環境整備
	環境整備
7.	安全リスクマネジメント
	安全管理
	個人情報保護・守秘義務
	コロナ対応
	災害対策
	不審者対応
	送迎について
	職員のメンタルケア
	コンプライアンス
8.	マネジメント
	マネジメント
	職員育成
	会計表の読み方

7. その他研修

2.	その他研修 （例：IT 機器・療育技法・資格取得・アセスメント）

4. その他

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。



お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。障害児支援を行う職員の実態調査についてもご協力賜れば幸いです。

現場の職員の困り感調査

(回答者：現場の職員様)

【ご回答方法】

1. 管理者様又は児童発達支援管理責任者様へ

- ① 貴事業所から3名程度の職員様（なるべく障害児支援の経験年数が異なる者）を回答者として選出の上、この調査表をお渡してください。
- ② 質問へは各職員様が直接回答するようお願いください。
- ③ 重複回答の確認のため、事業所名を任意で聞いておりますが、事業所名は重複回答の確認のみに用います。本調査は、現場の職員がどういったことに困っているか、全体的な傾向を把握するための調査です。施設・事業所・個人の個別状況を把握することは目的にしておりません。

2. 回答する職員様へ

- ① 本調査は、現場の職員がどういったことに困っているか、全体的な傾向を把握するための調査です。
- ② インターネットにつながるPCのほか、スマートフォンからも回答可能です。回答する職員様におかれては、本調査表をうけとりましたら、下記のURLをインターネット上で開く、又はQRコードをスマートフォンで読み取って、Googleフォーム上から回答をお願いいたします。



<https://forms.gle/M64Uy6qWwMSESGqLA>

【ご回答上の留意点】

■調査は途中での一時保存はできません。回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■回答は1人1回をお願いいたします。同じ方が何度も回答しないよう、お願いします。

■本調査は、2022（令和4）年10月20日（木）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、任意調査です。

【内容に関するお問い合わせ】

一般社団法人 全国児童発達支援協議会

※推進事業 課題2 2 担当事務局※

E-MAIL: research22.cds@gmail.com

電話: 080-7618-7771 担当: 本池・北川 (電話対応は火・水・木曜日 13:30-17:30 のみ。)

0 回答者情報

(1) あなたの障害児支援の経験は何年(何か月)ですか。

※経験とは、障害児支援の経験を指します。他事業所における障害児支援の経験も含みます。

- 3か月未満 3か月以上1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上7年未満
 7年以上10年未満 10年以上

(2) あなたは次の資格のうちどれを所持していますか。

※選択肢以外の資格で、障害児支援に関連する一般的な資格をお持ちの場合には、その他に記載してください。

※複数回答可

- 保育士 児童指導員 教員免許(特別支援等の障害児に関わるもの) 教員免許(特別支援等以外)
 幼稚園教諭 社会福祉士 介護福祉士 精神保健福祉士
 看護師(准看護師、助産師、保健師含む) 公認心理師 臨床心理士 臨床発達心理士 学校心理士
 資格はもっていない
 その他障害児支援に関わる資格()

(3) 事業所の種類

あなたの所属する事業所の種類について選択してください。複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。

- 児童発達支援センター
 児童発達支援事業
 放課後等デイサービス事業
 保育所等訪問支援
 居宅訪問型児童発達支援
 医療型児童発達支援
 その他()

(4) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所・個人の個別状況を把握することは目的にしておりません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(5) 施設・事業所名（ふりがな）

1. 困り感の調査

次の内容について、該当するものを項目ごとに一つ選択してください。

該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

(1) 自分問題

- 子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 自分の価値観と支援の在り方のギャップについて
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いかけられない、腰が痛い等）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(2) 発達支援（本人との関わり）

※特定の子どもに困らされている等の子ども自身に対する困り感ではなく、障害児を支援する者として適切な支援をする上での困り感について回答すること。

例：支援にあたっての知識・方法・技術・経験等の不足（適切な支援・方法がわからない、知識があってもうまくできない等）

- 障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 個々のこだわりへの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- こどもの気持ちのくみ取り
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 受け止めるところと、導くところの境界線
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- その子に合った学習支援について
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

8. 子ども同士のトラブルの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
9. 次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
10. 子どもがパニックや癇癢を起こしたときのクールダウンのさせ方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
11. 子どもとのコミュニケーションの難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
12. 実施した発達支援の妥当性への悩み・不安
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
13. 専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
14. プログラム、スケジュール、課題を考えること
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
15. 発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
16. 小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎることに
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
17. 集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
18. 絵本など視覚教材の使い方
とても困っている 時々困る 困ることはあまりない 困ることはない 関係業務を行っていない
19. 支援教材づくりの難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
20. 手遊びのやり方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
21. 大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集団、他児童の配慮含む）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
22. 子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
23. 子どもへの他害、自傷行為への対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
24. 散歩等で子どもの安全を守ること
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
25. 食事の支援
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
26. 排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(3) 地域支援

1. 外部機関との連携の難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. 地域資源がなくて繋がられない

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(4) 家族支援

1. 保護者との関係づくりが難しい

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. 子どもが怪我をしたときの保護者への対応

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

3. 保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

4. 困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

5. 批判的な保護者との関係づくり

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

6. 不適切な子育てをしている保護者への支援

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

7. 事業所内面談の時間をとるのが難しい

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

8. 子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(5) 支援をとりまく環境について

1. 事業所（組織）の方針が理解できない

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. ほかの職員や上司、部下との情報共有

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

3. 建物の構造

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

4. 教材・設備が限定的であること

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

5. 同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に付きまとう

- とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
6. 発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
7. 支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な時間がとれない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
8. 人員不足
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
9. 日々の発達支援がマンネリ化している。
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
10. 職場内の人間関係に関する悩み
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
11. 研修が足りない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。

各職種の支援の実態調査

(回答者：管理者様または児童発達支援管理責任者様)

【ご回答方法】

■インターネットにつながる PC のほか、スマートフォンからも回答可能です。下記の URL をインターネット上で開く、又は QR コードをスマートフォンで読み取って、Google フォーム上から回答をお願いいたします。



<https://forms.gle/JHkTcjioXZesbJ6J9>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中で一時保存はできません。 回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回でお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年10月20日（木）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、各職種の支援の実態を把握するための調査です。貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。

【内容に関するお問い合わせ】

一般社団法人 全国児童発達支援協議会

※推進事業 課題22担当事務局※

E-MAIL： research22.cds@gmail.com

電話： 080-7618-7771 担当：本池・北川

(電話対応は火・水・木曜日 13:30-17:30 のみ。)

その他 ()

(8) 行える医療行為

喀痰吸引 経管栄養 人工呼吸器 酸素療法

医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はない 医ケア児の受け入れは行っていない

その他 ()

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

配置されている職員をすべて選択してください。

保育士

児童指導員 (機能訓練担当や看護職含まず)

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

心理担当職員

看護職

社会福祉士

その他 ()

(10) 回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

①管理者

②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名 (ふりがな)

1. 質問

(1) 本人支援

各職種は本人支援にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童指導員	保育士
運動発達							
運動障害（麻痺、形成不全等）							
上肢機能・操作性・巧緻性							
姿勢管理							
車椅子・座位保持							
装具							
ADL							
感覚統合							
目と手の協応							
道具の操作							
眼球運動							
摂食機能							
話す							
聞く							
コミュニケーション							
発声							
発音・構音							
人工内耳・補聴器							
手話							
サイン言語							
聴力検査							
発達検査・知能検査							
その他の心理検査							
社会性の育ち							
発達にあった遊びの構築							
認知機能							

(2) 集団活動

各職種は集団活場にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。
該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童 指導員	保育士
集団活動の行動観察							
生活環境の観察							
集団活動への参加							

(3) 保護者

各職種は保護者支援にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。
該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童 指導員	保育士
発達状態の説明							
家庭での関わり、家庭生活 へのアドバイス							
障害の理解、受容							
カウンセリング							
研修							
情報提供							
虐待予防を念頭においた対 応やアドバイス							

2. その他

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

--